509
509-33
1200300936873

帝國圖書館和漢圖書書名目錄

第四編 ナ—

自明治四十五年一月
至大正十五年十二月 增加

帝國圖書館

帝國圖書館藏書

帝國圖書館和漢圖書書名目錄

第四編　ナ—ワ

自明治四十五年一月
至大正十五年十二月　增加

帝國圖書館

509
33

目次

ナ	二〇四一頁	ニ	二〇八三頁	ヌ	二一九九頁	ネ	二一〇〇頁	ノ	二一〇六頁
ハ	二二四二	ヒ	二三二九	フ	二三七七	ヘ	二四六七	ホ	二四九七
マ	二五五一	ミ	二五八五	ム	二六二七	メ	二六四一	モ	二六六七
ヤ	二六九二	ユ	二七二三	ヨ	二七三三	ラ	二七五一	リ	二七六九
ル	二八〇四	レ	二八〇七	ロ	二八二五	ワ	二八四一		

ナ

			冊	函	號
内	安錄	内藤忠明（近古文藝温知叢書第三編ノ内 明治二四）			
内	憂累卵之日本	遠藤友四郎（日本思想パンフレット第三編） 大正一五	一	五二四	四三
内	海御臺場築立御普請御用中日記	寫本	一	四三一	三ィ
内	閣印刷局研究所調査報告	第一六號 大正一五 同所編	一	一四五	一二
内	閣書目	明、張萱等編 八卷（國叢書第九至一二册）	一	一七五	六九
内	閣小志	支、徐珂編（大藏閣叢刊二集ノ内）	一	一六三	九七
内	閣統計講習會講義要錄	内閣統計局編 大正八	一	一三七	一二七
内	閣統計局統計講習會講演錄	同局編 大正一五	一	五一八	四八ロ

統計學汎論（森數樹）
人口統計及國勢調査（鷲田宮吉）
家計調査（長澤柳作）
失業統計調査（松田泰二郎）
經濟統計（藤本幸太郎）
數理統計（龜田豐治朗）
經濟學（渡邊鐵藏）
財政學（土方成美）
社會政策（河原田稼吉）
憲法及行政法（松井春生）
外交の概念に就て（佐久間信）
私法の意義及原則等に就て（黒崎定三）

			冊	函	號
内	閣文庫圖書第二部漢書目錄	内閣書記官室記錄課編 大正三	一	三一七	七三
内	宮御神寶記	（國書刊行會本丹鶴叢書故實ノ内 大正三）	一	三四三	四ハ
内	逸事譚	千頭清臣編 大正二	一	三一五	八四
内	逸話文庫	科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第二） 大正六	一	三七三	六
内	全芽育方針	中井代助 大正六	一	三五八	三七
内	應用養蠶法	中井代助 大正四	一	四一三	八九
内	織物集	大八木春曉編 大正九	二	三六五	一三三
内	織物組織及製造學	並續編 吉田喜一 大正七、一二	一	三六五	一三ィ
同		正編 補三版 大正一四	一	三一一	七九
内	金石夜話	大和鐵郎 大正六	一	三三六	七九
内	廣告資料展覽會報告	神戸市役所編 大正四	一	三三六	一五六
内	經濟學名著	福田德三、坂西由藏編 大正二			

第一册 ジエヴンス經濟學純理（ジエヴンス著 小泉信三譯）

			冊	函	號
内	教育叢書	内外出版株式會社發行 大正一二、一三	一三	三九五	五三

第一卷　教育心理學（楠崎淺太郎、三木知一）
第二卷　自動教育論（河野清丸）
第三卷　新教育方法の研究（入澤宗壽）
第四卷　動的教育論（及川平治）
第五卷　理想の學校（小原國芳）
第六卷　萬人勞働の教育（下中彌三郎）
第七卷　道德教育論（佐々木秀一）
第八卷　創造教育論（稻毛詛風）
第九卷　藝術教育論（小林澄兄、大多和顯）
第一〇卷　童謠と教育（葛原酉）

		冊	函	號
第二卷	體育論（畠山源三）			
第三卷	學校衞生（岡田道一）			
內外	教訓物語　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第二）　大正六	一	三五	八四
內外	教訓物語　地之卷、人之卷　馬淵冷佑編　明治四五、大正四	二	三九	一
內外	雜誌所載統計資料類別索引　全國經濟調查機關聯合會編　大正一五	一	五二	四四
內外	蠶絲絹物類輸出入統計　蠶絲業同業組合中央會編　大正一四	一	一四、四	七二
同	大正一〇（蠶絲業同業組合中央會報告號外）	一	三九	三〇
同	大正一一	一	三九	三〇イ
同	大正一四	一	三九	三〇ロ
同	大正一五	一	三九	三〇ハ
內外	三時抄　飛鳥井雅有（續群書類從第一九輯ノ中蹴鞠部ノ內　大正元）		八〇	三一
同	（續群書類從第一九輯ノ中蹴鞠部ノ內　再版　大正一四）		八〇	三一ロ
內外	思想叢書　內外書房發行　大正一二、一三	五	二五	五九
第一編	新教育の哲學的基礎（入澤宗壽）			
第二編	教育史概況（同）			
第三編	古代國語の研究（安藤正次）			
第四編	大腦の生理及び病理（杉田直樹）			
第五編	異常兒童の病理（同）			
內外	市場に於ける有機性護謨硫化促進劑に就て　其二　湊谷祝三郎、福田舜一　大正一四（電氣試驗所研究報告第一四〇號）	一	一四、五	九
內外	商業政策　上卷　小林行昌　大正一一	一	三八〇	一八一
內外	商工彙報　廣島縣物產陳列館編　大正七	一	一四、三	七イ

		冊	函	號
內外	商工時報　內外商工時報發行所發行　第四卷第一號（大正六年一月）ヨリ（缺アリ）（「貿易時報」ノ改題）	一	三五	八四
內外	情報　臺灣總督府發行　第三四號（大正一一年四月）至第一五九號（大正一四年一二月）	八	三七	二六
內外	社會事業の大勢　生江孝之　大正九	一	三七三	四八六
內外	社會叢書　內外出版株式會社發行　大正一三	三	五二七	四五
第一卷	學校と活動（海野幸德）			
第二卷	兒童保護問題（同）			
第三卷	現代の青年運動（同）			
內外	職業紹介業ニ關スル調査　豐原又男（大正八（工場資料第一〇輯））	一	三二六	二七〇
內外	植物誌（最新一）　齋田功太郎、佐藤禮介編　大正六	一	三六一	二七
內外	人名辭典　科外教育叢書刊行會編　大正七（科外教育叢書第四九）	一	三五五	八四
內外	政策　レーニン著　青野季吉譯　大正一五（レーニン著作集第七卷）	一	五四六	一七四
內外	選手球界茶咄　小泉葵南（三郎）　大正三	一	九四	八〇八
內外	臺米穀取引事情及統計　一戸正侯　大正九	一	三八〇	一一四
鮮定期	朝鮮銀行東京調查支局發行　第七輯（大正七年四月）至第一五輯（大正八年三月）ヨリ「朝鮮銀行調查彙報」ト改題）	二	雜三	一〇〇
內外	調查彙報　第一六輯（大正八年四月）ヨリ「朝鮮銀行			
內外	化學工業大勢講話　水津嘉之一郎　大正四	一	三五一	九四
內外	普通動物誌　脊椎動物篇、無脊椎動物篇　秋山蓮三　大正二、三	二	三四二	二九三
同	脊椎動物篇　再版　大正二　一二七九頁	一	三四二	二九三イ
內外	武勇談　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第六〇）　大正七	一	三五五	八四
內外	美辭名句叢書　實文社編　大正六	八	三六四	一三六
第一集	夏目漱石美辭名句集			
第二集	尾崎紅葉美辭名句集			
第三集	高山樗牛美辭名句集			
第四集	三宅雪嶺美辭名句集			
第五集	德富蘇峰美辭名句集			
第六集	森鷗外美辭名句集			
第七集	トルストイ美辭名句集			
第八集	ニイチエ美辭名句集			
第九集	ゲーテ美辭名句集			
第一〇集	イブセン美辭名句集			
第一一集	ツルゲーネフ美辭名句集			
第一二集	ドストイエフスキー美辭名句集			
第一三集	國木田獨歩美辭名句集			
第一四集	德富蘆花美辭名句集			
第一五集	幸田露伴美辭名句集			
第一六集	樋口一葉美辭名句集			
第一七集	曲亭馬琴美辭名句集			
第一八集	近松巢林子美辭名句集			
內外	盲人教育　五至八卷　東京盲學校發行　大正五至九	一	二九五	三三
內外	名婦傳　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第一七）　大正六	一	三五五	八四
內外	綿織物製造法　相田祐次郎　大正一五（實用工藝叢書第五編）	一	三三〇	四八
內外	蒙古接壤地域附近一般調查　遠藤隆藏　大正一三（滿鐵調查資料第三六編）	一	一四五	一七イ
內外	理想鄉物語　石田傳吉　大正一四	一	五三	二四九
內外	立志談　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第三〇）　大正六	一	三五	八四
內外	兩政の關係と國勢の消長　（ルマン、オンケン著　大類伸譯（興亡史論叢第二期第一二卷史論叢錄後第六編　大正九）	一	三五	八九
內外	兩面の誤轉　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八卷ノ內　大正一一）	五	〇〇	一
內外	歷史美談　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第三三）　大正七	一	三五	八四
內科	學　入澤達吉監修　大正六至一三	六	五三	二三六

		冊	函	號
第一卷	傳染病（小澤修造）			
第二卷	新陳代謝病　運動器疾患（同）　呼吸器疾患（篠原昌治）　血液病　脾臟疾患（中野次郎）（同）			
第三卷	消化器系疾患（南大曹）			
第四卷	消化器系疾患（土屋岩保）　寄生蟲病（宮川米次）　泌尿器疾患（土屋岩保）			
第五卷	上循環器系疾患總論（安達溫）　下同　各論（同）			
同	第一、二卷　三版　大正九、一一	一	二五三	一二六イ
同	第一、二、四卷　四版　大正一三至一五	四	五三	一二六ロ
同	第一卷　五版　大正一五	一	五三	一二六ハ
內科	學纂錄　岡田榮吉　明治四四（近世醫學叢書第三五編）	一	六〇	二九ロ
內科	學的眼病診斷　久保田詢　明治四二（近世醫學叢書第八編）	一	六〇	二九ロ
內科	鑑別診斷表　附　臨牀診察法及諸檢查法　富井淸治、工藤程編　大正一三	一	五三	二一三
內科	史　富士川游（日本內科全書卷一第一册ノ內　大正二）	一	五三	九四
內火	式機關計畫　一名　瓦斯油發動機計畫　工業改良協會編　大正二	一	三四九	二三
同	大正二	一	三四九	二三イ
內科	疾患豫後診定法　西田時政編　大正四	一	五三	一二三
內科	診斷及療法　松井正作（近世臨牀醫學叢書第二編）　大正四	一	六〇	四二
同	再版　大正五	一	六〇	四二イ
內科	診斷學　井上善次郎、吉田坦藏　大正四　七二六頁	一	五三	一二〇
內科	診療醫典（袖一）　平賀精次郎、野村正一　大正二	一	五三	九六

内科診療ノ實際　西川義方　大正一一　同　三版　大正一三　一　函　五三　二〇二イ　号
内科對症療法　第一、二編　石川省三　大正五　一　函　五三　二二六　号
内科治療手技　附　理學的療法（石川憲夫）　長尾美知　大正八　一　函　五三　一六三　号
内科治療全書　上、中、下　木村德衛等　大正二至一〇　同　上、中　大正三　二　函　五三　九二イ　号
同　上、中　大正二、三　二　函　五三　九二ロ　号
内科ノ治療ト處方　福島東作　大正一三　一　函　五三　二九　号
内科の領域に於ける新知識　上、中　松尾巖　大正一四、一五　（研究より實地へ第七、一〇編）　二　函　六〇　七四一　号
内科臨牀講義　卷一、二　入澤達吉　大正一〇、一一　二　函　五三　一八八　号
内科臨床診斷學　額田豐　明治四五　一　函　五三　三三　号
同　額田豐、額田晉　訂四版　一　函　五三　三三イ　号
内科類症鑑別診斷學　第一至三、六、八（上、下）册　額田晉　大正一四、一五　六　函　五三　四九　号
同　第八（下）册　再版　大正一五　一　函　五三　四九イ　号
内觀的研究　邪氣、新病理說　玉利喜造　大正元　一　函　六〇　三一七　号
内觀的人類進化說　玉利喜造　大正三　一　函　三三七　六九〇　号
同　二　函　三三七　六九〇イ　号
内觀法（記憶長壽及贈力增進之要訣）　勝峯大徹　大正七　一　函　六二　二三六　号

内外萬物緣起草　卷中願曉撰　（日本大藏經第三卷ノ内　大正四）　一　函　五六一　二三　号
内國爲替實務　伊藤由三郎編　大正一五　一　函　三六六　六四　号
内國爲替實務誌　水野淳二　大正七　一　函　三六六　六四イ　号
同　一　函　三六六　一五二　号
内國産煙草ノ起源及分類調査　專賣局編　大正五　一　函　三三三　五〇四　号
内國實踐商業文提要　浦添爲宗　大正一二　一　函　三七一　一三三　号
内國通運株式會社發達史　同社編　大正七　一　函　二四七　二九　号
内國保險會社信用錄　第一回　協立社編　大正四　一　函　六一　三三〇　号
内臟健康法　伊藤尚賢等編　大正一一　一　函　五三　一二九　号
内臟レントゲン診斷學　藤浪剛一、福光廉平　大正五　一　函　三七二　八〇　号
内寶の力　三宅雪嶺　大正九　一　函　三三一ロ　号
内侍所御神樂部類　（續群書類從第一〇輯ノ下公事部ノ内　再版　大正一五）　三五三　三〇を　号
内證傳法記抄　日現　（日蓮宗宗學全書ノ内　大正一四）　一　函　三三二　二七四　号
内證話　マクス・オーレル著　水野和一譯　明治四五　二五三　六　号
内證佛法相承血脈譜　最澄撰　（日本大藏經第四四卷ノ内　大正九）　一　函　三六　九六　号
内職奬勵ニ關スル事項　東部遞信局編　大正四　一　函　二九三　一九四　号
内職に關する調査　東京市社會局編　大正一〇　一　函　三三八　三七　号
内省せられたる自己　曉烏敏　大正一五　（にほひくさ叢書第二輯第三卷）　一　函　五三七　二三　号
内線工事一班　附　電燈照明　岡部誠治　大正一五　（電氣技工員講習錄第四編）

内鮮同化論　田中勳　大正一四　一　函　五三五　二一八　号
内鮮融和懸賞作文集　神奈川縣内鮮協會編　大正一五　一　函　五二四　五〇五　号
内治外交吾が家の顧問　中山三郎、關莊一郎　大正九　一　函　三四七　七九　号
内地雜居未來の夢　附　諷誡京わらんべ　春のや主人（坪内逍遙）　大正一五　一　函　五一七　五〇七　号
内地殖民　新渡戸稻造　（道府縣農會主任技師講習會講演集第一回ノ内　大正七）　三七一　九八　号
内地製硫化染料試驗報告　青森縣内務部編　大正五　一　函　三三六　一六七　号
内地、鮮滿、支那、西比利、臺灣、樺太全國鐵道旅行案内　全國鐵道旅行案内所編　大正一一　六六六頁　一　函　三九四　一八四　号
内地臺灣朝鮮各國公課負擔額調復命書　臺灣總督府民政部財務局（菊池武芳）編　大正五　一　函　三三一　一七七　号
内地臺灣朝鮮滿洲外國勤務巡查看守受驗問題答案幷執務心得　岩崎勝三郎　大正六　一　函　三六二　一一　号
内地ニ於ケル内地米ノ需給及價格表　附　内地ニ於ケル内地米消費比較圖　農商務省食糧局編　大正一一　一九頁　一　枚　三九七　二五四　号
内地ニ於ケル米麥ノ需給及價格表　農商務省食糧局編　大正一二　一九頁　一　函　三九七　四一九　号
同　大正一三　二一頁　一　函　三九七　四一九イ　号
内地土産生蕃物語　山崎喜太郎　大正一五　一　函　一七七　五〇九　号
ナイチンゲール　高橋正熊　大正二（名婦傳第一編）　一　函　三四〇　一三　主
ナイチンゲール物語　松尾孝輔　大正八　一　函　三八四　三八　主
内典十宗秀句　凝然撰　（大日本佛教全書第三册ノ内　大正三）　三五三　一〇　内

内典塵露章　凝然撰　（大日本佛教全書第三册ノ内　大正三）　三五三　一〇　内
内藤清成日記　寫本　一〇　二〇一　二八八　内
内藤博士還曆祝賀支那學論叢　羽田亨編　大正一五　一　函　五四〇　一三〇　号
内燃機　永雄節郎　大正一四　一　函　五四三　一三〇　号
内燃機關　ケルシュウ著　土居寬通譯　大正一四　一　函　五四七　四三　号
内燃機關電氣着火裝置　金子五郎　大正五　一　函　三六五　三　号
内燃發動機排氣弁の空氣冷却に關する研究　海防義會航空機用發動機設計調査委員會編　一五　（海防義會）研究報告第二二號）　大正　一　函　一四五　一二六　号
なゐの日並　笠亭仙果　（國書刊行會本新燕石十種第二ノ内　明治四五）　三四三　四ろ　号
内齲足　廣本文吉　大正二　一　函　六〇　三三六　号
内部　マーテルリンク著　鷲尾浩譯　（マーテルリンク全集第五卷ノ内　大正九）　三九〇　五一　号
内部生活の現象　有島武郎　（有島武郎全集第五卷ノ内　大正一三）　五二〇　七　号
内部的寫實主義の立脚地　岩野泡鳴　（泡鳴全集第一八卷ノ内　大正一一）　五〇〇　一　号
内分泌　和田豐種　大正九　（家庭叢書第一編）　一　函　六〇　六二八　号
内分泌腺ノ妊娠ニ及ボス影響ニ就テ實驗的研究補遺　秋葉隆　大正一四　一　函　五六　三三〇　号
内務省主催感化救濟事業地方講習會講演錄　北海道感化救濟事業協會發行　大正六　一　函　二九八　一五　号
内務省主催社會事業講習會講演集　北海道社會事業協會編　大正一一　一　函　四五　六〇四　号

		冊	函	號
内務省選奨全國優良町村案内	埼玉縣入間郡役所編 大正一〇 四二頁	一	三九七	三九
内務省選奨立子山村治績	福島縣内務部地方課編 大正五	一	三三六	一九七
内務省廳府縣職員錄	大正一五年四月一日現在 内務省文書課編 大正一五	一	一四一	一二八
内務省東京衞生試驗所藥用植物栽培試驗圃場一覽	〔同所編カ〕 大正一四 一七頁	一	五二四	二〇五
内務省特別保護建造物集成	日本建築由來 帝國建築協會編 大正一四	一	四一六	一三五
〔内務省土木局〕直轄工事年報	大正六至一一、一三年度 同局編 大正八至一五	九	一四四	四六三
〔内務省〕土木試驗所彙報	第一輯 同所編 大正一四	一	一四五	一三三
〔内務省〕土木試驗所報	第二至四號 同所編 大正一五 (「土木試驗所彙報」ノ改題)	三	一四五	一三三
(内務省令東京府神奈川縣埼玉縣群馬縣千葉縣現行)	自動車取締令及施行細則 秋野榮之助編 大正一四	一	一四七	三一八
内務府官莊	南滿洲鐵道株式會社調査課編 (滿洲舊慣調査報告書前編ノ内) 大正三	一	三三一	二三五
内面生活の改造	鈴木芃 大正九	一	二六七	一六四
内容としての自然觀	白田邨一郎 大正一三 (石楠パンフレット第三輯)	一	五二五	四一
同	再版 大正一三	一	五二五	四一イ
内亂ト國際法	立作太郎 再版 大正三	一	三五二	五〇
ナイルの動亂	細井藤兵衞 大正一二	一	五一七	二八
腦幹横斷面圖	關正次編 大正八	一	四九	七五
腦神經耳鼻咽喉自宅療法	河野穰 大正六	一	五三	九九
腦神經衰弱自療法	中村讓 大正二	一	六〇	三三九
腦神經衰弱療法(醫學博士拾一名の意見)	醫學新報社發行 大正二	一	一四一	一二八
曩祖石頭大師	村上素道 大正一五	一	五二一	一五四
囊塵埃拾錄(仙臺叢書第七卷ノ内 大正一三)			五〇八	一三
腦と神經衰弱之卷	北溪散士 大正二 (現代家庭醫學第一編)	一	六〇	四〇五
腦の衞生	樫田十次郎 大正四	一	六一	一七七
腦の働かせ方	一名目的達成法 檜山銳 大正一五	一	六〇	八三六
腦の發達と老衰	下田光造 大正一四 一八頁	一	五三	二三五
腦味噌	高峰博 大正八 (學窓新話第一篇)	一	六〇	五二四
腦力經濟の秘訣	河合三郎 大正四	一	三五六	八三
腦力增進と記憶法(誰にも出來る!)	伊藤尚賢編 大正六	一	三六四	一八七
腦力と勉强	金杉英五郎 明治四五 (最新衞生叢書第六編)	一	六一	一〇九
腦力養成と神經衰弱自療法	伊藤尚賢 大正四	一	六〇	五〇八
奈翁曰く	猶狩史山 大正八	一	三八八	一五
奈翁實傳	ド・ブーリエンヌ著 栗原元吉譯 大正九	一	三八三	七四
奈翁全傳	奈翁會編 大正元至三 第一卷 ナポレオンの少年時代 第二卷 佛國革命とナポレオン 第三卷 帝王ナポレオン 第四卷 愛のナポレオン	七	三三四	二四四
奈翁全傳	上、下卷 長瀨鳳輔編 大正五	二	三三四	二四イ
那翁大帝	千頭清臣 大正六	一	三四九	四五〇
奈翁とカイゼル	齋藤茂編 大正六	一	三六三	一九四
奈翁と其元帥	千頭清臣 大正三 (偉人傳叢書第四册)	一	三四六	一三
同		一	三四六	一二イ
名聞面赤本	英(假名垣)魯文 〔嘉永年間〕 六枚	一	一八三	四八九
なが雨	山下巖(ふたば集第五卷ノ内 大正一四)	三	九六	三
長井雅樂の事蹟	中原邦平 (講演速記錄第三輯ノ内 明治四五)	一四五		二五
長い歸りの船路	オニイル著 北村喜八譯 (海外文學新選第九編ノ内 大正一三)	五一五		一三〇
中井敬所印譜		特一		に 六六
長井教授在職二十五年記念祝賀記	掛札祥編 大正八	一	三七三	二八五
長い戀仲	宇野浩二 (世界短篇小說大系日本篇下ノ内 大正一五)	五一〇		四五
永井(正行)先生事跡	林正獻編 寫本 〔玉巒本〕	特一	〇	八三五
長井町要覽	筒井莊兵衞 大正一一	一	三九三	四三五
永井柳太郎氏大演說集	大日本雄辯會編 大正一三	一	五三	六九
同	七二版 大正一四	一	五三	六九イ
中魚沼郡風土志	一名 案内 石原信編 大正元	一	三三	三五八
第五卷	ナポレオンの鴻業			
第六卷	末路のナポレオン			
第七卷	ナポレオン史話			
長唄稽古手引草(唄のうたひ方、三絃の彈き方、鳴物の打ち方—)	町田博三編 大正一二 五四〇頁	一	五三	一〇二
長唄研精會新曲集(懷中—)	法木德兵衞編 大正九	一	三八	二〇六
長唄研精會の沿革	半井桃水編 大正一〇	一	三九六	九五
(校訂)長唄集	岡安南甫、岡村喜一郎校 明治四五	一	三三九	八四
同	大正二	一	三三九	一七四
同	大正八	一	一八六	二四五
長唄新曲	第三集 法木德兵衞編 大正八	一	一九九	九三
長唄新稽古本(節付音譜並三味線譜入—)	第一至三編 吉住小十郎編 大正七至一一	三	二	二九五
同	第一至三一、三三、三六、三七編 大正一三至一五	一四五		二五
長唄新註	第一編 杵屋勝四郎、唐貝弦三 大正八	五一五		一三〇
長唄正本集	卷之一 川上邦基編 大正六	一	三一	九〇〇
長唄全集	月の卷 吉住小三郎等編 大正一五	一	一九七	二八五
長唄大通	近藤蕉雨編 大正一一	一	三九六	三三〇
長唄珍本古曲拾遺	佐藤兼三郎編 大正一五	一	一六三	一一三
長唄の心得	並 續編 小谷青楓 大正九、一一	二	三八八	二三九
中江藤樹言行錄	原坦嶺 大正七 (修養史傳第一〇編)	一	三五五	一七
中江藤樹傳	附 蕃山 伴高蹊 (修養文庫第二編賢哲傳下ノ内 大正八)	一	三七五	三五
中江藤樹文集	中江藤樹著 武笠三校 大正一五 (有朋堂文庫ノ内)	一	五四三	三五

長錦繪帖　歌川國貞、河鍋曉齋畫　〔二枚ツヾキ十二組〕　冊一　函四〇八　七五
ながをか　北越新報社編　大正六　一　三七三　四二
長岡案内　山崎九郎二編　大正六　一　三三九　九五二
長岡溫泉案内　菊池正美　大正一〇　二〇頁　一　三九三　一七七
長岡高等工業學校一覽　大正一五年度　同校編　大正一五　一　二九二　八二
長岡教育資料　北越新報社編　大正六　一　二五一　五三
長岡三百年の回顧　今泉鐸次郎　大正六　一　三三九　九五四
長岡市案内（輯一改）　高橋政重編　大正八　一　三七三　三〇七
長岡史料　同刊行會發行　大正一〇、一一　一〇　一一八　一九一
　第一、二輯　牧野家譜　上、下（今泉鐸次郎編）
中岡慎太郎　尾崎卓爾　大正一五　一　五五六　一〇八
長岡鐵道案内　木村松二郎編　大正五　一　三三九　七〇八
中御室御灌頂記　大江匡房（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）　八〇　三二
同　八〇　三二ィ
中川一政畫集　中川一政畫　大正一五　一　五四〇　二四
中川元先生記念錄　塚原嘉藤編　大正七　一〇　二四三
中川村誌　鈴木光藏編　大正九　一　三九三　二七
中川圖案集　中川善長　大正六　一　三三三　五五
中蒲原郡誌　上編　新潟縣同郡役所編　大正七　一　三五四　一〇三
中蒲原郡地圖　高橋長藏發行　大正九　三四×二五　冊一　函八九　二七九
長靴を穿いた猫　チイク著　楠山正雄譯（世界童話大系第二一卷童話劇篇三ノ內　大正一五）　一　三七三　四二
同　五三〇　一〇ィ
長靴の國　久留島武彥　大正一二　一　三三九　九五二
長倉追罰記　（續群書類從第三輯ノ下合戰部ノ內　大正一二）　一　三九三　一七七
中郡農會主催　長岡農家設備審查會成績　神奈川縣中郡農會編　大正一五　一　二九二　八二
中郡斑峰山案内　附錄　木津溫泉案内　高柴貞雄編　大正元　一　二五一　五三
那珂郡郷土史　梅園三編　大正一二　一　三三九　一四五
名賀郡郷土資料　三重縣同郡役所編　明治四五　一　五一九　八六
那賀郡共進會展覽會誌（御即位記念）　島根縣同郡役所編　大正八　一　三四三　一五六
名賀郡史　中林楓水（正三）　大正九　二　三七八　八四
那賀郡誌　島根縣同郡共進會展覽會協賛會編　大正五　一　三六四　二〇五
那阿郡甲明神奉加帳　（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內　再版　大正一四）　一　三四八　三九五
良子女王御生立の記　庄崎俊夫　大正一一　一　五一八　二四三
良子女王御巡遊畫報　上、下　大阪每日新聞社編　大正一二　一　五〇九　四〇
　一〇ィ　四一一　五八
良子女王御巡遊畫報　上、下　大阪每日新聞社編　大正一二　八〇　三一ロ
中郡庄賀茂大明神緣起　新治郡賀茂大明神緣起　（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內　再版　大正一四）　八〇　三一ロ
中巨摩郡治　山梨縣同郡役所編　大正一五　一　五六一　一〇
長崎　原郊月編　大正一四　一　五三三　一五四

長崎案內　中村三郎編　大正三　一　三五〇　二五五
長崎醫學會雜誌　同會發行　第一卷第一號（大正一二年一月）ヨリ　雜　二八　一二ィ
長崎醫學專門學校一覽　明治四四至大正五、七至一一年度　同校編　明治四五至大正一一　四　二八七　五
長崎醫科大學一覽　大正一二至一五年度　同校編　大正一三至一五　三　二八七　五
〔長崎醫學專門學校一覽〕ノ改題）
長崎異宗一件　寫本　〔慶應頃肥前浦上村異宗一件ナリ〕　一〇　一二五　一二八
長崎至山東高角　水路部製　明治四五　一：二一×三：三　枚一　日　二八六ィ
同　大正四　枚一　日　二八六ロ
長崎一覽（長崎開港三百五十年紀念）　十代田松市　大正三　一　三四四　二八三
長崎表御留書　寫本　〔正德享保頃〕　二〇　二一八　一七七
長崎表改革仕譯書　寫本　〔長崎記錄第一、二〕　特二　二二四　二四六
長崎港外國貿易概況　明治四四年　附　唐津外八港外國貿易概況　長崎稅關編　〔大正二〕　一　一四四　三三四
長崎最近二十五年概觀　大正八　本山桂川（豐治）　〔長崎商業會議所創立二十五週年紀念第八册〕　一　三二六　三一八
長崎高等商業學校一覽　明治四五至大正一五年度　同校編　明治四五至大正一五　八　二九三　一六
〔長崎高等商業學校研究館〕特別調查報告　同館發行　大正一一　一　一四五　六三
　第一回　勞働時間及幸福增進制度調查
〔長崎高等商業學校〕創立二十周年記念講演及論文集　高畑得四郎編　大正一五　一　五一八　二〇六
　社會史政治史及經濟史上より現代支那を論ず（田崎仁義）　商業教育及商業學科の史的回顧と長崎（武藤長藏）
長崎案內　大正一五年度　同校編　大正一五　一　三二六　三一八
長崎高等商業學校一覽　明治四五至大正一五年度　同校編　明治四五至大正一五　八　二九三　一六
〔長崎高等商業學校研究館〕特別調查報告
長崎高等商業學校研究館〕特別調查報告　同館發行　大正一一　一　一四五　六三
　第一回　勞働時間及幸福增進制度調查
〔長崎高等商業學校〕創立二十周年記念講演及論文集　高畑得四郎編　大正一五　一　五一八　二〇六
　社會史政治史及經濟史上より現代支那を論ず（田崎仁義）　商業教育及商業學科の史的回顧と長崎（武藤長藏）

商業學の研究及教授法に就て　（田崎愼治）
日支經濟的提携論（伊藤喜代治）　（七條保友）
經濟史上より見たる我國の粗製濫造を論ず
我國人口問題を如何にして解決すべきか　（宮本忠勝）
日支經濟的提携論（大木豐）
長崎港外九港外國貿易月報　大正四年六月至一二年一二月　長崎稅關發行　大正五至一四　九　一四、四　三五三ィ
長崎港外國貿易年表　明治四四、大正元年　長崎稅關編　明治四五、大正二　一　一四四　三五三
長崎氣象月報　大正九年一月至一二月　長崎測候所編　大正一〇　一　一四、一二　五一ロ
長崎氣象五年報　大正五至九年　長崎測候所編　大正一一　一　一四、一二　五一ハ
長崎記錄　寫本　特五　一三四　二四六
　第一、二　長崎表改革仕譯書
　第三　弘化三佛朗西船渡來日記
　第四　唐紅毛物捌方之儀ニ付存寄申上書付
　第五　阿蘭陀方商賣荷物之拂大意譯書
長崎畫人傳　渡邊秀實　（日本畫談大觀下編傳記ノ內　大正六）　二五六　三一六
長崎縣浦上切支丹宗教徒取扱一件　寫本　〔明治三年中〕　五枚　一〇　二〇五　二八四
長崎縣溫泉公園案內　附　島原大變略記　再版　大正八　津田繁治編　一　三七三　四〇〇
〔長崎縣〕衞生統計書　大正二年　同縣編　大正四　一　一四、八六　九一
長崎縣下石綿調查報文　伊原敬之助　大正一〇）　（工業原料用鑛物調查報告第四號ノ內　一　一四三ィ　五〇〇
長崎縣氣象年報　大正三、四、七至一三　長崎測候所編　大正四至一五　九　一四、六ニ　五二
長崎縣管內氣象年報　大正二、四至七、九、一〇年　長崎測候所編　大正四至一一　七　一四、一二六　五一ィ
長崎縣管內地圖　同縣製　大正一四　二：三×一：七　枚一　八九　三〇九

長崎縣警察統計書　明治四三至大正四、六至九年　同縣編　大正元至一一　一〇　一四六イ　一〇

長崎縣五島粘土及蠟石調査報文　伊原敬之助（工業原料用鑛物調査報告第四號ノ内）　大正一〇　一四二イ　五〇〇

長崎縣産業施設調査　附錄付　同縣編　大正三　二　三三一　一三一

長崎縣人物傳（大禮記念）　古川增壽　大正八　一　三八三　六

〔長崎縣水産講習所〕業務功程報告　大正一一年度　同所編　大正一二　一二三頁　一　二九六　一三

〔〔長崎縣水産講習所〕事業報告〕ノ改題）

〔長崎縣水産講習所〕事業報告　大正元、四、五、七、九、一〇年度　同所編　大正元至一二（大正一二年度ヨリ〔長崎縣水産講習所〕業務功程報告ト改題）　五　二九六　一三

長崎縣水産試驗場事業報告　明治四三至大正八、一一至一三年度　同場編　明治四五至大正一五　六　一四二イ　四九

長崎縣水産統計　大正一〇、一二、一三年　同縣編　大正一一至一五　三　一四二ロ　一七八　一枚

長崎縣勢要覽　大正一一年　附　管内地圖　同縣編　大正一二　一四四　八イ

長崎縣大觀（大典記念）　中川觀秀　大正四　七三一頁　一　一三四　三三一

長崎縣統計書　明治四三至大正一三年　同縣編　明治四五至大正一三　一五　一四四　二八

長崎縣西彼杵郡茂木村石英調査報文　伊原敬之助（工業原料用鑛物調査報告第四號ノ内）　大正一〇　一四二イ　五〇〇

長崎縣東彼杵郡治方針　同郡役所編　大正五　一　三二六　一八八

長崎見聞集　寫本〔寛文延寶頃長崎表ニ於ケル貿易等ノ書ナリ〕　三　一〇二　二一三

長崎縣米麥統計　大正一一至一四年　大正一五　四九頁　同縣編　大正一二　三　一四二ロ　一九〇

長崎縣立長崎圖書館增加和漢圖書分類目錄　第一輯　大正一〇年一二月現在　同館編　大正一一　一　三二七　一〇七

長崎縣立長崎圖書館和漢圖書分類目錄　同館編　大正八　一　三二七　一〇七

長崎縣立農業補習學校第五、六年報　同校編　大正六、七　二　二九一　五三

〔長崎縣立農事試驗場〕業務功程報告　大正三年度　同場編　大正四　一　一四二イ　三六五

長崎古今學藝書畫博覽　西琴石（藝苑叢書ノ内）　大正八　一〇　一九八　四〇四

長崎古圖　寫本　一　一〇六　二九三

長崎市及四近之圖　長崎縣内務部製　大正六　一　一九　六六九

長崎市街地圖　森次郎製　大正一〇　一　三二九　一〇三七

長崎市郷土誌　同市小學校職員會編　大正七　一　三五四　一三

長崎市史　地誌編佛事部、風俗編　同市役所編　大正一二、一四　三　五一九　五三

同　三　五一九　五三イ

長崎史蹟名勝案内　附圖　川島元次郎　大正一〇　一　三九六　一六八

長崎市全圖（最新改正町名一）　並長崎縣地圖　杉山一郎製　大正一一・一五×二・三　一枚　八九　二〇一

長崎商業會議所創立二十五周年紀念　同所發行　大正七、八　三三六　三八

長崎縣立長崎圖書館增加和漢圖書分類目錄　第一輯　大正一〇年一二月現在　同館編　大正一一　一　三二七　一〇七

長崎縣立長崎圖書館和漢圖書分類目錄　同館編　大正八　一　三二七　一〇七

長崎縣立農業補習學校第五、六年報　同校編　大正六、七　二　二九一　五三

〔長崎縣立農事試驗場〕業務功程報告　大正三年度　同場編　大正四　一　一四二イ　三六五

長崎古今學藝書畫博覽　西琴石（藝苑叢書ノ内）　大正八　一〇　一九八　四〇四

長崎古圖　寫本　一　一〇六　二九三

長崎市及四近之圖　長崎縣内務部製　大正六　一　一九　六六九

長崎市街地圖　森次郎製　大正一〇　一　三二九　一〇三七

長崎市郷土誌　同市小學校職員會編　大正七　一　三五四　一三

長崎市史　地誌編佛事部、風俗編　同市役所編　大正一二、一四　三　五一九　五三

同　三　五一九　五三イ

長崎史蹟名勝案内　附圖　川島元次郎　大正一〇　一　三九六　一六八

長崎市全圖（最新改正町名一）　並長崎縣地圖　杉山一郎製　大正一一・一五×二・三　一枚　八九　二〇一

長崎商業會議所創立二十五周年紀念　同所發行　大正七、八　三三六　三八

長崎縣立長崎圖書館增加和漢圖書分類目錄　第一輯　大正一〇年一二月現在　同館編　大正一一　一　三二七　一〇七

長崎縣立長崎圖書館和漢圖書分類目錄　同館編　大正八　一　三二七　一〇七

長崎縣立農業補習學校第五、六年報　同校編　大正六、七　二　二九一　五三

〔長崎縣立農事試驗場〕業務功程報告　大正三年度　同場編　大正四　一　一四二イ　三六五

長崎古今學藝書畫博覽　西琴石（藝苑叢書ノ内）　大正八　一〇　一九八　四〇四

長崎古圖　寫本　一　一〇六　二九三

長崎市及四近之圖　長崎縣内務部製　大正六　一　一九　六六九

長崎市街地圖　森次郎製　大正一〇　一　三二九　一〇三七

長崎市郷土誌　同市小學校職員會編　大正七　一　三五四　一三

長崎市史　地誌編佛事部、風俗編　同市役所編　大正一二、一四　三　五一九　五三

同　三　五一九　五三イ

長崎史蹟名勝案内　附圖　川島元次郎　大正一〇　一　三九六　一六八

長崎市全圖（最新改正町名一）　並長崎縣地圖　杉山一郎製　大正一一・一五×二・三　一枚　八九　二〇一

長崎商業會議所創立二十五周年紀念　同所發行　大正七、八　三三六　三八

長崎縣立長崎圖書館增加和漢圖書分類目錄　第一輯　大正一〇年一二月現在　同館編　大正一一　一　三二七　一〇七

長崎縣立長崎圖書館和漢圖書分類目錄　同館編　大正八　一　三二七　一〇七

長崎縣立農業補習學校第五、六年報　同校編　大正六、七　二　二九一　五三

〔長崎縣立農事試驗場〕業務功程報告　大正三年度　同場編　大正四　一　一四二イ　三六五

長崎古今學藝書畫博覽　西琴石（藝苑叢書ノ内）　大正八　一〇　一九八　四〇四

長崎古圖　寫本　一　一〇六　二九三

長崎市及四近之圖　長崎縣内務部製　大正六　一　一九　六六九

長崎市街地圖　森次郎製　大正一〇　一　三二九　一〇三七

長崎市郷土誌　同市小學校職員會編　大正七　一　三五四　一三

長崎市史　地誌編佛事部、風俗編　同市役所編　大正一二、一四　三　五一九　五三

同　三　五一九　五三イ

長崎史蹟名勝案内　附圖　川島元次郎　大正一〇　一　三九六　一六八

長崎市全圖（最新改正町名一）　並長崎縣地圖　杉山一郎製　大正一一・一五×二・三　一枚　八九　二〇一

長崎商業會議所創立二十五周年紀念　同所發行　大正七、八　三三六　三八

長崎縣立長崎圖書館增加和漢圖書分類目錄　第一輯　大正一〇年一二月現在　同館編　大正一一　一　三二七　一〇七

長崎縣立長崎圖書館和漢圖書分類目錄　同館編　大正八　一　三二七　一〇七

長崎縣立農業補習學校第五、六年報　同校編　大正六、七　二　二九一　五三

〔長崎縣立農事試驗場〕業務功程報告　大正三年度　同場編　大正四　一　一四二イ　三六五

長崎古今學藝書畫博覽　西琴石（藝苑叢書ノ内）　大正八　一〇　一九八　四〇四

長崎古圖　寫本　一　一〇六　二九三

長崎市及四近之圖　長崎縣内務部製　大正六　一　一九　六六九

長崎市街地圖　森次郎製　大正一〇　一　三二九　一〇三七

長崎市郷土誌　同市小學校職員會編　大正七　一　三五四　一三

長崎市史　地誌編佛事部、風俗編　同市役所編　大正一二、一四　三　五一九　五三

同　三　五一九　五三イ

長崎史蹟名勝案内　附圖　川島元次郎　大正一〇　一　三九六　一六八

長崎市全圖（最新改正町名一）　並長崎縣地圖　杉山一郎製　大正一一・一五×二・三　一枚　八九　二〇一

長崎商業會議所創立二十五周年紀念　同所發行　大正七、八　三三六　三八

第八册　長崎港最近二十五年概觀（同）　六　三二九　六二一

第九册　長崎商業會議所二十五年史（同）　一　五五五　二六

長崎稅關貿易要覽　大正三、五、六、一〇、一三、一四年　同稅關編　大正四至一五　一枚　一三六　一八八

長崎叢書　同市役所發行　大正一五　一　三八四　一〇七　特一枚　に　七九

第二卷　耶蘇會年報　第一卷（村上直次郎譯）　一　一四七ニ　三三七

長崎地震年報　大正一二年　三八頁　長崎測候所編　大正一三　一枚　一三　二五〇

長崎圖幅（地形一詳圖一）　地質調査所製　明治四五　一・二×一・八　一枚　一三　一五五

長崎圖幅（地質一詳圖一）　地質調査所製　大正元　一・三×一・八　一　一三　一五五

長崎圖幅地質說明書　地質調査所編　大正二　一　一三　一五五

長崎電車十年誌　長崎電氣軌道株式會社編　大正一三　四七頁　一　三九三　六六五

長崎圖書館々報　第一報　同館編　大正一五　一　二七八　九八

長崎之圖　大畠文次右衞門板　安永七　一枚　一　二八四　一〇七

長崎の匂と彩り　本山桂川　大正八　一　四一七　一六

長崎版畫集　永見德太郎編　大正一五　一　一〇三　三九八

長崎土産　卷一　稀書複製會編　大正一二（複製）　一　一〇五　四五六

長崎むかん物語　中村政藥編　大正一五（複製）　一　三六〇　一六五

長崎より江戸まで　エンゲルベルト・ケムフェル著　齋藤利夫譯　大正四　五一九頁　一　一六三　四九九

中里介山著作集　中里介山　大正一三　第一編　聖母の畫像　一　一五三　一六三

中澤村誌　長野縣上伊那郡同村役場編　大正一一　一　三九七　二七七

長澤村誌　長澤北傍爾倶樂部發行　大正七　一〇　五　二二六

第一輯　北傍爾誌

長澤理玄　遠山棒吉　大正七　一　六〇　三九九

長篠軍記　皆川登一郎編　大正二　三二頁　一　三四四　二九四

同　三版　大正五　四六頁　一　三四四　二九四イ

長篠實戰記　皆川登一郎　大正八　一　三八四　三六

中島案内（齋田記念一）　牧喜丸、早川治三郎編　大正四　一　二一　三四〇

中島教授在職二十五年記念論文集　讀書會編　大正八　一　三七〇　一〇八

中島雪居畫譜　寫本　特七　一八三　四九九

中嶋攝津守宗次記　（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ内　大正一四）　八〇　三三

同　八〇　三三イ

中島天滿宮沿革史　安中半三郎編　大正四　一　二一　三九一

		冊	函	號
中島米華稿本	中島大賚自筆稿本　寫本	特一〇〇	八三	九三
中城桃圃	土佐史談會編　大正一四	一	一六三	一二七
（假里擇）中洲華美	內新好（國書刊行會本德川文藝類從第五洒落本ノ內　大正三）	一	三三〇	四九ろ
仲小路廉集	第一、二　仲小路宣、同彰編　大正一三、一四	二	五二〇	二三
長瀨富郎傳	杉村助一郎　大正三	一	三五七	四
長曾禰虎徹	岡本綺堂（綺堂戲曲集第六卷ノ內　大正一四）	一	五二七	一六
長曾禰虎徹の研究	附圖付　杉原祥造　大正一五	一〇三	一四七	二五九
長田神社記	市秋弘編　大正一一　四四頁	一	三九六	三五一
永田重三筆記	（維新日乘纂輯第三安政記事稿本ノ內　大正一五）		六四	二三三
永田德本翁傳	一名　醫魂　小松帶刀　二三版　大正六	二〇	二	二四九
同	訂二八版　大正一二	一〇	一八七	九〇ハ
仲多度郡案內	宮武福太郎編　大正五	一	三三七	六九五
仲多度郡史	附錄　統計書　香川縣同郡編　大正七	二	三四九	五一〇
仲多度郡誌	宮武梅雅編　大正八	一	三八四	七六
長谷村誌	安久善三編　大正一一	一〇	三九八	一〇五
長田幹彥長篇小說全集	長田幹彥　大正一三	一	五二七	一三
第一　ゆく春		一	五四八	五七
長塚節全集	長塚節　大正一五	一〇	一八七	九〇ハ
第一卷　土		二〇	二	二四九
第二卷　短編小說、紀行文		一	二四六	一八
第三卷　歌集		一	三五九	四
第四卷　歌論、歌話、病牀日記		一	三八九	七四
第五卷　書簡集		一枚	三三九	一〇一七
長塚節選集	長塚節著　古泉千樫編（アルス名歌選第一四編）　大正一五	一	三八九	七四
中津町新地圖	附　耶馬溪案內圖　大淵善吉製　大正九	一枚	三三九	一〇一七
長門公敎史	加古義一　大正七	一	三三五	二九三
長門厚東家實錄	織田村大治郎編　大正二	一	二四四	二四九
長門鐵道案內	同鐵道株式會社運輸課編　大正一一	一	三九三	四五四
長門國守護職次第	（續群書類從第四輯ノ上補任部ノ內再版　大正一五）	八〇	三一ロ	
長門國地誌備考	附　石見國地誌備考　近藤清石　寫本〔小杉本〕	特一〇	八三〇	七七
長門國風土記	寫本　一二卷	七三	八二九	二
中臣祭政法	三木廣隆（續日本經濟叢書第三卷ノ內　大正一二）		四四	三七三
同			二四六	一八
中西博多織工場光榮記	中西金次郎編　大正七	一	三三七	二七五
長沼兄弟復讎の事	直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第一卷ノ內　大正一四）	一	五四八	一六
長沼村史	大枝連藏　大正五	一	三三九	八四九
長沼村土功組合沿革史	同組合編　大正一四	一	五四三	二三
中根市之助遺難の地	中原邦平（講演速記錄第六輯ノ內　大正二）		一四五	二五
長野縣案內	同縣編　大正二	一	三五〇	一三
長野縣衞生統計書	明治四三至大正一一年　同縣編　明治四五至大正一二	一〇	一四六ハ	三六
長野縣學事統計	明治四三年度　同縣編　明治四五	一	二五八ニ	五八

		冊	函	號
〔長野縣〕各驛主要貨物發着數量調	大正三至六年度　同縣編　大正七	一	三六八	四二
長野縣監獄統計表	明治四四年　同縣編　大正元	一	一四六ロ	三
長野縣氣象年報	大正二至一一、一三、一四年　同縣編　大正三至一五	九	一四六ニ	二九
長野縣警察統計表	大正五至一二年　同縣警察部編　大正六至一三	七	一四六イ	一二
〔長野縣〕縣勢調查	同縣編　大正一〇、一一	三	一四四	五三
第一編	世帶統計			
第三編	職業別統計			
第四編	職業統計摘要			
〔長野縣〕米統計	大正一〇至一四年　同縣編　大正一一至一五	五	一四二ハ	一四二ロ
長野縣產業組合要覽	第七次　同縣編　大正一〇　四一頁	一	一四二ロ	一六三
長野縣蠶業試驗場蠶品種試驗成績拔萃	同場編　大正一三	一	一四二イ	五四六
〔長野縣蠶業試驗場〕事蹟報告	第一號　同場編　大正一四	一	一四二イ	三〇二ロ
長野縣蠶業試驗場報告	第一號　同場編　大正一五	一	一四二ニ	五六七
〔長野縣蠶業試驗場松本支場〕事蹟報告	〔〔長野縣立松本原蠶種製造所〕事蹟報告〕ノ改題〕	二	一四二イ	三〇二
第一一、一四號	同支場編　大正一二、一五	五	一四二ハ	一四二ロ
長野縣蠶業試驗場臨時報告	第一、二、七、八、一〇號　同場編　大正一二至一五	四	一四二イ	一八五
長野縣市町村提要	飯沼務編　大正一四	一	一五三四	一〇九
長野縣市町村提要	文龍館編　大正七	一	三五四	一三三
長野縣社會統計	大正一〇年　同縣編　大正一二	一	一四二ハ	二九ロ
長野縣人口靜態統計	明治四四、大正三至六、九年　同縣編　大正元至一〇	六	一四四	二九ロ
〔長野縣〕生產高ト物資移入ノ比較	大正九、一〇年　同縣編　大正一〇、一一	二	三六八	一四三
〔長野縣〕生產と移出入	大正一三年　同縣編　大正一四	一	一四六ロ	二〇四
〔長野縣〕生產統計	大正一二年　同縣編　大正一三	一	一四四ロ	一〇四
〔長野縣〕生產ト公課	同縣編　大正九	一	三七三	三七三
長野縣地誌稿本	寫本	一五	二〇五	一四三
長野縣小縣郡地圖	信濃教育會小縣部會製　大正一一　一七×一二	一枚	三三九	一〇五九
長野縣通信沿革誌	長野郵便局編　大正五	一	三五九	五六
長野縣統計書	明治四三至大正一三年〔大正一〇年缺〕　同縣編　大正元至大正一五	一四	一四四	二九
長野縣西筑摩郡地圖	信濃教育會西筑摩部會製　大正一一　一六×一二	一枚	三三九	一〇七四
長野縣の杏	長野縣立農事試驗場編（同場）特別報告第一報）　大正七	一	一四二イ	三五三ロ
長野縣の蠶業改善と養蠶組合	長南愁　大正一一	一	三五一	三五一
長野縣の林業	同縣內務部林務課編　大正一一	一	三三九	三四五
同	大正七	一	三三九	三四五イ
同	大正八	一	三三九	三四五ロ
長野縣の山葵	笠間治三郎　大正八（〔長野縣立農事試驗場〕特別報告第二報）	一	三三九	三五三ロ
〔長野縣〕米麥統計	大正七年　同縣編　大正八	一	一四二イ	三五三ロ
〔長野縣〕保健衞生調查書	大正一〇、一一、一三、一四年度　同縣編　大正一一至一五	一	一四二ロ	一四三
		四	一四六ハ	一五五

		冊	函	號
〔長野縣松本原蠶種製造所〕蠶事報告	第一、二號　同所編　大正一〇、一一	一	一四、二	イ 三〇三
長野縣民力涵養資料	其一　同縣內務部編　大正九	一	三七	八 一二
〔長野縣〕麥統計	大正一〇至一二、一四　同縣編　大正一一至一五	一	一四、三	ロ 一四三
長野縣名馬錄	河村好太郎編　大正五	一	三三四	二五〇
〔長野縣〕養蠶統計	大正七、一〇、一二至一四年　同縣編　大正八至一五	二	一四、三	ロ 一三五
〔長野縣立上田原蠶種製造所〕蠶事報告	第二至四號　同所編　大正一一	一	一四、三	イ 四〇〇
〔長野縣立上田原蠶種製造所〕事績報告	第八、九、一一號　同所編　大正八至一一　〔〔「長野縣立第一原蠶種製造所」事績報告ノ改題〕	一	一四、三	イ 四〇〇
〔長野縣立第一原蠶種製造所〕原種育成績	第六號　同所編　大正七	一	一四、三	イ 四〇〇
〔長野縣立第一原蠶種製造所〕事績報告	第三、五、七號　同所編　大正五至七　〔第八號ヨリ〔「長野縣立上田原蠶種製造所」事績報告」ト改題〕	一	一四、三	イ 四〇〇
〔長野縣立第二原蠶種製造所〕事蹟報告	第一至五號　同所編　大正二至六　〔〔長野縣立松本原蠶種製造所〕事蹟報告」ト改題〕	四	一四、三	イ 三〇二
長野縣立小縣蠶業學校事績報告	第一九至二二、二四、二五回　同校編　明治四五至大正七	五	二九一	五
長野縣立小縣蠶業學校二十五年要報	同校編　大正五　九五九頁	一	三五八	一二
〔長野縣立農事試驗場〕業務功程	明治四五、大正元年度　同場編　大正二	一	一四、三	イ 三五三
〔長野縣立農事試驗場〕業務報告	大正五至八、一三、一四年度　同場編　大正七至一五	一	一四、三	イ 三五三
長野縣民力涵養資料	其一　同縣內務部編　大正九	一	三七八	一二
〔長野縣立農事試驗場〕特別報告	第一報　長野縣の杏（笠間治三郎）　第二報　長野縣の山葵（同）　第三報　土壤井郡ノ土性　同場編　大正七至一四	三	一四、三	ロ 三五三
〔長野縣立松本原蠶種製造所〕事蹟報告	第八、一〇號　同所編　大正九、一一　〔〔「長野縣立第一原蠶種製造所」事蹟報告」ノ改題、第一一號ヨリ〔「長野縣蠶業試驗場松本支場」事蹟報告」ト改題〕	一	一四、三	イ 三〇二
長野縣林業施設要項	同縣內務部編　大正六	一	三三九	九一七
長野縣林野統計	大正四、六年　同縣編　大正四、六	二	一四、三	ロ 九七
長野市衞生年鑑	大正一二年　佐藤清美編　大正一三	一	一四、六	ハ 一九〇
中野正剛對露支論策集	岡野龍一編　再版　大正一五	一	五四六	一三三
〔長野稅務監督局〕稅務統計書	同局編　大正元	一	一四、四	二六八
中野町誌	丸山久保吉、綿貫市郎編　大正八	一	二八三	二五
長野の栞	善光寺開帳協賛會編　大正七	一	三一	六〇八
同	同市役所編　大正八	一	三一	六〇八 イ
長野暴動事件眞相記	信濃日々新聞社編　大正一五	一	五四九	二〇三
中野村鄉土誌	長崎縣北松浦郡中野尋常高等小學校編　大正一〇	一	三九八	三五
長濱案內	下鄉共濟會編　大正六	一	三七三	六三
長林式改良發明農蠶經濟全書	長林三之助編　大正五	一	三三七	七九〇
中原式咬合採得器中原式咬合器理論幷ニ使用法	中原市五郎　大正七	一	五八	一〇六
中實用力學例題解答集	研野作一　大正一一	一	九〇	一七九 ニ
永原筑前守重興興行百韵	弘治二年（續群書類從第一七輯連歌部ノ內　明治四五）		八〇	三一
中房溫泉	奧村榮喜彌　大正九	一	三七	四九七 イ
中房溫泉	葛原茜　大正四	一	二	三七九
中房溫泉案內	奧村榮喜彌　大正五	一	三七	四九七
仲文集	（續群書類從第三一輯ノ上雜部ノ內　大正一五）		八〇	三二
長町女腹切	近松門左衞門（近松淨瑠璃選ノ內　大正一三）		八〇	三二 イ
（近松門左衞門全集第六卷ノ內　大正一二）			三三九	三三八
（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）			五〇五	五八
近松門左衞門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第五卷ノ內　大正一一）			三四五	一ぬ
近松門左衞門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）			五〇五	三六
近松門左衞門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集上卷ノ內　明治四五）			三七七	三一
近松門左衞門著　三木竹二、水口薇陽校（原作近松全集後編ノ內　大正一二）			八〇	三一
近松門左衞門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第一卷ノ內　大正一〇）			三三九	四九 イ
近松門左衞門著　吉澤義則、宮田和一郎校註（評註近松世話物十種選ノ內　大正一五）			五三一	四八
那珂通世遺書	那珂通世著　故那珂博士功績紀念會編　大正四		四	三六五 一五
文學博士那珂通世君傳（三宅米吉）			一	三四八 三〇九
外交繹史				
校正增注親征錄				
成吉思汗實錄續編				
東洋史學要書目錄				
雜著 一 皇朝官位比較表 二 周紀補訂 三 元史列傳多闕漏稱謂私言 四 支那正統論考 五 支那婦人纏足の起原 六				
中牟田倉之助傳	中村孝也　大正八			一 三八三 五九
中村歌右衞門	安部豐編（舞臺のおもかげ第五輯）			一 三七五 三三
中村一氏記	中村家覺書（續群書類從第二〇輯ノ下合戰部ノ內　大正一二）			一〇 一六三 一二五
中村雁治郎	安部豐編　大正八（舞臺のおもかげ第六輯）			一 三七五 三三
中村吉右衞門	安部豐編　大正八（舞臺のおもかげ第四輯）			一 三七五 三三
中村吉藏現代劇選集	中村吉藏　大正一一　五〇四頁			一 五一六 三三
中村杵屋家譜幷系圖（江戶男歌舞妓今樣長唄三味線始祖―）	寫本〔本朝諸物淨瑠璃始祖薩摩家譜幷系圖〕ト合綴）			一 一三 一六七
中果樹園藝	附錄　果實の熟期及び形狀　中村鼎　大正元　五五八頁			一 三四三 二〇六
中村の建築構造	第一卷　中村達太郎　大正一五			一 五四七 一八三
長屋刃傷	泉鏡花（鏡花全集第四卷ノ內　大正一五）			五三〇 四四
中山績子日記	日本史籍協會編　大正六			一 三三八 三七九 ぬ
中山運用術	第一、二、四、五集　中山智行編　大正八			四 三六五 一五
中山航海術	附錄付　中山智行　大正九			二 三六一 七七

		冊	函	號
與中山淨光院書	日住（日蓮宗宗學全書ノ內 大正一四）	三	三五	三〇ぬ
中山末子追懷錄	中山五郎編 大正六	一	三六三	一九三
中山大納言	前、後編 碧瑠璃園（渡邊勝） 大正五	二	三九	二六〇
同	大正一〇（碧瑠璃園傑作叢書第一二編）	一	三一	七三四
中山大納言東下目付方舊記	（武江雜纂ノ內） 圖附 寫本	一〇	二〇五	一五六
中山忠能手記	（維新日乘纂輯第二ノ內 大正一四）		六四	二三三
中山忠能日記	第一至三 日本史籍協會編 大正五	三	三八	三七九に
中山寺緣起	攝州河邊郡紫雲山中山寺來由記（續群書類從第二七輯ノ下釋家部ノ內 大正一五）		八〇	三一
中山內府元日節會次第	中山忠親 再版（續群書類從第一〇輯ノ上公事部ノ內 大正一五）		八〇	三一ロ
中山まふで	（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內 大正三）		三五三	一
長良案內	岐阜縣長良村役場編 大正六	一	三九	九〇四
長良川鵜飼觀覽案內	岐阜遊船株式會社編 大正三	一	三九	四三一
長良川鵜飼の記	附 英文案內記 岐阜保勝會編 大正一〇 一二頁	一〇	八六	三三七
長良川の鵜飼と養老の瀧	（美濃名勝） 岐阜縣地歷研究會編 大正四 三六頁	一	二	三七八
流るゝまゝに	山田順子 大正一四	一	五三八	八〇
流れ木	エヴアンズ著 田中阜苗譯 探偵家庭小說篇ノ內 大正一五（世界短篇小說大系）		五二〇	四五
流れに棹さして	（農會時評） 横井時敬 大正一四（横井博士全集第一〇卷）	一	五二〇	三ハ
同		一	五二〇	三ハ

		冊	函	號
ながれ星	島村抱月（抱月全集第六卷ノ內 大正八）	三	三七九	一ヘ
流矢	田山花袋 大正一四	一	五四四	一四七
流山町誌	岩田儀助編 大正九		三九七	六
泣男杉本左兵衛逸事	栗田寬（栗里先生雜著中卷ノ內 明治四三）		三三	二四五イ
渚	三浦藤作 大正一五（田舍教師の手記第一編）	一	五五一	九三
亡き妻を哭く	長田秀雄（日本戲曲集第一輯ノ內 大正一三）		五二七	六一
薙刀體操教範	前編 江夏金太郎 大正六	一	三三九	八九五
亡き母の面影	松井茂 大正八（懸佩叢書第五編）	一	三九〇	三三
泣不動緣起	大正一一（續卷拾遺第四卷）	一〇	一〇九	二八四
泣虫寺の夜話	漫畫入（創作） 岡本一平 大正一〇	一	五〇一	二三八
亡き好孝の面影	林好忠、同拾雄編 大正一三	一	五一六	二〇〇
亡き兩親及我鄉土	永松達吾 大正一一 九七頁	一	五一四	二七
泣き笑（艷種英譯）	岩堂保 大正三	一	三五〇	三一五
なくてならぬ	和文獨譯 ハーソン著 澤井要一譯 大正一一	一	三三	四三三
鳴く蟲の觀察	西村眞次 大正一三	一	五二八	一六五
毆られる「あいつ」	アンドレエフ著 吉田甲子太郎譯 大正一二	一	五一七	二八四
抛入狂花園	稀書複製會編 大正一五（複製）	一〇	一五	四五五
投入と盛花	尾崎恒子 大正六	一	三六一	三八
投入と盛花	松尾蕉城、小林鶯洲 大正四	一〇	二〇三	三九六

		冊	函	號
投入と盛花の秘訣	井上嶺子 大正六（獨習）投入花 中澤理水 大正六	一〇	二	二八二
抛入花傳書	三卷（國書刊行會本雜藝叢書第一ノ內 大正四）	一〇	一八六	二〇三
投入花と盛花	（出生本位） 小林鶯洲 大正一一	一〇	三三〇	四九ち
投入花盛花十二ケ月	（圖解） 近藤正一 大正七	一	二	五五七
投入花盛花圖譜	鈴木鍵太郎 大正五	一	三七一	二二
投入花盛花ひとりけいこ	長谷川嘉努 大正七	一	四一九	七五
投入盛花草木の出生	小林鶯洲 大正六	一	三六一	二七三
投入盛花實體寫眞百瓶	小林鶯洲 大正六	一〇	二	二七七
投入盛花寫眞圖說	近藤正一 大正六	一〇	六	三四三
投入盛花寫眞百景	近藤正一 大正六	一〇	二	二五四
投入盛花寫眞百景	附 空華 久米正雄（久米正雄著作集第一卷） 大正一三	一	三七一	二五
同		一	五二七	一
嘆きの孔雀	（長篇敘事詩） 別名 美女の悲しみ 福田正夫 大正一三	一	五一六	二六四
嘆ける曙	後編 カーテイス・ヨーク著 三上於菟吉譯 大正一一	一	五一七	五三
同	〔全〕 大正一二	一	五一七	五二イ
なこその關	岡本綺堂（綺堂戲曲集第四卷ノ內 大正一四）		五二七	一六
勿來關古事考	佐藤昌介編 大正一五	一〇	一七三	九〇
名古屋、愛知縣、岐阜縣職業別電話名簿	大正一一年版 編 大正一一 守屋秀吉	一	五〇九	二七

		冊	函	號
名古屋案內記	第一 安藤準成編 大正三	一	三四八	一四五
名古屋案內記	金城寺院寶鑑 安藤準成編 大正四	一	三三四	四四〇
〔名古屋郵便局〕統計要覽	大正二、三、五年度 同局編 大正四至七	三	一四四	一〇一イ
名古屋港案內	松下奈良三郎編 明治四五 八二頁	一	三二七	六五一
名古屋高等工業學校一覽	大正二至一五年度 同校編 大正二至一五	七	二九三	三六
名古屋高等商業學校一覽	大正一一至一三年度 同校編 大正一一至一四	三	二九三	三〇
名古屋合戰記	（續群書類從第二二輯ノ上合戰部ノ內 大正二二）		八〇	三二イ
名古屋紀行	島村抱月（抱月全集第八卷ノ內 大正九）	三	三七九	一一
名古屋工業大觀	工政會編 大正一四	一	五四〇	一九
名古屋山三郎		特一〇	京乙	三八九
名古屋市及其附近	手島益雄 大正五	一	三六三	二八
名古屋市及附近明細圖	松岡利助製 三・〇×二・五 大正七	一枚	一二	五三三
名古屋市街新地圖	炭谷傳次郎製 二・四×一・七 大正六	一枚	一九	六六二
名古屋市街全圖	伴野辰次郎 大正六 三・〇×一・八	一枚	一九	六六三
名古屋市街圖	大昌堂發行 大正一一 二・三×二・六	一枚	三三九	一〇六四
名古屋市貨物集散概況	大正一二、一三年 同市役所編 大正一三、一四	二	一四三ハ	九六
名古屋市勸業要覽	第三、五回 同市役所編 大正八、九	二	一四三ロ	一三一
名古屋市財政概要	大正一一年一〇月調 同市役所編 大正一一年一二月調 大正一二	一	五八	二イ
同		一	五八	二

名古屋市財政概要　大正一二年一一月調　同市役所編　大正一三　冊 一 函 五一八 號 ロ 二
同　大正一四年一一月調　大正一四　一 五一八 ハ 二
〔名古屋市〕産業調査　同市役所編　大正一三、一四　四 一四五 一二
第二輯　陶磁器に關する調査
第三輯　時計に關する調査
第四輯　絞に關する調査
第五輯　莫大小に關する調査
名古屋市史　名古屋市役所編　大正四、五　八 三四八 三〇〇
社寺編　風俗編　學藝編　政治編　第一至三　地圖　索引
同　大正四、五　九 三四八 三〇〇 イ
風俗編　學藝編　産業編　政治編　第一至三　地理編　地圖　索引
名古屋市市制施行三十年比較統計　同市役所編　一 枚 三八八 一七
名古屋市尚武會戰時後援會記錄　同會發行　大正一〇　一 三七八 一四五
名古屋市水道論　同市役所編　大正八　一 三八〇 三九
名古屋市是（懸賞論文）　永野耕造編　大正三　一 三四九 二六五
名古屋實業界評判記　植木謂一編　大正四　一 三五六 一三〇
名古屋市統計書　第一二回（明治四三至大正六、八至一三年）　同市役所編　明治四五至大正一五　一四 一四四 二二五

名古屋市内外工場特別施設提要　同市役所編〔大正一〇〕　冊 一 函 三七八 號 一四二
名古屋市の研究　岡崎早太郎　大正六　一 三七二 一六
名古屋市東區最新地圖　同區聯合青年團製　大正一五　枚 一 三二六 三八五
二・二×三・〇
名古屋商業會議所統計年報　明治四三、四四、同附錄、大正二、同附錄、五、六、八至一四年　同所編　明治四五至大正一五　一二 一四八 二一
名古屋商工案内　名古屋商業會議所編　訂四版　大正三　一 三二八 一八六 ロ
同　補五版　大正四　一 三二八 一八六 ハ
同　六版　大正六　一 三二八 一八六 ニ
同　增訂七版　大正九　一 三二八 一八六 ホ
名古屋商工界　馬場藉生　大正八　一 三七三 三七六
名古屋城圖　寫本　枚 五 ニる 一三
名古屋市輸出入貨物地方別表　名古屋商業會議所編　大正二、四〔名古屋商業會議所統計年報、明治四四、大正二年ノ附錄〕　二 一四八 二一
名古屋市論　手島益雄　大正三　一 三五〇 三五一
名古屋新百人物終篇　馬場守次（籍生）　大正一五　一 五三三 一九 イ
〔名古屋稅務監督局〕稅務統計書　大正元至一〇、一二至一四年度　同局編　大正二至一五　三 一四四 二六五
名古屋遞信局管內航海運輸ニ關スル狀況報告　大正九、一〇、一二年度　同局海事部編　三 一四四、三 ハ 九三

〔名古屋遞信局〕管內電氣事業要覽　第二至六回　同局編　大正一一至一五　三 一四四 五二九
〔名古屋遞信局〕業務統計要覽　大正七、八年度　同局編　大正九、一〇　二 一四四 一〇一 ロ
〔名古屋鐵道局〕年報　大正九、一〇、一一、一二年度　同局編　大正一一至一四　二 一四四 五三五
名古屋都市計畫關係地圖　都市計畫愛知地方委員會製　大正一五　一 五二四 二七九
〔市立〕名古屋圖書館講演集　同館編　大正一三、一五　三 二七八 八一
第一回　讀書場としての圖書館（和田萬吉）
第四回　都市と圖書館（今井貫一）
洪律書としての舊約全書（穗積重遠）
名古屋の氣象と曆面　愛知縣測候所編　大正八　一 一三七三 三一五
名古屋の實業　名古屋勸業協會發行　大正二　一 三五〇 一
名古屋の屎尿市營　姬田隼多　大正四　一 三六〇 五一
名古屋の第一流　小山田靭馬劍　大正七　一 三七六 一五三
名古屋百人物評論　手島益雄　大正四　一 三六〇 四四
名古屋物產案內　名古屋商業會議所編　大正一二　一 三九三 五九四
名古屋名所圖繪　鬼頭幸七編　大正二　一 三三七 一四三
名古屋陸軍地方幼年學校一覽　大正三、五年調　同校編　大正三、五　二 二九七 七
名殘　正宗白鳥（白鳥傑作集第四卷ノ內）　大正一五）　五〇〇 四八
名殘の星月夜　坪內逍遙　再版　大正七　一 三七七 六四
同　（現代戲曲全集第一卷ノ內）　大正一四）　五二〇 二五
生さぬなか　上、中、下卷、後編　柳川春葉　大正三　四 三二九 一六七

生さぬなか　上、中、下卷、後編　柳川春葉　大正三　一 三二九 一六七 イ
同　大正九（春葉全集第五卷）　一 三九〇 九
ナザレの人　フレデリック・アンダソン著　柏井園譯　大正五　一 三二五 四二三
梨と柿　三重縣立農事試驗場編　明治四五　三二頁　一 三四四 一七三
梨の葉集　岡本綺堂　大正七　一 三二 六七三
梨の花　久米正雄（現代戲曲全集第一二卷ノ內　大正一四）　三 二〇 二五
梨姬心喰蟲ニ關スル研究　大正一四　春川忠吉（大原農業研究所特別報告第三號）　一 一四二 四八三
梨姬心喰蟲（桃心折蟲）ニ關スル研究　大原奬農會農業研究所（春川忠吉）編　（病菌害蟲彙報第七號ノ內　大正九）　一 一四二 四八三 イ
梨本書　戶田茂睡（國書刊行會本戶田茂睡全集ノ內　大正四）　一四二 三八六 イ
ナショナル　ナショナル社發行　第一卷第一號（大正二年六月）至第二卷第一八號（大正三年一二月）〔缺アリ〕　三三〇 四九 ぬ
ナショナルギルド　ホブスン著　高橋正熊譯　大正一〇　三 雜 五四 七五
五〇四頁
ナショナル第四讀本解釋　山崎貞（英語自修叢書第四編）　大正一一　一 五〇二 一一五
那須開墾誌　矢板武　大正一五　六三頁　一 三三三 四二六
那須記　（續群書類從第二二輯ノ上合戰部ノ內　大正一三）　一 五四九 一四九
那須國造碑考　蓮實長編　改訂　大正三　八〇 二三
同　八〇 二三 イ
那須郡誌　栃木縣同郡教育會編　大正一三　一 三二七 二〇〇 イ
一 五三四 一三

なす大將（お伽噺ー）	久留島武彦（日曜學校講習會講義錄第三回ノ內 大正七）		一	三九七	三〇六
茄と蕃茄	東京府立農事試驗場編 大正一一		一	五二九	一三三
那須の今日	飯村楓堂（誠）、都木生編 大正四		一	二一	三三四
那須の史蹟と名勝	栃木縣編 大正一五		一	五四九	一四七
那須與市西海硯	寫本（勝進助芝居臺帳第六四）		一〇	一九一	七六五
那須略史稿	附 齎事探 小林進編 寫本		二〇	一三六	二四八
那先比丘經	（別本）三卷（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內 大正一四）	特		四四	三七四
同				八六	三九一
謎	谷口武譯（世界短篇小說大系小國現代短篇集附錄作者不明傑作篇ノ內 大正一四）			五二〇	四五
謎	ホフマンスタール著 森鷗外譯 大正三		一	三三八	二八五
同	（鷗外全集第一三卷ノ內 大正一三）			五二〇	一
同		特		五二〇	一イ
何曾（後奈良院ー）	（列聖全集御撰集第六卷ノ內 大正六）			三一八	三七八
（新撰）何曾遊び背紐	（國書刊行會本雜藪叢書 第二ノ內 大正四）			三二〇	四九ち
なぞなぞくし（新板ー）	米山堂發行 大正九（複製）		一〇	一五	三九一
なぞなぞ集	瓦版 一九〇枚		一帖	ひ	七九
謎帶一寸德兵衛	鶴屋南北（歌舞伎脚本傑作集 第一卷ノ內 大正一〇）			五〇〇	二六
同	（大南北全集第四卷ノ內 大正一四）			五二九	八
同				五二九	八イ

謎の女	ワイルド著 矢口達譯（海外文學新選第二二編ノ內 大正一三）		一	五一五	一三〇
謎の人生	生方敏郎 大正一三		一	五二九	一三三
謎の扉を叩いて	横井天華 大正一五（「赤い戰線に立つて」ノ續篇）		一	五三三	九二イ
容賀扇會我	鶴屋南北（大南北全集第六卷ノ內 大正一五）			五二九	八
同				五二九	八イ
なたをれぎノ材質試驗	杉浦庸一（農商務省）林業試驗彙報第二號ノ內 大正九）			一四二	一三五ロ
灘五鄉ニ於ケル酒造業	日本銀行大阪支店編（酒造業ニ關スル調査ノ內 大正九）			三七八	一〇〇
灘五鄉酒造一班	西宮稅務署編 大正八			三七三	四二六
灘酒造業と勞働事情	大阪地方職業紹介事務局編 大正一五			五四九	二九
名立案內	新潟縣名立町青年會編 大正六			三六四	二九〇
名立崩れ	岡本綺堂（綺堂戲曲集第一卷ノ內 大正一三）			五三七	一六
菜種油脂肪酸ノ成分ニ就テ	外山修之（東京工業試驗所報告第一七回第四號ノ內 大正一一）			一四三	一七イ
同				一四二	一七ロ
菜種圃	長與善郎 大正一五		一	五五一	一三五
菜雄先生片影	小倉陽吉 大正一一		一〇	一六〇	九五
同			一〇	一六〇	九五イ
夏かげ	森川勘一郎編 大正一五	特	二〇	四三一	八六

夏草	千家元麿 大正一五		一	五一七	三六六
夏小袖	尾崎紅葉（尾崎紅葉全集第一卷ノ內 大正一四）			五四八	一七
同	（紅葉全集第二卷ノ內 九版 明治四四）			七四	三四六ハ
同				七四	三四六ニ
夏木立	正宗白鳥 大正五		一	三五七	一九二
同	（白鳥傑作集第一卷ノ內 大正一〇）			五〇〇	四八
夏木立	山田直三郎編 大正五		一〇	四二一	二〇
捺染法	青木良吉 大正一四（最新實用染織叢書第四篇）		一	五〇八	二四
夏と子供	內務省衛生局（瀨川昌世）編 大正一〇 三五頁		一	五六	一七〇
夏の印象に就いての冬の記錄	ドストエフスキー著 梅田寬譯（ドストエフスキー全集第四卷ノ內 大正一五）			三七五	四七イ
夏の學校	中村春二編 大正七		一	二七三	一八
夏の科學	大阪每日新聞社編 大正一三		一	五〇九	一二三
夏の白木	白木屋呉服店圖案課編 大正一〇		一〇	四三	五〇
夏の天地（通俗ー）	補永茂助等 大正二（講話）		一	三三八	一九六
夏のはじめ	松居松葉（松葉傑作集ノ內 大正七）			三	七九七
夏の日の戀	久米正雄（久米正雄戲曲全集第一卷ノ內 大正一一）			五〇六	一二五
同	（現代戲曲全集第一二卷ノ內 大正一四）			五二〇	二五
同				三四〇	三〇
夏の富士（三賀之津ー）	山東京山著（演劇文庫第一編ノ內 大正三）			三四〇	三〇
夏の裳	大丸呉服店編 大正一一		一〇	四三	七八
夏の夢	島村抱月（抱月全集第六卷ノ內 大正八）			三七九	一二
夏冬上戶物語	セーカ著 永田寬定譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）			五二〇	四五
夏祭浪花鑑	並木千柳等著 松山米太郎校（淨瑠璃名作集中卷ノ內 大正一一）			五七	六四
同				五〇六	一四〇
夏目漱石	池崎忠孝（赤木桁平） 大正六			三五七	三三六
夏目漱石氏の追憶	島村抱月（抱月全集第八卷ノ內 大正九）			三七九	一一
夏目漱石の鶉籠	川路柳虹（名作選集想華ノ內 大正一四）			五三六	八三
夏目漱石の虞美人草	西宮藤朝（名著選集熱筆ノ內 大正一三）			五三三	二七
夏目漱石美辭名句集	賣文社編（內外文豪美辭名句叢書第一集） 大正六		一	三六四	一二六ロ
夏物豫想	第二輯 岐阜縣工業試驗場編 大正一〇		一	三三七	三〇三
夏もやう	白木屋呉服店圖案部編 大正一四		一〇	四三一	二六
夏休中の動植物のしらべ方（おもしろくためになるー）	副島勇、高村廣吉 大正一三		一	五三一	一〇〇
夏痩	尾崎紅葉（尾崎紅葉全集第一卷ノ內 大正一四）			五四八	一七
同	（紅葉全作集第一卷ノ內 大正一一）			五二五	一
同	（紅葉全集第一卷ノ內 一二版 明治四五）			七四	三四六ハ
同				七四	三四六ニ
夏より秋へ	與謝野晶子 大正三 五七九頁			三三八	二五六

		冊	函	號
なでしこ	松波仁一郎編 大正六	一	三四九	四七六
撫子日記	保田光則 二卷（仙臺叢書第四卷ノ內 大正二）		五〇八	一三
なとりうむふおるむあるでひーどとするふおきしれーとノ工業的製造の研究	齋藤民次郎（盛岡高農同窓會學術彙報第二卷ノ內 大正一四）		一四五	八六
牡丹平家譚	河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一〇卷ノ內 大正一〇）		三九〇	二
同	（默阿彌全集第一一卷ノ內 大正一五）		五二七	四三
名取大鑑	堀內英力編 大正五	一〇	二三四	二四一
ナトルプかデユウエイか	渡部政盛 大正一三		一五二	二八八
ナトルプに於けるペスタロッチの新生	長田新 大正一四		一二五三	三一七
ナナ	ゾラ著 井上勇譯 大正一五（世界文豪代表作全集第一五卷）		一五五五	一七
七色鍵盤	黑木寬 訂增再版 大正九		一三三三	七五 イ
七色珊瑚	前、後編 小杉天外 大正六、七		二三二九	二八五
七浦村誌	石川縣七浦小學校同窓會編 大正九		一三八三	一〇〇
なゝゑびそ	市川白猿（演劇文庫第五編ノ內 大正三）		三四〇	三〇
七尾町誌	石川縣鹿島郡同町役場編 大正五		一三二九	八五四
ナナ梗概（ゾラ原著）	文獻書院編 大正一一（世界名著梗概叢書第四編）		一五一五	八
七草	景鏡花（鏡花全集第七卷ノ內 大正一四）		五二〇	四 イ
同			五二〇	四 イ

		冊	函	號
なゝくさの考	阿部照任（國書刊行會本三十輯第一ノ內 大正六）		三三〇	五一
七組取締帳	寫本（安政頃大阪材木問屋記錄ナリ）	一〇	一八九	三五九
七轉び八起き物語	ラサージ著 佐々木邦譯 大正一一		一五一七	八〇
無名草續編	細川潤次郎 大正二	一〇	二四九	一五一
無名草子	金子彥二郎校註（校註日本文學大系第二卷ノ內 大正一四）		五四三	一
同			五四三	一 イ
七つの燈火	和氣律次郎譯 大正九		一三九一	七九
七つの夢	武者小路實篤 大正一五		一五一七	三六三
なゝ姫（少女物語）	河井酔茗 大正一		一三三八	二三〇
ナナ物語	ゾラ著 安島健抄譯 大正一二 七七頁		一三九三	五一四
何を食うて生くるか	今川一 大正九（文明叢書第三）		一三八九	二〇
何をすべきか	トルストイ著 宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ內 大正八）		三九〇	三九
何を爲すべきか	レーニン著 青野季吉譯 大正一五	一	五六五	七九
名高手鞠唄實錄	寫本 六册（掌帳叢書ノ內）	二〇	一二五	一八三
那よハ	精鑿出版合資會社發行 大正一〇（複製）（光悅本）	一	一二	五一
難波蘆分船	附錄付 だるまや編 大正一三	一〇	一六三	八六
難波江目次	岡本保孝自筆稿本 寫本（況齋隨筆第一〇〇冊）	特 一〇	八三一	二
難波鑑	一無軒道冶著 古版地誌刊行會編 大正一三（複製）	六〇	一六三	九一
浪速北新地盆おとり圖	嘉永七年 愛山畫 寫本	特 一軸	ん	一〇九

		冊	函	號
浪花頴芳譜	大正九（藝苑叢書ノ內）			
浪花櫻宮圖	魁春亭貞芳畫 四枚	一枚	ふ	一二六
浪華人物誌	卷一至四 岡本撫山 大正八（藝苑叢書ノ內）	二〇	一九八	三九六
難波雀類書考	附（懷中難波雀 佐古慶三編（複製）（希有第六輯其二））	一〇	一五七	七〇
難波戰記	萬年頓方、二階堂行憲撰 清絢忠補（通俗日本全史第一一卷ノ內 大正元）		三三四	一九四
浪速叢書	同刊行會發行 大正一五		一五五四	一二八
第一	擂陽奇觀（濱松歌國編）		三三〇	四九 ろ
浪花其末葉	（國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ內 大正三）	二	雜 三三	五三
難波津	近畿鄉土研究會發行 第一號（大正一三年二月）至第二〇號（同一四年一〇月）	一〇	二〇三	三七七
浪華摘英	三島竹堂編 大正四	一	三五九	一四
浪速の岡山縣人	歌川鎭夫編 大正四		四三	三 イ
浪花の風	久須美祐雋（近古文藝溫知叢書第七編ノ內 再版 明治四四）		三四	一四
難波立聞昔語	米山堂發行 大正八（複製） 一五枚	一〇	一五	三七九
難波の田鶴	浮世草紙刊行會編 五卷（同會叢書第二卷ノ內 大正五）		三五五	六〇
浪華の春雨	岡本綺堂（綺堂戲曲集第四卷ノ內 大正一四）		五二七	一六
難波橋心中	紀海音（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內 大正三）	帖 一	三五	一ぬ
浪花百景	（橫繪） 附 都名所 貞信畫 六〇枚		三四三	四 ろ
浪華百事談	九卷（國書刊行會本新燕石十種第一ノ內 明治四五）		三四	二〇四
浪花丸（狂一）	陰山梅好編 大正一四（複製）		一五	四五一

		冊	函	號
難波土産	（國書刊行會本德川文藝類聚第一二雜俳ノ內 大正三）		三三〇	四九 ろ
なにはみやげ	（淨瑠璃文句評釋） 上田萬年校 大正一五	一	五一七	三七三
浪花名所百景	國員等畫 一〇〇枚	帖 二	二四〇	五四
浪花料理集	繁友會發行 大正一一、一四	二	一八六	三五六
	第一編 突出號（清水福二郎編）	一	七〇	二四四
	第三編 口取號（清水里繁編）	一	五一四	三七
何人にも出來る化學工藝製造法三百種	三宅雪雄編 大正五	一	二〇	二四四
何人も知らねばならぬ支那の智識	小谷節夫 大正一一	一	五一四	三七
何ものか是れ宗教	加藤玄智（明治聖德記念學會紀要第六至八卷ノ內 大正五、六）	一四五		一
何故お互は馬鹿である乎並に外債募集反對論	松方幸次郎 大正一三	一	五二四	八〇
何故の露國不承認ぞ	鈴木正吾 大正一三 四四頁	一	五二四	一二〇
何故人々は自らを麻醉させるか	トルストイ著宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ內 大正八）		三九〇	三九
何故貧乏して居る乎	宇野宙人 大正八（平民叢書第五編）	一	三八九	一三
なのりそ	森鷗外（現代戲曲全集第二〇卷ノ內 大正一五）		五二〇	二五
苗代の施肥量に就て	岡村保（農學研究第九卷ノ內 大正一五）	雜	三八	二 イ
納札史	フレデリック・スタール著 藤里好古譯 大正一〇	一〇	一八六	三三
納札大鑑	納札會編 明治四四	一〇	二四九	一二五
納札大史	金川利三郎（しん馬） 大正一三	一〇	一六〇	二二五

		冊	函	號
納税要論	堀内正作　大正九　九五〇頁	一	三五三	一四五
同	草間秀雄（栃木縣地方改良講演集ノ内 大正二）	一	三五三	一四五イ
納税義務に就て	（栃木縣地方改良講演集ノ内 大正六）	一	三四四	三四五
納税施設例彙	東京税務監督局編　大正三	一	三四九	三三三
納税奨勵の栞	京都府編　大正七	一	三三一	七一九
納税知識（加除自在）	加藤徳三郎編　大正一四	一〇	一四、七	三三八
納税知識知らずに納めてる税金	加藤美命　大正一二（ゼントルマン叢書第六編）	一	五一五	三一
「ナフタリン」、青酸加里、二硫化炭素カすぎ種子ノ發芽及幼苗ノ生育ニ及ホス影響	守屋重政、永井芳雄（農商務省）林業試験彙報第一五號ノ内　大正一四）		一四、三イ	二三五ロ
ナフトール染に就て	松浦正信（色染叢書第九ノ内　大正一四）		一四、三イ	二三五
納涼に關する江戸乃風俗	江戸時代納涼會編　大正一四	一〇	二〇三	一三三
鍋井克之油繪素描畫集	附 作者の感想　鍋井克之畫　大正一四	一	五四〇	四四
鍋被日親	日蓮主義刊行會編　大正八	一	三三五	五四九
苗木速成栽培法	明永久次郎（農商務省）林業試験彙報第二號ノ内　大正九）		一四、三イ	一三五ロ
苗木ニ對スル肥料三要素試驗	守屋重政（農商務省）林業試驗報告第二三號ノ内）		一四、三イ	一三五
苗木ニヨリ傳播スル病害	辻良介　大正一五（植物檢査彙報第一號）		一四、五	一六三
苗木の害蟲及青酸瓦斯燻蒸に關する注意事項（臨時報告）	農商務省農事試驗場編　五版　大正六	一	産	一五七イ
苗木の害蟲及青酸瓦斯燻蒸に關する注意事項（臨時報告）	農商務省農事試驗場編　五版　大正六	一	産	一五七ロ
鍋島閑叟	中村郁一　大正六	一	三四九	四五五
鍋島閑叟公	中島槐堂（吉郎）、水町義夫　大正二	一	三四二	三六七
同 訂補再版	大正二	一	三四二	三六七イ
同 訂補三版	大正三	一	三四二	三六七ロ
鍋島家記錄	寫本	一〇六	二〇五	一八九
鍋島直茂	西江靈弦（靖）　大正六	一	三六三	一三三
鍋島直茂公	藩祖直茂公三百年祭記念協賛會編　大正六	一	三六三	一三一
鍋島直正公傳	第一至六編　附 同年表索引總目錄　中野禮四郎編　大正九至一〇	七	三八三	九七七
同		七	三八三	九七イ
鍋島葉隱論語	中村郁一編　大正五	一	三五六	二四四
苗の育て方	田中收吉編（園藝叢書第一編） 明治四五	一	三四〇	四四
同		一	三四〇	四四イ
直江城洲公	伊佐早謙　大正一〇　六頁	一	三九七	一九一
直江津統計年報	大正一〇至一二、一四、一五年　直江津商業會議所編　大正一一至一五	五	一四八	六九
直方町案内	直方商工會編　大正六	一	三七三	七三
直輔の夢	里見弴　大正一二	一	五一七	一三一
直彥畫譜	熊谷直彥畫　福島甲子三編　明治四三	一〇	二四六	三三一イ
直日の教	小寺清先（勤王文庫第二編ノ内　大正九）	一〇	一五九	九九
直毘靈講義	宝松岩雄編　大正八	一	三三〇	三五
直日靈附錄	一名 道守之標　竹村茂雄（國民道德叢書第三編ノ内　明治四五）	一	三五	三五
直毘靈補註	本居宣長等註　三卷（修養文庫第四編皇道訓ノ内　大正八）	一	三七五	三五
直峯城	附 安塚　新潟縣東頸城郡安塚村教育會編　大正一〇　四七頁	一	三九三	一四六
同		一	三九三	一四六イ
直入郡志	大分縣同郡教育會編　大正一三	一	五一四	二〇四
癒る肺病	廣瀬幸二　大正九	一	五三	一六八
ナポレオン	科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第五四）　大正七	一	三五五	八四
ナポレオン（講談）	松林伯知　大正三　六〇八頁	一	三六〇	一四
ナポレオン（少年物語）	千頭清臣　大正二	一	三三八	二四六
ナポレオン奇談（史外秘傳）	コナン・ドイル著　岡本日亭（清逸）譯補　大正元	一	三三四	三三六
同	大正九	一	三九一	一七九
ナポレオン時代史	箕作元八　大正一二　九八八頁	一	五一九	三七
ナポレオン史話	奈翁會編（奈翁全傳第七卷） 大正三	一	三三四	二四四
ナポレオンの鴻業	長瀬鳳輔　大正三（奈翁全傳第五卷）	一	三三四	二四四
ナポレオンの人格と運命	中澤臨川　大正九	一	三八四	一五一
ナポレオンの少年時代	奈翁會編　大正元（奈翁全傳第一卷）	一	三三四	二四四
ナポレオン・ボナパルト	長瀬鳳輔　大正七（英傑傳叢書第六編）	一	三四九	四七二
ナポレオン物語	櫻井鷗村（彥一郎）　大正三	一	三三九	二三九
ナポレオン露國遠征論	トルストイ著　相馬御風重譯　大正四	一	七一	五三〇
生意氣盛り	ドストエーフスキー著　植村宗一譯　大正一〇（ドストエーフスキー全集第一一卷）	一	三七五	四七
懶け者の日記より	岩野泡鳴（泡鳴全集第四卷ノ内　大正一〇）	五〇〇		一
海鼠	菊池寛（菊池寛全集第一卷ノ内　大正一一）	五〇五		三
生搾蛹油及抽出蛹ノ性狀及精製	辻本滿丸（東京工業試驗所報告第一〇回ノ内　大正五）	一四、三イ		二一七
鯰の尻尾（童話）	大坪草二郎　大正一二	一	五三三	九四
生繭切歩成績早見表	高坂周一　大正五	一	三三九	六六九
生麥事件の顚末	小牧昌業（講演速記錄第一輯ノ内　明治四五）	一四、五		二五
菜豆に關する試驗及調査	北海道農事試驗場編（同場報告第八號）　大正八	一	一四、三イ	三七五
鉛蓄電池ニ於ケル電液ノ容量ト放電中ノ比重ノ變化トニ就テ	田中弘一（東京工業試驗所報告第一六回第一號ノ内　大正一〇）	一四、三イ		二一七
同		一四、三イ		二一七ロ
浪合記	中村天恒（伊那史料叢書一ノ内　大正四）		二	一八三
浪合の卷（忠勇龜鑑）	宗良親王威德宣揚會編　大正四	一〇	二〇三	三六六
波がしら	泉鏡花（鏡花全集第四卷ノ内　大正一五）		五二〇	四四
並木及ビ觀賞用植物ノ重要害蟲ニ關スル調査	臺灣總督府林業試驗場編（同場特別報告第一）　大正四	一	一四、三イ	二九八

		冊	函	號
亡國なみだか血か	村上浩堂、後藤默童　大正三	一	三四	一二六
涙の握手	水守龜之助　大正一四	一	五三八	一六五
涙の泉	松田德一　大正一二	一	五二六	三七
涙の彼方に（詩物語）	ロングフエロー著　山内六郎譯　大正一五	一	五五〇	九九
涙の底から	金井時子　大正一一	一	五〇六	一四三
涙の花（少年小說集）	平井晩村　大正八	一	三九一	一四
涙の瞳よ（詩集）	胡麻政和　大正一三　九〇頁	一	三九三	六九九
波にかたる	石井衣子　大正一四	一	五四四	二〇一
浪に雀の圖	（團扇繪）　廣重畫	一枚	別	一七三
波のうねり	水野廣德　大正一一	一	五一四	一八
波のうへ	長田幹彥　大正一三	一	五三八	三九
波の上	正宗白鳥　大正六（新興文藝叢書第二編）	一	三一	五五五
波の鼓	直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第一卷ノ內　大正一四）		五四八	一六
波のまにまに	水野廣德　大正六	一	三六三	二〇五
波の寄邊	寫本（勝進助芝居臺帳第五〇、五一）	二	一九一	七六五
波のり船	巖谷小波　大正九	一	三九一	五四
波まくら	牟田龜太郎　大正一一	一	三一八	四七九
浪六傑作集	傑作編、人情編、戀愛編　菊池曉汀編　大正一五	三	五五一	二一七
浪六傑作集	村上浪六　大正一五	一	五五一	二三六

		冊	函	號
上卷	三日月井筒女之助鬼奴	後の三日月奴の小萬安田作兵衞		
浪六全集	村上浪六　一至六版　大正三至一二	一一	七一	四八九
第一編	當世五人男	黑田健次		
第二編	最後の黑田健次	倉橋幸藏		
第三編	上田力 川上三吉 花車	吉田雄藏 しなさだめ		
第五編	八軒長屋　後編			
第六編	鬼あざみ	やまと心		
第七編	日本武士 最後の岡崎俊平	金剛盤		
第八編	呂宋助左衞門 武者氣質	魚屋助左衞門 古賀市		
第一八編	人間學	川柳自在うき世の裏表		
第一〇編	天眼通	放言錄		
第一二編	罵倒錄	石坊主		
第一三編	裏と表 無遠慮 大正五人男			
同	第二至一七編　一至一六版　大正九、一〇	一四	七一	四八九イ
第九編	男山 高倉長右衞門	男一疋		
第一〇編	當世三人兄弟 元祿名物男	うやむや日記		
第一一編	毒婦	仍如件		
第一二編	夜叉男 浮世草紙	大惡魔		
第一三編	原田甲斐	武士道		
第一四編	元祿女	當世女		
第一五編	男女の戰ひ 唐撫子	明治十年		
第一六編	豐太閤	大阪城		
第一七編	十文字 頽閼病院	浮舟		
浪六全集	村上浪六　縮刷　大正一二至一五	二〇	五五〇	五七
第一編	當世五人男			

		冊	函	號
第二編	黑田健次			
第三編	上田力			
第四編	倉橋幸藏			
第五編	川上三吉			
第六編	吉田雄藏 しなさだめ			
第九編	人間學			
第一〇編	八軒長屋			
同　後篇				
第一一編	同			
第一二編	同　續篇			
第一三編	仍如件			
第一六編	毒婦	花車		
第一七編	男女の戰ひ			
第一八編	鬼あざみ			
第二〇編	無遠慮	高倉長右衞門		
第二二編	元祿女			
第二三編	豐太閤			
第二四編	稻田一作	頽閼病院		
第二五編	同　續篇	放言錄		
第二六編	罵倒錄			
浪六全集	村上浪六　縮刷　第一至六、九至一三、一六至一八、二〇、二二至二六編　大正一五	二〇	五五〇	五七イ
同	第一至六、二二編　大正一二、一五	七	五五〇	五七ロ
浪六先生奇人變人錄	よた六　大正九	一	五四四	九五
浪六漱石傑作文集	菊池曉汀編　大正一〇（美文評解叢書第二）	一	三八九	五三ろ
浪六名作選集	村上浪六　大正一四	一	三八八	七一
浪六八ッあたり	村上浪六　大正八	一	三九一	八一
南無阿彌陀佛	尾崎紅葉（紅葉全集第一卷ノ內　明治四五）	一	三四六	三四六ハ
同		一	三四六	三四六ニ
南無阿彌陀佛とイエス	山中峯太郎（我れ爾を救ふ第三集ノ內　大正一一）	一	五〇〇	一六

		冊	函	號
南無觀音	井上角五郎　大正一五	一	五二一	二三六
南無觀世音	（金龍山御緣起正傳）　金龍山緣起編修會編　明治四五	一	二四九	七〇
南無日蓮大聖人	土屋日柱　大正一五	一	五三三	一四〇
南無妙法蓮華經	井府日成（日蓮鐵仰天晴會講演錄第三輯ノ內　大正四）	三	三四	一六五
なめくぢ大明神（喜劇）	池雪蕾　大正九	一	三九一	一六七
滑川談	塚田多門（日本經濟叢書卷一九ノ內　大正四）	三	四六	一八
滑川町國勢調査	富山縣同町役場編　大正九	一	三九七	一〇七
名大磯湯場對面	河竹默阿彌（默阿彌全集第二四卷ノ內　大正一五）		五二七	四三
懶ましき外景	小川未明　大正八	一	三七七	二〇四
懶ましき春	加藤武雄　大正一〇	一	五〇一	六五
懶みの近代藝術	千葉龜雄　大正一二（表現叢書第三）	一	三八九	八五
懶みより生る、力	安藤顯隆　大正一三	一	五一六	三五
懶み笑ふ	藤森成吉　大正一五	一	五五一	六五
懶めるジアン、リユック	ラミエズ著　大正一五　石川淳譯	一	五五一	一五九
懶める破婚者	細田民樹　大正九	一	三九一	一四七
懶める人のために	苅谷哲公（勝友叢書第四編　大正六）	一	三五三	五
懶める人々	田中宇一郎　大正一〇	一	五〇一	二
懶める露西亞	黑田乙吉　大正九	一	三八四	一九〇
奈良繪本阿國歌舞伎	第一至四輯、稀書複製會編　大正一〇、一一（複製）	四	四三三	八三

奈良を中心として石佛行脚　古澤廣樹　大正一一　一　三四八　一八五イ

寧樂刊經史　附　附圖　大屋德城　大正一二　一　三九三　四四三

奈落の人々　ジヤック・ロンドン著　和氣律次郎譯　大正九（勞働文藝叢書第三編）　二　五一一　三七

奈良縣生駒郡つちとこやし　同郡役所編　大正三　一　三九〇　二六

奈良縣生駒郡と農村衞生狀態實地調査報告　同縣編　大正一二　一　三三七　一九四

奈良縣生駒郡筒井村ニ於ケル　內務省衞生局編　大正一二　一　一四六ハ　一七三

奈良縣宇陀郡是　同郡役所編　大正七　一　三七二　二〇五

〔奈良縣〕學校圖書館圖書目錄　同縣立奈良圖書館編　大正一四　一　五一六　三九一

奈良縣氣象年報　大正四至七、一〇年　同縣八木測候所編　大正五至一一　三　一四六ニ　一四七

奈良縣警察統計書　明治四四至大正六、八至一三年　同縣編　大正三　一三　一四六イ　一一

〔奈良縣原蠶種製造所〕事績報告　大正六、一〇年度　同所編　大正七、一一年度ヨリ〔奈良縣蠶業試驗場〕事績報告」ト改題）　一四三　一七三

奈良縣原蠶種製造所奈良縣立農事講習所報告　大正七至九年度　同所編　大正八至一〇　一　一四三イ　一七三イ

奈良縣現代人物誌　第一編　名鑑　附　縣下事業界抄錄、商工人名錄　奥田信義　大正一三　一　五一九　二一七

奈良縣古社寺什寶調查錄　山高信離等編　寫本　二〇　八三〇　一〇〇

奈良縣產業案內　同縣編　大正三　一　三五〇　二七八

〔奈良縣蠶業試驗場〕事績報告　大正一一年度　同場編　大正一二至一五　二　一四三　一七三

奈良時代史論　日本歷史地理學會編　大正三　五四四頁　一　三四八　一八五

奈良朝時代史概說　（萩野由之）　奈良朝時代と藤原氏　（大森金五郎）　平城京　（喜田貞吉）　奈良朝寺院史　（同）　飛鳥及奈良時代の佛寺建築　（天沼俊一）　飛鳥及奈良時代の美術　（關野貞）　奈良時代の文學　（芳賀矢一）　木邦上古の服裝　（高橋健自）　奈良時代の風俗　（岡部精一）　奈良時代の文化史的觀察　（黑板勝美）　大和武士　（藤田明）　大和平野の史蹟　（水木要太郎）　同　一　三四八　一八五イ

奈良柴　荒木田麗女　（德川時代女流文學麗女小說集上卷ノ內　大正四）　同　一　三三九　三三六

奈良柴　原盛和　（近古文藝溫知叢書第八編ノ內　再版　明治四三）　同　一　四三　三三イ

奈良正倉院保存鳥毛立女屏風繪摹本　寫本　一五枚　特　六　八三〇　七〇

寧樂古蹟年曆取調記　寫本　一　一〇　八三〇　九六

奈良大極殿阯保存會事業經過概要　附　事業計數報告　同會編　大正一二　一　一五八　四三

奈良女子高等師範學校一覽　明治四四至大正一、二、三至一五年度　大正一、二年度ヨリ第三臨時教員養成所一覽」付）　同校編　一〇　二七四　二一

奈良女子高等師範學校概覽　同校編　大正三　一　二七四　三三

奈良女子高等師範學校附屬小學校一覽　大正六年　同校編　大正六　一　二七三　四〇

奈良女子高等師範學校附屬小學校各教科目教授要綱　同校編　大正五　一　二六三　二四三

奈良帝室博物館を見る人へ　小島貞二　大正一四　（奈良美術叢書第一輯）　一　五三九　二二

奈良帝室博物館繪畫一覽　同館編　增訂三版　明治四五　一　八二　六二五イ

同　增訂五版　大正三　一　八二　六三五ロ

同　增訂六版　大正四　一　八二　六三五ハ

同　八版　大正七　一　八二　六三五ニ

同　增訂一〇版　大正一〇　一　八二　六三五ホ

同　增訂一一版　大正一一　一　八二　六三五ヘ

奈良帝室博物館書蹟一覽　同館編　增訂三版　大正三　一　三三九　八イ

同　四版　大正一〇　一　三三九　八ロ

奈良帝室博物館陶器一覽　同館編　大正三　一　三三九　五六

奈良帝室博物館彫刻一覽　同館編　增訂五版　大正三　一　二五　九八一イ

同　六版　大正五　一　二五　九八一ロ

同　大正七　一　二五　九八一ハ

同　增訂八版　大正八　一　二五　九八一ニ

同　增訂九版　大正一一　一　二五　九八一ホ

奈良帝室博物館圖書一覽　同館編　明治四五　一　三三九　一九二

同　大正二　一　三三九　一九二イ

同　增訂三版　大正六　一　三三九　一九二ロ

同　四版　大正九　一　三三九　一九二ハ

奈良朝　西岡虎之助　大正一五　（綜合日本史大系第二卷）　一　五五四　七六

奈良縣磯城郡誌　同郡役所編　大正四　五五三頁　一　三四八　一八五イ

奈良縣史蹟勝地調查會報告書　第四至六回　高橋健自編　佐藤小吉、大正六至八　三　三三六　二二六

奈良縣史蹟名勝天然記念物調查報告　第八回大正一四　同縣編　一　三三六　三三六イ

奈良縣社會的施設一斑　同縣編　大正一二　一　三三七　一九四

奈良縣人口統計　大正二年　同縣知事官房編　大正三　一　一四四　四一九

奈良縣添上郡統計書　明治四四至大正六年　同郡役所編　大正元至八　三　一四四　二六イ

奈良縣高市郡志料　同郡役所編　大正四　五五九頁　一　三四八　三三七

奈良縣統計書　明治四二至四四年　同縣編　明治四五至大正二　三　一四四　二六

奈良縣南葛城郡誌　同郡役所編　大正一五　一　五五四　五三

奈良縣吉野郡大淀村風俗誌　竹山清文　大正七　一　三五四　一一六

奈良縣立戰捷記念圖書館一覽　明治四四、〔大正五、六、八、一〇至一三年度　同館編　明治四五至大正一四　二　四枚　二七八　二七

奈良縣立戰捷記念圖書館圖書分類目錄　大正二年三月現在　同館編　大正二　一　三一七　五三イ

奈良縣立農事講習所一覽　大正二、三年度　同所編　大正三、四　一　二九一　五　一一五

〔奈良縣立農事試驗場〕業務功程報告　明治四四至大正六年度　同場編　明治四五　四　一四三イ　二八八

橢崎式木炭製造法椎茸養成法講話筆記　橢崎圭三　大正八　一　三三一　三一一

奈良曝布古今俚諺集　三枝散人古道（國書刊行會本德川時代商業叢書第一ノ內　大正二）　一　三四三　四ぬ

奈良市小學校兒童身體檢查統計表　大正八年四月檢查　同市役所編　大正八　一　二七六　二五三

奈良朝　西岡虎之助　大正一五（総合日本史大系第二巻）　冊一　函五四　号七六イ

奈良朝及平安朝文學講話　窪田空穂（文學普及會講話叢書第一編ノ内）　大正四　冊三四〇　函三九　号一

奈良朝史　久米邦武　大正一五（日本時代史第三巻）　冊一　函二三　号二六五ロ

奈良朝寺院史　喜田貞吉（奈良時代史論ノ内）　大正三　冊三四八　函一八五　号

奈良朝時代史概説　荻野由之（奈良時代史論ノ内）　大正三　冊三四八　函一八五　号

奈良朝時代と藤原氏　大森金五郎（奈良時代史論ノ内）　大正三　冊三四八　函一八五　号

奈良と鹿　八田三郎　大正九　冊一　函三九三　号八五

奈良年代記　（續群書類從第二九輯ノ下雜部ノ内　大正一五）　冊八〇　函三一　号イ

同　冊八〇　函三一　号イ

奈良の年中行事　豐田八十代編　大正八　冊一　函三八四　号九七

奈良美術叢書　木原文進堂發行　大正一四　冊一　函三三　号二五七

奈良美術叢書　第一輯　帝室博物館を見る人へ（小島貞三）　第二輯　古建築巡禮（奈良及近郊ノ巻）（服部勝吉）　第三輯　傍國寶日錄（近畿之部）（岩井富藏、米山德馬編）　冊三　函五二九　号二

奈良平安時代の奥羽經營　菊池仁齋（奉公叢書第二編ノ内）　大正四　冊三四六　函一九　号

奈良名所案内　栗林貞一編　大正八　冊一　函三八八　号一

成金　モウバッサン著（モウバッサン全集第一二巻ノ内）　大正一一　冊一　函三九〇　号四一

成金世界（千載一遇）　致富研究會編　大正五　冊一　函三三九　号八五八

成田家分限帳　武藏國埼玉郡行田城主（續群書類從第二五輯ノ上武家部ノ内）　大正一三　冊八〇　函三一　号

成田家分限帳　武藏國埼玉郡行田城主（續群書類從第二五輯ノ上武家部ノ内）　大正一三　冊八〇　函三一　号

成田山　佐藤一誠編　大正一〇　冊一〇　函四三　号二五

成田山講演集　小財拾太郎編　大正九　冊一　函三八〇　号一〇九

成田山五事業年報　明治四五至大正一五年編　明治四五至大正一五　淺井照次等　冊九　函二五八　号二一〇一

成田鐵道案内　植田啓次編　大正五　冊一　函三三九　号八三三

成田圖書館和漢書分類目錄（私ー）　第二編　大正三　同館編　冊一　函三一七　号五三

なりひさご　寫本（ナリヒヒクドクフザンゲモノガタリ）　冊一三　函一八九　号三六三

雷嶋津政懺悔譚　寫本（勝進助芝居臺帳第二三）　冊一〇　函二〇　号

鳴物之相傳　寫本　一〇枚（茶道叢書第三五册）　冊一〇　函八三三　号二八

鳴子溫泉案内　附　玉造溫泉案内　山本晃編　大正一一　冊一　函二九六　号二八八

鳴門案内者　鳴門保勝會編　再版　大正一一　四二頁　冊一　函二九三　号四六九

鳴門大觀　國友德芳編　大正九　冊一　函二八四　号二四一

鳴門中將物語　山崎麓校註（校註日本文學大系第一九卷ノ内　大正一四）　冊一　函五四三　号イ一

鳴門中將物語　山崎麓校註（校註日本文學大系第一九卷ノ内　大正一四）　冊一　函五四三　号イ一

鳴門日記　附　小春日記　三宅興道　寫本　冊一〇　函一二六　号二五一

南留別志の辨　（近古文藝温知叢書第五編ノ内　明治二四）　冊一　函四三　号イ三

なるほど　松本重彥、伊藤尚賢編　大正八　冊一　函三七四　号三六

名和昆蟲研究所報告　同所發行　大正五、六　第一號　日本鱗翅類ノ生活史研究幷ニ新屬新種ノ記載（長野菊次郎）　第二號　日本枯葉蛾科ニ鉤翅蛾科ノ研究（同）　冊一　函一四五　号一一

名和氏紀事　門脇重綾　大正四（因伯叢書ノ内）　冊一〇　函一一八　号二四〇

名和長年　幸田露伴　大正一五（題箋等ノ冠稱ニハ「巖曲」トアリ）　冊一　函五三一　号五〇

名和長年公　小松原眞琴　大正一三　冊一　函五一四　号一九四

名和靖氏還暦記念寄贈論文集　長野菊次郎編　大正六　冊一　函三六五　号五四

南遊雜記　安積艮齋（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ内　大正三）　冊一　函三五三　号一

南遊雜記　村上彰一　大正五　冊一　函三三九　号七八〇

南遊志　齋藤正謙（拙堂）　大正二　二六頁　冊一〇　函一二　号五五四

南游詩稿　淺野儀史　大正一二　冊一〇　函一六〇　号一五六

南遊茶話　三竹勝造編　大正一三　冊一　函五三三　号七三

南院國師語錄　慧眞等編　三巻（大日本佛教全書第九五册ノ内　明治四五）　冊三　函五三三　号一〇

南隱老師追憶　並　補遺　谷田連太郎編　大正五、九　冊二　函一四七　号一七〇

南越是海全集　清水是信編　大正七　冊二　函一〇　号二三九

南淵書　權藤成卿校註　大正一一　冊三　函一六一　号五八

南圓堂銅燈台銘　（大日本佛教全書第一一九册ノ内　大正四）　冊一〇　函三五三　号一〇

南歐游記　濱田青陵　大正八　冊一　函三八四　号一〇三

南歐遊記　柳澤健　大正一二　冊一　函五一四　号一二七

南歐の日　有島生馬　大正五　冊一　函七一　号五八〇

南涯遺稿　永元南涯（厚藏）著　西川太治郎編　大正一一　冊一〇　函一一　号六八

南海一見　原勝郎　大正三　冊一　函三五〇　号四三三

南海寄歸傳解纜鈔　飲光　大正一一（慈雲尊者全集第四輯）　冊一　函五一一　号八

南海寄歸内法傳　巻第二　唐、義淨著　熊谷直之編　大正一三　冊一〇　函四二一　号三

南海寄歸内法傳解纜鈔　飲光撰（大日本佛教全書第一一四册ノ内　大正六）　冊一　函三五三　号一〇

南海瓊山臨高三縣概況比較圖表　支、陸精治編　大正一一　冊一　函四二三　号一〇四

南海治亂記　香西成資編　大正二　一七卷　冊一　函三四八　号七六

南海通記（史料叢書ー）　香西成資　大正一五　冊一　函五五四　号四八

南海傳絹衣比量鈔　快道撰（大日本佛教全書第一一四册ノ内　大正六）　冊一　函三五三　号一〇

南海の栞　村上義久編　大正元（南海鐵道ノ案内記）　冊一　函三三七　号九七

南海の勞働運動史　桑田次郎編　大正一五　冊一　函五四六　号一六〇

南海流浪記　道範著　鷺尾順敬等註　第七巻紀行ノ内　大正一四（國文東方佛教叢書）　冊一　函五三九　号六七

南江驛話　北左農山人（國書刊行會本德川文藝類聚第五　洒落本ノ内　洒落本大正三）　冊三三〇　函四九ろ　号

南行記　勝屋子駿　大正一五
（題簽ノ冠稱ニ八「勤王遺跡」トアリ）　一〇　一〇八　二六〇イ
同　一〇　一〇八　二六〇イ
南加學窓　第一卷　南加大學日本人學生會發行　明治四五　一　二五九　二六一
南加之日本人　戸田絲郎、堀江壽人編　大正八　一　三四七　六八
南柯法語　超然　二卷（眞宗全書第四四卷ノ内　大正三）　三四六　七
南漢志　洪敏謨編　大正五　一三卷（朝鮮群書大系別集第六輯）　一　三三〇　五
南葵音樂叢書　南葵文庫音樂部發行　大正一二　一　五一五　一〇三
第一篇　音樂の感得　（シナイデル著　門馬直衞譯）
第二篇　音樂形式論　（プレイゲル著　同譯）
第三篇　作曲の最近傾向を論ず　（スタンフオード著　同譯）
南紀人材論　下村宏　大正三　五六四頁　一　三七　三六六
南葵德川家略譜　三浦英太郎發行　大正九　一　三七三　四二
南葵文庫概要　齋藤勇見彥編　大正二　一　二七八　三イ
南葵文庫創立紀念會陳列目錄　同文庫編　大正五
（南葵文庫圖書館所藏カミングス文庫に就て　宮澤宗助編　大正一五）　一〇　一九　四〇七
南葵文庫圖書目錄　二　同文庫編　大正二　一　五五二　二
南葵文庫報告　第四至一五　同文庫編　大正元至一二　一　三七　四五
南京遺文　附卷付　佐佐木信綱編　大正一〇　七　二七八　三
南極記　南極探檢後援會編　大正二　二〇　四二三　二九
南極探檢　白瀨矗　大正二　一　三四八　一七
南極探檢私錄　多田惠一　明治四五　一　三二三　三二
南極探檢日記　多田惠一　大正元　六六八頁　一　三三二　三二
南極北極の探檢　白井規一、島田牛稚　大正八（趣味の地理第五編）　一　二七五　六
南琴吟社十年紀念俳句集　一橋南吟社編　大正一四　一　五四四　三三
南京博覽會各省出品調査表　南洋勸業會日本出品協會編　明治四五　一四二六頁　一　三二六　二三
南郭先生燈下書　服部元喬（日本詩話叢書第一卷ノ内　大正九）　三三五　三七三
南畫會展覽會新作南畫集　第五回　南畫會編　大正八　一　一九　一五〇
南畫研究　南畫の見方　梅澤和軒　大正一三　一　五二八　一〇〇
南畫史要　梅澤和軒（文化叢書第七編）　大正一一　一　五〇五　二六
南畫集　村山旬吾編　四版　大正七　二イ
南畫初步　菊之部　加納黃文編　大正元（奥付ニ八佐野琴岳編トアリ）　特三　四一〇　二
南畫新論　小室翠雲　大正一〇　一〇　六七　三三八
南畫小徑　柳田斗墨編　大正九　一　二九五　一九
南畫展　第五回　朝日新聞社編　大正一五　一〇九　二五二
南畫と小島獨山　高羽富士夫編　大正一〇　一　三二七　四五
南畫の描き方　新井洞巖　大正八　一〇　一八六　二四三
軟化病ト蠶ノ消化液ノ鹽基度ニ就テ　立岩亨　大正一四（東京高等蠶絲學校學術報告第五四號）　一　二九〇　一一
軟化病蠶兒ニ於ケル連鎖狀ノ球菌ニ就テ　（蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索第三報告）　青木薰、本多實芳　大正七（農商務省）蠶業試驗場報告第三卷第四號）　一　一四二イ　三六九
難訓姓氏字引　長義高編　大正六　一　三三九　九〇九
南薰太平歌　（通俗朝鮮文庫第五輯ノ内　大正一〇）　五〇〇　三九
南閨雜話　夢中山人　（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ内　大正三）　三三〇　四九ろ
楠公一代日記　附　遺言　松本秀業編　明治四五　一　三三四　一九六
楠公夫人繪傳　加藤鎭之助編　大正四　帖一　四〇八　一三三
楠公夫人傳　織田完之　大正四　一　二四八　一九〇
南國　犬養健（新進作家叢書第三八編ノ内　大正一五）　三一　五五四
南國　室津鯨太郎　大正一五（著作推薦叢書第一編）　一　五四八　六九
南國遺事　寺石正路　大正五　一　三六〇　四五八
南谷書翰　照什自筆　寫本　軸一　（ニる）一四二
南國史話　川島元次郎　大正一五　一　五五四　一八
南國新事情　鳥井三鶴　大正一一　六四頁　一　三九三　四〇九
南國文庫　尾池春水編　寫本　一　二八九　三八六
（紀氏遺蹟考（尾池春水）　士佐日記地理辨迫考（松本弘庵）　四國本道古驛考（新居正道等）　士佐國名所舊蹟一覽（須賀能令主人）　士佐古城記　高知御城下町々風土記　高知雜咏（坂崎斌））
南國へ　アイヒエンドルフ著　木村恒譯　大正四　一　三五七　九

難古事記傳　橘守部（國書刊行會本橘守部全集第二卷ノ内　大正一〇）　三三〇　五八
同　三三〇　五八イ
難後拾遺抄　（續群書類從第一六輯ノ下和歌部ノ内　再版　大正一四）　八〇　三二ロ
難澕（詩集一）　吉原重雄　大正一四　一　五三八　一〇〇
南窓を愛す　武市南風（雄岡馬）　大正一四　一　五三六　一六七
南窓筆記　加藤宜樹（國書刊行會本百家隨筆第二ノ内　大正六）　三三〇　五三
南山遺芳錄　齋藤正謙編　寫本　二卷　一〇　一〇四　三七八
南山小譜　谷森善臣（國文註釋全書第四ノ内　大正二）　六三　八五イ
南山踏雲錄　伴林光平（維新日乘纂輯第三安政記事稿本ノ内　大正一五）　六四　二三三
同（勤王文庫第四編ノ内　大正八）　三七九　九
南山餘錄　附錄　津川記等　東武編　明治四五　一〇　三三四　一六三
南山律宗袈裟禁絹順正論　照遍撰（大日本佛教全書第七四册ノ内　大正一〇）　三五三　一〇
南宗衣鉢　博文堂發行　大正六　一〇　四一三　三三
南宗衣鉢跋尾　卷一、二　支、羅振玉　大正五　二　一七五　七〇
南洲翁眞蹟手簡　大正二　軸一　一四三　一六二
南宗畫集　東京帝室博物館編　大正六　一〇　四一八　二七
南宗畫法解說　繪畫研究會編　大正一〇　二　一八六　三三四
同　大正一四　二　五四一　二〇六イ
同　二　五四一　二〇六イ

南洲手抄言志錄解詁　前編　馬場綠郎編　大正一二　一冊　五〇三　二九
南洲全集　山路愛山編　大正四　六五六頁　一　三六〇　一七九
南洲先生遺墨集　青山會館編　大正一五　一〇　四八八　二一〇
南宗瓶花譜　一　早川松雨編　大正六　一〇　四一九　八六
南宗名畫苑　第一五、一六、一九、二一輯　審美書院編　再版　大正五　特四〇　四〇〇　四九
南宗名畫大觀　新時代社編　大正一四　特一〇　四二一　七一
同　特一〇　四二一　四七
軟式庭球規則解說　針重敬喜等　大正一四　一　五四一　二一〇
楠氏研究　藤田精一　大正四　六二六頁　一　三四八　二五六
南支視察團誌　堺貿易會編　大正一五　一　五五六　七
難字節用集　壽達翁（壽樂）寫本　二　二四五　二二七
軟質砂岩の機械的分析に就て　富田芳郎　大正一四（東北帝國大學理學部地質古生物學教室研究邦文報告第六號）　一　一四五　四四
南支南洋金融機關一覽表　臺灣銀行調查課編　（大正一〇）　一　三九七　一八九
南支南洋ノ通貨　大正六年三月調　臺灣銀行調查課編　增訂　大正九　一　三七八　一三
同　臺灣銀行文書係編　增訂　大正一三　一　三七八　一三イ
南支南洋ノ綿絲布　臺灣銀行調查課編　大正八　一　三七八　八八
南支ニ於ケル教育及ヒ宗教ノ變遷　東川德治　大正八　一　三五六　四二
南塾乘抄　林信高抄　寫本（寬文六、八、一三年中林家ノ日記ナリ）　三〇　二九一　七六四
南詢所感　松岡寬慶（夏期講習會佛教講演集第一八回ノ內）　明治四五）　冊　函　三八　一七
南進策と小笠原群島　山田毅一　大正五　一　三六〇　一七九
同　再版　大正五　一〇　四八八　二一〇
南翠傳　須藤眞金編　大正一五　一　五四九　一九
南石文琇禪師語錄　宗謙等編　四卷（大日本續藏經第六一七册ノ內　明治四五）　二三五　二
難船　岩野泡鳴（泡鳴全集第七卷ノ內　大正一〇）　五〇〇　一
南鮮沿海の築城群　伴三千雄（明治聖德記念學會紀要第二二卷ノ內　大正一三）　一四五　一
南禪寺寶　樂々露山編　大正一〇　一　四四一
南船集　橋本貫一　大正四　一　三四八　二五六
南禪々寺第二祖勅諡南院國師御傳略（瑞龍名山太平興國一）　上村觀光編　大正一〇　一六頁　二　二四五　二三七
南鮮實窟　濟州島　大野仁夫　明治四五　一　三九三　一四三
南瞻部州大日本國正統圖　石川流舟　貞享四　二一〇×四一二　一　三九七　一八九
南船北馬　大正一一年度夏期旅行報告（亞細亞學生會編　大正一二（亞細亞學生會々報ノ內）　特一枚　京　三三六
南船北馬　田山花袋（花袋紀行集第一輯ノ內　大正一一）　一　三七八　一三
南船北馬　（海外發展のしるべ）　森永太一郎　大正一四　一　三五三　一〇五
南船北馬集　第一四、一五編　井上圓了編　大正七　二　三七三　一〇一
南總紀行旅眼石　十偏舍一九編（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內　大正三）　三五三　一
南總里見八犬傳　曲亭馬琴著　柳川重信、池田英泉畫　天保一三（曲亭手澤本ニシテ自筆校訂セルモノ）　一〇六　三　別　二

南總里見八犬傳　前、中、後編　曲亭馬琴著　幸田露伴校訂　大正二、三（文藝叢書第六至八册）　三　三四五　一八
同　第二至第六　曲亭馬琴著　忠見慶造校訂　大正一五　（有朋堂文庫ノ內）　五　五四三　一六
南總珍　渡邊寬　二卷　（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內　大正三）　三五三　一
南總の海と大原　白石强太郎編　大正二　一　三四八　一八四
南總の潮風　森田憲寅編　大正五　一　三三九　七五九
南總の俚俗　內田邦彥　大正四　一　三五六　八五
南總之鈴木重昌文庫紀要　千葉縣圖書館編　大正一五（房總叢書學調查資料第二輯）　和算家　一　一四、五　一七三
南總往來　（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內　大正三）　三五三　一
何ぞ北海道に移住せざる　高岡熊雄（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ內　大正三）　三五六　五一
難村改造七日七夜の講演會　石田傳吉　大正一一　一　五〇三　二〇八
難題歌集　山脇充夫編　大正三　一　三五〇　三七三
難提釋經　高昌寬我譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第六卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四
南島研究の現狀　柳田國男（財團法人啓明會講演集第一五回ノ內　大正一四）　一四、五　三〇
南島情趣　本山桂川　大正一四　一　五三三　一八五
南唐澄清堂帖　清、廉泉編　大正四　眞本　一枚　一四五　一八六
南島說話　佐喜眞興英　大正一一（爐邊叢書第九編）　一　三九　二
南島叢書　南島社發行　大正一四　一　五三五　二四二
南朝太平記　馬場信意　大正三　二四卷（國史叢書ノ內）　一　三四〇　三二
南唐拓澄清堂帖　油谷博文堂發行　大正元　第一編　沖繩經濟事情（田村浩）　一帖　一四五　一六八

南島變亂記　三〇卷　（國史叢書ノ內　大正三）　三四〇　三一
南島夜話　秦藏吉　訂四版　大正六　一　三四九　五〇七
南中谷雜事錄　寫本　（增上寺學寮ノ記錄ナリ）　一〇　二〇五　二四六
難中之難經　赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四
南竹文集　井上鐵英　大正二　一〇　一一〇　一六六
汝殺すなかれ　トルストイ著　宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ內　大正八）　三九〇　三九
南地心中　泉鏡花（鏡花全集第九卷ノ內　大正一五）　五三〇　四四
汝等の背後より　中西伊之助　大正一二　一　五一七　一五一
南豆水產誌　靜岡縣賀茂郡教育會編　大正九　一　三八〇　五四
南豆畜牛史　土屋準次編　再版　大正五　一　三三七　八二八
南豆の溫泉境の河津　日下部照　大正一三　五四頁　一　五一六　二一〇
南豆俚諺考　足立鍬太郎編　大正一五　一〇　一〇八　二六六
南亭史說集　箕作元八　大正三　五一四頁　一　三四八　一七三
南朝遺史　林柳齋編　大正七　一〇　四　一六三
南朝山河の秋　小笠原白也　大正一五　一　五一七　四二三
南朝諸家傳　寫本（原本ハ山岸家秘本トイヒ久米氏藏本）　一　五五六　二〇
南朝史話忠不忠　藤田精一　大正一五　一　三四〇　三二
南朝太平記　馬場信意　大正三　二四卷（國史叢書ノ內）　一　三一　六九六
南朝忠臣贈正四位富士名判官義綱公傳　宮崎幸麿　三版　大正七

南朝忠臣碑文集　小野利教編　大正一一　冊　函　號
同　一　一六三　五九イ
南條文雄自叙傳　南條文雄　大正一三　一　一六三　五九
何んでも世界一（趣味—）　栗山茂武　大正一五　一　一八　一〇四
南天莊歌稿　井上通泰　大正一二　七四頁　一　一五二　三〇五
南天莊歌話　井上通泰　大正一五　一　一六〇　一四八
南天莊藏幅寫眞帖　井上通泰編　大正一〇　一　五一七　三五三
南天竺婆羅門僧正碑註　性空撰（大日本佛教全書第一三冊ノ內　大正四）　一　一四六　二六一
南天棒行脚錄　中原鄧州　大正一〇　三五三　一〇
南天棒禪話　中原鄧州　大正四（禪學文庫第一二編）　一　三九二　一八九
南都叡山戒勝劣記　貞慶（日本大藏經第一三卷ノ內　大正五）　一　三一五　二三五
南都叡山戒壇勝劣事　貞應撰（大日本佛教全書第一〇五冊ノ內　大正四）　三五三　六
南都高僧傳　（大日本佛教全書第一〇一冊ノ內　大正二）　三五三　一〇
南都古京圖　寫本　二二·六×三·五　三五三　一〇
南都古京圖　中條正言　寫本　二二·六×三·五　一枚　一〇三　一七八
南都古寫本古版木幷模版陳列目錄　東大寺圖書館編（大正一〇）　一枚　ニる　三八
南都七大寺大鏡　東京美術學校編　大正一〇至一五　一　三一七　一八
第一、二集　東大寺大鏡　第一、二冊　特　三　四一五　六
第三至五集　興福寺大鏡　第一至三冊
第六集　西大寺大鏡　第一冊
第七、八集　唐招提寺大鏡　第一、二冊

南都七大寺巡禮記　殘缺ノ內（大日本佛教全書第一二〇冊　大正一〇）　三五三　一〇
南都僧俗職服記　上司延興撰（大日本佛教全書第七三冊ノ內　大正二）　三五三　一〇
南都大衆入洛記　（續群書類從第二九輯ノ下雜部ノ內　大正一五）　八〇　三一イ
同　八〇　三一ロ
南都大佛供養物語　（大日本佛教全書第一二一冊ノ內　大正四）　三五三　一〇
南都唐招提寺略錄　（大日本佛教全書第一一八冊ノ內　大正二）　三五三　一〇

南都東大寺戒壇院略緣起　（大日本佛教全書第一二三冊ノ內　大正一一）　三五三　一〇
南都と西京（趣味の旅）　佐々木恒清　大正九　一　三八四　一七五
南都八景　池田英泉畫　別　五枚　ゑ　二三六
南都北嶺兩寺法服記　（大日本佛教全書第七四冊ノ內　大正一〇）　三五三　一〇
何にも見なかつた猶太人のアブネル　ハウフ著　藤井昭譯（世界短篇小說大系獨逸篇ノ內　大正一五）　五二〇　四五
何の十八萬石　芳川無憂　大正一五（大衆文藝叢書第二編）　一　五四八　四〇
何の爲めに？　トルストイ著　宇佐美文藏譯（トルストイ全集第四卷ノ內　大正八）　三九〇　三九
ナンの悲劇　ジョン・メースフヰールド著　坪內士行譯（近代劇大系第八卷英吉利篇ノ內　大正一二）　五一五　二六
同　（近代劇大系第八卷英吉利篇ノ內　大正一四）　五一五　二六イ
南方紀行　厦門採訪冊　佐藤春夫　大正一一　一　三九四　一九一
南方閒書　寫本　一　一七〇　一〇
南方研究　南方研究會發行　大正一三　一　二八〇　一八
第二書　佛領印度支那　（前田寅治郎）
南方續錄　寫本　二〇　一四七　二四六
南方女兒國　池田大伍（現代戲曲全集第一六卷ノ內　大正一五）　五二〇　二五
南方帝國論　松本敬之　大正七　一　三六二　六七
南方辨要　寫本　一〇　一四七　二四七
南坊流薄茶點前　炭手前　伊藤凹一　大正八　五四頁　一　三七三　四一八
南坊流薄茶點前　附　炭手前　江尻しけの編　大正一一　五〇頁　一　三九三　四六六

南坊流茶人系圖竝古田小堀系圖　寫本（茶道叢書第四三冊）　一〇　八三三　三六
南坊錄　宋啓　大正六　六　一四七　一九三
南方錄　山本寬編　大正六　二〇　一四七　一九五
軟派讀筆　尾崎久彌　大正一五　一　五五一　二三四
南蠻記　新村出　大正四　一　三六〇　一八八
南蠻廣記　新村出　大正一四　一　三六〇　一八八イ
同　再版　大正一四　一　三六〇　一八八ロ
南蠻更紗　新村出　大正一三　一　五二六　一三
同　一〇版　大正一四　一　五二六　一三イ
同　訂一八版　大正一五　一　五三六　一三ロ
南蠻寺物語　（國書刊行會本文明源流叢書第一ノ內　大正一二）　三四三　四る
南蠻寺門前　木下杢太郎（現代戲曲全集第一一卷ノ內　大正一四）　五二〇　二五
南蠻探檢　西川盧空陀（甲平）　大正八　一　三八四　六八
南蠻長崎草　永見德太郎　大正一五　一　五五六　一三
難病患者の福音　淺岡重喜　大正九　一　三九三　九九
難病の治療法　肺結核、糖尿病及腎臟炎の卷　村井弦齋　大正一〇　五〇二頁　一　六〇　七〇三
南濱餘影　三井大作　大正一〇　一〇　一一　四四五
南風遺響　阪倉篤太郎編　大正一二　一　五一九　八二
南風薰誌　堀內信編　大正九　一　三八三　九一

南部九州及琉球所見　大山柏（明治聖德記念學會紀要第一四卷ノ內　大正九）　一　一四五　一三五
南部家舊領全圖　寫本　四・六五×七・八五　一枚　一三五
南部家年記　寫本（寫文元祿間ノ同家記錄ナリ）　二卷　一　一八九　四一七
南部根元記　（國史叢書ノ內　大正四）　三　三四〇　三わ
南部支那及香港ニ於ケル商工業　農商務省商務局編　大正元　五〇頁　一　三三七　一〇四
同　其二　大正二　（商務彙纂第一五號）　一　三三七　一二〇
南部朝鮮の方言　小倉進平編　大正一三　一　三三三　五五三
南部馬史　佐藤陽次郎　大正七　一　三七一　一四七
南部舊蹟遺聞　寫本　二卷　一　一〇三　一八六
南部むらさきの由來　中村省三編　大正七　一　一四七　二三七
南部御邦內鄉村志　寫本　五〇　一　二七　二八七
南米　伊達源一郎編　大正四（現代叢書第五册）　一　三四〇　四八
同　大森春圃　大正三（富源叢書第一編）　一　三四〇　四八イ
南米移住法（致富ノ成功ノ一）　一　三四〇　三
南米移民案內　附　米墨及南米事情　梅田又次郎　大正三　一　三五〇　三五九
南米移民研究　奥村安太郎編　大正一二　一　三四八　九九
南米移民の實況　間部彰（海外移住ノ內　大正一二）　一　五二四　二九九
南米移民發展策　附　綿花栽培　間野彰（海外移住ノ內　大正一二）　一　三九三　三四二
南米事情（日本の新發展地ノ一）　富田謙一　大正四　一　三六〇　一一五
南米實情と移民の告白　濱田勘太郎　大正一四　一　五四六　七〇
南米で職に就くまで（努力ノ生活ノ一）　梅田又次郎　大正一二　一　五一三　三三
南米渡航案內　東洋汽船株式會社編　大正元　九七頁　一　三三九　一一三
南米渡航案內　結城朝八　大正一〇　一　三九四　九一
同　改訂　大正一三　一　三九四　九一イ
南米と中米の日本人　山岡光太郎　大正一一　一　三九四　二六九
南米日本人寫眞帖　永田稠編　大正一〇　一〇　四一六　二四
南米の研究　富岡重雄（海外叢書第一輯）　大正一〇　一　五〇〇　六
南米の殖民地　附　ブラジル渡航案內　藤田敏郎　大正一三　一　五一三　一八三
南米の寶庫伯剌西爾　竹澤太一　大正一三　一　五一三　六
南米の樂天地　藤枝强三郎　大正二　一　三五〇　四一
南米の理想鄉　田中誠之助　再版　大正一五　一　五五六　八〇
南米美術裝飾圖集　三K會編（三K會圖集第八輯）　大正一一　一　三三七　三〇七
南米富源大觀　附　南阿巡廻日記　難波勝治　大正一二　一　五一三　三八
南米ブラジル（日本人の新發展地ノ一）　田中誠之助　大正八　一　三八四　二四

南米ブラジル案內　横山源之助　大正二　一　三四八　九九
南米ブラジル國と日本移植民　海外興業株式會社編　大正一五　一八頁　一　五二四　二九九
南米伯剌西爾國ト日本移植民　海外興業株式會社編　大正一一　七三頁　一　三九三　三四二
南米ブラジル渡航案內　浦田芳朗　大正一五　一　五五六　一六八
南米伯剌西爾の最近事情　東洋拓殖株式會社編　大正七　七三頁　一　三二六　三四九
南米へ　最近の智利經濟事情　岩崎實太郎　大正一三　五五四頁　一　五二二　二四一
南米へ　鈴木眞靜　大正三　一　三五〇　二四二
南米祕露　富田謙一、影山知二　大正一四　一　五三四　二七
南米祕露國日本移民地情況　海外興業株式會社編　大正九　一　五九七　一四三
南米ボリビヤ事情　松本兼一　大正六（商工叢書第四七號）　一　三三七　一二〇
南米向輸出爲替並ニ同地商習慣　横濱正金銀行編　大正九（同行）調査報告第一五號）　一　一四五　二九
南米へ　井上雄二　大正四（時事叢書第一九編）　一　一四九　一四三
南豐文集　元田直　大正二　一　三四九　一四三
南豐名家詩選　大島支郎編　大正四　三〇　三〇二　三九四
南豐名畫集　後藤喜太郎編　大正一〇　二〇　四三二　六〇
南木誌　中山利貽編（修養文庫第一編賢哲傳上ノ內　大正八）　一　三九八　一〇〇
南北朝時代史　田中義成　大正一一　三七五　三五
南北朝時代に於ける奥州　藤田明（奥羽沿革史論ノ內）　大正五）　三四八　三七七
南北朝時代に於ける神宮祠官の勤王　阪本廣太郎、大西源一編　大正一五　一　五三三　一六三
南北朝時代の滿洲　箭內互（滿洲歷史地理第一卷第五編）　大正二）　一　三四八　九九
同　特　枚　一　三四八　六〇
南北兩極地圖　德有鄰發行　大正二　五〇×三・五　一　四一〇　二四
南北兩米踏破三萬哩　崎山比佐衛　大正五　一　三六三　一
同　訂再版　大正八　一　三六三　一イ
南浦文之和尚　森慶造　大正七（成賞堂叢書第二編別冊）　一〇　一八七　四八一
南滿醫學堂論鈔　第二至五卷　同堂編　大正一四、一五　四　六〇　六八〇
南滿及東蒙朝鮮人事情　上卷　附　永田事業の現狀　牛丸潤亮編　大正一一　一　五一八　一四
南滿地方支那警察制度　附錄付　南滿洲鐵道株式會社總務部調査課編　大正七　二　三六八　三
南洋の祕密　新占領地ミクロネシア諸島航海譯　松岡靜雄　大正六　一　三六一　九九
南洋　井上雄二　大正四（時事叢書第一九編）　一　三五五　一
南洋　內藤民治（世界實觀第一一卷ノ內　大正五）　一　四〇八　一三〇る
南洋　前、後編　林金五郎　大正六、七　二　三六三　二六四
南洋遊記　鶴見祐輔　再版　大正六　一　三五四　七四
南洋遊記　西川甲平　大正一五　一　五五六　一二三
南洋一巡　朝倉政次郎（南洋に於ける鐵道調査報告書ノ內　大正四）　三三六　八九
南洋を目的に　江川蕭　大正二　一　三五〇　一四一
南洋開發案內　多田惠一　大正七　一　三八四　四
南陽稿　（續群書類從第一三輯ノ下文筆部ノ內　再版　大正一五）　八〇　二三ロ

		冊	函	號
南洋各殖民地立法制度	原口竹次郎、土岐定應（南支那及南洋調査第九一輯附錄 大正一三）	一	四二イ	四七八
南洋各地栽培企業可能性比較一覽	臺灣總督官房調査課編（南支那及南洋調査第一二三輯） 大正一五	一枚	四二イ	四七八
南洋各地人口地圖	臺灣總督官房調査課製（南支那及南洋調査第一〇三輯） 大正一五	一枚	四二イ	四七八
南洋各地邦人栽培企業要覽	臺灣總督官房調査課編（南支那及南洋調査第一二二輯） 大正一五	一	四二イ	四七八
南洋金儲百話（實行ノ容易ノ）	大森涛次郎 大正三	一	三五〇	五〇〇
南洋記	島津久賢 大正四	一	三六〇	一八四
南洋紀行	村山金平編 大正六	一	三七六	六四
南洋華僑ト金融機關	臺灣銀行調査課編 大正三	一	三六	五九イ
南洋華僑（支那移住民）ト我蘭領東印度貿易	瀨川恒雄（海外旅行調査報告大正一四年夏期ノ內 大正一五）	一	四〇七	八一
南洋群島寫眞帖（日本帝國委任統治ノ）	海軍省編 大正一一	一	四一六	三七
南洋經濟時報	南洋協會シンガポール商品陳列館發行 第一卷第四號（大正八年四月）至第六卷第六號（大正一三年六月）〔缺アリ〕 同會編 大正一一（南洋研究叢書第七編）	雜 五	二三	五五
南洋協會講演集	馬來群島に就て（片山秀太郎） 帝國の將來と南洋の富源（井上雅二） 蘭領東印度事情（松本尊之亮） 南洋の覇者（梅谷光貞） 南洋の產業に就て（木村增太郎）	一	五〇〇	三
南洋協會々報	同會發行 第一卷第一號（大正四年二月）至卷第一號（大正七年一二月）（第五雜誌ト改題）	雜 六	一九	一五一
南洋協會雜誌	同會發行 第五卷第一號（大正八年一月）ヨリ（南洋協會々報ノ改題）	雜 一九	イ 一五一	
南洋研究叢書	南洋協會發行 大正一〇至一五	一六	五〇〇	三
第一篇	ロブスター珈琲（佐藤暗）			
第二篇	蘭領東印度土地法（藤井卯平譯）			
第三篇	ハルマヘイラ島生活（江川俊治）			
第四篇	領內南洋誌（島田昌三）			
第五篇	南洋の囘教（瀨川龜）			
第六篇	蘭領印度商法（石橋三郎譯）			
第七篇	南洋協會講演集（南洋協會編）			
第八、九篇	蘭領東印度史（舟木茂）			
第一〇篇	暗黑ニューギニアの眞相（ウイルフレッド・ピーヴア著 神村與三譯）			
第一一篇	馬來半島の農業（南洋協會譯編）			
第一二篇	續南洋協會講演集（同會編）			
第一五篇	一九二二年蘭領東印度貿易大觀（同會譯編）			
第一六篇	瓜哇の地方と鐵業（同）			
第一七篇	南洋栽培企業比較論（ベーケルハーリンク著 南洋協會譯）			
第一八篇	南洋の護謨栽培事業（南洋協會譯編）			
第一九篇	南洋事情講演集（同會編）			
南洋國勢一覽	臨時產業調査局第四部第二課編	一	三六八	二四
南洋語研究（獨修ノ）	上原訓藏 大正九	一	三六八	三五六
南洋語自在（四國對照ノ）	海外雄飛會編 大正三	一	三五〇	三一一
南洋護謨栽培の實驗談	平原文三郎（海外移住ノ內 大正一二）	五一	三	二〇三
南洋栽培企業比較論	ベーケルハーリンク著 南洋協會譯（南洋研究叢書第一七篇） 大正一四	一	五〇〇	三
南洋の美術工藝	（瀨川龜）			
南洋の宗教	（三吉朋十）			
南洋の拓殖と衞生	（堀內次雄）			
南洋協會々報	同會發行 第一卷第一號（大正四年二月）至卷第四卷第一號（大正七年一二月）（第五雜誌ト改題）	雜 六	一九	一五一
南洋協會雜誌	同會發行 第五卷第一號（大正八年一月）ヨリ（南洋協會々報ノ改題）	雜 一九	イ 一五一	
南洋研究叢書	南洋協會發行 大正一〇至一五	一六	五〇〇	三
第一篇	ロブスター珈琲（佐藤暗）			
第二篇	蘭領東印度土地法（藤井卯平譯）			
第三篇	ハルマヘイラ島生活（江川俊治）			
第四篇	領內南洋誌（島田昌三）			
第五篇	南洋の囘教（瀨川龜）			
第六篇	蘭領印度商法（石橋三郎譯）			
第七篇	南洋協會講演集（南洋協會編）			
第八、九篇	蘭領東印度史（舟木茂）			
第一〇篇	暗黑ニューギニアの眞相（ウイルフレッド・ピーヴア著 神村與三譯）			
第一一篇	馬來半島の農業（南洋協會譯編）			
第一二篇	續南洋協會講演集（同會編）			
第一五篇	一九二二年蘭領東印度貿易大觀（同會譯編）			
第一六篇	瓜哇の地方と鐵業（同）			
第一七篇	南洋栽培企業比較論（ベーケルハーリンク著 南洋協會譯）			
第一八篇	南洋の護謨栽培事業（南洋協會譯編）			
第一九篇	南洋事情講演集（同會編）			
南洋國勢一覽	臨時產業調査局第四部第二課編	一	三六八	二四
南洋語研究（獨修ノ）	上原訓藏 大正九	一	三五八	三五六
南洋語自在（四國對照ノ）	海外雄飛會編 大正三	一	三五〇	三一一
南洋護謨栽培の實驗談	平原文三郎（海外移住ノ內 大正一二）	五一	三	二〇三
南洋栽培企業比較論	ベーケルハーリンク著 南洋協會譯（南洋研究叢書第一七篇） 大正一四	一	五〇〇	三
南洋材木に關する調査	高井修（海外旅行調査報告大正一三年夏期ノ內 大正一四）	二	四二イ	四六六
南洋產業調査書	臺灣銀行調査課發行 大正八			
第三編	馬尼剌麻（飯澤要玄編）			
第四編	南洋ノ錫（重森書記編）			
南洋產精油あぎおりノ成分	篠崎英之助、星野耕三（東京工業試驗所報告第一三回第六號ノ內 大正七）	一四二	イ 一七	ロ
南洋產木材水浸液ノ螢光現象ニ就テ	藤岡光長（農商務省）林業試驗報告第二一號ノ內 大正九）	一四二	イ 一三五	
南洋產木材ノ性質ニ就テ	森三郎（農商務省）林業試驗彙報第一二號ノ內 大正一三）	一四二	イ 一三五	ロ
南洋諸島	寺崎留吉 大正四	一	二	三六九
南洋諸島視察復命書	臺灣總督府（金平亮三）編 大正三	一	三六	六一
南洋諸島巡行記	附 南洋事情 佐野實 大正二	一	三四八	一三
同	增補再版 大正三 五五三頁	一	三四八	一三イ
南洋諸島熱帶皮膚病圖說	高杉新一郎 大正八	一	五七	五三
南洋諸島林況視察復命書	千本停三郎 大正二	一	三三七	一〇九
南洋諸邦輸出入禁制品一覽	臨時產業調査局編 大正七	一	三六	三五
南洋眞事情	ヒンルーベン・ラバートソン等著 澁田常太郎譯 大正六	一	三四九	四七七
南洋新占領地視察報告	並 追錄 文部省專門學務局編 大正五、六	二	三二	一七六
南洋新占領地の經濟的價值	東鄉安 大正四	一	三二七	七二七
南洋小觀	附 樺太所感 小栗盛太郎 大正一〇	一	三九四	八七
南洋占領諸島概記	遞信省通信局編 大正五	一	三二九	七四〇
南洋占領諸島之現況	大正六年度末 臨時產業調査局第四部第二課編	一枚	二四	三二九
南洋占領地事情概要	拓殖局編 大正八	一	三七八	六七
南洋占領地寫眞帖	海軍省編	特 一	四〇六	六一
南洋叢書	南洋協會臺灣支部發行 大正七至一二	五	一四五	八〇
第一卷	比律賓群島に於ける護謨栽培（ウエスター著 村社新譯）			
第三卷	比律賓群島の開發（村社新）			
第四卷	邏羅國の稻作及精米業（安原龜次）			
第五卷	ビルマ事情（南洋協會臺灣支部編）			
第一二卷	新西蘭羊業概況（小出滿二）			
第一七卷	ブートン島農業經營論（芳賀鍬五郎）			
第一八卷	比律賓のブリ椰子（後藤隆）			
第二〇卷	比律賓群島の米作（南洋協會臺灣支部譯）			
第二一卷	キヤッサヴアの栽培（芳賀鍬五郎）			
第二二卷	石油生產地としての東方諸國（南洋協會臺灣支部譯）			
第二三卷	ウッド總督の教書（同）			
第二四卷	サイザル及龍舌草（加藤淸之助編）			
第二五卷	布哇に於ける木瓜（ヒッヂンス等著 櫻井芳次郎譯）			
第二六卷	蘭領東印度の產業（南洋協會臺灣支部譯）			
第二七卷	布哇の鳳梨事業（遠山靜二譯）			
第二八卷	蘭領印度貿易大觀 一九二二年度（南洋協會瓜哇支部譯）			
第二九卷	佛領印度支那（同會臺灣支部譯）			
第三一卷	世界珈琲大觀（芳賀鍬五郎）			
南洋大地圖（詳密ノ）	鍾美堂製 大正六 二・四×三・四	一枚	八九	二七三
南洋談	中井錦城（喜太郎） 大正三	一	三四四	四一三
同	再版 大正三	一	三四四	四一三イ

		冊	函	號
南洋地方織物業報告	加藤甚太郎 大正四（石川縣勸業報告第一〇號）	一	一四、イ	一
南洋通覽	保坂彥太郎 大正五	一	三四八	三六六
南洋調査復命書	片山秀太郎 大正一一（南支那及南洋調査第二六輯）	一	一四、二	四七八
南洋渡航案内	多田惠一 大正六	一	三六四	三三四
南洋渡航案内	南洋協會編 大正七	一	三一	七〇八
南洋渡航案内	吉田春吉 大正三	一	三五〇	三六四
南洋渡航須知	越村長次編 再版 大正八	一	三八四	九六
南洋ところ〴〵	菅稻吉 大正六	一	三六四	一三〇
南洋と日本	井上清 大正二	一	三四九	一三
南洋南支寫眞帖	吉武源五郎 大正五	一	四二	三
南洋、南米其他最新海外渡航案内	的場逸平 大正三	一	三五〇	四三一
南洋ニ於ケル華僑（支那移住民）	附 爲替關係 臺灣銀行調査課（齋藤完治）編 大正三	一	三一六	五九
南洋ニ於ケル古々椰子栽培業調査報告書	附 サゴニ關スル調査報告書（井上雅二）編 大正元 八二頁	一	三二	一一
南洋に於ける支那人	農商務省商務局	一	一四五	一一八
	神田正雄 大正一五（南滿洲鐵道株式會社）パンフレット第二四號）	一	三六〇	二〇一
南洋フイリツピンの信濃村	上伊那郡富縣植民研究會編 大正六	一	三五三	一六
南洋に於ける鐵道調査報告書	朝倉政次郎 大正四	一	三五四	七三
南洋ニ於ケル日本船舶ノ概況	平賀亨三 大正一一（南支那及南洋調査第三九輯）	一	三五四	五
南洋の文化と富源の實際	南洋讃美會 勝間香南（順藏）再版 大正一三	一	三五四	五
南洋の蘭科植物に就て	（南洋研究叢書第一二篇續南洋協會講演集ノ内 大正一二）	一	三三三	二三五
南洋發展	鹽見平之助 明治四五	一	三九七	一四一
南洋比律賓群島ダバオ附近邦人發展最近事情	海外興業株式會社編 大正九	一	三三七	九七七
南洋フイリツピンの信濃村	上伊那郡富縣植民研究會編 大正六	一	三六四	二八一
南洋貿易株式會社の現在將來	伊東祐輝編 大正六	一	四一四、二	四一八
南洋貿易企業關係法規	第一卷 蘭領東印度 臨時産業調査局第四部第二課編 大正七（同局）調査資料第七號）	一	四一四、三	四一八
同	第二卷 比律賓群島 上（臨時産業調査局）調査資料第二八號）	一	四一四、イ	四一八
同	第四卷 比律賓群島 下（臨時産業調査局）調査資料第五五號）	一	四一四、ロ	四一八
同	第五卷 濠洲（臨時産業調査局）調査資料第五四號）	一	四一四、ハ	四一八
南洋貿易狀況	農商務省商務局編 大正一三	一	五一八	九一
南洋鵬航記	深見麗水 大正九	一	三六四	一四四
南洋「ボルネオ」ニ於ケル産業	農商務省山林局編 大正七	一	三六八	三五
南洋旅行記	三井高維 大正一二	一	五三	一四一
南洋旅行記	宮坂光次（明治聖德記念學會紀要第二三卷ノ内） 大正一四）	一	四五	一
南洋旅行談	小野孝太郎（明治聖德記念學會紀要第二、三卷ノ内 大正三、四）	一	四五	一
南豫遺香	兵頭賢一 大正四	一	二	三二七
南豫夏季大學講演集	南豫文化協會發行 大正一三	一	五三六	三八
南洋の回教	瀨川龜 大正一一（南洋研究叢書第五篇）	一	五〇〇	三
南洋の護謨栽培	戸川末三 大正八	一	三八〇	二
南洋の護謨栽培事業	南洋協會譯編 大正一五（南洋研究叢書第一八篇）	一	五〇〇	三
南洋の產業及其富源	農商務省商務局編 大正元	一	三三一	一一九
南洋の新天地（現代青年の奮闘寸可き！）	山根傳 大正二	一	五〇三	三三六
南洋の新日本村	佃光治、加藤圭德 大正八	一	三八四	三〇
南洋ノ水產	樫谷政鶴等 大正一一（南支那及南洋調査第四三輯）	一	一四、二	四七八
南洋之水產	農商務省水產局（高山伊太郎）編 大正三	一	三三六	五〇
南洋ノ錫	堂森書記編 大正八（南洋產業調査書第四編）	一	一四、二	四六六
南洋之大寶庫 ニュー、カレドニア	ロベル・フック、吉川巖 大正二	一	三五〇	一六三
南洋の銅器	朝倉文夫編 大正元	一	四〇八	七一
南洋の富	鈎田時之助 訂補六版 大正二	一	三三三	七三
南洋の寶庫（踏査ー研究ー）	神保文治 大正四	一	三六〇	二〇一
南洋の覇王鎭西八郎爲朝	木村騰太郎 大正一〇（日本民族研究叢書第一〇）	一	三五三	一六
南洋の風土	南洋協會編 大正五	一	三五四	七三
南洋の文化と富源の實際	南洋讃美會 勝間香南（順藏）再版 大正一三	一	三五四	五
南洋の蘭科植物に就て	（南洋研究叢書第一二篇續南洋協會講演集ノ内 大正一二）	五〇〇		三
南洋發展	鹽見平之助 明治四五	一	三三三	二三五
南洋比律賓群島ダバオ附近邦人發展最近事情	海外興業株式會社編 大正九	一	三九七	一四一
南洋フイリツピンの信濃村	上伊那郡富縣植民研究會編 大正六	一	三六四	二八一
南洋貿易株式會社の現在將來	伊東祐輝編 大正六	一	四一四、二	四一八
南洋貿易企業關係法規	第一卷 蘭領東印度 臨時産業調査局第四部第二課編 大正七（同局）調査資料第七號）	一	四一四、三	四一八
同	第二卷 比律賓群島 上（臨時産業調査局）調査資料第二八號）	一	四一四、イ	四一八
同	第四卷 比律賓群島 下（臨時産業調査局）調査資料第五五號）	一	四一四、ロ	四一八
同	第五卷 濠洲（臨時産業調査局）調査資料第五四號）	一	四一四、ハ	四一八
南洋貿易狀況	農商務省商務局編 大正一三	一	五一八	九一
南洋鵬航記	深見麗水 大正九	一	三六四	一四四
南洋「ボルネオ」ニ於ケル産業	農商務省山林局編 大正七	一	三六八	三五
南洋旅行記	三井高維 大正一二	一	五三	一四一
南洋旅行記	宮坂光次（明治聖德記念學會紀要第二三卷ノ内 大正一四）	一	四五	一
南洋旅行談	小野孝太郎（明治聖德記念學會紀要第二、三卷ノ内 大正三、四）	一	四五	一
南豫遺香	兵頭賢一 大正四	一	二	三二七
南豫夏季大學講演集	南豫文化協會發行 大正一三	一	五三六	三八
南洋の回教	瀨川龜 大正一一（南洋研究叢書第五篇）	一	五〇〇	三
南洋の護謨栽培	戸川末三 大正八	一	三八〇	二
南洋の護謨栽培事業	南洋協會譯編 大正一五（南洋研究叢書第一八篇）	一	五〇〇	三
南洋の產業及其富源	農商務省商務局編 大正元	一	三三一	一一九
南洋の新天地（現代青年の奮闘寸可き！）	山根傳 大正二	一	五〇三	三三六
南洋の新日本村	佃光治、加藤圭德 大正八	一	三八四	三〇
南洋ノ水產	樫谷政鶴等 大正一一（南支那及南洋調査第四三輯）	一	一四、二	四七八
南洋之水產	農商務省水產局（高山伊太郎）編 大正三	一	三三六	五〇
南洋ノ錫	堂森書記編 大正八（南洋產業調査書第四編）	一	一四、二	四六六
南洋之大寶庫 ニュー、カレドニア	ロベル・フック、吉川巖 大正二	一	三五〇	一六三
南洋の銅器	朝倉文夫編 大正元	一	四〇八	七一
南洋の富	鈎田時之助 訂補六版 大正二	一	三三三	七三
南洋の寶庫（踏査ー研究ー）	神保文治 大正四	一	三六〇	二〇一
南洋の覇王鎭西八郎爲朝	木村騰太郎 大正一〇（日本民族研究叢書第一〇）	一	三五三	一六
南洋の風土	南洋協會編 大正五	一	三五四	七三
南洋の文化と富源の實際	南洋讃美會 勝間香南（順藏）再版 大正一三	一	三五四	五
南洋の蘭科植物に就て	（南洋研究叢書第一二篇續南洋協會講演集ノ内 大正一二）	五〇〇		三
南洋發展	鹽見平之助 明治四五	一	三三三	二三五
南洋比律賓群島ダバオ附近邦人發展最近事情	海外興業株式會社編 大正九	一	三九七	一四一
南洋フイリツピンの信濃村	上伊那郡富縣植民研究會編 大正六	一	三六四	二八一
南洋貿易株式會社の現在將來	伊東祐輝編 大正六	一	四一四、二	四一八
南洋貿易企業關係法規	第一卷 蘭領東印度 臨時産業調査局第四部第二課編 大正七（同局）調査資料第七號）	一	四一四、三	四一八
同	第二卷 比律賓群島 上（臨時産業調査局）調査資料第二八號）	一	四一四、イ	四一八
同	第四卷 比律賓群島 下（臨時産業調査局）調査資料第五五號）	一	四一四、ロ	四一八
同	第五卷 濠洲（臨時産業調査局）調査資料第五四號）	一	四一四、ハ	四一八
南洋貿易狀況	農商務省商務局編 大正一三	一	五一八	九一
南洋鵬航記	深見麗水 大正九	一	三六四	一四四
南洋「ボルネオ」ニ於ケル産業	農商務省山林局編 大正七	一	三六八	三五
南洋旅行記	三井高維 大正一二	一	五三	一四一
南洋旅行記	宮坂光次（明治聖德記念學會紀要第二三卷ノ内 大正一四）	一	四五	一
南洋旅行談	小野孝太郎（明治聖德記念學會紀要第二、三卷ノ内 大正三、四）	一	四五	一
南豫遺香	兵頭賢一 大正四	一	二	三二七
南豫夏季大學講演集	南豫文化協會發行 大正一三	一	五三六	三八
新居郡案内	栗本露村（諒二）編 大正二	一	三三九	三八
新居郡高津村保健衛生實地調査報告書	愛媛縣警察部衛生課編 大正一五	一	一四、六	三三
ニイチヱ	久津見巖村（息忠） 大正三	一	三五〇	二八
同	（久津見巖村集ノ内 大正一五）		五九八	二
ニイチヱ	中西伊之助（人生論十二講ノ内 大正一四）		五三六	二八
南隣錄	潮惠之輔 大正六	一	三七三	二〇
晩近の社會問題	（大林宗嗣）現代社會批判（長谷川如是閑）教育の革新と日本の將來（赤阪清七）文化と國語の改良（同）婚姻制度と現代思潮（穗積重遠）			
南豫史	久保盛丸 大正四 三卷	一	三四八	二四八
南龍言行錄	眞如隱子 一〇卷（日本偉人言行資料ノ内 大正四）		三五五	一八ろ
南龍公御事略	橋井清五郎、芝野六助編 大正九	一	三八三	七六
南梁遺稿	小宮山綏介著 同桂介編 寫本 一一卷	特	六〇	八六
南梁過夏錄	小宮山綏介自筆稿本 寫本	特	二〇	八二
南梁箚記	小宮山綏介自筆稿本 寫本 二卷	特	一〇	八二
南梁集	小宮山綏介稿本 寫本 二卷	特	一〇	八二
南梁掌記	小宮山綏介稿本 寫本	特	一〇	八二
南隣の友邦比律賓	正木吉右衛門 大正一五 四四頁		五二四	三九
南隣錄	潮惠之輔 大正六		三七三	二〇

		冊	函	號
ニイチエ研究	和辻哲郎 大正二 五七九頁	一	三四二	三九三
同 訂再版	大正三 六二一頁	一	三四二	三九三イ
ニイチエ書簡集	ニイチエ著 和辻哲郎譯 大正六	一	三六三	一五四
ニイチエ全集	ニイチエ著 生田長江譯 大正五至一五	八	三七五	三
第一、二編	人間的な餘りに人間的な 上、下卷			
第三編	黎明			
第四編	悦ばしき知識			
第六編	善惡の彼岸、道德系譜學			
第七、八編	權力への意志 上、下卷			
第九編	偶像の薄明			
	反基督			
	この人を見よ			
	ワグネルの事件			
	ニイチエ對ワグネル			
	詩			
同 第一至三、五編	一至一〇版 大正六至一三	四	三七五	三イ
第五編	ツァラトゥストラ			
ニイチエ超人の哲學	ブランデス著 生田長江譯 大正四（近代思潮叢書第一編）	一	七一	四八二
ニイチエの生涯と力の哲學	文獻書院編 大正一二（世界名著極概叢書第二二）	一	五一五	八
ニイチエの人格及哲學	メエビウス著 三浦吉兵衞（白水）抄譯 大正二	一	三五〇	一〇二
ニイチエのツァラツストラ	解釋並びに批評 阿部次郎 大正八	一	三八七	九
ニイチエ晚年の哲學思想	中島力造（現代倫理思潮第三輯ノ內 大正四）	三	三五五	一四
ニイチエ美辭名句集	賣文社編 大正六（內外文豪美辭名句叢書第八集）	一	三六四	一二六
ニーツエの言葉	馬場二郎 大正一三（ニショパンの日記」ト合綴）	五	三一	一三一
ニーベルンゲン	（ツベル著 關口存男譯 大正一〇（古典劇大系第一四卷獨逸篇五ノ內 大正一四）	一	五〇一	二八
同		五	三九	一
ニーベルンゲンの指環	ワグネル著 中島清譯（古典劇大系第一九卷ワグネル全集下ノ內 大正一五）	一	三四二	五三九 一
ニーベルンゲン物語	武田猛譯 大正六（神話叢書北歐神話上）	一	三五五	六七 は
ニール河の艸（少年醫術史）	木村莊八 大正八	一	三六六	一六八
同	大正一三	一	三八六	一六八イ
ニウーギネア北東岸諸港泊地	水路部製 大正五 三・一×三・一	一	枚 洋	一七五
乳幼兒死亡調査報告	大正八、九、一三年 警視廳衞生部編 大正一〇至一五	三	一四六	一五三
乳幼兒死亡率調査	京都市社會課編 大正一一（京都市社會課叢書第一編）	一	一四五	五六
乳牛飼育法	湯地定武 大正九	一	三七三	四五〇
乳牛飼養法	工藤重佐 大正一四（酪農叢書第一編）	一	五四一	二一
乳牛の飼方	井口賢三 大正一〇（子安叢書第八編）	一	三五五	二六
乳化性油ノ研究	松本源 大正一二（大阪工業試驗所報告第四回第八號）	一	一四二	四九八
同		一	一四二	四九八イ
乳業產物	丹波敬三編 明治四三（化學工業全書第九册ノ內 再版	四五	一九〇	ニ
糠眼記	聖聰撰（大日本佛教全書第六一册ノ內 大正七）	三五三	一〇	
乳產品製造法	高屋鋭 大正八	一	三八〇	二五
乳兒營養障害	高洲謙一郎 大正八（日本內科全書卷三別錄）	一	五三	九四
乳兒營養障礙及其療法	奥口侑、篠原勝二編 大正元（近世醫學叢書第六九編）	一	六〇	三九
同		一	六〇	三九ロ
乳兒及幼兒の死亡に關する參考資料	第二輯 內務省衞生局編 大正一二	一	一四六	一九九
乳兒死亡の社會的原因に關する考察	暉峻義等（大原社會問題研究所叢書第二）	一	五〇五	五九
乳兒死亡率に關する調査	東京市社會局（增田重喜）編 大正一五	一	一四六ハ	二一八
乳兒食餌ノ調製法	太田孝之 大正六	一	五六	一三三
乳兒の營養と主なる疾病	伊藤祐彥 大正一三（兒童教養叢書第一六編）	一	二七	一〇三
乳兒の育て方	天野誠齋 大正一二（愛兒叢書第一編）	一	五六	一九八
乳兒の哺育と其看護（若き母親の爲めに）	長尾美知 大正一二	一	五六	一八八
乳兒の保有と其注意	生地憲（兒童保護叢書第一編） 大正一三	一	二五三五	一〇五
乳兒の保護	三田谷啓 大正一二	一	五六	一九七
乳汁大觀	賀島政基 大正元	一	三四二	二四〇
乳製品製造法講義	鴨田修治編 大正六	一	三六一	一一三
ニウトンからアインスタインまで	ベンジヤミン・ハーロー著 岡邦雄譯 大正一〇（新生命叢書第一編）	一	五〇〇	三七
乳肉衞生	津野慶太郎 大正八	一	三八一	五五
ニエートチカ、ニェズワーノフ	ドストイエーフスキー著 市橋善之助譯（ドストイエーフスキー全集第一二卷ノ內 大正一一）	三七五		四七
同	（ドストイエフスキー全集第一卷ノ內 大正一五）	三七五		四七イ
二苑紀略	小宮山綏介稿本 寫本 二卷	特一	八二六	八〇
「ニオキシ、ニアミノ、アルゼノ、ベンツオール」及其ノ誘導體ニ就テ	慶松勝左衞門（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第三輯ノ內 大正五）	一四三イ		四五一
二階の窓	正宗白鳥（近代名著文庫第三ノ內 大正一一）	三八九		八二
同	（白鳥傑作集第一卷ノ內 大正一〇）	五〇〇		四八
にがい話	片岡鐵兵 大正一三（文藝春秋叢書第八）	一	五二七	二五
女の背姿	幼い日のこと			
舌のにがい話	春の話			
途中下車	口笛吹いて			
尼港虐殺 バルチザンと原內閣	三木麟編 大正九	一	三八四	二三〇
尼港三月事變之顚末	陸軍省、海軍省編 大正九	一	三七二	四〇五
尼港事件ノ顚末	陸軍省、海軍省編 大正九	一	三七二	四〇五
尼港渡航案內	松浦孝治 大正九	一	三九三	五四
尼港へ行け	高橋德三郎 大正九	一	三九三	六一
尼港問題を通して	五百木良三 大正九	一	三九三	五三
二家族	正宗白鳥（白鳥傑作集第一卷ノ內 大正一〇）	一	五〇〇	四八
苦竹ノ水枯病ニ關スル研究	川村清一（農商務省）林業試驗報告第九號ノ內 明治四五）	一四二イ		二二五
二箇條	尾崎紅葉（紅葉全集第四卷ノ內 八版 明治四四）	七四		三四六ハ
同		七四		三四六ニ
荷爲替業務論	妹尾一雄 大正一四	一	五一二	二七五

荷爲替信用狀論　伊藤和雄　大正一三　一　一四、イ　三六八　ロ
荷爲替手形の實際（實例參照）　奥田幾二　法律事務所編　大正一三　一　五三　六五
荷爲替に就て　竹田省（京都經濟會講演集第六號ノ內）　大正七　三七三　五五
膠ノ品質試驗　荒木淳三　大正一一（大阪工業試驗所報告第三回第二號）　一　一四、二　四九八　イ
同　一　一四、二　四九八　イ
苦汁ノ電解的處理法及ビ其工業的裝置ニ關スル研究　門多道別（臺灣總督府中央研究所工業部報告第三號ノ內）　大正一三　一　一四、二　二八五　イ
苦汁ヨリ鹽化加里ヲ分別スル方法ニ關スル研究　（遺補）　西村常吉　大正七（東京工業試驗所報告第一三回第七號）　一　一四、二　二一七　ロ
和靈（久米正雄小說集ノ一）　久米正雄　大正一一　一　五〇六　一六三
にきはひ草　灰屋紹益　二卷（國書刊行會本新燕石十種第二ノ內）　明治四五　三四三　四　ろ
花麗源氏花咲門　（芝居繪本第三五）　特　一〇　京　三七六
二狂人　二葉亭四迷（二葉亭全集第三卷ノ內）　明治四五　三三九　四六
肉眼に見える星の研究　吉田源治郎　大正一一　一　八五　一九八
肉牛肥養試驗成績報告書　明治四三至大正二年度　島根縣種畜場編　大正四　一　三三一　一五七
肉塊　谷崎潤一郎　大正一三　一　五三　一一七
肉塊の彼方へ　遠藤武　大正一三　五七六頁　一　五三三　二九八
憎しみの後に　宮島資夫　大正一三　迷亂　憎しみの後に　一　五二九　二四

肉親　菊池寛　大正一三（文藝春秋叢書第一）　或る日來た人達　澄子の一生　僞軍國美談　頸縊り上人　肉親　信康親子　一　五二七　二五
肉體上觀的婦人の半生　ナフォース講　（科學十講第五）　大正元　三四九　六三
肉體と精神の形成　ハアワード・ムーア著　山川菊榮譯　大正一二（民衆科學叢書第九編）　一　五〇〇　四三
肉の生贄　前田曙山（次郎）　大正一四　一　五三八　一四三
肉の犧牲　ジャック・ロンドン著　白井賢二譯　大正一五　一　五一七　五七六
肉筆浮世繪（岸田劉生氏秘藏品ノ一）　上、下　吉田喜太郎編　大正一三　二　三三三　九〇
肉豚ノ飼料試驗成績　佐土原喜熊（臺灣總督府中央研究所農業部彙報第一五號）　大正一三　一　一四、二　二八五　ハ
肉店　中村吉藏（現代戲曲全集第四卷ノ內）　大正一四　一　五二〇　二五
憎むべき組織よりも愛の宗教　新貝昇道　大正一〇　一　三八七　二四九
二科　大正一二至一四年　同會編　大正一二至一四　三　四三〇　七〇
二黄先生詩葺　支、楊嘉編（墨香移叢編ノ內）　一　一六三　八八
二科會畫集　石井柏亭編　大正六　一　八九八　一九八
二科會畫集　一九一八年　同會編　大正七　一　三七三　三〇
二科畫集　第一三回　石井柏亭編　大正一五　一　四一八　四五
二化蠶黑種（人工孵化）（蛻理）製造法　兵頭義幸　大正一五　一　三三七　四三三
二化性螟蟲驅除豫防指針　農商務省農務局編（病蟲害豫防奬勵要報第一號）　大正一二　一　五六三　三一
二化性螟蟲に關する調査豫報　大分縣立農事講習所編（同所）事業成績第八號）　大正一〇　一　一四、二　三六八　ロ
二化性冷藏蠶種の發生に關する調査　渡邊勘次（農商務省）蠶業試驗場彙報第九號ノ內　大正一一）　一　一四、二　三九九　イ
二月堂繪緣起　二卷（續群書類從第二七輯ノ下釋家部ノ內）　大正一五　八〇　三二
同　（大日本佛教全書第一二二冊ノ內）　大正四　三五三　一〇
二月堂供養式　元久三年正月晦日（大日本佛教全書第一二二冊ノ內）　大正一二　三五三　一〇
二化螟蟲　神奈川縣內務部編　大正二　一　三四四　二三六
二化螟蟲に對する藥及刈株處分成績　岡山縣內務部編　大正六（產業叢書第九編）　一　三三七　九〇六
尼乾經　泉芳璟譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第五卷ノ內）　大正一三　五一五　一〇四
尼乾子問無我義經　馬鳴集　宋、日稱等譯　論集部ノ內　大正一四）（大正新脩大藏經第三二卷　特　四四　三七四
同　八六　三九一　ろ
二國連壁談　平秩東作　（國書刊行會本新燕石十種第五ノ內）　大正二　三四三　四
二顧先生遺詩　清、顧杲、顧緒（古學彙刊第一編下ノ內　中華民國元）　一四四　五五
ニコ〳〵　同倶樂部發行　第一〇一號（大正八年一一月）至第一〇六號（大正九年四月）（「夢の世界」ノ改題）　二　雜　一三　イ　八
ニコニコ式强健法　伊藤銀月　大正五　一　六一　一九七
ニコニコ式處世法　牧野元次郎　大正四　一　三六〇　一四八
ニコニコ論語　牧野元次郎　大正五　一　三六〇　三四九

にごり江　樋口一葉（校訂一葉全集ノ內　明治四四）　七四　五六　ニ
同　（世界短篇小說大系日本篇上ノ內　大正一四）　五三〇　四五
耳根圓通法解說　片桐正雄　大正八　一　六一　二六六
耳根圓通法秘錄（身心解脫ノ一）　木原通德　再版　大正一二　一　六〇　三九四
耳根圓通法秘錄　木原通德　再版　大正六　一　六〇　三八
二三化性螟蟲　長崎縣立農事試驗場（近藤鐵馬）編　大正六　一　三三六　二六七
二三代御會記　寫本（茶道叢書第二三一冊）　一　八三三　一六六　〇
二三肉製品ノ生物學的反應試驗　佐藤廣胖（臺灣總督府研究所報告第四回ノ內　大正四）　一四、二　二八五
二、三ノ樹脂ヨリ石油ノ生成　川合諒治（東京工業試驗所報告第一八回第一號ノ內　大正一二）　一四、二　一一七　ロ
同　一四、二　一一七　ロ
二三ノ白絣絲狀菌ノ性狀ニ就テ　中澤亮治、小林德松（臺灣總督府研究所報告第五回ノ內　大正六）　一四、二　二八五
二三醱酵製品中 Bryptophol 及 Tyrasol の分布　平友垣（臺灣總督府中央研究所工業部報告第七號ノ內　大正一四）　一四、二　二八五　イ
虹（小一說）　ローレンス著　宮島新三郎等譯　大正一三　八四三頁　一　五二〇　一
同　一　五二三　二七〇　イ
西周傳　森鷗外（鷗外全集第七卷ノ內　大正一二）　特　五二〇　一　イ
同　一　五二〇　一

		冊	函	號
二時庵雜記之寫	寫本（茶道叢書第二四册）	一	八三	一七
西印度雜話	ラフカヂオ・ヘルン著　中村鐵太郎譯（英文學研究第五册ノ內　大正一三）	三	九〇	二四ィ
同		三	九〇	二四ィ
二週間	長與善郎　大正一一（金星堂名作叢書第一六）	一	三八九	七三
西臼杵郡勢概覽	宮崎縣同郡役所編　大正八	一	一四四	九八
西宇和郡の農業	愛媛縣同郡農會編　大正七	一	三七三	一八
西江原村史	河合健三　明治四五　九二頁	一	三二七	六五五
西尾總覽	岡本計吉編　大正五	一	三三九	六八八
西垣農學博士山田龍水社長製絲組合に關する講演集	埼玉縣入間郡養蠶組合聯合會編　大正九　三八頁	一	三九七	九〇
西河岸町記錄	寫本〔天保頃ノ同町記錄留ナリ〕	特一	二〇三	八五
西春日井郡誌	愛知縣同郡役所編　大正一二　六五六頁	一	五一九	四四
西勝原發電事業誌	犬伏節補編　大正一五（發電事業叢書第三）	一	五五五	二
西ヶ原叢書	青木嵩山堂發行　明治四五至大正六	帖一	四〇七	六八
西川祐信古代美人畫譜	水野磯次郎發行　大正二	四	七八	九五
第一〇卷	日本介殼蟲圖說　後編（桑名伊之吉）			
第一一卷	肥料要說（內山定一）			
第一二卷	學理實用野鼠驅除法（堀正太郎、卜藏梅之丞）			
第一三卷	新柑橘病害と豫防法（西田藤次）編			
同	第八、一一卷　訂四、五版　大正二、三	二	七八	九五ィ
第八卷	最近蔬菜園藝全書（喜田茂一郎）			

		冊	函	號
西ヶ原叢書	青木嵩山堂發行　第一、八卷　訂六、七版　大正四、五	二	七八	九五ロ
第一卷	肥料鑑定法（今關常次郎）			
西加茂郡誌	愛知縣同郡教育會編　大正一五	一	五五四	八六
西蒲原郡案內	附　遊覽案內　蒲原時報社編　大正三	一	三五〇	二八
錦	第一、二　錦盛會編　大正一一	二〇	四二六	四八
錦繪	豐國等畫	一	一四四	九八
錦繪	英泉等畫	別二帖	一〇〇	ゐ
錦繪	綜藝書院發行　第一號（大正六年五月）至第三五號（大正九年六月）	別一帖	九九	ゐ
錦繪（新聞ノ附錄）	芳年等畫〔一三一枚〕〔東京日々、報知新聞等ノ繪附錄ナリ〕	三	雜三	三
錦繪帖	豐國等畫	一帖	二三四	八五
錦繪帖	豐國等畫〔江戸風俗十二月等〕	別一帖	一〇五	ゐ
錦繪帖（慶應ノ頃）	芳員等畫　一〇六枚〔橫濱鈍宅之圖等〕	別二帖	四八	二〇
錦繪帖（長繪ノ一）	國貞、河鍋曉齋畫〔二枚ツバキ十二組〕	別一帖	四八	二
錦繪日本帝國史	第一　佐藤求太編	一帖	四〇八	七五
錦繪の改印の考證	一名　錦繪の發行年代推定法　石井研堂　大正九	一帖	二三四	八九
錦木	五卷（國書刊行會本江戸時代文藝資料第四ノ內　大正五）	一〇	一九五	二〇六
錦染瀧白糸	泉鏡花（鏡花全集第一四卷ノ內　大正一五）	四	五二〇	四四
同		四ィ	五二〇	四四
錦之裏（青樓畫の世界ノ一）	山東京傳（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ內　大正三）	ろ	四二〇	四九

		冊	函	號
西國東郡誌	地圖付　大分縣同郡編　大正一二	一	五一九	六五
西頸城郡鄉土史料	第二輯　鄉土研究會編　大正四	一	三四八	三三五
西久保氏武道訓	岡本學編　大正五	一	二一	四六三
二子新式布石講話	中川龜三郎　大正一二	二〇	一六三	八〇
西筑摩郡誌	長野縣同郡役所編　大正四　六六六頁	一	三四八	三一四
西陣織物詳說	寫本	特二〇	八三〇	六六
西陣研究	本庄榮治郎　大正三（法律學經濟學研究叢書第一五册）	一	七八	九六
西陣の栞	西陣織物業組合編　訂三版　大正四	一	三三九	五九五
西津輕郡誌	島川觀水編　大正五	一	三四八	三四二
西津輕郡統計書	大正元、二年　青森縣同郡役所編　大正二、三	二	一四四	五四ロ
西銚子町誌	根本直三編　大正七	一	三七三	九八
西成郡史	大阪府同郡役所編　大正四	二	三四八	二七〇
西日本開闢略志	藤野近昌編　大正一〇	一〇	一	四七八
西の人氣男	シング著　松村みね子譯（近代劇大系第九卷英及愛蘭篇ノ內　大正一三）	一	五一五	二六
同	（近代劇大系第九卷英及愛蘭篇ノ內　大正一四）	五一五		二六ィ
二十一代集	勅撰の略（後水尾院御撰）（列聖全集御撰集第六卷ノ內　大正六）	三二八		三七八
二十一房	秋田雨雀（現代戲曲全集第一四卷ノ內　大正一四）	五二〇		三五
二十九號室	モウパッサン著　安成四郎譯（モウパッサン全集第一〇卷ノ內　大正一〇）	三九〇		四一
二十五三味式	源信撰（大日本佛教全書第三一册ノ內　大正五）	一〇	一三五	一八四
廿五年	折井愚哉（太一郎）　大正一二	三五三		一〇
廿一世紀への道	武藤貞一　大正一一	一	五二五	一四
二十五番歌合	椙取魚彥自筆　寫本　一六枚	特一〇	八二七	九一
二十五フランの金	モウパッサン著　前田晁譯（モウパッサン全集第一四卷ノ內　大正一一）	三九〇		四一
二十一代集	第一　古今和歌集（紀友則等奉勅撰）後撰和歌集（坂上望城等奉勅撰）	一	五〇四	一三五
二十五菩薩物語	高瀨承厳　大正一一	一〇	五三九	五三

		冊	函	號
第二	拾遺和歌集後拾遺和歌集（藤原通俊奉勅撰）			
第三	金葉和歌集詞花和歌集（源俊頼奉勅撰）（藤原顯輔奉勅撰）			
第四	千載和歌集新古今和歌集（藤原俊成奉勅撰）（源通具等奉勅撰）			
第五	新勅撰和歌集續後撰和歌集續古今和歌集（藤原定家奉勅撰）（藤原爲家奉勅撰）（藤原爲家等奉勅撰）			
第六	續拾遺和歌集新後撰和歌集（藤原爲氏奉勅撰）（藤原爲世奉勅撰）			
第七	玉葉和歌集續千載和歌集（藤原爲兼奉勅撰）（藤原爲世奉勅撰）			
第八	續後拾遺和歌集（藤原爲藤、同爲定奉勅撰）			
第九	新千載和歌集新拾遺和歌集（藤原爲定奉勅撰）（藤原爲明奉勅撰）			
第一〇	新後拾遺和歌集新續古今和歌集（藤原爲遠奉勅撰）（飛鳥井雅世奉勅撰）			

廿歳前後主義　高島大圓（米峯）　大正六　一冊　函三六三　一四三
二十四好今様美人　（錦書）　豐國畫　特一〇　ゑ　九八
二十四の腦髓　ジョヴアンニ・パピニイ著　三浦逸雄譯　大正一三　一　五二三　二五七
二十四輩記　是心　一二卷（眞宗全書第三三卷ノ內　大正二）　二四六　七
二十四輩散在記　宗寶編（眞宗全書第三三卷ノ內　大正二）　二四六　七
二十四輩次第記　知空（眞宗全書第三三卷ノ內　大正二）　二四六　七
二十四輩名位　（常樂寺傳、乘恩傳）（眞宗全書第三三卷ノ內　大正二）　二四六　七
二十世紀　バアナアド・ショウ著　松居松葉譯　大正元　一　三三八　一二
廿世紀　同社發行　第一卷（大正三年八月）至第二卷（同四年四月）　雜五四　七七
二十世紀に於ける化學の進歩　眞島利行（最新理科講演集ノ內　大正一〇）　二八五　一五四
二十世紀ニ於ケル露國ノ使命　クロパトキン著　參謀本部譯　大正元　九六〇頁　一　三三三　三五七
廿世紀の大問題　小倉德太郎　大正二　一　三五〇　一三六
二十世紀之男女　坂本正雄　大正二　一　三三九　一七四
二十世紀は兒童の世界　エレン・ケー著　大村仁太郎解　訂三版　大正二　一　二五九　一六〇
廿大强健法（比較研究）　加藤美命　大正七　一　六一　二二九
廿大金錢活用法（比較研究）　加藤美命　大正九　一　三五五　一
二十年間の長野市　同市役所編　大正六　一　三五六　二九四
二十年間の八王子織物と織物同業組合　宮原倫路編　大正九　一　三九三　一〇三

廿年後　アレキサンドル・デユーマ（父）著　福永渙譯　大正八　一冊　函二七一　一八八
二十年實驗鶏飼養法　赤木顯次、足澤勉　大正七　一　二八六　三一
二十年前の回顧　日英同盟の効力　西師意　大正一〇　一　三五三　二三四
二十八歳の耶蘇　武者小路實篤（現代戲曲全集第七卷ノ內　大正一四）　二四六　七
二十名士理想の青年の觀たる　福原元編　明治四五　五二〇　三五
二十唯識論解說（藏漢和譯對校）　明石惠達　大正一五　一　三三三　二三六
二十四時間と僕の生き方　島村抱月（抱月全集第八卷ノ內　大正九）　一　五九九　一〇
廿六人と一人　ゴーリキー著　野尻正英譯　大正二　一　三七九　一
廿六人と一人　（海外文藝叢書第六編）　一　三四〇　二五
西へ西へ　原文次郎　大正七　一　三五四　九九
〔西本願寺大谷家御藏器〕目錄　同家發行　大正二　一　三四二　四三
西松浦郡誌　長崎縣同郡役所編　大正一〇　七二八頁　一　三九八　五八
西丸元日引太刀相勤候節之留　寫本（堀大和守同石見守留書第一〇）　帖一　二五八　五九
西丸上下京之御披露并御諸初吳服渡助番之留　寫本（堀大和守同石見守留書第一〇）　帖一　二五八　五九
西丸席々被仰合繪圖寫　寫本（堀大和守同石見守留書第一五）　帖一　二五八　五九
西都原古墳調査報告　宮崎縣編　大正四　一　三三六　九〇
西牟婁郡の林業　附林野法規　和歌山縣山林會同郡委員部編　大正一二　一　五一三　一〇五
西諸縣郡史蹟名勝誌　宮崎縣同郡役所編　大正一〇　一　二九三　二八八
西山淸寫眞畫集　西山淸（アルス藝術寫眞畫集第二編）　大正一五　一　三三七　四二〇

西山拙齋傳　花田一重　大正九　一　二九七　五六
同　訂再版　大正一一　一　二九七　五六イ
西山物語　建部綾足（婦人文庫第九回小說ノ內　大正三）　三四〇　三七り
二種深信要決　太藤順海　大正五　一　三三四　五〇三
二種深信弊帚記　南條文雄編　大正八　一　一八六　三五二
二松學舍講義錄（漢學專門）　二松學舍發行　第一號（大正一二年四月）ヨリ　雜五　二六
二衝程機關　福原達三譯　大正九　一　三八五　二一三
二食主義者　岩野泡鳴（泡鳴全集第七卷ノ內　大正一〇）　五〇〇　一
二所太神宮正員禰宜轉補次第記　（續群書類從第四輯ノ上補任部ノ內）　八〇　三二ロ
二十五菩薩來迎圖　（第一報）　再版　大正一五）　辻本滿丸（東京工業試驗所報告第二一回第六號ノ內　大正一五）　一四二　一七
二千五百年史　竹越與三郎　訂補　大正五　一　七三　八六ヘ
同　六版　大正一三　一　七三　八六ト
二千六百年史　廣野藤吉　大正一四　一　五三三　一三六
尼僧　長田幹彥（幹彥全集第一卷ノ內　大正一一）　五〇〇　五一
尼僧光珠　長田幹彥（幹彥全集第三卷ノ內　大正一一）　五〇〇　五一
尼僧の懺悔　メタアリンク著　宮崎小八郎譯　大正一四　一　五四四　一六六
尼僧ベアトリス聖傳　ノヂエ著　岡野かほる譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇上ノ內　大正一五）　五二〇　四五
尼僧ベアトリス　マアテルリンク著　岡野薰譯（世界童話大系第二〇卷童話劇篇二ノ內　大正一三）　五二〇　一〇
二祖他阿上人法語重校決疑錄　（大日本佛教全書第六七冊ノ內　大正五）　三五三　一〇
二尊院緣起　（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）　八〇　二二

ニジンスキイの舞踊藝術　ウイツトウオース著　馬場二郎譯　大正一三　一　五二一　八〇
ニセアカシア樹の研究　鹿島淸三郎　大正一二　一　五二一　三一
僞金　尾崎紅葉（尾崎紅葉全集第二卷ノ內　大正一五）　五四八　一七
贋金　ヅッコリ著　岩崎純孝譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）　五二〇　四五
僞せ通譯　ベルナール著　大關柊郎譯（現代佛蘭西戲曲傑作叢書第二編ノ內　大正一二）　五〇五　四四
二世の契　泉鏡花（鏡花全集第五卷ノ內　大正一五）　五二〇　四四
同　一　三八五　二一三　五〇〇　四四イ
贋物　葛西善藏（新興文藝叢書第一八編）　一　三一　五五五
贋せ利札　トルストイ著　宮原晃一郎譯（トルストイ全集第一二卷ノ內　大正八）　三九〇　三九
贋金使　ユーゴー著　黒岩涙香譯　大正一一　一　七三　八六ヘ
贋金使　ユーゴー著　黒岩涙香譯　大正一一　一　七三　八六ト
贋作の研究　ウヰルヘルム・ボーデ著　大村仁太郎譯　大正一一　一　五三三　一三六
贋物　長田幹彥（幹彥全集第一卷ノ內　大正一一）　五〇〇　五一

		冊	函	號
二尊院緣起	（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ內 大正一四）	八〇	三二	イ
二尊院緣起	（大日本佛教全書第一一七册ノ內 大正二）	一	三五三	一〇
二代源氏譽身換	河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一三卷ノ內 大正一〇）	一	三九〇	二
同	（默阿彌全集第一四卷ノ內 大正一四）	一	五二七	四三
二代目歌川豐國論（豐重ノ改）	七戸吉三 大正一五	一〇	一六六	三五八
荷寶藏壁のむだ書	國芳畫	四枚	別七	一〇九
似たる元素	小川正孝（最新理科講演集ノ內 大正一〇）	一	三五五	一五四
日墺匈貿易ノ概況（一九一一年ニ於ケルー）	農商務省商工局編 大正二（商務彙纂第二一號）	一	三三七	一一〇
日奧聖人御消息集	天 花房日秀編 大正一〇 三五枚	一	二	四二
日亞貿易ノ概況（一九一一年ニ於ケルー）	農商務省商務局編 大正二（商務彙纂第一八號）	一	三三七	一二〇
日域洞上諸祖傳	自澄撰 二卷（大日本佛教全書第一一〇册ノ內 大正三）	一	三五三	一〇
日伊貿易ノ概況（一九一二年ニ於ケルー）	農商務省商工局編 大正三（商工彙纂第二五號）	一	三三七	一二〇
日印會話捷徑	廣瀨了乘 大正六	一	三三三	二四七
日印協會々報	同會發行 第一七號（大正五年二月）ヨリ		雜 二	一六三
日印貿易概況（明治四十四年ー）	農商務省商務局編 明治四五 四〇頁	一	一四、二	ロ 六三
日印貿易ノ概況（一九一三年ニ於ケルー）	農商務省商工局編 大正四（商工彙纂第三六號）	一	三三七	一三〇
日印貿易の犧牲者青年松倉乾二	花岡敏夫編 大正七	一	三七六	一七三
同	補再版 大正八	一	三七六	イ 一七二

		冊	函	號
二重國籍者の詩	野口米次郎 大正一〇	一	三一一	二七
二重國籍問題の法的研究	吉田公重 大正二	一	三三九	三〇三
二重牧益森林利用法	高田功 大正九	一	三六〇	六四
二重人格	ドストエーフスキイ著 永島直昭譯（ドストエーフスキイ全集第八） 大正九	一	三一	七五三
同	ドストエフスキー著 春秋社譯（ドストエフスキー全集第二卷ノ內 大正一五）	三七五	四七	イ
二重生活	河東碧梧桐 大正二三（改造社隨筆叢書第六號）	一	五二七	三三
二重政府と帷幄上奏	吉野作造 大正一一	一	五〇二	一三六
二重電話用中繼線輪の改良に就て	上田德太郎（電氣試驗所第二部研究會講演集ノ內 大正三）	三三七	二〇一	
二重電話用中繼線輪の改良に就て	利根川守三郎等（電氣試驗所第二部研究報告第四號 明治四四）	一四五	六	
二重の園	マーテルリンク著 鷲尾浩譯（マーテルリンク全集第三卷ノ內 大正一〇）	三五〇	五一	
二中歷	寫本（小杉榲邨ノ前田本ヨリ摸寫セルモノ）	特七	八三〇	三五
日英會話（プレサイスー）	山川作次郎、フェルプス 大正一三	一	三三三	五六〇
日英新誌	同社發行 第四卷第三四號（大正七年九月）ヨリ		雜 五六	四二
日英同盟協約は結局空文歟	讀賣新聞社編 二六頁	一	三九三	二八
日英博覽會事務局事務報告	農商務省編 明治四五	二	三三一	一〇三
日英米の現狀と帝國の將來	島屋政一 大正一一	一	五〇二	一〇七
日英米佛度量衡貨幣換算對數表	秋山恒三郎編 大正一三	一	五二一	一七

		冊	函	號
日英貿易ノ概況（一九一二年ニ於ケルー）	農商務省商務局發行 大正二（商務彙纂第一三號）	一	三三七	一三〇
日英貿易ノ過去及現在	農商務省商務局編 大正一一	一	三七八	三五〇
日曜講話	水上瀧太郎（阿部章藏） 大正九	一	五〇一	一六四
日曜學校幼稚科教科書	第一編 日本日曜學校協會編 大正四	一	三六〇	一三三
同	第二編	一	三三九	六二
日曜學校音樂	津川主一 大正一四（宗教教育研究叢書第七編）	一	二八五	六
日曜學校講習會講義錄	多田澄圓編 大正五至八	一	二八五	一七
第一回	兒童の身體及精神の發達（富士川游）兒童の身體及精神の發達（同）釋尊の布教と其精神の衞生（松本文三郎）宗教教育（園田宗惠）兒童教授法（鹽見靜一）米國日曜學校の一班とお伽噺の話方及構成法（岸邊福雄）お伽噺孝子甚吉（同）	二	二	二
日曜學校教授法	オリヴア著 賀川豐彥譯 大正四	一	三三五	三五〇
日曜學校教話資料	北村勳 大正一四	一	二八五	二七
日曜學校研究	本派本願寺學務部發行 第一一卷（大正一一年八月）ヨリ（「日曜教園」ノ改題）		雜 一	八
日曜學校初等科教科書	第一年 日本日曜學校協會編 大正七	一	二八五	七
日曜學校叢書	日曜學校研究社發行 大正一一	一	二八五	二四
第一編	お噺の研究（藤田湛水編）	七	三三五	三九四
日曜學校叢書	日本日曜學校協會發行 大正五至一三			
第一編	講話兒童心理（柳原貞次郎）			
第二編	日曜學校の諸問題（海老澤亮）			
第三編	教育的心理學（柳原貞次郎）			
第四編	舊約聖書總論（ムーア著 赤星仙太譯）			
第五編	基督傳授法（パクレイ著 同譯）			
第四回	現代と信仰（西谷順誓）教育者の精神的要素（羽溪了諦）廣義に於ける教育の刷新（北畠貞顯）日曜學校經營に就て（鹽見靜一）童話の心理と其教育（久保良英）お話の理論及び實際（天野雉彥）青年の指導（巖西眞乘）孝子儀兵衞に就て（鈴木岩人）手工科（池田榮三郎）讃佛歌遊戲（大城千代）體操科に就て（高賀利劍）お伽噺金角大王（天野雉彥）史談仔細の注意（岩井藍水）若樣初陣（天野雉彥）	一	二八五	一七
日曜學校管理法	海老澤亮 大正一三（宗教教育研究叢書第五編）	一	二八五	二三
日曜學校教案	神根惣生 大正一一	一	二八五	一一
日曜學校教案	本派本願寺學務部發行 大正九	一	二八五	一二
第一號	釋迦牟尼如來（稻田龍省編）			
日曜學校教授法	オリヴア著 賀川豐彥譯 大正四	一	三三五	三五〇
日曜學校教話資料	北村勳 大正一四	一	二八五	二七
日曜學校研究	本派本願寺學務部發行 第一一卷（大正一一年八月）ヨリ（「日曜教園」ノ改題）		雜 一	八
日曜學校初等科教科書	第一年 日本日曜學校協會編 大正七	一	二八五	七
日曜學校叢書	日曜學校研究社發行 大正一一	一	二八五	二四
第一編	お噺の研究（藤田湛水編）	七	三三五	三九四
日曜學校叢書	日本日曜學校協會發行 大正五至一三			
第一編	講話兒童心理（柳原貞次郎）			
第二編	日曜學校の諸問題（海老澤亮）			
第三編	教育的心理學（柳原貞次郎）			
第四編	舊約聖書總論（ムーア著 赤星仙太譯）			
第五編	基督傳授法（パクレイ著 同譯）			

		冊	函	號
第六編	教會學校宗教々育史（海老澤亮）	一	二八五	八
第七編	日曜學校青年團（コールマン）			
日曜學校中等科教科書 第一年	日本日曜學校協會編 大正七	一	二八五	一五
日曜學校提要	岸興詳編 大正九	一	二八五	一二
日曜學校と社會奉仕	コールマン 大正九			
日曜學校に應用したる兒童心理	谷津善次郎 大正一四（宗教教育研究叢書第八編）	一	二八五	一七
日曜學校の經營	竹中慧照 大正七	一	二八五	四
日曜學校の經營	長岡慶信 大正九（傳道叢書第四篇）	一	三九〇	二八
日曜教園	本派本願寺學務部發行 第八（大正八年九月）至一一卷（同一一年七月）（第一一卷（大正一一年八月）ヨリ「日曜學校研究」ト改題）	四	雜 一	八
日曜の遠足	田山花袋（花袋全集第五卷ノ内 大正一二）	五一五	三六	
日曜日	ストウエルス著 小山内薫譯 小國現代短篇集ノ内 大正一四（世界短篇小説大系）	五三〇	四五	
日曜日の散歩	モウパッサン著 前田晁譯 大正七	一	三一	六六四
日向記	加藤文男編 大正四（「御義口傳」ト合綴）	一	三七	三九
日濠貿易ノ概況（一九二一年ニ於ケル）	農商務省商務局發行 大正一二（商務彙纂第一一號）	一	三三七	二〇
日經上人（不惜身命）	野口日主 三版 大正八	一〇	六	三六七
日銀總裁講演集	鵜野久吾編 大正一四	一	五二	二八四
日溪詠錄	洪霖（眞宗全書第四八卷ノ内 大正三）	一	三四六	七
日語類解	金澤庄三郎編 明治四五	一	三三	八三
日像門家分散之由來記	（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一四）			
日什御一期間記	日戒（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一〇）			
日什御奏聞記錄	日穆（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一〇）			
日什聖人御由來之事	宗尊（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一〇）			
日什上人集	日什（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一〇）			
日什聖人朝夕勤行掟事	日叡（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一〇）			
日什名相本地之口決	日叡（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一〇）			
日什門徒建立由緒	宗尊（日蓮宗宗學全書ノ内 大正一〇）			
日常衞生家庭顧問 ころばぬ先の杖	（一名醫者と藥）杉田知堂（半可）等 大正四	一	六一	一六九
日常衞生と傳染病豫防心得	大日本國民教育會編 補四版 大正九	一	六一	二八七
日常衞生若き婦人の心得	吉岡彌生 大正六	一	五六	一三二
日常周易詳解	田畑大有 大正一一	一	五〇三	一六一
日常應用獨逸語接頭辭	オット・ヘルフリッチュ、生田巖太郎 大正三	一	三三	七一
日常婦人之相談相手	平野喜代子編 大正六	一	三六一	一七三
日常科學の話	小林鶯里（國民叢書ノ内） 大正一三	一	五一五	九九の
日常化學問答	石川縣教育會編 大正一〇	一	四七	五四一
日常活用机上百科寶典	小堀龍二、中尾信紀知編 大正九	一	三七四	四七
日常經濟の心得	東郷昌武 大正八	一	三八六	八四
日常外科手術附鑑別診斷	三輪德寬、松井基一 大正八	一	五四	六三
日常法律債權取立法	石角春洋 大正八	一	一八六	二五九
日常法律辯護士いらず	伊藤悌堂 大正一三	一	三三九	四六一
日常物語問答	石川縣教育會編 大正六	一	二八一	一
日親上人德行記	日圀（原著 鷲尾順敬等註 一二卷（國文東方佛教叢書第五卷傳記部上ノ内 大正一四）	一	三八六	七三
日西會話南米渡航の鍵	富田謙一編 大正三	一	五四七	六四
日騎獨兵操典對照義解	軍事學指針社發行 明治四五	一	三七一	一五一
日獨經濟提携の必要なる所以	フリッツ・ハーバー著 大正一四（「ヴヰクトル・レオンチヴヰッチ・コップ著「ソヴェート聯邦の三大經濟政策」ト合綴）	一	五五四	一〇八
日獨國民性の比較	野田義夫（最近思潮教育冬季講習錄 大正三年度ノ内 大正三）	一	三八六	二八
日獨戰役小敵大敵	澁川玄耳（「日露戰役從軍三年」ト合綴）	一	三三九	六三
日獨貿易ノ概況（一九二一年ニ於ケル）	農商務省商工局編 大正三（商工彙纂第二四號）	一	五一六	一一三
日獨露佛四國戰闘原則對照	講兵會編 大正三	一	三一五	四三
日南集	福本日南（誠） 三版 明治四四	一	三六二	一二四
日日作例俳句と文章	中内蝶二（義一）編 大正七	一	五五四	三七九
日日聖觀	梶康郎編 大正八	一	二六七	六〇
日々纖度總平均早見表（製絲家必携）	高坂周一 大正五	一	三三三	四七
日々に應用する禮儀作法	小泉迂外（濟三郎） 大正六	一	三六三	二九
日々の慰安（諷刺滑稽趣味修養）	加藤美侖編 大正一五	一	五三六	二〇二
日日の衞生講話（健康保全）	伊藤尚賢 大正一五	一	六一	三五九
日乘七種	土居通豫 大正八	一	一八六	二五九
日常人事顧問	改正諸届書の書き方 竹之内文雄編 大正三	一	三三九	四六一
日常生活界之理化智囊	倉林源四郎、大森乙五郎 大正八	一	二八一	一
日常災害防止法	災害防止調査會編 大正八	一	三八六	七三
日常常識の科學	柵山茂三郎 大正一四	一	五四七	六四
日常生活と有らゆる產業に及ぼす毒のはたらき	鈴木千代吉 大正七	一	三七一	一五一
日常生活と電氣	森兵吾 大正一五	一	五六四	一五
日常生活と民法	三淵忠彦 大正一五	一	五四六	一〇八
日常生活の改造	太田梅子 大正九	一	三八六	二八
日常生活の化學	富永齊 大正四	一	三三九	六三
日常叢書	九段書房發行 大正一二	三	五一五	四三
第一編	法律萬解辭典 親族編（石角春之助）	一	五一六	一一三
第二編	同 相續編（同）	一	三七一	一五一
第三編	同 物權法 借地借家法（同）	一	五六四	一五
日常の化學（兒童の疑問ニ）	堀七藏 大正二	一	二五九	二七八
同 修一八版	大正一四	一	二五九	二七八 イ
日常の作法（知つて置くべきニ）	長谷川喜努子 大正八	一	三八八	一〇〇
日常の法律（民法講義）	上、下卷 國民大學會編 大正三、六	二	三四六	一六
日常是丈は心得おくべし法律	加藤美侖 大正八（實用叢書第二一編）	一	三七五	二六

日日の修養 三百六十五日　櫻井安定　大正九　一　三八　一九〇

日々の麵麭　ルナアル著　岸田國士譯　叢書劇の部第三編ノ内（フランス文學の大正一四）　一　五二九　四八

日日の論語　大野佐吉、井上宗助　大正八　一　三七六　二六四

日年印存　初、二編　楠瀬恂　一　三二七　一七七

日白貿易ノ概況（一九二一年ニ於ケル）　農商務省商務局編　大正二（商務彙纂第一九號）　一　三二七　一二〇

日佛貿易ノ概況（一九二一年ニ於ケル）　農商務省商工局編　大正二（商務彙纂第一六號）　一　三三七　一二〇

日米一戰論（一名 無識の恐怖）　川島清次郎　大正一四　一　五二五　八四

日米開戰　夢物語　國民軍事協會　大正二　一　三二九　一八二

同　附錄 全歐洲大亂の眞相　四版　大正三　一　三二九　一八二

日米外交史　一八五三—一九二一年　村川堅固譯　大正一一　トリート著　一　三九八　八一

日米會話　醫者と病人　宮木惠雲　大正三　一　六〇　四一三

日米關係の過去及將來　山田三良　大正一三（新國是の提唱ノ内）　一　五二三　一二五

日米教育時言　菊池大麓　大正二　一　二五三　一二〇

日米協會彙報　同會發行　大正七　一　一四五　一六

第一號　日米通商關係（ラッター著　日米協會譯）

日米協約に就て　末廣重雄（京都經濟會講演集第六號ノ内）　大正七

日米國際紀要　大日本文明協會編　大正一三　三七二　五五

日米國際紀要　中外產業調查會編　大正一四　一　三九〇　七九

日米衝突の必至と國民の覺悟　上杉愼吉　大正一三　一　五三〇　一五四

日米針葉樹材ノ耐朽比較試驗　北島君三（農商務省林業試驗場彙報第一三號ノ内）　大正一三　一　五三五　一〇

日米船鐵交換同盟史　同同盟會編　大正一〇　一　三六八　九六

日米戰はず　稻垣守克　大正一〇　二八頁

日米住所錄　一九一九至一九二三、一九二五、一九二六年　日米新聞社編　大正八至一四　一　三九三　一八七

日米通商關係　ラッター著　日米協會譯（日米協會彙報第一號）　大正七　七　一四四　一九四

日米年鑑　第一、二號　產業號　日米新聞社發行　大正七　一　一四五　一六

日米の親善（飛行機の持ち來りたる）　渡邊一英編　大正五　一　一四四　一九四

日米の石油業　矢島吉造　大正三　一　三三二　一一三

日米は戰爭？　附 支那の日貨排斥事情　藤原俊雄　大正一三　一　三六〇　四一

日米非戰論　浮田和民、渡邊金三　大正一四　一　五三三　一二六

日米皮肉哲學　山崎露川　大正一〇　一　三一五　一七八

日米貿易關係　紐谷定治郎（印度洋講演集ノ内　大正一〇）　一　三六〇　二五四

日米貿易ノ概況（一九一一年ニ於ケル）　農商務省商務局發行　大正二（商務彙纂第一二號）　三八七　二一二

日米若し開戰せば　大戸龍川（憑勝）　大正三　一　三三七　一二〇

同　一　三五〇　三五四

日米若し戰はば　佐藤鋼次郎　大正九　一　三五〇　三五四イ

同　一　三二八　四四五

日米若し戰はゞ　田村昌一郎　大正一五　一　三一八　四四五イ

日米問題　ジエームス・フランシス・アボット著　小島幸治譯　大正七（大日本文明協會刊行書第二五卷）　一　五四六　一九二

日米問題　シドニー・ギユリック著　栗原基譯　大正四　一　三五五　三一ロ

日米問題　米田實（時局問題批判ノ内　大正一三）　一　五三　七八

日米問題嚴正批判　アレクサンダー・バウエル著　世界思潮研究會譯　大正一一　三七頁　一　三九三　三三三

日米問題實力解決策　大石捨一　大正五　一　三五九　四八

日米問題と世界の平和　添田壽一（新國是の提唱ノ内　大正一三）　五二三　一三五

日米問題裏面史　樋口麗陽　大正九　一　三九四　六

日米兩國の紛爭問題　（クター・シー・バイウォーター著　小山精一郎譯）　大正一〇　三六頁　一　三九三　三三三

日墨貿易ノ概況（一九二一年ニ於ケル）　農商務省商務局發行　大正二（商務彙纂第一四號）　一　三三七　一二〇

日沒時曲線圖　地方平時　水路部製　大正七　一枚　一一　五一四

日馬會話捷徑　家田溝　大正五　一　三三三　一九五

二張弓千種重籐　河竹默阿彌（默阿彌全集第二四卷ノ内　大正一五）　五二七　四三

日用要方　津山義直寫　寫本　一　一五五　一一九　一〇

日用化學の常識　松島種美　大正一四　一　五四一　七

日用食物撰擇法　岡田文祥堂編　大正五　一　三七　四九四

日用舊曆の栞　曆術研究會　大正三　一　三三九　四五一

新舊曆の栞　日用生活家庭重寶　大正八（實用叢書第四編）　一　三七五　二六

日用是丈は心得おくべし　加藤美喻　大正八　一　三八八　六〇

日用智識の活用（すぐ役に立つ）　深尾韶　大正八　一　五六四　一二〇

日用地文學の常識　松島種美　大正一五　一　三五六　二八

日用致富要義　小池澄三　大正五

日用電氣學講話　日本電氣講習會編　大正一四　一　五四一　四三

日用電氣學の常識　關口定伸　大正一一　一　三八五　二三一

日用天文學の常識　松島種美　大正一四　一　五四一　三六

日用法律顧問　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第二〇）　大正六　一　三五五　八四

日用法律何んでも判る　机上辯護士　附 心得置くべき百般法律精解　中澤陽堂　大正一三　一　五三五　二三

日用品の使ひ方　野中正　大正一一（家庭經濟叢書第三編）　一　五〇五　二五

日用品の見別け方　東京市役所商工課編　大正一四　一　五四一　八一

日用品の見分け方　野中正　大正一一（家庭經濟叢書第一編）　一　五〇五　二五

日用物理學講義　前、後編　近藤耕藏　大正六、九　二　四六　一七三

日用便覽　第九至一六、一八次　大正六至一三、一五年　朝鮮總督府觀測所編　大正五至一四　九　一四六ニ　一四八

日用名家の手紙（實例）　模範　桑田正編　大正五　一　三五七　一六九

日用文字便覽　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第三八）　大正七　一　三五五　八四

日朗上人御傳　大光山振教會　大正七　一　三七三　二一一

日朗尊者正傳　加藤文雄編　大正八　一　三七三　二八七

日蘭三百年の親交　村上直次郎（日本と和蘭ノ内　大正三）　增　三五九　五

同　（日本と和蘭ノ内　大正三）　訂再版（日本と和蘭ノ内　大正四）　三五九　五イ

同　日隆聖人全集（原文、對譯）　同刊行會編　大正一四、一五　三　三五〇　四九

第一卷　法華宗本門弘經抄　第一至一〇條目

第二卷　同　第一二至二〇條目

		冊	函	號
日輪	前、後編 三上於菟吉 大正一五	二	五一七	三八
日輪	横光利一 大正一三 （文藝春秋叢書第二）	一	五二七	二五
日蓮	中西伊之助 （人生論十二講ノ内 大正一四）		五二八	二八
日蓮	本山荻舟 大正一一	一	三二四	六六四
同	大正一四	一	三二四	六七一
日蓮（小說）	半井桃水 大正五	一	三五七	一五八
日蓮一代記（實說）	村田勝太郎 大正二	一	三三九	一九〇
日蓮遺文	新修養の道 井上惠宏 大正九	一	三八七	二二八
日蓮教義の新見解	森川博祐 大正一四	一	五三三	三一
同		一	五三三	三二
日蓮鑽仰	天晴會講演錄 第三輯 同會編 大正四	一	三二四	一六五

十界十如（姉崎正治）
日蓮主義の使命（本多日生）
鎌倉の役と日蓮聖人（小原正恒）
日蓮主義と感化事業（松森靈運）
近代思潮と日蓮主義（小林一郎）
祖書の側面的研究（山根日東）
リチヤード博士の法華經觀（柴田一能）
ジヤンヌ・ダルクに就て（宮作元八）
南無妙法蓮華經（井府日成）
自力と他力（脇田堯惇）
唯我獨尊（小島存省）
奮鬪主義（石橋甫）
建設（筧克彥）
法國冥合（佐藤鐵太郎）
況滅度後（笹川臨風）
世界統一の理想（小林一郎）
正法の權威（山田三郎）
予廟副刀（本多日生）
本佛とは何ぞ（野口日主）
根柢と努力と理想（姉崎正治）
予の觀たる日蓮聖人（佐藤鐵太郎）

儒佛一如（石田羊一郎）
宗教上の所感（淨田和民）

日蓮宗要義 風間隨學（現代佛教研究ノ内 大正七） 三三四 五六四
日蓮宗講義錄 第一卷 本化聖教學會編 大正六 一 三三四 五三六
日蓮宗高僧傳 菱沼哲之介 大正元 一 三三四 三一六
日蓮宗教義大意 磯野本精 大正三 一 三三四 三七五
日蓮宗宗學全書 同刊行會發行 大正一〇至一五 一六 三五三 三〇

い 金綱集（日向）
乾 華嚴宗見聞
小乘三宗見聞
方等之事
淨土宗見聞
眞言宗見聞
坤 禪見聞
法相宗見聞
三論宗見聞
法華經之事
眞言見聞

ろ 興門集（日目等）
興尊全集（日興）

は 本門法華宗部 第一
私新抄 二卷（日隆）
十三問答抄 二卷（同）

は 同 第二
臺當異（日深）
密鈔 二卷（日朝）
觀心本尊鈔見聞（日忠）
體內本迹勝劣義（日憲）
正助合行杖記（同）
即身成佛名字口唱訣 二卷（同）
本迹研窮鈔（日成）
研究鈔別記（同）
本迹境智論 三卷（日耕）

に 顯本法華宗部 第一
日什上人集（日什）
日什御奏聞記錄（日穆）
門徒古事（日運）
日什門徒建立由緒（宗尊）
日什聖人御由來之事（同）
日什名相本地之口決（日叡）

と 本妙法華宗部 第二
改正眞流正傳鈔 卷五、六（日壽）
宗要活套集（日修）
一經讀否之論（日雄）
佛像造不之論（同）
改正文底義（日東）

ち 本門宗部
開迹顯本法華二論義得意鈔六卷（日辰）
造佛論義（同）
讀誦論義（同）

り 不受不施講門派ノ部
守正護國章 二卷（日講）
破鳶記 二卷（同）
破鳥賊論（同）
三田問答詰難（同）
寢語問答（同）
堯了狀能破條目（同）
說默日課（同）

ぬ 史傳舊記部
傳燈抄（日親）
當門從繼大第（日晴）
平賀本土寺繼圖次第（同）
與中山淨光院書（日住）
日像門家分散之由來記
書置之事（日現）
與本土寺大衆書（同）
與正住院日進書（日現）
當家諸門流繼圖之事
御書略註

を 法華宗部
選要略記（日陣）
本迹同異決（同）
本迹二經淺深相理淺深事（同）
本迹二經淺深事（同）
陣師御談聞書（同）
日信
內證傳法記抄（同）
彼岸鈔見聞（同）
本尊問答鈔私見聞
今此三界合文事
神國王鈔私見聞
唱法華題目鈔事
顯謗法鈔私見聞 上、下
月水鈔私見聞
題目彌陀名號勝劣事
諫暁八幡事私見聞
略八幡鈔事
十法界明因果鈔
一代大意鈔見聞
三世諸佛總勘文事

へ 日蓮正宗部
六卷抄（日寬）
觀心本尊鈔文段 上、下卷（同）
寬記撮要 上、下卷（同）

と 本妙法華宗部 第一
改正眞流正傳鈔 卷一至四（日壽）

高師之部　一　三三四　四一六
位師之部
秀師之部
辨師之部
法師之部
目師之部
天目師之部
春師之部
富木常忍氏之部
大田乘明氏之部
波木井實長氏之部　附　長義、長氏
像師之部
輪師之部
善師之部
傳師之部
澄師之部
印師之部
進師之部
祐師之部
忍師之部

日蓮宗史要　磯野本精　大正三　一　三三四　四一六

日蓮宗聖典　柴田一能、山田一英編　明治四五　一　二九　四〇三

日蓮宗全書　同出版會發行　明治四五至大正五　二一　二四六　二〇二

論述部
　艸山集　（日政）
註疏部
　錄內拾遺　（日好撰）　上、中、下
　御書鈔　（日健等講）
　祖書錄外考文　二卷　（日耀編）
　祖書錄外徵考　二卷　（日好編）　日薰刪定）
　錄內啓蒙　第二至七　（日講）
　御書註　上、下卷　（承慧、圓智）
本典部
　日蓮聖人全集　（日蓮撰）
　卷一ノ上　祖書錄內
　立正安國論　開目鈔　二卷
　撰時鈔　二卷
　報恩鈔　二卷
　觀心本尊鈔
　法華要鈔
　本尊問答鈔
　守護國家論
　卷一ノ下　祖書錄內

法華題目鈔
唱法華題目鈔
顯謗法鈔
一代大意鈔
顯立正意鈔
妙法比丘尼御返事
佐渡御勘氣鈔
乙御前御消息
三世諸佛總勘文教相廢立
始開佛乘義
法蓮慈父十三年供養法華經文字成生身佛事
兄弟鈔
十法界明因果鈔
祈禱鈔
四條金吾許御文
四信五品鈔
法華行者值難事
同追申
寺泊御書
眞言諸宗異目
日蓮弟子檀那等御中
轉重輕受法門
有智弘正法事
諸經與法華經難易事
忘持經事
怨敵大陣既破事
主君耳入此法門免與同罪事
爲法華經不可惜所領事
四條金吾殿御返事　（所領給由）
身延山御書
單衣鈔
中興入道消息
月水御書
題目彌陀名號勝劣事
三三藏祈雨事
祈禱鈔奧
三澤鈔
淨蓮房御書
崇峻天皇御書
梵音聲御書
日妙御書
千日尼御前御書　（書扇書）
千日尼御前御書　（千日單衣書）
佐渡阿佛房御書
南條兵衞七郎殿御書
光日房御書　（上野殿御書）
卷二ノ上　祖書錄內
持法華問答抄
秋元御書

妙一女御返事
法華初心成佛抄　（雞疑書）
南條兵衞七郎殿御書
聖人御難事
阿彌陀堂法印祈雨事
慈覺大師事
當體義抄
如說修行抄
本尊供養御書
種々御振舞御書
災難對治抄
秀句十勝事
太田門許御書
教機時國抄
一昨日御書
下山御消息
諫暁八幡抄
顯佛未來記
後五百歲合文
實報無盡法重事
十如是事
妙法曼荼羅供養事
聖人知三世事
四條金吾釋迦佛供養
日眼女造立釋迦佛供養事
道場神守行者事
治病大小權實異目
賴基陳狀
良實狀御返事
宿谷入道許狀
立正安國論奧書
强仁狀御返事
善無畏抄
太田殿許御書
本門戒體抄
十章抄
卷二ノ下　祖書錄內
法門可被申樣之事
時可存知事
問註之
木繪二像開眼事
阿佛房消息
富木入道殿御返事
不可親近誇法者事
大學三郎殿御返事
時光御返事
妙法尼御前御書　（治部房書）
上野殿御返事　（弘安三年）
上野殿御返事　（法要書）

上野殿御返事　（鹽一駄書）
南條殿御返事　（南條大藤太郎抄）
藥王品得意抄
清澄寺大衆中
波木井殿御報
太田殿女房御返事
御書得道有無御書
爾前無間地獄事
十法界事
松野殿後家尼御前御返事
王舍城事
法華眞言勝劣事
眞言天台勝劣事
一谷入道御書
南條殿御返事　（春始書）
上野殿御返事　（弘安二年）
上野殿御返事　（二菅書）
高橋入道殿御返事
一念三千理事
新池殿御消息
念佛者令追放宣旨教書集列五篇勘文狀
眞言見聞
曾谷殿御返事
眞間釋迦佛御供養逐狀
行敏訴狀之會通
立正觀抄　送狀
祈禱經送狀
太田殿女房御返事
乘明聖人御返事
太田殿女房御返事　（卽身成佛事）
爾前二乘菩薩不作佛事
四條金吾殿女房御返事
戒體卽身成佛義
兵衞志殿御返事
觀心本尊得意抄　（富木殿御返事）
四條金吾御書
異體同心事
四條金吾殿御返事　（告誡書）
四恩抄
聖密房御書
地引御書
卷三ノ上　祖書錄外
聖愚問答抄
必假心固神守則强御書
四條金吾殿御返事　（殿岡事）
蒙古使御書
西山殿御返事

星名五郎太郎殿御返事
彌三郎殿御返事
大井庄司入道御書、
日嚴尼御前御返事
高橋殿御返事
日佳禪門御返事
紺入道殿御返事
阿佛房御書
上野殿後家尼御前御返事
妙一尼御前御消息
窪尼御前御返事（弘安二年五月）
南條七郎五郎殿御書（卷三ノ上錄外「上野殿後家尼御前御書」ト同文）
四條金吾女房御書
椎地四郎殿御書
四條金吾殿御返事
祈禱經言上
撰法華經附屬御書
安國論御奏由來
觀心本尊得意抄
觀心本尊抄送文
報恩抄送狀
當體義抄送狀
八大地獄御書
六凡四聖御書
烏龍遺龍御書（卷一ノ下錄内「法蓮鈔ノ一部」）
問答抄
大師講御書（卷三ノ上「金吾殿御返事」ト同文）
同一鹹味御書
同生同名御書
實相寺御書
光日上人御返事
新池御書
刑部左衞門尉女房御返事
治部殿上人御返事
妙密上人御消息
戒法門
阿育王御書（前半卷三ノ上錄外「高橋殿御返事」ト後半卷三ノ下同文）
上野殿御返事（弘安二年四月）（上野尼書）
種相待法門（卷一ノ下錄内「始聞佛乘義」ト同文）
窪尼御前御返事（弘安三年）
王日殿御返事（弘安元年六月）
同（弘安四年）
同（弘安元年五月）
同（弘安元年五月）
持妙尼御返事（卷三ノ上錄外「妙心尼抄」ト同文）
辨殿御消息（兵部殿抄）
同辨殿尼御前御書（三長抄）

法華證明抄
本門取要抄
南條殿御返事（建治二年）
同（建治二年）
九郎太郎殿御返事（弘安元年）
同（建治二年）
彌源太入道殿御消息（弘安元年）
同（文永十一年）
太夫志殿御書（弘安三年）
同（弘安四年）
兵衞志殿御返事（建治元年）
兵衞志殿御返事（弘安元年六月）
同（弘安元年六月）
南部六郎三郎殿御返事（卷三ノ下錄外「波木井三郎殿御返事」ト同文）
南部六郎殿御返事（卷一ノ下錄内「崇峻天皇御書」抄錄）
內房女房御返事
兵衞志殿女房御書
上野尼御前御書（卷三ノ下錄外「上野尼書」ト同文）
六郎次郎殿御返事
子財御書
經王御前御書
念佛無間地獄抄
法華問答抄
諸宗問答抄
土籠御書
開眼御書（卷二ノ上錄内「日眼女造立釋迦佛供養事」ノ抄錄）
八日講御書
法華一和讚
萬法一如抄
蓮華房御抄
曾谷入道殿御消息（自界叛逆御書）
曾谷入道殿御書（分便品長行事）
同
曾次郎入道殿御返事
太田入道殿御返事
太田左衞門尉殿御返事
新尼御前御返事
持妙尼御書（卷三ノ上錄外「窪尼御前御返事」ト同文）
松野殿御消息
最蓮房御返事
兩人御中御書
三八教
卷三ノ下　祖書錄外
本寺參詣抄
淨藏淨眼御書
松野殿女房御返事（弘安三年）
西山抄（卷三ノ上錄外「蒙古使御書」ト同文）
波木井三郎殿御返事（卷三ノ下錄外「波木井書」ノ抄錄）
道妙禪門御書
三身妙（卷二ノ上錄内「日眼女造立釋迦佛供養事」ノ抄錄）
草木成佛口訣
劍形抄
船守彌三郎許御書
生死一大事血脈抄
嘉祥寺御書（卷二ノ上錄内「善無畏鈔」ノ末文）
主師親御書
善無畏三藏抄
八風抄
十二因緣御書
色心二法御書
依法華經可延定業抄
棧敷女房御返事
八木御書
上野殿御書
二病御書
兵衞志殿御返事（弘安元年十月）
品品供養抄
品品得意抄
壽量品得意抄
南條殿御返事（卷二ノ上錄内「木尊供養御書」ト同文）
神祇門
垂迹法門
一代五時雞圖
三代秘決抄
四菩薩造立抄
彼岸抄
盂蘭盆御書
無作三身口傳抄
法華經大意
今此三界合文
呵責謗法滅罪抄
六難九易抄
讀誦法華用心抄（卷二ノ上錄内「十如是事」ト同文）
法華經肝心抄
四十九院申狀（卷三ノ上錄外「寶相寺御書」ト同文）
一期弘法
禪宗天台勝劣抄
法華一經二十重大事合文（卷三ノ下錄外「法華經二十重勝劣義」ノ廣略）
臨終一心三觀
得受職人功德法門抄
惣在一念抄
一念三千法門（卷二ノ上錄内「太田禪門許御書」ノ抄錄）
上行所傳抄
上行菩薩結要附屬口傳
法華宗內證佛法血脈
授職灌頂口傳
妙一女御返事

佐渡御勘氣抄　行敏御返事　乘明上人御返事（卷三ノ上錄外、上野殿御返事ト同文）　十八圓滿法門抄　十王讚嘆抄　諸願成就抄　妙法尼御前御返事　教行證御書　衣座室御書　阿佛房御返事　開目抄（卷二ノ上錄內、開目之時可存知事ト同文）　眞言宗私見聞　一代五時繼圖　大黑天神相傳文　大黑天神御書　法華大綱抄　經王殿御返事　日朗上人十籠御書　土木殿御返事（文永七年）　富木殿御書（卷三ノ上錄外、日照尼御前御返事ト同文）　同（卷一ノ下錄內、光日房御書ト文ノ鈔錄）　四條金吾殿御書　南條平七郎御返事（卷一ノ下錄內、開目抄之時可存知事ト同文）　兵衛志殿女房御返事　法華經二十重勝諸教義　四條金吾殿御返事（類聚伽藍抄）　彌源太殿御返事　三種教相　當體蓮華抄　日女御前御返事　最蓮房御返事（卷三ノ下錄外、十八圓滿法門抄ト文附錄）　四條左衛門殿御返事（卷三ノ上錄外、必假心圓神守則ト同文）　波木井三郎殿御返事（卷三ノ下錄外、波木井書ノ鈔錄）　同地獄御書（卷一ノ下錄內、崇峻天皇御書ノ鈔錄）　出家功德御書　上野殿御返事　富木殿御返事　成佛法華肝心口傳身浩抄　阿佛房尼御前御返事（卷三ノ上錄外、四條金吾殿御返事」（與檀越某書ト同文）　左衛門殿御返事　釋迦一代五時繼圖　波木井三郎殿御返事（波木井書）　上野五郎左衛門尉殿御書　義淨房御書　御輿振御書　大白牛車御書　右衛門太夫殿御書　龍樹天親抄（卷一ノ下錄內、法華行者值難事　追書ト同文）

妙一尼御返事　富城殿女房御書　女人成佛御書（卷二ノ上錄內、法華初心成佛抄」ノ鈔錄）　陀羅尼品御書　善神擁護抄　成佛用心抄　干飯御書（卷三ノ上錄外、松野殿御消息（建治三年九月）ト同文）　蓮盛抄　秋元殿御返事　十字御書　大豆御書　華菓成佛御書　上野殿御返事（弘安二年十月）　波木井殿御書（十月七日御書）

日蓮宗大觀　西村慈珖編　大正七　一　三三五　三〇九

日蓮宗法要式　北尾啓玉　大正一〇　六七二頁　一　二九二　二三九

日蓮宗禮誦要編　富川玄快編　大正二　一　三三五　一九一

日蓮正宗教學叢書　雪山書房發行　大正一一、一二　二　五〇〇　五八

第一編　日蓮正宗綱要（堀慈琳）

第二編　熱原法難史（同）

日蓮上人　寫本（勝進助芝居臺帳第五二）　一〇　一九一　七六五

日蓮上人　笹川臨風　大正元　一　三二九　一六一

同　縮刷　大正四　一　三二九　一六一イ

同　大正一五　一　三二九　一六一ロ

日蓮上人　須藤光暢　大正三　一　三二四　二九八

日蓮上人　通俗教育普及會編　大正七（通俗史談叢書ノ內）　一　二七五　一七ハ

日蓮聖人　蜷川龍夫、菊地茂（宗教倫理叢書第六卷）　大正六　一　三五三　一四

日蓮聖人　碧瑠璃園　大正八　一　三七七　一三八

日蓮上人（法華經ノ行者）　松川二郎　大正六　一　三三五　五〇六

日蓮聖人（研究ノ資料）　前編　黑澤鐵腸　大正三　一　三二五　二九

同　前、後篇　增訂三版　大正四　一　三二五　二九イ

日蓮上人一代圖會　中村經年著　葛飾北齋畫　六卷（日本歷史圖會第八輯ノ內）　大正一〇　二九九　三

日蓮上人遺文要編　牧口泰存編　大正元　七七一頁　一　三二四　三二九

日蓮聖人遺文集　法華會編　大正七　一　三二一　六二八

日蓮聖人及其殉教者　高須梅溪　大正六　一　三六四　二五五

日蓮聖人金言集（註解ノ）　青木見孝　大正九　一　二八八　二六七

日蓮聖人御一代記　附　房州靈跡案內　日蓮聖人降誕七百年奉贊會編　大正一〇　一　二九三　一九九

日蓮聖人御一代圖繪　黑澤鐵腸　大正一〇　一　一四六　二二五

日蓮聖人御自傳　鈴木一成編　大正一五　一　五三三　一六八

日蓮聖人御眞蹟　第一至二〇輯　神保辨靜編　大正二、三　一九〇　四〇七　六〇

日蓮聖人對照錄　卷一至一三　神保辨靜編　大正二、三　一九〇　四〇七　六〇

御眞蹟

日蓮聖人御消息文全集（註解ノ）　附　御門下の新研究　鹽田義遜編　大正一三　一　五三三　九

日蓮聖人五大名篇　師子王文庫編　大正一一　一　五〇四　三七

立正安國論　開目鈔（二卷）　如來滅後五五百歲始觀心本尊鈔　撰時鈔（二卷）　報恩鈔（二卷）

日蓮上人御傳　井田秀明　大正一〇　一　三九二　一九〇

日蓮聖人御傳記說教集（古今大家ノ）　妙教社編　大正一四　三　三五三　三八

日蓮上人御傳帖　津村源十郎編　大正一〇　一　四二三　六三

日蓮上人自叙傳　國友日斌編　大正二　一　二二五　二九〇

日蓮聖訓要義　卷一至一〇　本多日生　大正八至一〇　一〇　三七五　三三

日蓮上人聖誕七百年記念總本山身延寫眞帖　山梨青年理想團編　大正一〇　一　四二三　四九

日蓮聖人正傳　本多日生　大正七　一　三三五　二九八

日蓮上人聖典の新解釋　里見岸雄　大正九　一　二九二　一三〇

日蓮聖人全集　卷一至三　日蓮撰　大正三至五（日蓮宗全書本典部）　一　二四六　二〇三

日蓮聖人全集（原文對照口語譯ノ）　第一至七卷　清水龍山等編　大正一〇至一四　七　三五三　三一イ

同　再版　大正一四、一五　一〇　一四六　二二五　七　三五三　三一

日蓮聖人註畫讚　日澄著　鷲尾順敬等註　五卷（國文東方佛教叢書第五卷傳記部上ノ內、大正一四）　五二九　六七

日蓮聖人辻說法　森鴎外（現代戲曲全集第二〇卷ノ內　大正一五）　一　五二三　一六八

日蓮聖人傳考證　船口萬壽（里見學報第一輯）　大正一四　一　四五五　一五三

日蓮聖人傳十講　山川智應　大正一〇　七五八頁　一　二九二　二〇四

日蓮聖人と鎌倉時代　蘆澤藍川　大正九　一　三八四　一四五

日蓮聖人と親鸞　山川智應（日蓮主義研究叢書第六編）　大正五　一　三五　二五〇

日蓮聖人と法然　山川智應　大正一二　一　五〇四　二一〇

日蓮聖人と耶蘇　山川智應（日蓮主義研究叢書第一編）　大正四　一　三五　二五〇

日蓮聖人之遺訓　日蓮遺訓研究會編　大正五　一　七〇　三六三

日蓮上人の御言葉のままに　松平俊子　大正一〇　一　三九六　一二四

ニチレ

		冊	函	號
日蓮聖人の教へられたる國家と人生	志村智鑑（日蓮主義研究叢書第一〇編） 大正九	一	三五	二五〇
日蓮上人の孝道	磯野本精 大正五	一	三三五	四七六
日蓮聖人の感激	本多日生 大正八	一	三三五	三三三
日蓮聖人の言葉	星野武男（梅巒） 大正一四	一	五三三	一〇九
日蓮聖人の三大誓願	田中智學 大正一一	一	五〇四	一四三
日蓮聖人の宗教	北尾日大（啓玉）編 大正五	一	三三四	四九四
日蓮聖人の宗教	森下光南（忠一） 大正七	一	三一	六六五
日蓮聖人の宗教と其實踐	里見岸雄 大正一〇	一	三九二	二四六
日蓮聖人の宗旨	井村日成 大正一三	一	五〇四	二九一
日蓮聖人の生涯	鹽田義遜 大正一五	一	五三三	一八八
日蓮聖人の足迹	蓙澤藍川 大正一二	一	五一四	六三
日蓮上人の法華經色讀史	蓙澤藍川 大正八	一	三三四	五九三
日蓮聖人の本尊	嶼村日正 大正五	一	三三四	五〇五
日蓮聖人の本尊論	田邊善知 大正一四	一	五三三	八一
日蓮上人の立正安國論に就て	竹内正策（布教研究會講演集第一〇回ノ内 大正一〇）	一	三三四	五九一
日蓮上人法華經講義大要	小橋昭了編 再版 大正四	一	三三五	三七四
日蓮聖人物語	高須梅溪 大正七	一	三七七	七三
日蓮聖人靈場案内	牛窪弘善編 大正五	一	三五	二五〇
日蓮主義	本多日生 大正五	一	二	四九四
日蓮主義概論	小林一郎 大正七	一	三三五	二八八
日蓮主義綱要	本多日生 大正七	一	三三五	三二九
日蓮主義講話	小林一郎 大正五	一	三三五	四五七
日蓮主義講話叢書	創造社發行 大正一〇	一	五〇〇	八
第一	將來の宗教日蓮主義（里見岸雄）	四	五一一	一三九
日蓮主義教學大觀	（原名 妙宗式目講義錄）第一至三、五冊 田中智學 大正一四、一五	一	三三五	五一〇
日蓮主義研究講話	本多日生 大正六	五	三五	三五〇
日蓮主義研究叢書	新潮社發行 大正四至九	一	三三五	九四
第一編	日蓮聖人と耶蘇（山川智應）	一	三八	六四
第六編	日蓮聖人と親鸞（同）	一	三九二	六四
第八編	日蓮主義と世の中（志村智鑑）	一	五〇五	四
第九編	日蓮主義と現代將來（山川智應）	一	三九三	七四
第一〇編	日蓮聖人の教へられたる國家と人生（志村智鑑）	一	三九二	一八八
日蓮主義研究叢書	明鏡社發行 大正九	一	三九二	三五
第一編	如說修行抄講講錄（北田宗稟編）			
日蓮主義初歩	本多日生 大正八			
日蓮主義信仰の諸問題	志村伊三郎 大正一〇。（日蓮主義民衆宣傳第一輯）			
日蓮主義戰士の伴侶	本多日生 大正九			
日蓮主義大觀	北尾日大（啓玉） 大正一〇			
日蓮主義で行け（人間萬事）	豐田教嘉 大正八			

		冊	函	號
日蓮主義と耕地整理	渡邊專一 大正一五	一	五三三	二三〇
日蓮主義と感化事業	松森靈運（日蓮鑽仰天晴會講演錄第三輯ノ内 大正四）	一	三二四	一六五
日蓮主義日訓	小林一郎 大正七	一	三一	七三一
日蓮主義の使命	本多日生（日蓮鑽仰天晴會講演錄第三輯ノ内 大正四）	一	三二四	一六五
日蓮主義の新研究	里見岸雄 大正八	一	三二四	六一五
日蓮主義の生活樣式	蓙澤藍川 大正一〇	一	三九二	二七四
日蓮主義の道德	田中久 大正一一 五〇頁	一	三九三	四四八
日蓮主義の爲に	松森靈運 大正七	一	三二五	二七五
日蓮主義の文化的研究	星野武男 大正一〇	一	三九二	二一一
日蓮主義の妙趣	松森靈運 大正八	一	三九二	一四
日蓮主義筆陣五戰	加藤文雄 大正一一	一	五〇四	七四
日蓮主義文化叢書	星野武男發行 大正一一	一	五〇五	三九
第一編	文化としての日蓮主義（星野武男）			
日蓮主義法難集	別枝長夫編 大正一〇	一	三二四	六五三
日蓮主義民衆宣傳	天業民報社發行 大正一〇、一二	二	五〇五	四
第一輯	日蓮主義信仰の諸問題（志村伊三郎）			
第二輯	信の人生觀と日蓮聖人の史實（同）			
日蓮主義より觀たる神學及科學	小林一郎（統合大講習會講演集ノ内 大正四）	三	三四	四六二
日蓮全集	第一卷 日蓮宗普及會編 大正六	一	三六四	一四三
日蓮大士言行錄	（修養史傳）足立栗園 大正四（修養史傳第一編）	一	三五	一七
日蓮大士眞實傳	小川泰堂編 大正五	一	三七	四九〇
日蓮大士眞實傳	（聖訓拜照一）小川泰堂編 大正一〇	一	三九二	二〇一
日蓮大聖人の國體觀	荒木英一 大正九	一	三九三	五七
日蓮珍話	羽場愚道 大正七	一	三一	六九七
日蓮とその教訓	（遺跡一對照一）高山春峰（喜內） 大正九	一	三八八	二五六
同	四版 大正一一	一	三八八	二五六イ
日蓮と日朗	中村正太郎 大正八	一	三三五	五三一
日蓮と我等	渡部六尺編 大正一一	一	五〇四	六七
日蓮の勤王主義	野島草民（幾太郎） 大正八	一	三三五	三三五
日蓮の國へ	白鳥健 大正九	一	三九六	三六
日蓮の觀た女	能仁二十 大正八	一	三九二	四五
日蓮は聖人也忠臣也	一名「日蓮深密傳」の解剖 野島草民 大正八	一	三九二	二五
日蓮本地義	日領撰（大日本佛教全書第九七册ノ内 大正三）	二	三五三	一〇
日蓮本佛論	阿部日正（統合大講習會講演集ノ内 大正四）		三三四	四六三
日蓮より觀たる親鸞	清水梁山 大正一二	一	五一一	三三
日露海戰記	海軍勳功表彰會編 七版 明治四一	一	三一九	四四一
日露海戰敗軍の眞相	クラド著 樋口石城（艷之助）譯 大正二	一	三一九	二九二
日露奇譚要塞の秘密	內海剛堂 大正二	一	三二八	二四四

			冊	函	號
日露會話	參謀本部編	大正七	一	二	七八
日露會話獨習	附 新語・略語字彙	山内封介編 大正一三	一	三三	五五四
日露會話篇	西海枝靜	大正八	一	三三	三三一
〔日露協會〕講演會速記錄	同協會編	大正七、九	三	三六	三三三
第七回	米國視察談（目賀田種太郎）革命の露都（蘆田均）東露の實情（森御蔭）				
第九回	露國の時事問題（井染祿朗）				
第一四回	勞農露國の現狀（布施勝治）				
同	大正一四		一	五二四	三九五
	極東露領の産業に就て（磯野進）歐露の現狀（八杉貞利）				
同	大正一五		一	五二四	二五七
	土耳其及バルカン地方の現狀（笠間杲雄）				
同			一	五二四	二五七イ
日露協會報告	同會編	大正五至一五	七	一四五	四
第一號	日露貿易振興策 他二四篇				
第二號	日露協會第十回定時總會報告書 他二二篇				
第三號	日露協會第十回定時總會概況 他三〇篇				
臨時號	革命の露國				
第四號	芬蘭問題を論ず 他一七篇				
第五號	日露協會第十一回定時總會概況 他九篇				
第六號	米露商業會議所事務報告 他五篇				
第七號	露國人及與國人の協力（西伯利の迓き將來） 他三篇				
第八號	極東露領に於ける毛皮				
第九號	西伯利亞に於ける農具				
第一〇號	露國の漁業に關する調査				
第一一號	露國に於ける產業組合運動				
第一二號	露國及新興諸國の貿易狀況				
第一三號	波蘭事情				
第一四號	ラトビアの現狀				
第一五號	露西亞の農業問題				
第一六號	勞農露國豫算に就いて				
第一七號	露紙抄譯	一九二三年度ソヴエート聯邦國民經濟の收支計算表に附する註解			
	露紙抄譯	一九二三年度に於けるソヴエート聯邦の商業			
	露紙抄譯	一九二四年度前半期のソヴエート聯邦の外國貿易			
	露紙抄譯	ソヴエート聯邦國營工業の生產力と勞働賃銀			
第一八號	露紙抄譯	ソヴエート聯邦と内國商業委員部との合併 他二篇			
	（外國貿易人民委員部の財政及金融に依る財產の移動に關稅 他三篇				
	（貿易）ソヴエート聯邦と米國との通商關係 他三篇				
	（產業）一九二五年度の工業生產見込高 他一篇				
	（雜）利權の現況 他二篇				
第一九號	ソヴエート・ロシヤに於ける經濟政策の變遷（スミルガ著 同會譯）				
	ソヴエート・ロシヤの勞働賃銀制度（ラフシーツ著 同會譯）				
第二〇號	ヨーロッパとアメリカ（トロツキー著 同會譯）				
第二一號	ソヴエート・ロシヤに於ける產業組合（セヴルーク著 同會譯）				
日露協約祝賀會報告書	同會編	大正五	一	三二六	一七一
日露國交史料	梅森三郎編	大正四	一	三四八	三〇二
日露財政比較論	堤康次郎	大正三	一	三五六	二九
日露親善論（最新研究ノ一）	淺野利三郎	大正五	一	三五	二六三
	（東西時論第八編）				
日露戰役後株界活躍史	中柄正一編	大正六	一	三五八	二〇〇
日露戰役從軍三年	澁川玄耳	大正五		七〇	三二九
	〔日獨戰役小敵大敵ト合綴〕				
日露戰役殉國諸烈士追悼會記事	同會殘務所發行	大正八	一	三八三	二
日露戰役忠勇列傳	忠勇顯彰會編	明治四一至大正一一	一三	三四三	一
	長野縣 第二至五號				
	京都府 第一、二號				
日露戰爭實記	大阪府 第一至三號				
	兵庫縣 第一二號				
	滋賀縣 第一二號				
日露戰役忠烈傳	東京偕行社編	大正五	一	三一九	三六四
日露戰役婦人の力	松本恒吉	大正元	一	三三三	三六六
日露戰役大戰餘響	鳳秀太郎編	大正六	一	三五六	二七六
日露戰爭實記大戰餘響	鳳秀太郎編	大正六			
日露戰爭ニ於ケル露軍失敗ノ原因	露軍改革意見 バルスキー著 河津敬治郎譯	大正二	一	三一九	二九八
日露戰爭ニ於ケル露軍ノ後方勤務	參謀本部編	大正四	一	三一九	三五九
日露戰爭秘史旅順を落すまで	佐藤鋼次郎	大正一三	一	三一九	四四五
日露戰史（明治卅七八年ノ一）	第一至一〇卷 附圖付	明治四五至大正三	一九	三三一	四四
	參謀本部編				
日露戰史講授錄	梅山延太郎	大正四	一	三一八	三〇三
日露戰史寫眞帖	上、下 附 戰地一般圖	大沼十太郎 大正四	二	四〇八	一一二
同			二	四〇八	一一三イ
日露戰史戰例索引（明治卅七八年ノ一）	參謀本部編	大正一五	一	三一九	四五四
日露戰史例證集	附 附圖 陸軍大學校編	大正六	一	三一九	三七五
日露戰ヨリ得タル野戰給養勤務上ノ教訓	平山多次郎編	大正四	一	三一八	二九九
日露大會話	上卷 市川寅次郎	大正一三	一	三三三	三九一
日露同盟論	煙山專太郎（新時代之問題第一編ノ內）	大正四）	三五五	二	
日露の外交	煙山專太郎（露國研究ノ內）	大正五）	三五六	二二七	
日露乃再戰	ハリソン著 神崎東藏、贄田剛橘譯	明治四五	一	三四二	一六六
日露の新關係	米田實（成人教育ノ內）	大正一四）		五三六	一一三
日露米の關係	米田實（時局問題批判ノ內）	大正一三）		五三三	七八
日露貿易	日露協會編	大正五	一	三三六	一四八
日露貿易	矢野太郎	大正五	一	三三六	二〇三
日露貿易案內	一九一六年	日露商事社編 大正五	一	四一一	一七
同	一九一七年	三版 大正六	一	四一一	一七イ
同	一九一九年	通商要鑑號 四版 大正八	一	四一一	一七ロ
日露貿易調查事業經過報告	秋元義親編	大正八	一	三七八	七一
日露貿易と關稅協定	鈴木陽之助（露國研究ノ內）	大正五）	三五六	二二七	
日露未來戰（遺恨ノ十年ノ一）	原田政右衞門	大正二	一	三一九	一八八
日露陸戰新史	附圖 沼田多稼藏編	大正一三	一	三一八	五一四
日下一木集	（續群書類從第一三輯ノ上文筆部ノ內再版 大正一四）		八〇	三二ロ	
（殉教史譚）日講上人	若山甲藏編	大正一〇	一	三三七	三一八
日韓正宗溯源	濱名寬祐	大正一五	一	五五四	一三二
日韓同治と朝鮮研究	持地六三郎（明治聖德記念學會紀要第一五卷ノ內 大正一〇）		一四五	一	
日間寢語	清水正春（夢見叢書ノ內 大正二）		三三九	二三三	
日記歌	孝範（國書刊行會本三十輯第四ノ內 大正六）		三三〇	五一	
日記から	アート・スミス 大正五		一	三六〇	四九三
日記紀行集	塚本哲三校 大正一一	六〇八頁	一	五一四	二九

		冊	函	號	
海道記	(源光行)				
東關紀行	(源親行)				
廻國雜記	(道興)				
九州道の記	(細川幽齋)				
丙辰紀行	(林道春)				
野ざらし紀行	(松尾芭蕉)				
奥の細道	(同)				
東北紀行	(井上通女)				
鸞家日記	三卷 (同)				
庚子道の記	(武女)				
伊香保の道行きぶり	(倭文女)				
旅のなぐさ	(賀茂眞淵)				
岡部日記	(同)				
後の岡部日記	二卷 (同)				
菅笠日記	三卷 (本居宣長)				
羇旅漫錄	(曲亭馬琴)				
日記の一節	岩野泡鳴 (泡鳴全集第一一卷ノ内 大正一〇)	五〇〇		一	
日記の書き方	堀越善博 大正七	一	三一	五四八	
日記文自在	生田長江、中村古峽編 (作文叢達全書第一編) 大正六	一	三五五	七〇	
荷造改良に關する意見	遠藤吉平 大正八	一	三七二	二五九	
日光	小川一眞發行 明治四五	一〇	四〇八	六三	
日光	(史蹟名勝天然記念物保存協會第三回報告) 同會編 大正四	一	三三五	三三五 イ	
公園國の一大公園としての日光	(辻善之助)				
歷史より見たる日光	(井上賴之助)				
日光の地質	(白井光太郎)				
植物學上より觀たる日光	(德川賴倫)				
日本の精華としての日光	(渡瀨庄三郎)				
動物學より觀たる日光	(伊東忠太)				
美術より觀たる日光	(藤原咲平)				
日光の氣候					
日光研究參考書目					
同					
日光	田山花袋 (花袋紀行集第二輯ノ内 大正一二)	一	三三五	三三五 ロ	
		五一五		七七	
日光	三島吉太郎、鹽川溪泉編 大正元 七六頁	一	三四四	九四	
日光及諸社	千木勝男木改正記 寫本 一九枚 (寶曆度ノ調ナリ)	一〇	二〇五	一九三	
日光御彩色直段帳	寫本 (文化修復當時ノ直段ナリ)	一〇	二〇五	一八三	
日光御門跡等御饗應之節御白書院泰行相勤候日記書拔	寫本 (堀大和守同石見守留書第一二)	一	帖	一五八	五九
日光山一覽	長谷川雪堤畫 自筆 寫本 天保二	三	〇 別	七	五三四
日光參詣旅行記	志賀理助等 寫本	一〇		一二五	二〇七
日光山志	植田孟縉編 (大日本名所圖會第二輯第二編ノ内 大正九)			三七九	三
日光山瀧尾建立草創日記	道珍 (續群書類從第二八輯ノ内 大正一五)			八〇	三二 イ
同				八〇	三二 イ
日光山東照宮三百年祭	赤堀又次郎編 大正四	一		二	二四八
日光山の奥	田山花袋 (花袋全集第一二卷ノ内 大正一三)			五五	三六
日光山物忌令	(續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ内 再版 大正一四)			八〇	三二 ロ
日光新誌	大澤瑞次編 大正六	一		三三九	九六一
日光叢書	紅玉堂發行 大正一三	一		五二七	三〇
第一編	絲の斜面 (土岐哀果)				
日光大觀	山下重民編 大正元	一		三三七	九四
日光田母澤離宮三十勝記	坂正臣自筆 寫本 一五枚 特	一〇		八三〇	一九五
日光田母澤離宮三十勝記	本居豐穎自筆 寫本 一三枚 (足立正聲、細川潤次郎ノ書簡ヲ添フ) 特	一〇		八三〇	一九六
日光電氣精銅所	(模範工場) 宇野利右衞門 大正三	一		三五〇	三八八
日光及諸社	千木勝男木改正記 寫本 一九枚 (寶曆度ノ調ナリ)	一〇		二〇五	一九三
日光御彩色直段帳	寫本 (文化修復當時ノ直段ナリ)	一〇		二〇五	一八三
日光御門跡等御饗應之節御白書院泰行相勤候日記書拔	寫本 (堀大和守同石見守留書第一二)	一	帖	一五八	五九
日光山一覽	長谷川雪堤畫 自筆 寫本 天保二	三	〇 別	七	五三四
日光參詣旅行記	志賀理助等 寫本	一〇		一二五	二〇七
日光山志	植田孟縉編 (大日本名所圖會第二輯第二編ノ内 大正九)			三七九	三
日光山瀧尾建立草創日記	道珍 (續群書類從第二八輯ノ内 大正一五)			八〇	三二 イ
同				八〇	三二 イ
日光山東照宮三百年祭	赤堀又次郎編 大正四	一		二	二四八
日光山の奥	田山花袋 (花袋全集第一二卷ノ内 大正一三)			五五	三六
日光山物忌令	(續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ内 再版 大正一四)			八〇	三二 ロ
日光新誌	大澤瑞次編 大正六	一		三三九	九六一
日光叢書	紅玉堂發行 大正一三	一		五二七	三〇
第一編	絲の斜面 (土岐哀果)				
日光大觀	山下重民編 大正元	一		三三七	九四
日光田母澤離宮三十勝記	坂正臣自筆 寫本 一五枚 特	一〇		八三〇	一九五
日光田母澤離宮三十勝記	本居豐穎自筆 寫本 一三枚 (足立正聲、細川潤次郎ノ書簡ヲ添フ) 特	一〇		八三〇	一九六
日光電氣精銅所	(模範工場) 宇野利右衞門 大正三	一		三五〇	三八八
日光透射療法要錄	石川默淵 大正一〇 三六頁	一		六〇	五四〇
日光東照宮寫眞帖	同宮社務所編 大正一四	一〇		四一六	二八
日光東照宮の造替に就きて	平泉澄 (明治聖德記念學會紀要第一五卷ノ内 大正一〇)	一		一四五	一
日光東照宮奉納品一覽表附說	同宮社務所編 大正一一	一		三九三	四四三
日光と鹽原	田山花袋 (花袋全集第一二卷ノ内 大正一三)			五一五	三六
日光並木街道	附 並木寄進碑 宮地直一 (史蹟精査報告第一ノ内 大正一五)			一四五	一六九
日光に對する堅牢度標準試驗に就て	桐生高等工業學校色染會編 (色染叢書第一〇ノ内 大正一五)			三八〇	一六五
日光に對する染料堅牢度測定法	桐生高等工業學校色染會編 (色染叢書第七ノ内 大正一二)	一		三八〇	一六五
日光の栞	牧野駿次 大正三	一		三三九	四三
日光の山寺で	田山花袋 (花袋全集第一二卷ノ内 大正一三)			五五	三六
日光の靈山に埋もれたる一大史料	天野弘 大正一五	一		五二四	三一八
日光寶物館陳列目錄	同館編 大正六	一		二	三四五 イ
日支交涉論	吉野作造 大正四	一		三五〇	一七九
日支交通史	上卷 木宮泰彥 大正一五	一		六〇	八二〇
日支共存之原理	衣斐釬吉 大正八	一		一四五	一一九
日華共存論	澤柳政太郎、衣斐釬吉 大正八	一		三七三	三三三
日華大觀	(日華聯絡紀念) 加藤了堂編 大正一二	一		一五〇九	六七
日華大字典	(漢字索引) 服部操 大正一四 一二四一頁	一		一五四〇	三三
同	縮刷版 大正一五	一		三三三	六八六
日華之貿易	同社發行 第一卷第一號(大正一一年九月)至第二卷第二號(大正一二年五月)	二	雜	四五	一四
日貨排斥の對支貿易上に及ぼせる影響	東京商業會議所編 大正八	一		三七八	八七
日觀要考	寫本 (杉原本)	一〇		八三一	七七
ニツケルクローム鋼の耐腐蝕性並びに耐酸化性に就て	菊田多利男 (海防義會研究報告第六號)	一		一四五	一二六
日青島ノ保護利用策	本多靜六 大正七	一		三七二	一六七
日宗史談	小笠原毅堂 大正七	一		三三五	三一
日宗聖典	林鳳宣 大正六	一〇		一八七	四三三 イ
日宗哲學	小野清秀 大正六	一		三三四	五四五
日支英米英字新聞研究	相良佐編 大正一五	一		三三三	六七五
日支交涉論	吉野作造 大正四	一		三五三	一一七
日支交通史	上卷 木宮泰彥 大正一五	一		五五四	八九
日支毫筆大鑑	中村益三 大正一五	一〇		一六三	一一
日支共存之原理	衣斐釬吉 大正八	一		三六二	九三
同	再版 大正一〇	一		三六二	九三 イ

日支共同の一途　及川恒忠（新國是の提唱ノ内　大正一三）　一　三一　七〇九
日支會話　參謀本部編　大正七　一　三一　七〇九
日支關係條約總覽　石山福治編　大正五　一　六八　六五二
日支經濟的提携論　伊藤喜代治（長崎高等商業學校創立二十周年記念講演及論文集ノ内　大正一五）　五一八　二〇六
日支經濟的提携論　大木豊（長崎高等商業學校創立二十周年記念講演及論文集ノ内　大正一五）　五一八　二〇六
日支最新會話（語原ヨリ獨習ー）　恆峻、大橋末彥　大正一〇　一　三九六　一七四
日支蠶絲業之將來　高島容孝編　大正九　一　三九七　九六
日支親善のかけはし（科外讀本ー）　大東重善　大正一五　一　五三六　二〇三
日支親善論　上島長久（公民同盟叢書第九卷）　大正四　一　三五　二五四
日支小辭彙　石山福治編　大正一二　一　五一六　一三三
日支速成會話　文求堂編　大正八　一　三八八　一三
日支大辭彙　石山福治編　大正六　一　三七四　四
日支提携上銀爲替より見たる　稻本龍助　大正一三　九一頁　一　三九三　七〇〇
日支鐵道聯絡運輸に就いて　木下淑夫　大正六　一　三二九　九七〇
日支兵語輯要　伊藤正夫編　大正八　一　三三三　三三
日支貿易狀況　農商務省商務局編　大正一四　一　五二四　一八六
日支貿易綜攬　日支共同通信社調査部編　大正八　一　三四七　六七
日支貿易ノ概況　一九一二至一九一五年（農商務省商工局編　大正二至五）（商工彙纂第二二、三一、三九、四六號）　一　三四七　一二〇
日支民族性論　大隈重信（公民同盟叢書第六、七卷）　大正四　一　三五　二五四
日出時曲線圖　地方平時　水路部製　大正七　一　枚　函
日出台隱記　日澄撰　二卷（大日本佛教全書第九七册ノ内　大正三）　一　三五三　一一〇
日支聯絡運輸案内　大正八、九、一〇年　鐵道省運輸局編　大正八至一一年　四　三七三　三〇三
日進醫學　同社發行　第一三卷第一號（大正一二年九月）　雜　二七　イ　二四
日新醫學研修錄　第一輯　同學社編　大正一四　一　六〇　六八九
日新訓　小林一郎　大正六　一　三七〇　三
日新公　堀勇吉　大正七　一　三七三　一七六
日新新藥便覽　松井正作、兒玉秀衛編　大正一〇　一　五〇　二三九
日清戰役之卷　藤田定市編　大正一五（戰袍餘薰懷舊錄第一輯）　一　三一八　五三二
日清戰爭小史　菅原佐賀衛　大正一五　一　三一八　五三七
日清戰爭錦繪　月岡芳年等畫　帖　五　二三四　七七
日清日露戰役滿鮮戰死者追悼戰蹟旅行記　仁田脇善一　大正一四　一　五三二　一七八
日星帖　バーネット夫人　大正一〇　一　三三三　三〇三
日鮮辭典（實用ー）　井口彌壽男　大正九　一　三七四　六〇
日扇上人　笹川臨風　大正一二　一　五一四　一九一
日鮮史話　第一、二編　松田甲　大正一五　二　五二四　四四四
日鮮土木建築信用錄　日本實業興信所編　四版　大正一四　一　五四〇　六六
入唐記　心覺撰（大日本佛教全書第一一四册ノ内　大正六）　三五三　一〇
入唐求法巡禮行記　圓仁撰　四卷（大日本佛教全書第一一三册ノ内　大正四）　三五三　一〇

入唐五家傳　（大日本佛教全書第一一三册ノ内　大正四）　三五三　一〇
入唐取經願文　榮西撰（大日本佛教全書第一一五册ノ内　大正六）　三五三　一〇
入唐諸家傳考　高楠順次郎編（大日本佛教全書第一一六册ノ内　大正一一）　三五三　一〇
入唐新求聖教目錄　圓仁撰（大日本佛教全書第二册ノ内　大正三）　三五三　一〇
新田左中將（歷史物語ー）　笹川臨風　大正二　一　三三八　一九七
新田氏及上毛人勤王事蹟一班　一名　寺尾城繹史　堤辰二編　大正五　一〇　二〇三　四三三
新田氏鄕土史論　日本歷史地理學會編　大正四　一　三四八　二九六
新田氏の盛衰　（岡部精一）
上古の兩毛　（久米邦武）
鎌倉時代の新田氏　（大森金五郎）
新田義貞と武士道　（星野恒）
新田義貞及其後の新田氏　（田中義成）
新田氏と足利氏　（三浦周行）
新田郡の歷史地理　（藤田明）
新田郡の治水墾田　（吉田東伍）
大光院の呑龍上人　（大森金五郎）
高山彥九郎と勤王論　（本多辰次郎）
日知錄　清、顧炎武　思潮ノ内（興亡史論第二期第九卷支那近世政治　大正九）　一　三三三　八九
日東華文　菊池三九郎編　大正元　一　三三　八五　イ
同　增補　大正二　一　三三　八五
Nippon no Rômazi　日本のローマ字社發行　大正五　一ノ卷　Seiyô Monogatari（同社編）　一　三三四　一四七
二程子之哲學　宇野哲人　大正九　一　三八七　一八三
二條院御卽位記　清原賴業撰（續群書類從第一〇輯ノ下　公事部ノ内　再版　大正一五）　二　八〇　二二　ロ
二潮交錯　島村抱月（抱月全集第七卷ノ内　大正九）　一　三七九　一二
二頭の馬　岩野泡鳴（泡鳴全集第四卷ノ内　大正一〇）　二　五〇〇　一
2と3　田山花袋（花袋全集第九卷ノ内　大正一二）　二　五一五　三六
同　大正九（現代傑作選集第一編）　一　三八九　三一
新渡戶博士隨感錄　中村唯一編　大正二　一　三七　二七三
二どめの獨逸　志賀潔　大正二　一　三三九　三四三
「ニトロベンゼン」ノ電解的還元ニ就テ　第一報　井上春成　大正九（東京工業試驗所報告第一五回第一一號）　一　四三　一二七　ロ
二人出現經　赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ内　大正一三）　一　三五五　一〇四
二人女房　尾崎紅葉（紅葉全集第一卷ノ内　一二版　明治四五）　二　七四　三四六　ハ
同　二人比丘尼色懺悔　尾崎紅葉（世界短篇小說大系日本篇上ノ内　大正一四）　二　七四　三四六　ニ
同　（明治文學名著全集第七卷ノ内　大正一五）　五二〇　四五
日中行事　後醍醐天皇御撰（列聖全集御撰集第六卷ノ内　大正六）　五四八　二四

		冊	函	號
二人むく助	尾崎紅葉（紅葉全集第一卷ノ内 一二版 明治四五）	七	四	三四六ハ
同		七	四	三四六ニ
二宮先生傳	佐々井信太郎 大正七	一	三	三五四
二宮先生報德記傳	石田傳吉 大正四	一	三	三四八
二宮先生報德書譚（家庭ノ教育ニ）	石田傳吉 大正八	一	三	三四四
二宮尊德遺稿	二宮尊親編 大正三 一〇九〇頁	一	三	三四九
二宮尊德言行錄	高橋立吉（修養史傳第一五編） 大正七	一	三	三五五
二宮尊德修養訓	足立栗園編 大正五	一	三	三七
二宮尊德先生教訓書譚（家庭ノ教育ニ）	石田傳吉 大正一二	一	五	一四
二宮尊德の人格と現代	附 青年教師の懷疑 津田光造 大正八	一	三	三八四
二宮尊德の民主生活	津田光造 大正八	一	三	三一
二宮附近名勝地案內	金鐵俊雄 大正一〇	一枚	三	三九三
貳倍收穫天理農法	小柳津勝五郎 明治四五	一	三	四三
二倍增收肥料學講習錄	第一至五卷 大正一二 日本土地改良研究所編	五	五	四三
二倍增收蠶兒經濟育新法	內田晴治 大正六	一	三	三九
庭木整姿法	齋藤勝雄 大正一一	一	五	一三
庭苔（歌ノ集ニ）	岡麓（三郎）（アララギ叢書第二三編） 大正一五	一	三	三五
丹羽思亭	上野喜永次 明治四五	一	二	二九六
同	（近世人物志料第一）	一	三	四〇

		冊	函	號
庭造法（圖解ノ）	本多錦吉郎 大正一五	一	四	〇〇ロ
鷄	高橋廣治 大正八	一	三	七三
鷄と鵞の飼ひ方	菊池良樹 大正八	一	三	八六
鷄と羊と山羊	長崎發生 大正六	一	三	六一
鷄の飼ひ方（簡易ナル副業ノ）	矢野常太郎 大正七	一	三	八六
鷄の飼ひ方（副業ニシテ實收本位ノ）	月湖園主人 大正一五	一	五	四七
鷄の飼方（最モ新ラシキ）	中村孤月 大正七	一	三	六一
鷄ノ產卵ニ關スル試驗成績	農商務省月寒種畜牧場澁谷分場編 大正三	一	四	一九
鷄の脂肪過多症による寡產鷄の脫脂と甲狀腺內分泌に關する研究	米野與七郎（大井上理農學研究所學術研究報告第一號ノ內 大正一三）	一	四	四五
鷄の圖	小林清親畫 明治一三	一枚	別	七
鷄の病理と治療法	日本家禽協會研究所編 大正一三	一	五	一三
庭の訓抄	阿佛尼著 伴蒿蹊釋（婦人文庫第一回教訓ノ內 大正三）	一	三	四〇
庭の造り方圖解（實地作例平面圖附ノ）	杉本文太郎 大正一五	一	四	三三
庭の丸石（墨松園子謙遜稿ノ）	遠山元長 大正一三	一〇	一	五八
庭燎（にはび）（歌ノ集ニ）	植松壽樹 改版 大正一四（國民文學叢書第二編）	一	五	一五
丹羽文虎先生文集	大河內林次郎編 大正四	一	三	三九
庭本位の小住宅	大屋靈城 大正一三	一	五	〇九
丹羽正庸書翰	丹羽正庸（三條家文書第一ノ內 大正五）	一	三	八

		冊	函	號
新潟	山川健 明治四五	一	三	三二
新潟醫學專門學校一覽	明治四四至大正一〇年度 同校編（大正一二年度ヨリ「新潟醫科大學一覽」ト改題）	一	二	八七
新潟醫學專門學校通俗學術講演集	攻玉會編 大正一一	一	六	六四八
新潟醫學專門學校圖書目錄	大正七年三月現在 同校編 大正八	一	三	一〇二
新潟醫科大學一覽	大正一一至一五年度 同大學編（「新潟醫學專門學校一覽」ノ改題） 大正一一至一五	四	二	八七 八
新潟港史	風間正太郎編 增訂 大正六	二	三	七六 一四
新潟高等學校一覽	大正一〇、一一至一五年度 同校編 大正一〇至一五	五	八	三三 三〇イ
新潟高等學校生徒要覽（新潟縣麻織物試驗場業務功程報告）	大正八年度 同校編 大正八	一	二	八三 三〇
	大正一四年度 同場編 大正一五	一	一四	三 五七三
新潟縣案內	附 縣勢要覽 同縣編 明治四五 四二頁	一	三	三九 八九
新潟縣案內	山川健 大正三	一	三	三〇 三二七
同	大正八	一	三	五〇 三三七ハ
新潟縣優良青年團事績	新潟縣內務部編 大正五	一	二	七九 二六 五
新潟縣大面油田第十二區地質及地形圖說明書	新潟縣大面油田地形地質圖 地質調查所製 大正八 三·五×三·〇	一枚	八	三三 一六三
新潟縣耕地整理事業要覽	同縣編 大正九	一	三	六八 九一

		冊	函	號
新潟縣學事統計	大正六年度 同縣編 大正八	一	二	五八 三四ニ
新潟縣下の雪	第二號 新潟測候所編 大正一二	一	四	一六 二三四
新潟縣下漂布土陶石及白土調查報文	木村六郎 大正一四（工業原料用鐵物調查報告第二〇號）	一	四	三 五〇〇
新潟縣加茂油田（大日本帝國油田第十四區）地質及地形說明書	地質調查所編 大正八	一	八	三 一六三
〔新潟縣刈羽郡立圖書館〕藏書分類目錄	分冊第一、二 同館編 大正一〇	二	三	三七 一四
新潟縣氣象年報	大正四、六年 新潟測候所編 大正五、七	一	四	六 三六ロ
新潟縣氣象報告	大正七、八、一〇至一二、一四年 新潟測候所編 大正八至一五	六	四	六 三六イ
新潟縣北魚沼郡入廣瀨村是	淺井忠松 大正六	一	三	三三 三
新潟縣北魚沼郡藪神村是	池田松太郎 大正七	一	三	三二 一四四
新潟縣會波瀾史	山田毅城（山花）編 大正一五	一	五	六五 一〇
新潟縣管內地圖（里程明細ノ）	小山恒之助製 大正三 一·六×二·四	一枚	八	九 二三
〔新潟縣原蠶種製造所〕事業成績	第一至九回 同所編 明治四五至大正九（第一二回ヨリ「新潟縣蠶業試驗場事業成績」ト改題）	四	二	四二 二八四
新潟縣桑樹試驗場報告	一號 同場編 大正一三	一	二	四二 五五六
新潟縣佐渡郡々勢調查顚末	同郡役所編 明治四五	一	三	三一 一〇四
〔新潟縣佐渡郡立農事試驗場〕業務功程	大正五年度 同場編 大正六	一	二	四四 四一五

		冊	函	號
新潟縣産業案内	同縣編 大正三	一	三五〇	二七三
同		一	三五〇	二七三イ
同	大正一一	一	三五〇	二七三ロ
新潟縣産業組合史	武藤喜一編 大正一四 六四頁	一	五二四	三三八
〔新潟縣蠶業試驗場〕事業成績	第一二、一四回 同場編 大正一二、一四〔〔新潟縣原蠶種製造所事業成績〕ノ改題〕	二	一四、二イ	二八四
新潟縣産業調査書	同縣編 大正四	二	三二六	一〇一
〔新潟縣〕蠶種製造個人別成蹟	明治四四年度 大正二 同縣編	一	一四、二イ	二一九
新潟縣視察案内	同縣編 大正八	一	三八八	三三
〔新潟縣〕史蹟名勝天然紀念物	同縣編 大正七	一	三七二	一二六
新潟縣商工業一覽	高橋政重編 大正七	一	三七四	二五
新潟縣商品陳列所年報	第一〇、一一、一二年 大正一二、一三 同所編	二	一四、二ハ	七五イ
新潟縣主要物産統計	大正一四、一五年 大正一四、一五 同縣編	二	一四四	六八七
新潟縣酒造誌	同縣酒造聯合會編 大正九	一	三九三	一〇九
新潟縣人物誌	三神正僚 大正七	一	三五四	一〇五
新潟縣水産試驗場報告	大正元至七、九至一四年度 同場編 大正二至一五	二三	一四、二	二〇
新潟縣染織概覽	新潟縣染織同業組合聯合會編 大正四	一	三三九	五九〇
新潟縣全圖	黒岩芳馬製 大正一一 二・四×一・六	一枚	三三九	一〇八〇
新潟縣總攬	富樫悌三 大正五	一	三四八	三八五
新潟縣重要漁村調査報告	第一編 新潟縣水産試驗場發行 大正一〇	一	函三七八	號一七六
新潟縣長期製炭講習成績と各種製炭法	宇佐美周紫編 大正一一	一	三九七	二八
新潟縣天産誌	中村正雄編 大正一五	一	五二二	五一
新潟縣統計書	明治四三至大正九、一一至一四年 明治四五至大正一五 同縣編	四八	一四四	六
新潟縣統計圖表	同縣編 大正一二	一	三六八	一九〇
〔新潟縣〕度量衡統計要覽	第六次(大正四年度) 同縣編 大正六	一	一四、三ロ	二一八
新潟縣内圖書館一覽	大正七年 明治記念新潟縣立圖書館編 大正五、七	二	二七八	四五
新潟縣に於ける米品種改良事業要覽	同縣農事試驗場編 大正一五	一	五二四	三一六
新潟縣農家經濟調査	大正三、四年度 大正五、六 同農會編	二	三三六	一七五
新潟縣農會要覽(第一)	同會編 大正六	一	三三六	三〇一
〔新潟縣農會〕調査彙報	同會發行 大正一〇、一一	二	一四四	五〇七
〔第一號 地主小作問題ニ對スル地主ノ意見				
〔第二號 地主小作問題ニ對スル技術者ノ意見				
〔新潟縣農事講習所〕事蹟報告	明治四四至大正二年 同所編 大正三	二	二九一五	一〇
新潟縣農事試驗場一覽	同場編 大正六	一	一四、二イ	二八一ハ
〔新潟縣農事試驗場〕業務功程	明治四四至大正二年 同場編 明治四五至大正三	三	一四、二	二八一
〔新潟縣農事試驗場〕事業報告書	大正三至六、八至一三年度 同場編 大正五至一四	一〇	一四、二イ	二八一イ
新潟縣農事試驗場〕特別報告	同場編 大正六至一五	八	一四、二イ	二八一ロ
新潟縣發展寫眞號(御即位大典記念)	白川湖風 大正四	一	四〇六	六九
新潟縣物産陳列館年報	第一二至一三、一五、一七、一八 同館編 大正二至一〇	六	一四、二ハ	七五
新潟縣米穀檢查成績報告	大正五至一三 新潟縣穀物檢查所編 大正七至一四	九	一四、二イ	三八九イ
新潟縣村上油田(大日本帝國油田第二十七區)地質及地形圖				
說明書	地質調查所編 大正一四	一	八三	一六三
新潟縣輸出米檢查成績報告	第九(大正四年度) 新潟縣米穀檢查所編 大正五	一	一四、二イ	三八九
新潟縣與板油田地形及地質圖	地質調查所製 三・五×二・五 大正九	一	八三	一六三
新潟縣與板油田(大日本帝國油田第十五區)地質及地形圖說明書	地質調查所編 大正九	一	八三	一六三
新潟縣立圖書館一覽(明治一記念)	大正八年 大正八 同館編	一	二七八	六三
新潟縣立圖書館藏書分類目錄(明治一記念)	同館編 大正七	一	三一七	九五
新潟縣立圖書館巡回文庫一覽(明治一記念)	同館編 大正四	一	二七八	四〇
新潟市勢一斑	同市役所編 大正六	一	三七三	二三八
新潟市圖	高橋長藏製 大正九 一・六×二・五	一枚	一九	六八一
ニヒガタ市圖	片桐勘次郎製 大正八 一・六×二・五	一枚	九	四六〇
新潟市圖	高橋長藏製 大正九 一・六×二・五	一	三二九	一三一〇
新潟市統計表	明治四四、大正二年 明治四五、大正三 同市役所編	二	一四四	二四三
新潟短古	小林晉三郎編 大正七	一	一〇	三〇四
新潟圖幅	並 地質說明書 地質調查所製 大正六 ○・九×一・五	一枚	一三	一六〇
〔新潟縣〕麥作家畜家禽統計書	大正一〇年 大正一二 同縣編	一	一四二ロ	二八三
新潟縣の果樹を知るには	安藤安孝 大正一三	一	五二八	一二〇
新潟縣の産業	第五、六次 同縣編 大正二、三	二	三二九	三九一
新潟縣の地方病	越佐教育雜誌社編 大正一二 五三頁	一	一四六ハ	一六七
新潟縣の肥料と土性	上編 肥料の話 富士省三 大正四 縣の肥料と土性	一	三五八	三九
〔新潟縣〕麥作家畜家禽統計書	大正一〇年 大正一二 同縣編	一	一四二ロ	二八三

第一號	絲肥大豆の研究 (富士省三、遠藤孝太郎)			
第二號	石灰硫黄合劑の研究 (石川滝太郎)			
第三號	大豆粕の腐敗と水稻追肥との關係に就て (富士省三、遠藤孝太郎)			
第四號	二硫化炭素燻蒸の研究 (石川滝太郎)			
第五號	人糞尿貯藏法の研究 (富士省三)			
第六號	米糠の肥效に關する研究並各種可溶性燐酸肥料に對する木灰及石灰の操作 (直井市輔、遠藤孝太郎)			
第七號	籾米の乾燥に關する研究豫報 (榎本中衛等)			
第八號	稻二花蟆蟲驅除法として蠻鳩撞拂に關する調查研究 (石川滝太郎)			
第九號	水稻生育期間ニ於ケル糞分ノ吸收ニツキテ (林忠昭、馬場茂)			
第一〇號	柿の脫澁に關する研究豫報 (三田弘、松本絲)			
第一一號	籾米の乾燥に關する研究 第二報 (柿崎洋一)			
第一二號	野草に關する研究 (馬場茂)			
第一三號	水稻純系淘汰試驗經過報告 其一 (榎本中衛、柿崎洋一)			
第一四號	新潟縣ニ於ケル大豆ノ品種 (柿崎洋一)			
第一五號	新潟縣ニ於ケル二化螟蟲 (石川滝太郎)			
第一六號	農具試驗報告 附錄 石油發動機 (新潟縣農事試驗場編)			
第一七號	水稻ニ關スル試驗成績報告 (同)			
第一八號	水稻純系淘汰試驗經過報告 其二 (同)			
第二〇號	藥劑ニ關スル試驗成績 (同)			
第二一號	穀物火力乾燥機ニ關スル試驗成績 (同)			
第二二號	新潟縣ニ於ケル水稻黒條葉蟲 (同)			

新潟圖幅　（地形）　地質調査所製　大正五　一·〇×一·五　一枚　一三二四　三八三
新潟艀曳船事業沿革　風間正太郎編　大正七　一　一三五　一七一
新潟富史　寺門靜軒　明治二二　一〇　一五八　七六
隣人（新島樂治第二詩集）　新島樂治　大正一三　一　一五一六　二四九
新島嚢　根岸橋三郎　大正一一　一　一五一四　四八
新高山彙森林植物帶論　佐々木舜一　大正一一（臺灣總督府中央研究所林業部報告第一號）　一　一四、二（イ）　二八五（ヘ）
新高登山　大橋捨三郎編　大正一一　五〇頁　一　三九七　四一〇
新嘗祭獻穀記念錄　眞田重治編　大正一〇　一　三九七　一六三
新嘗祭獻穀田畠記念錄　愛知縣葉栗郡農會編　大正七　一　三七二　一八
新穗村案內　羽田清次編　大正七　一　三七三　一二〇
にひまなび　賀茂眞淵著　佐佐木信綱、芳賀矢一校註（校註和歌叢書第七册和歌作法集ノ內　大正四）　三四五　三
耳比摩利帖（聖賢武將遺墨大鑑ノ一）　福原古香堂編　大正三　帖二　玄　八六
Nihyakutōka　夏目漱石　大正三　一　三五七　二
入阿毘達磨論　塞建陀羅造　唐、玄奘譯　二卷（大正新脩大藏經第二八卷毘曇部三ノ內　大正一五）　特　四四　三七四
同　（平田篤胤全集第一五ノ內　大正七）　八六　三九一
入阿毘達磨論　山上曹源譯（國譯大藏經論部第一三卷ノ內　大正一〇）　三六九　五
入營者準備教育　三澤活水　大正二　一　三一八　二七三
入營者準備軍事教育講話　通俗軍事教育會編　大正八　一　三一八　四一五

入營壯丁須知　奧川辰夫　大正七　一　三一四　三八三
入營六ヶ月　軍事教育普及會編　大正七　一　三一八　三九五
入學策進並遺文　潮音　（眞宗全書第四八卷ノ內　大正三）　三四六　七
入學獨學成功法　伊藤忍軒（司郎）編　大正二　一　三五九　二九一
入學試驗心性考査　問題篇　東京府立第五中學校研究會編　大正一一　一　三五三　二六四
入學試驗に關する調査　文部省學校衛生課編　大正一五（社會教育パンフレット第三輯）　一　二七五（ホ）　二九
入學試驗方法としての精神檢査　平田華藏（兒童教育研究會紀要第四卷ノ內　大正九）　二七一　九一
入學試驗問題入　東京遊學苦學案內　大正一四年度用　中原隆三編　大正一三　一　二五九　五〇八
入學兒童の書きたる數字　高田完一（兒童教育研究會紀要第二卷ノ內　大正九）　二七一　九一
入學選定男女東京遊學案內と學校の評判　太田英隆　大正七　一　二五九　四一五
入學までに施す愛兒の教育　大和喜榮　大正一四　一　二七一　一二八
入學問答　平田篤胤（國民道德叢書第二編ノ內　明治四五）　三三〇　三五
同　（平田篤胤全集第一五ノ內　大正七）　三三五　一五五
丹生川上神社考　森口奈良吉　大正七　一　三七三　一五〇
丹生郡天津村ニ於ケル農村保健衛生狀態實地調査書　福井縣警察部衛生課編　大正一三　一　一四、六（ハ）　一八七
丹生郡小誌（補習教育）　丹生郡教育會編　大正六　一　三二八　三六

入出二門偈講義　赤松連城　大正三　一　三二四　三八三
入出二門偈講錄　宣明　二卷（眞宗大系第三四ノ內　大正一二）　三六九　一五
入出二門偈略解　道振（眞宗全書第二四卷ノ內　大正三）　三四六　七
入蜀記詳解　宋、陸游著　原玆朗註　明治四五　一　三三三　三一七
入眞言門講法華法門　圓珍撰（大日本佛教全書第二四、二八册ノ內　大正二、七）　三五三　一〇
入眞言門住如實見講演法華略儀　圓珍撰（大日本佛教全書第二四、二七册ノ內　大正二、七）　三五三　一〇
丹生神社古文書　伴信友、栗田寬、小杉榲邨等校寫本　一五枚　一〇　八三〇　一〇
入大乘論　堅意造　北涼、道泰等譯　二卷（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內　大正一四）　特　四四　三七四
同　（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內　再版　大正一四）　八六　三九一
丹生大神宮之儀軌　栗田寬（栗里先生雜著上卷ノ內　明治四三）　八〇　三二（ロ）
丹生大明神告門考證　（國文東方佛教叢書第一卷ノ內　大正一五）　三三　二四五（イ）
入道要訣　東嶺著　鷺尾順敬等註　（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）　五三九　六七
入道親王尊快御灌頂事　八〇　三二
同　八〇　三二（イ）
荷札用布仕上試驗成績報告　高松憲治郎（東京工業試驗所報告第九回ノ內　大正四）　一四、二（イ）　一一七
入笠日本僧金剛三昧傳考　高楠順次郎編（大日本佛教全書第一一四册ノ內　大正六）　三五三　一〇

入定不定印經　唐、義淨譯（大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ內　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
入菩薩行　シャンテ・デーヴ著　河口慧海譯　大正一〇　一　三九六　一一九
入法界體性經　隋、闍那崛多譯（大正新脩大藏經第一二卷實積部下涅槃部ノ內　大正一四）　四四　三七四
入明記卷初事文集記　高楠順次郎編（大日本佛教全書第一六册ノ內　大正一二）　三五三　一〇
入明諸要例　高楠順次郎編（大日本佛教全書第一六册ノ內　大正一二）　三五三　一〇
入楞伽經　元魏、菩提留支譯（大正新脩大藏經第一六卷經集部三ノ內　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
入楞伽心玄義纂要鈔　探遂述　七卷（日本大藏經第一二卷ノ內　大正五）　三五三　六
二兵士　モウパッサン著　前田晃譯（モウパッサン全集第二卷ノ內　大正九）　三九〇　四一
二辨龍燭篇　常晉　二卷（眞宗全書第四六卷ノ內　大正二）　三四六　七
煮乾玉筋魚製造調査　福岡縣水產試驗場編　大正一三　一　五一八　一九六
にほひぐさ　曉烏敏　大正一〇、一二　一〇　三三八　三七八
第一卷　生くる日
第二卷　親鸞聖人論
第三卷　死の國々
第四卷　父乃印象
第五卷　溫かき大地
第六卷　諸行無常
第七卷　華嚴三昧の中より
第八卷　常倫を超出する者
第九卷　不可說轉の記
第一〇卷　沈默の自殺者
にほひぐさ續書　曉烏敏　大正一四、一五　三　三三八　三七八

		冊	函	號
第二輯第一卷	母の死			
第二卷	楕圓と圓　附 一から多へ、眞について			
第三卷	內省せられたる自己			
匂に就て	モウパッサン著（モウパッサン全集第九卷ノ內　大正一〇）	三九〇	四一	
日本アクチユアリー會創立二十五年記念講演論文集	同會編　大正一五	一	五三〇	二九七
日本仇討物語	上、下卷　千葉花明　大正六	二	三六三	一七四
日本アルプス	第三、四卷　小島烏水　明治四五、大正四	二	三二八	三一三
同	第一至四卷　第一卷（三版）　明治四四至大正四	四	三二八	三一三イ
日本アルプス（科學觀察登山案內）	原田三夫　大正一五	一	五五〇	八八
日本アルプスアルバム	一至五　矢吹高尙堂編　大正一三	一	五一六	二〇五
日本アルプス案內	池上愼人編　再版　大正六	一	三七三	二
日本アルプス案內	鐵道省編　大正一四	一	五一六	三五六
日本アルプス畫報	酒井俊三編　大正八	一〇	三八四	七三
日本アルプス縱走記	窪田空穗　大正一二	一	五一四	一四六
日本アルプス縱斷記	一戶直藏等　大正六	一	三六三	二三
日本アルプス白馬嶽登山案內	高山館編　大正八	一	三八八	七三
日本アルプス鳥瞰地圖	鐵道省編　大正一五　二二×一・二	一枚	三三九	一〇九八
登山案內日本アルプスと上寶村	上寶村教育會編　大正一一	一	三九三	三九三
日本アルプス登山案內地圖	筒井九郎右衞門製　大正一一　一・〇×一・五	一枚	三三九	一〇七三
日本アルプス登山要項	大正一五年度　信濃山岳會編　大正一五	一	五四九	八五
日本アルプスと秩父巡禮	田部重治　大正八	一	三四	六四
日本アルプスと林間學校	鵜飼盈治　大正一二　五一四頁	一	二七三	四三
日本アルプス百景	朝日新聞社編　大正一三	一	四一八	九四
日本アルプスへ	窪田空穗　大正五	一	三六〇	四四一
日本案內	正卷之中　日下部明國編　大正八	一	三八四	一四三
日本按摩術	富岡兵吉　大正八	一	六〇	六三〇
日本幽囚實記	ガローウニン著　海軍省軍令部譯　大正一五	一	五五六	六
日本郵船株式會社創立滿三十年記念帖	同社編　大正四	一〇	四一二	一四
日本郵船株式會社渡航案內	同社編　大正五	一	三三九	八二九
日本郵便切手類鑑	木村梅次郎編　大正六	一	三六四	二二九
同	再版　大正九	一	三六四	二二九イ
同	三版　大正一二	一	三六四	二三九ロ
卽位紀念日本有名誌	杉謙二編　大正三	一	三三三	三五
日本有用樹木分類學	工藤祐舜　大正一一	一	三六一	一六五
日本優良商品文庫	高洲豐水編　大正一〇	一	四三三	六八
日本醫學會々誌	第四、五回　日本醫學會編　大正四、一一	二	六〇	一四六
同	第四回　大正四	一	六〇	一四六イ
日本醫學史講	富士川游　大正一二　八二頁	一	六〇	六五九
日本醫學史上より觀たる流行病	富士川游（明治聖德記念學會紀要第六卷ノ內　大正五）	一	五四、五	一
日本醫學專門學校一覽	大正八、一〇至一四　同校編　大正九至一四	六	二八七	一五
日本醫事雜誌索引	明治四四至大正七年　日本醫事年報社編　大正二至一〇	八	六〇	一五〇
日本醫事新報	同社發行（第二號（大正一〇年二月）ヨリ缺アリ）	雜	二七	三〇
日本偉人言行資料	國史研究會發行　大正四至六	三	三五五	一八
日本醫籍錄	醫事時論社編　再版　大正一五	一	六〇	六五イ
日本一周	前、中編　田山花袋編　大正三、四	二	三五〇	二八六
同		二	三五〇	二八六イ
日本逸史私記	矢野玄道　寫本　八卷	特	八〇	八三一
日本一禱齋傳	榎元半重　大正一一	一	三九八	九二
日本イデオム英譯法	山川作治郎　大正六	一	三三三	二五二
日本稻作講義	永井威三郎　大正一五	一	五五二	二〇
日本衣服史	森川六太郎　大正一四	一	五三五	二四八
日本醫學協會報告	同會發行　第二號（大正四年八月）至第一六號（大正八年六月）	一	雜	五三
日本移民政策と資本及外交	小倉文吉　大正六	一	三七	一〇三
日本印刷界	同社發行（第六〇號（大正三年一〇月）至第一一七號（大正八年七月））	一三	雜	二五一
日本印刷界貢獻者小傳	朝陽會編　大正一一　二八頁	一	三九三	四〇八
日本映畫事業總覽	石井文作編　大正一四	一	五四二	一七一
日本映畫年鑑	大正一三、一四年度　東京朝日新聞社編　大正一四、一五	二	五四一	一三三
日本衞生文庫	三宅秀、大澤謙二編　大正六、七	六	六一	二〇四
第一輯	養生七不可（杉田玄伯）病家三不治（大槻茂質）養生囊（小川顯道）二卷			
	養生要論（鈴木朗）養生新語（山下玄門）二卷			
	養生訓（貝原篤信）養生物語（曲直瀨道三）養生一言草（八隅景山）皆草（原昌克）養生訣（田中雅樂郎）田子			
日本遺蹟遺物圖譜	第一至五輯　大正五　遺蹟遺物研究會發行	一	四〇六	八二
日本醫籍錄	醫事時論社編　大正一四	一	六〇	六八五

		冊	函	號
第二輯	老人必用養草 五卷 (香月牛山)	三	四	は
	老の教 (白河樂翁)	四五	五	一
	敬の教 (易蘇主人)	一	四	一
	愛育茶談 (高島素之)	三	四	一五
	食事成宜 (下田將美)	一	四	一六
	第四 靜なきに聞く (白柳秀湖)	一	四	一七
第三輯	古登富貴草 二卷 (谷了閑)	三	四	一
	養生談 (桃井寅)	一	四	二
	白牛酪考 (稻生恒軒)	一	四	三
	蠡斯草 (佐藤民之助)	一	四	四
	年玉集 二卷 (櫻寧居士)	一	四	五
	養性談 三卷 (水野澤齋)	一	四	六
第四輯	養生辨後編 三卷 (同)	一	四	七
	襲ぬ夜の夢 (柳井三碩)	一	四	八
	産家やしない草 (佐々井茂庵)	一	四	九
	長命衛生論 三卷 (木井了承)	一	四	一〇
第五輯	養生主論 (名古屋玄醫)	一	四	一一
	人養問答 (芝田祐祥)	一	四	一二
	生々堂養生論 (中神琴溪)	一	四	一三
	救民妙藥 (穗積甫庵)	一	四	一四
	旅行用心集 (八隅蘆山)	一	四	一五
	鬼法 (第小路範實)	一	四	一六
	能毒養生辨 (平岡某)	一	四	一七
	婬事戒 (高井伴寛)	一	四	一八
	擷養茶話 (伊東如雷)	一	四	一九
第六輯	通仙延壽心法 二卷 (三宅建治)	一	四	二〇
	居家保養記 二卷 (本井了承)	一	四	二一
	秘傳衛生論 (曲直瀨玄朔)	一	四	二二
	延壽撮要 三卷 (原省庵)	一	四	二三
	夜光珠	一	四	二四
日本永代藏	井原西鶴 六卷	三	四五	は
	(西鶴文集ノ內 大正二)			
日本永代藏(抄)	藤村作編 大正一四	一	四三	一五
日本英米憲法論比較	川手忠義 大正六	一	三六六	四〇
日本英雄物語	兒玉花外 大正三	一	三五七	二
日本妖怪變化史	江馬務 大正一二	一	一六〇	一五三

		冊	函	號
日本エッセイ叢書	人文會發行 大正一五	四	五四五	四四
第一	弗でない男 (澤田謙)			
第二	自己を語る (高島素之)			
第三	黎明の女性 (下田將美)			
第四	靜なきに聞く (白柳秀湖)			
日本繪類考(異本)	卷一、二、四、五 漆山天童編 大正九 (蠹苑叢書ノ內)	四	一九八	四一四
	福智義一 大正九	一	三六四	一九三
日本沿岸遊覽案內	農商務省農務局編 大正三 (農務彙纂第二八)	一	三三一	七五
日本園藝業概覽	上卷 吳文炳 大正一〇	一	三八〇	一五八
日本演劇史論	高野辰之 大正一五	一	五五三	一一〇
日本演劇の研究	下澤瑞世 大正一〇	一	三九四	五八
歐洲比較文化史				
日本を歌へる(詩集一)	コンスタンチン・バリモンド著 尾瀨敬止譯 大正一二	一	五一七	一三三
日本小笠原群島及火山列島	水路部製 大正四 二・二×一・五	一枚	日	三三
日本御宮物語	巖谷小波 明治四五	一	三四三	五六
日本を見る	木村莊八 大正一〇	一	三九四	八一
日本及各國殖民地圖表	拓殖局編 大正元	一	四〇八	七四
日本及各國殖民地統計表	拓殖局編 大正二 五一頁	一	一四、四	三九二
日本及支那ニ於ケル毛織物及原料毛ノ需給關係	東洋拓殖株式會社編 大正七	一	三七八	九
日本及東洋の將來	野澤源之丞編 大正一〇 三三頁	一	三九三	一八三
日本及南支南洋の爲替	水野純 大正一四	一	五三五	一八七

		雜	二	
日本及日本人	政教社發行 第三九號(大正一三年一月) 至第四五號(大正一三年四月)	五四	三六	
日本及日本人の道	大川周明 大正一四 九二頁	一	五四九	三三
同 大正一五		一	五三五	二五六
日本織物人名錄	(大正一五年七月) 東京信用交換所編 大正一五	一	五六三	一
日本音樂講話	田邊尙雄 大正八	一	三八六	一三七
同 改訂版 大正一五		一	三八六	一三七イ
日本音樂の聽き方	那智俊宣 大正一三 (サンデー毎日叢書第六編)	一	五六五	八三
同		一	五六五	八三イ
日本音樂の研究	田邊尙雄 大正一五 (音樂叢書第一一編)	一	五〇〇	五六
日本音樂の發達	田邊尙雄 (明治聖德記念學會紀要第七卷ノ內 大正六)	一四、五		一
日本音樂の話	鈴木鼓村 大正二	一	三四九	九七
日本溫泉案內(保養遊覽)	附 入浴者の心得 宇野富夫 大正六	一	三六三	三一
日本我	附錄 發音と表情 遠藤隆吉 明治四五	一	三四三	一〇四
日本海々戰畫	東城鉦太郎畫 大正一五 三枚	一	四一七	四
日本海々洋ノ性狀	丸川久俊等 大正一五 (海洋調查彙報第一卷第一册)	一	一四、二	五四八
日本開化小史	田口卯吉 再版 大正六	一	二	三九
日本開國實記	藤岡浪江編 寫本	八〇	一〇四	三五
日本海黑龍沿岸州エキスペヂション灣及ノブゴロード灣水路部製	大正四 二・一×一・五	一枚	露	四六

		冊	函	號
日本海黑龍沿岸州潤津灣至ウスペニヤ灣	包有浦鹽斯德近海 水路部製 大正四 二・二×三・三	一枚	露	四七ロ
日本改造案大意	竹中治三郎 大正一五	一	五三〇	二三
日本改造の意義及其綱領	鈴木梅四郎 大正八	一	三八二	六四
日本改造論	島田三郎 大正一〇	一	五〇二	五一
日本改造論	松村介石 大正一二 九五頁	一	三九三	五九一
日本海事仲裁判決例	川瀨俊繼、松尾小三郎編 大正一四	一	五三七	八九
日本海事判決先例全集	淸瀨一郎、中塚正信編 大正六	一	一四、七	一五一
同 大正一五		一	一四、七	一五一イ
日本海事名鑑	野口尙太郎 大正一二	一	五二一	四五
日本海上發展史	並 日本海軍之發展 足立栗園 大正三	一	三四八	二一九
日本海商法	松波仁一郎 大正六	一	三六六	五一
日本海大海戰殉國記	セメヨノフ著 高須芳次郎譯 明治四五	一	四二	三三五
日本海中心論(孤島的自覺)	松尾小三郎 大正一〇	一	五〇三	二九
同 訂五版 大正一二		一	五〇三	二九イ
日本海中心論及豆滿江經略	松尾小三郎 大正一三	一	五〇三	二九ロ
日本海洋學	梶山英二 大正九	一	三八一	一〇五
日本海陸物產商名鑑	伊藤吉四郎編 大正七	一	三七四	一八
日本行爲稅論	原田芳太郎 大正一〇 四四頁	一	三九七	二一〇

日本航運規則類纂	瀨戸清次郎編	明治四五	日	一冊	函一〇六	一四七
日本航運規則類纂	中山隆之助編	大正七	日	一	一四七	一〇六イ
日本考古學	八木奘三郎(子直)	大正三	日	一	七九	八三ニ
同	大正一五		日	一	七九	八三ホ
日本考古學大系	雄山閣發行	大正一五	日	一	五五	五
第二期第一卷	漢式鏡(後藤守一)					
日本考古資料寫眞集	考古學會編	明治四五	日	一	三三九	四六
日本高僧傳要文抄	安性撰 三卷(大日本佛教全書第一〇一冊ノ內 大正二)		各	三	三五三	一〇
日本高僧傳指示抄	安性撰(大日本佛教全書第一〇一冊ノ內 大正二)		日	三	三五三	一〇
日本交通史論	日本歷史地理學會編	大正五	日	一	三四八	四〇一
日本交通鳥瞰圖	吉田初三郎	大正一一	日	一枚	八九	二八八
日本高等海員名鑑	帝國海友協會編	大正一四	日	一	五四〇	七一
同	大正一五		日	一	五四〇	七一イ
日本航路標識便覽表	航路標識管理所編	大正一〇	日	一	三九	一七
同	大正一一年五月改正	大正一一	日	一	三九	一七
同	大正一三年三月改正	大正一三	日	一	三九	一七
日本港灣衛生誌	海軍省醫務局編	大正七	日	一	六一	三三〇
日本が産んだ最初の苦學生	武井英夫	大正一三	日	一	五三五	一六六
日本乎英國乎	日高進	大正七	日	一	三六六	九七

日本歌謠史	附錄圖二枚付	高野辰之 大正一五	日	一冊	函一〇六	一四七
日本歌謠叢書	日本傳說叢書刊行會發行	大正一〇、一一	日	三	五〇〇	五〇
第四編 日本の小唄	(藤澤衛彥編)					
第八編 日本の俗謠	(同)					
第九編 日本の流行唄	(同)					
日本家屋構造(改一)	吉田金三	大正八	日	一	三八一	四九
日本家屋保險國營論(經濟一資料一)	森莊三郎編	大正一四	日	一	五三五	一四七
日本歌學史	佐佐木信綱 增訂再版	大正六	日	一	三三五	三三イ
日本祖師遺文	金子大榮編	大正八	各	一	三三四	五九四
日本學術協會報告	第一卷 同會編	大正一五	日	一	一四五	一七一
日本學大意	富永不盈齋(勤王文庫第二編ノ內	大正九)	日		三七九	九
日本家具圖案と製作法	小室信藏、宮本忠平	明治四五	日	一	四〇八	五三
同	訂再版 大正六		日	一	四〇八	五三イ
日本歌劇概論	小林一三 補三版	大正一四	日	一	五四一	四七
同	大正一二(寶塚叢書第二編)		日	一	五一五	九八
日本が世界平和の理想に與へたる	木村鷹太郎 大正一〇	四七頁	日	一	三五三	一六
	(日本民族研究叢書第一二)					
日本家族制度史研究	砂川寬榮	大正一四	日	一	五三五	一三九
日本家庭百科全書	家庭研究會編	大正五	日	一	八五	二五一
日本金橙籠年表	香取秀眞	大正五	日	一	三三九	六六三
日本介殼蟲圖說	後編 桑名伊之吉(西ヶ原叢書第一〇卷)	大正六	日	一	七八	九五

日本貝類寫眞帖	矢倉和三郎	大正二	日	一	四〇八	八三
日本硝子業之精華	(御大禮記念) 山田藤藏	大正四	日	一	三五九	三〇
日本から日本へ	德富健次郎	大正一〇	日	二	三九四	五一
日本からのお土産	隆辻政八	大正一一	日	一	五二六	九
日本樺太東岸諸分圖	第三 水路部製	大正元	日	一枚	樺一	一〇
	二·三×一·五		本			
同	第二、三 大正二 二·一×一·五		日	二枚	樺一	一〇イ
日本樺太南部	(磷哈連島) 水路部製	明治四五 三·四×	日	一枚	樺一	一〇ト
	一·四		本			
日本枯葉蛾科幷ニ鉤翅蛾科ノ研究	長野菊次郎 大正六			一	一四、五	一二
	(名和昆虫研究所報告第二號)					
日本眼科之證明	第五卷 桑原勇七郎編	大正一二		一	五五	四九
日本感靈錄	(續群書類從第二五輯ノ下釋家部ノ內				八〇	二二イ
	大正一三)					
日本感靈錄	木村正辭校 寫本	一五枚		一〇	八三〇	一六三
日本感靈錄	附 潤背 小杉温邨臨寫並校	寫本 三卷	持	一〇	八三〇	一三
日本九州	水路部製 明治四五	三·四×二·四	日	一枚	一九	一九イ
日本九州及四國豐後水道	水路部製 大正二	二·四×三·四	日	一枚	三三七	八
同	大正三 二·三×三·二		日	一枚	三三七	二ニ
日本阿久根至枕崎	水路部製 改正	大正二	日	一枚	一九五	一九イ
日本九州天草列島及八代海	水路部製	大正四	日	一枚	二一六	一ロ
	三·二×二·二					
日本九州伊萬里外灣至長崎港口	水路部製	大正元	日	一枚	二三四	一イ
	三·三×二·三					

日本九州西岸伊萬里外灣至長崎港口	水路部製	大正九	日	一枚	二三四	一ロ
日本九州西岸牛深港及附近	水路部製	大正三 一·五×二·一	日	一枚	二七三	一イ
日本九州西岸大立島至甑列島	水路部製	大正二 三·二×二·一	日	一枚	三一三	一イ
日本九州西岸及朝鮮南岸大瀨埼至濟州島	水路部製	大正四	日	一枚	三三三	一イ
	二·一×三·二					
日本九州西岸諸分圖	水路部製	大正元 三·三×二·二	日	一枚	三〇六	一イ
日本九州西岸長崎至口之津	水路部製	大正二 一·七×二·五	日	一枚	一八四	一ロ
日本九州西岸肥前長崎港	水路部製	大正七 二·二×一·六	日	一枚	一三三	八ハ
日本九州西岸三角港附近	水路部製	大正一四 二·一×一·六	日	一枚	九一	一イ
日本九州西岸八代海	水路部製	大正二 三·三×二·三	日	一枚	三〇九	一イ
日本九州西岸長島海峽	水路部製	大正元 三·四×二·四	日	一枚	三〇四	一イ
日本九州西岸八代海北部	水路部製	大正二 二·三×一·七	日	一枚	三一一	一イ
日本九州東岸豐後水道佐伯灣	水路部製	大正九 二·一×三·二	日	一枚	二六四	一イ
日本九州南岸鹿兒島海灣	水路部製	大正四 三·二×二·二	日	一枚	九九	八イ
同	大正九		日	一枚	九九	二ニ
日本九州南岸鹿兒島港及附近	水路部製	大正四	日	一枚	三三一	一イ
	二·二×一·六					
同	大正七		日	一枚	三三一	一イ
日本九州南岸山川港及附近	水路部製	大正四 二·三×一·六	日	一枚	三一九	一イ
同	大正七 二·三×一·七		日	一枚	三一九	一ロ
日本九州南部牛深至折生迫	水路部製	大正九	日	一枚	二七一	一イ
	二·二×三·一					

日本九州北部下關海峽至平戸瀬戸	水路部製	明治四五	二・三×三・三	一枚	一
日本牛馬耕術	安部嘗原、富益義衛	大正二		一	二四九
日本危機米禍來る	樋口龍陽	大正一三		一	五三
日本紀竟宴歌	伊勢貞丈自筆寫並校	寫本		特一〇	八三一
日本氣候學	中川源三郎	大正五		一	三五一
日本氣候表	中央氣象臺編	大正七		一	一四六
日本紀神代折紙記	飲光（滋雲尊者全集第一〇輯ノ内）	大正一四		五一	八
日本擬人名辭書	宮武外骨編	大正一〇		一〇	一二
日本汽船件名錄	海運週報編輯部編	大正二		一	三三一
同	再版	大正三		一	三三一
同	三版	大正四		一	三三一
同	日本汽船件名錄發行所編	四版	大正五	一	三三一
同	附錄付	五版	大正六	一	三三一
同	附錄付	六版	大正八	一	三三一
同	附錄付	七版	大正九	二	三三一
同	附錄付	八版	大正一〇	二	三三一
同	附錄付	九版	大正一二	二	三三一
同	一〇版	大正一三		一	三三一
同	一一版	大正一五		一	三三一

日本汽船船名錄	明治四五至大正一五年編	遞信省管船局		一冊	一
日本北アルプスと國有林	東京營林局編	大正一四		一	三七三
日本北アルプス登山案内	信濃山岳會編	大正八		一	三八八
日本北アルプス登山案内	鐵道省編	大正一三		一	五三二
日本喫茶史要	好川海堂（「日本煎茶創始者永谷翁」ト合綴）	大正一二		一	三八五
日本紀の御局の考	藤井高尚（百家叢說第三編ノ内）	明治四五		三	三〇
日本行政法	上、中、下（大正三年度東京帝國大學講義）美濃部達吉	謄寫版		三	〇
同	上、下	大正五		二	一四
日本行政法	第三、四卷 美濃部達吉 第三卷訂五版、第四卷再版	大正四、五		二	一四
同	總論、第三、四卷 總論五版、第三卷四版、第四卷再版	大正元至六		三	九一
同	各論上	四版	大正六	一	九一
同	總論	大正八		一	九一
同	總論、各論上 總論再版	大正八、九		二	九一
日本行政法	山田準次郎	大正一四		一	五三〇
日本行政法講義	島村他三郎	大正九		一	三八二
日本行政法各論	（東京帝國大學講義）謄寫版 美濃部達吉	大正一四		一	一四
日本行政法原論	佐々木惣一 再版	明治四五		一	九一
日本行政法總論	（東京帝國大學講義）謄寫版 美濃部達吉	大正一四		一	一四
日本行政法論	總論 佐々木惣一 改版	大正一三		一	九一

日本京染吳服染色業者名鑑	第一輯 京染新聞社編	大正一五		一	一五六三
日本魚學	上卷 田中茂穗	大正一〇		一	二八一
日本基督教各派の現況	（明治聖德記念學會紀要第二二卷ノ内） 相原一郎介	大正一三			一四五
日本基督教會史略	倍加運動委員編	大正一一		一	二九六
日本基督教會年鑑	大正五至八、一四、一五年 雀倉彌吉編	大正五至一五		六	三三五
日本基督教會略史	前編 山本秀煌編	大正一一		一	五〇四
日本基督教史	上、下卷 山本秀煌	大正七		二	三三五
同	上、下卷 補改版	大正一四		二	三三五
日本基督教徒名鑑	一名日本之基督教一覽 大正三 一〇〇一頁	谷龍平編		一	三三五
日本基督新教縱斷面	沖野岩三郎	大正九		一	三九二
日本近海海洋調查書	マカロフ編 樺太廳譯	大正四		一	三三七
日本近海氣象圖	水路部編	大正二		一	四〇四
日本近海磁針偏差圖	大正二年等偏差線 大正四 二・二×三・一	水路部製		一	八九
日本近海ノ潮汐	附圖付 水路部編	大正三		二	三五一
日本銀行營業報告	大正七年 同行編			一	一四、一四
〔日本銀行〕調查彙輯	內國之部、外國之部 查局編	同行調 大正八		二	三七八
日本銀行半季報告	第七、二至七四回 季、八年上半期同行編	大正七年上、下半 大正七、八		三	一四四
日本古今書畫人名辭典	奥村眺洋	大正一四		一	五二八

日本近世窯業史	大日本窯業協會編	大正一一		一	五〇九
第三編	陶磁器工業 下卷				
日本近世史	中村孝也	大正五至七		三	三四八
第一卷	社會分裂の時代				
第二卷	國民統一の時代				
第三卷	國家結成の時代				
日本近世史說	花見朔巳	大正一五		一	五五四
日本近世戰史（新訂教育用）	生田清範編	大正七		一	三五四
日本近生代地層の對比	矢部長克、青木廉二郎 大正一三（東北帝國大學理學部地質學古生物學教室研究邦文報告第四號）			一	一四、五
日本近世文學十二講	高須芳次郎	大正一二		一	五一七
同	一三版 大正一三（思想文藝講話叢書第六卷）			一	五三九
日本金石年表	奥田抱生	增訂再版 大正一〇		一	三九二
日本金屬同業一覽	大阪金物新報社編	大正元		一	二九
日本近代畫家在世年表	和田萬吉	大正四		一	三二八
日本近代錢譜	正編 林靜男編	大正五		一	二四四
日本近代文藝選集	文久社編	大正一五		一	五三一
日本金融史論（稿本）	瀧澤直七	大正元 一〇二八頁		一	三三六
日本金融發達史	鵜野久吾	大正一四		一	五三〇
日本菌類圖譜	第一至五輯 農林省林業試驗場編 大正三至一四			二	四二〇
日本組合基督教會史	小崎弘道編	大正一三		一	五二一

日本近世史學叢書	第一卷	大正一三		一	四四
日本近世史學叢書	第二卷	大正一四		一	四四
日本近世史學叢書	第三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第四十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第五十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第六十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第七十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第八十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第九十九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一〇九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一一九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一二九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一三九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一四九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一五九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一六九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一七九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一八九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第一九九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二〇九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二一九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二二九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二三九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二四九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二五九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二六九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二七九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二八九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第二九九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇三卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇四卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇五卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇六卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇七卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇八卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三〇九卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三一〇卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三一一卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書	第三一二卷	大正一五		一	四四
日本近世史學叢書

日本組合基督教會說教集　同會編　大正二三　第一輯　我等の講壇より　一冊　函一五三　号一二

日本組合教會便覽　大正三、七至一二年　大賀壽吉等編　七　三三五　七七

日本外交史　仲原善忠　大正一四　大正三至一二　（兒童圖書館叢書第五五編）　一　五一五　一二一

日本繪畫史　上卷　笹川種郎　大正一一　一　五〇七　一三

日本繪畫名家詳傳　竹内養憲　大正六　二〇　二一〇　二三〇

日本會計法規義解　平山慶次郎　大正八　一　三八三　三三

日本外史　村瀨欸水（徽）自筆　寫本（刊行以前ノ寫本ニシテ刊行本トハ多少異ナル所アリトイフ）　特三〇　八三一　四八

日本外史（新譯）　大町桂月譯　三四版　大正二　（新譯漢文叢書第一編）　一　三五　二四七

日本外史講義　上、下　興文社編　大正一四　（漢文學叢書第一二編）　二　五一六　三八一

日本外史講義　第一、二卷　月見柳莊　大正元、二　二　三四三　二五三

日本會社法　松波仁一郎　再版　明治四三　一　九一　三三一　ホ

同　一　九一　三三一　ト

同（改正）　大正三　一　九一　三三一　チ

同　一　九一　三三一　リ

同　一　九一　三三一　ヌ

日本外史論箋註（纂評）　附　文字解　池田四郎次郎　大正六　一　九一　三三一　ル

日本外史論文　賴襄　（國民道德叢書第三編ノ内）　明治四五　一・一二　三三〇　三五

日本外史論文講義　塗師谷秀教　大正四　（新撰百科全書第一二五編）　一　七八　九三

日本外史論文段解　三島毅　大正三　一　五三三　一二

第一輯　我等の講壇より

日本組合教會便覽　大正三、七至一二年　大賀壽吉等編　七　三三五　七七

日本外交史　仲原善忠　大正一四　大正三至一二　（兒童圖書館叢書第五五編）　一　五一五　一二一

日本繪畫史　上卷　笹川種郎　大正一一　一　五〇七　一三

日本繪畫名家詳傳　竹内養憲　大正六　二〇　二一〇　二三〇

日本會計法規義解　平山慶次郎　大正八　一　三八三　三三

日本外史　村瀨欸水（徽）自筆　寫本（刊行以前ノ寫本ニシテ刊行本トハ多少異ナル所アリトイフ）　特三〇　八三一　四八

日本外史（新譯）　大町桂月譯　三四版　大正二　（新譯漢文叢書第一編）　一　三五　二四七

日本外史講義　上、下　興文社編　大正一四　（漢文學叢書第一二編）　二　五一六　三八一

日本外史講義　第一、二卷　月見柳莊　大正元、二　二　三四三　二五三

日本會社法　松波仁一郎　再版　明治四三　一　九一　三三一　ホ

同　一　九一　三三一　ト

同（改正）　大正三　一　九一　三三一　チ

同　一　九一　三三一　リ

同　一　九一　三三一　ヌ

日本外史論箋註（纂評）　附　文字解　池田四郎次郎　大正六　一　九一　三三一　ル

日本外史論文　賴襄　（國民道德叢書第三編ノ内）　明治四五　一・一二　三三〇　三五

日本外史論文講義　塗師谷秀教　大正四　（新撰百科全書第一二五編）　一　七八　九三

日本外史論文段解　三島毅　大正三　一　五三三　一二

日本外來語辭典　上田萬年等編　大正四　一　三三三　一二〇

日本鑛業新聞　同社發行　第三六一號（大正九年四月）至第四九二號（同一三年一月）　一三　雜三一　一〇三

日本鑛業法論　水谷嘉吉　大正一一　六六五頁　一　三五三　二〇九

日本鑛業名鑑　鑛山懇話會編　大正二　一　三四九　一四三

同　改訂　大正七　一　三四九　一四三　イ

同　（內地）　改訂　大正一三　一　三四九　一四三　ロ

日本鑛山見物　大和鑛郎（小川正次郎）　大正三　九一二頁　一　三五八　一〇

日本鑛山誌　小鹿島果　寫本　二卷　一〇　二〇五　二七

日本鑛石學　岩崎重三　大正二至七　四　三三〇　一〇

第一卷　石炭篇　（訂五版）

第二卷　金篇　（增訂三版）

第三卷　銀篇

第四卷　銅篇

同　第三卷　再版　大正六　一　三三〇　一〇　イ

同　第一卷　改四版　大正五　一　三三〇　一〇　ロ

同　第一卷　補六版　大正七　一　三三〇　一〇　ハ

日本皇太子史論　三宅武郎　大正一〇　一　五一四　六五

日本皇太子殿下同妃殿下　岡本瓊二編　大正一三　（兒童課外讀物世界百傑傳一）　一　五一五　一二八

日本鑛物各論　比企忠　明治四五　一　三四二　一五〇

日本鑛物誌　和田維四郎著　神保小虎等增訂　大正五　一　三四　二六二　イ

日本化學會誌　東京化學會發行　第四二帙（大正一〇年）ヨリ（「東京化學會誌」ノ改題）　雜　二六　イ一

日本化學工業新聞　同社發行　第一年一二號（大正六年九月）ヨリ　雜　四九　八三

日本畫家全書　美術鑑定會編　大正元　三〇　二四九　八五

日本畫家大辭典　澤田章編　大正二　一　三三二　七一

日本畫會繪畫展覽會圖錄　第三回　同會編　大正一四　一　一六三　一〇三

（日本畫會）當選畫集　第一四、一七、二〇至二二回　同會編　大正四至八　五　七九　二〇五

日本化洋風小住宅　保岡勝也　四版　大正一五　一　五六三　一七

日本菓子寶鑑　保坂幸三郎編　大正五　一　三五八　一二四

日本貨紙幣全集　東光園編　大正一二　特一　四一五　八

日本華道池坊由來記　上野啓純編　大正一三　一　五一八　六六

日本畫壇爭鬪史　添田達嶺　大正一三　一　五二一　一一三

日本畫談大觀　坂崎坦編　大正六　一　三五六　三一六

上編　畫論

畫筌　卷一、六　（林守篤）

畫巧潛覽　卷一二、一五　（大岡春卜）

畫法彩色法　（西川祐信）

畫則　（狩野永納）

畫法綱領　（櫻井秋山編）

國畫論　（佐竹曙山）

玉洲畫越　（平澤旭山）

繪事鄙言　（桑山玉洲）

西洋畫談　附　（春波樓筆記抄）　（司馬江漢）

畫道金剛杵　（中林竹洞）

繪の事　（本居宣長）

竹洞畫論　（中林竹洞）

文畫誘掖　二卷　（同）

山中人饒舌　二卷　（田能村竹田）

論畫詩　（浦上春琴）

續論畫詩　（同）

中編　隨筆

後素集　三卷　（狩野一溪）

後素說　（林羅山）

三聽庵雜志　（木村探元）

畫談鷄肋　（中山高陽）

漢畫指南　二卷　（建部凌岱）

繪そらごと　（石野廣通）

名數畫譜　（大原東野）

此君堂後素談　（立原翠軒）

文晁畫談　（谷文晁）

嬉遊笑覽　書畫之部　（喜多村信節）

墨水畫聖　二卷　（上杉得中）

畫學捷徑　（湖上簑笠）

輪奐畫譚　（屋代弘賢）

畢山尺牘　（渡邊崋山）

畫鑑畫談　五卷　（清鴻舍）

容齋畫意　（菊池容齋）

畫道傳授口訣　（狩野章信）

近世名家書畫談　八卷　（安西雲烟）

槃礴脞話　二卷　（森島長志）

無聲詩話　二卷　（金井烏洲）

瀫芳閣書畫銘心錄　二卷　（淺野梅堂）

松柳問答　（池上休柳）

論畫竹偶筆　（池上井謦牙）

鐵翁畫談　（鐵翁）

下編　傳記

丹青若木集　（狩野一溪）

本朝畫史　三卷　（狩野永納）

畫工便覽　五卷　（狩野白石）

近世畸人傳　（伴蒿蹊、三熊花顚）

謄大小心錄　（上田秋成）

圖畫考　（齋藤彥麿）

狩野五家譜　（小林自閑齋）

近世叢語　（拔萃）　（角田九華）

續近世叢語　（拔萃）　（同）

續本朝畫史　二卷　（檜山義愼）

近世逸人畫史　（岡田梅軒）

長崎畫人傳　（渡邊秀實）

屠赤瑣瑣錄　（田能村竹田）

畫乘要略　五卷　（白井華陽）

緇長崎畫人傳　（荒木千洲）

無名翁隨筆　（池田英泉）

竹田莊師友畫錄　二卷　（田能村竹田）

ゆめのただち　（堀直格）

蠡德郡顯文鈔　二卷　（同）　（清宮秀堅）

雲烟所見略傳　（野村文紹）

谷文晁翁の記

		冊	函	號
日本畫談大觀	坂崎坦編 大正六	一	三五六	二一六イ
日本畫談美術趣味の常識	加藤美命 大正一二 (人間叢書第一一編) 九四頁	一	一五一五	三三
日本活語法	谷垣勝藏 大正九	一	三三三	三六六
日本畫に就きて	川合芳三郎 (文部省講習會圖書科講話集ノ內 大正六)	一	三七一	四三
日本畫の描き方	西澤笛畝 大正八	一	三八〇	六
日本畫の描き方 (誰にも一出來る)	橋本春陵 大正一四	一	五四一	二四三
日本畫の過去及び將來に就いて	高山樗牛 (樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 大正元)	四五	三一六	八
同	(增補縮刷樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 大正三)	四五	三一六	一ト
同	(增補縮刷樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 七版 大正四)	四五	三一六	三チ
同	(改訂註釋樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 大正一四)	四五	三一六	三リ
日本畫の知識及鑑定法	今泉雄作 大正九 (書畫骨董叢書第一卷)	一	三九九	一
日本貨幣史	瀧本誠一 大正一二 (文化叢書第二四編)	一	五〇五	二六
日本貨幣史	附 金座考 塚本豐次郎編 大正一二	一	四三一	一〇
同	附 金座考、圖錄 增訂 大正一四	特 一	四三一	一〇イ
同		二	四三一	一〇ロ
日本貨物船々體明細圖	千葉直俊製 大正一二	一〇	四三〇	七四
日本貨物船明細書	有光幹茂編 大正八	一	三八六	一〇五
日本貨物船明細書	市橋俊夫編 大正九	一	三九五	二五

		冊	函	號
日本貨物船明細書	富樫哲太郎編 大正一〇	一	三九五	一七
同 大正一一		一	三九五	一七イ
日本花柳史	山根秋伴(眞次郎) 大正二	一	三五〇	一七〇
日本環海海流調査業績	大正二至六年 熊田頭四郎編 大正一一	一	三七八	二四八
同 附 海流豫察圖		一	三七八	二四八イ
日本玩具集	解說付 兒童用品研究會編 大正六	一帖	一〇九	二四〇
日本玩具集おしやぶり	第一編 有坂與太郎編 大正一五	一	四三一	二一
同 第二輯 古代篇 大正一五		一	五六一	三八
日本勘業銀行創立二十年志	同行編 大正六	一	三三三	六〇
日本軍の暗黑面	原田政右衞門 大正三	一	三一九	三〇三
日本警語史	伊藤銀月編 大正七	一	三七六	二〇三
日本經濟史	瀧本誠一 大正九	一	三五二	一四八
日本經濟史	第一至八卷 竹越與三郎編 大正九	八	四四一	三七一
同 大正一四		八	五三〇	七五
日本經濟史	原論 本庄榮治郎 大正一〇	一	三五二	一八
日本經濟史巷話	細貝正邦 大正一四	一	五三五	九七
日本經濟史原論	本庄榮治郎 大正一〇	一	三五二	一八
同		一	三五二	一八イ
日本經濟史の研究	上、下卷 內田銀藏 大正一〇 (內田銀藏遺稿全集第一、二輯)	二	三九九	一五

		冊	函	號
日本經濟史文獻	本庄榮治郎 大正一三	一	一五三〇	九九
日本經濟史論	福田德三著 坂西由藏譯 訂三版 大正三	一	九〇	二一九ロ
日本經濟叢書	瀧本誠一編 大正三至六	三六	三四六	一八

卷一

本佐錄	(本多正信)		
豐年稅書	三卷		
盍徹問答	(山崎闇齋)		
大學或問	二卷 (熊澤蕃山)		
孟子井田辨	(毛利貞齋)		
恒產記	(山中某)		
民間省要	一五卷 (田中丘隅)		

卷二

家道訓	六卷 (貝原益軒)		
農業全書自序	(宮崎安貞)		
農業全書附錄	(貝原樂軒)		
律原發揮	(中根璋)		
律尺考驗	並三器攻略 二卷 (中村惕齋)		
兼山秘策	八卷 (室鳩巢)		

卷三

不亡鈔	四卷 (同)		
獻可錄	三卷 (同)		
識物錄	二卷 (淺見絅齋)		
政談	四卷 (荻生徂徠)		
太平策	(同)		
度量衡考	二卷 (荻生徂徠、同北溪)		
口上覺書	(陶山鈍翁)		
土穀談	並同附錄同附說 (同)		
老農類語	(同)		
刈麥談	(同)		
水利問答	(同)		
告新錄	(同)		
甘藷說	(同)		
民事紀聞	(同)		

卷四

農政問答	(同)		
伊奈郷農錄	(同)		
郷村農事錄	並同附說 (同)		
農書料略	並同後語 (同)		
食兵宗旨	(同)		
訥庵文草	並同續集 (同)		
財川說	(同)		
受益談	並同附說、同續錄、同附說、同或問、同東問、同後語 (同)		
足食談	(同)		
讀增田開地記	(同)		

卷五

山下幸內上書	並附論 (山下幸內)		
山下筆記	(山下宗節)		
山下筆記追考	(永井行達)		

卷六

經濟錄	並同拾遺 一〇卷 (太宰春臺)		
春臺上書	(同)		
產語	二卷 (同)		
民家生要	三卷 (源邵)		
蕪居偶筆	二卷 (大月履齋)		
救餓大意	附 社倉略法、社倉法大意 (三輪執齋)		
辻六郎左衞門上書	(辻六郎左衞門)		
宜室夜話	(山縣周南)		
治國修身錄	二卷 (岡白駒)		
齊相問對	(澤村琴所)		
金銀吹替評			
本政談			
地方國本錄	二卷 (太田英任)		

卷七

經濟纂要	二〇卷 (青木昆陽)		
草廬雜談	二卷 (同)		
續草廬雜談	五卷 (同)		
商人生業鑑	(岩垣光定)		
商人夜話草	三卷		
商家心得草	二卷		
商人平生記			

卷八

增補田園類說	二卷 (小宮山昌世著 山內董正補)		
縣令須知	四卷 (谷本教)		
大學養老篇	二卷附錄 (入江南冥)		
都鄙問答	四卷 (石田勘平)		
齊家論	二卷 (同)		
上言			
民間備荒錄	二卷 (建部清庵)		
地方落穗集	並同追加 二卷		
續地方落穗集	一六卷		
閒傳叢書	二卷		

卷九

考工記管窺	二卷 (上野養剛)		
歷代戶口攷	(山本格安)		

卷一〇

鄉遂井田圖說	三卷 (齋藤高壽)		
尙儉撮要	二卷 (戶田養恬)		

卷一一

算家或問	(會田安明)		
數度實談	二卷 (西村遠里)		
町人嚢	五卷 (西川忠英)		
町人嚢底拂	二卷 (同)		
百姓嚢	五卷 (同)		
華夷通商考	二卷 (同)		
農家貝行	二卷 (蓑相山)		
田祿圖經	三卷 (陰山元質)		
諸物直段考	二卷 (有澤武貞)		
勸農固本錄	二卷 (萬尾時春)		
井田圖考	附 和漢度量權衡辨惑 二卷 (同)		
富貴草	(早川賢當)		
たしなみ草	(同)		
地方一樣記	(葛間勘一)		

不盡言（塙景山）
社倉考（宇佐美灊水）
事務談（同）
價原（三浦梅園）
春秋社日醵儀（大江匡弼）
經濟問答（遠山景賢）
利權論（畑中太冲）
貨殖論（三輪執齋）
正享問答

卷一二
富國策（林子平）
上書（同）
經世秘策　二卷　並同補遺、同後篇（本多利明）
西域物語　三卷（同）
鎖不恤緯（土生熊五郎）
船舶考（同）
答問十策（同）
春波樓筆記（司馬江漢）
植崎九八郎上書（植崎九八郎）
賤策雜牧

卷一三
猪鹿追詰覺書（陶山鈍翁）
口上覺書　上卷（同）
農業全書約言（同）
潛商之儀被仰上書（同）
潛商議論（同）
栗孝行芋植立下知覺書（同）
民事紀聞附錄（同）
民事紀聞附說（同）
農政御下知問答（同）
木庭作御停止批判覺書（同）
貪兵宗旨議錄（同）
財平問答（同）
常平問答（同）
山火燎覺書（同）
藥物語　並同附錄（同）
古誼問答　並同別錄（同）
對幕雜記（同）
竹島文談（同）
聖朝訓戒錄（同）
國朝訓戒錄（同）
鐵砲格式會議條目（同）
祭平田類右衛門仁兄文　附　佐護鄉碑文、陶山先生事狀、鈍庵先生事記、鈍庵先生著書目錄（同）

卷一四
地理細論集　四卷（眞壁用秀）
耕隊春秋　七卷（土屋又三郎）
牧民忠告解　二卷（樋口好古）
稅賦參定指南（同）
地方根元記（木村莉雲）
農際餘談（利根川教悶）

卷一五
上書　第二、三（林子平）
町人考見錄　四卷（三井高房）
天明大政錄　二卷（湯淺明善）
嚶鳴館遺草　並同附錄　六卷（細井平洲）
肥後物語（龜井道載）
農家訓　二卷（山名文成）

卷一六
玉くしげ別本　二卷（本居宣長）
救時策（大塚孝成）
下駄屋甚兵衛書上（同）
正名緒言　二卷（菱川大觀）
士大夫節儉論（龍公美）
禮記王制地理圖說（長久保赤水）
年貢考（同）
高澤殺賦考　附　高澤錄（高澤鶴鳴）
條救談話　一〇卷（早川八郎左衛門）
草茅危言（中井竹山）

卷一七
爲貧說（天木時中）
今書（蒲生秀實）
柳子新論（山縣昌貞）
栗山上書（柴野邦彥）
十事解（古賀侗）
極論時事封事（同）
經濟文錄　附　軟泥偶語（同）
詢謀邇言（古屋昔）
經濟隨筆（高野昌碩）
富強六略（同）
籠田の水（平榮實）
徹法考（三木廣隆）
井田附言（三木廣隆述）
經國本義（山田勝理記）
田制沿革考及國都宮轄考（星野常富）
農愈（鈴木正長）
治國大本（朝日丹波）
治國譜及治國譜考證（朝日丹波、森文四郎）
世營錄（藤井直次郎）
獨憤俗話（海保青陵）

卷一八
善中談（海保青陵）
天王談（同）
萬屋談（同）
養心談（同）
前識談（同）
論民談（同）

稽古談　五卷（同）
升小談（同）　三卷（同）
洪範談　並或問（同）
海保儀平書
野叟獨語（杉田鵠齋）
茅窗漫錄（茅原定）
造幣策（馬場正通）
邊策發矇（同）　三卷
神武不殺論（松井輝星）
滑川談（塚田多門）
伍家制令詳解（三野元密）
田畝里程考（黑田玄鶴）
經濟十二論（井上四明）
自修篇　三卷（小町雄八）
黍稷稻粱辨（龜田鵬齋）
富國雜議（龜田翼）
農業餘話　二卷（小西篤好）

卷一〇
本朝地方春秋　四編（三木廣隆）
封事（藤田幽谷）
覩農或問　二卷（德井田忠友）
農政座右　四卷（小宮山昌秀）
井田集驚（友部眞夫、小宮山昌秀）
商道九篇國字解　四卷（堤正敏著　松川修解）
覩農策　二卷（武元立平）

卷一一
田租考（栗原柳庵）
平理策（丹羽勗）
破レ家ノツヾクリ話　三卷（新宮涼庭）
田制沂源考（日吉偉三）
經地解義　二卷（下坂躋）
警稻性辨（山田文靜）
經典叢名考　二卷（同）
田園地方紀原　二卷（朝川善庵）
濟時七策（同）
齋庭之穗

卷一二
經濟問答秘錄　卷二至一六（正司考祺）

卷一三
同　卷二七至三〇　八卷（同）
武家七德後編（同）

卷一四
天明錄　五卷（同）
家職要道　一〇卷（同）
兵制新書　卷一三（岡熊臣）
節儉略言　二卷（樋口世禎）
草茅危言摘議　五卷（神惟孝）

卷一五
夢之代　二卷（山片芳秀）
第二六　桂川答問書（松浦暢守）
蔗野東山上書（賀島恕軒）
大山重憲筆記（大山重憲）

卷一三
經濟放言（本多利明）
談理談（海保青陵）
談學問答　二卷（同）
志學行（遠藤泰通）
廣惠編像解　二卷（同）
東潛夫論　三卷（帆足萬里）
西藩田租考　二卷（伊地知季安）
眞壁義倉條約（畠山立）
經濟五策（大塚昌伯）
濟貧略記（東條一堂）
井田說
貪貨辨

卷一七
三貨圖彙　乾卷（草間直方）

卷一八
同　坤卷（同）

卷一九
中外錢史　二卷（德井田忠友）
民政要編　三卷（山縣禎）
不算得失　五卷（長島仁左衛門）
咬菜百做錄　四卷（大草公明編）
蟻の念

卷二〇
本朝度量權衡攷　三卷、附錄三卷（狩谷掖齋）
度量衡說統　六卷（最上德內）
金銀通用記評判　二卷

卷二一
地方凡例錄　二卷（大石久敬）

卷二二
制地圖解抄　二卷（色川東海）
滄浪夜話　二卷（廣瀨淡窓）
迂言　二卷　並議、土著の蠹（藤田東湖）
上下富有の名言　五卷（藤森弘庵）
新政談
富國存念書（仁井田好古）
貨幣秘錄（佐藤治左衛門）
金銀圖錄續編（近藤守重）
牧米樞上書
當今金錢米布江水通價考
減銅錄（花井一好）
神州論（同）
末黑のすゝき（平塚茂喬）
救急或問（安井息軒）
高島喜平上書（高島秋帆）
佐久間象山上書（佐久間象山）
治本策（岡本信克）

卷二三
抄錄　乾卷（瀧本誠一編）

卷二四
同　坤卷（同）

卷二五
德川理財會要　乾卷（大藏省記錄局編）

卷二六
同　坤卷（同）

日本經濟年鑑 第一回 大正三年 帝國通信社編	大正三	一	三三一	九六
同		一	三三二	九七
日本經濟の解剖 高橋龜吉編	大正一四	一	五四六	七一
日本經濟の現在及將來 小林丑三郎（財政經濟に關する講演速記錄ノ內、大正一二）		一	五一八	六九
日本經濟の行詰と無產階級の對策 高橋龜吉	大正一五	一	五四六	八二
日本經濟論 阪谷芳郎著 菊池曉汀編 一〇〇九頁	大正元	一	三三六	一二七
日本刑事訴訟法 日本法學會編	大正一一	一	三五二	二三〇
日本刑法 富田山壽	大正七	一	三六六	六二
同		一	三六六	六三イ
同		一	三六六	六三ロ
日本刑法 第一分冊 牧野英一 再版	大正五	一	三六六	一四
同 五版	大正七	一	三六六	一四イ
同		一	三六六	一四ロ
同 九版	大正八	一	三六六	一四ハ
同 第一至三、五分冊 訂一六版	大正一二	四	三六六	一四ニ
同 訂二三版	大正一五	一	三六六	一四ホ
日本刑法 吉田常次郎 大正一三 五〇六頁		一	五一二	二四七
日本刑法新論 島田武夫 大正一三 五二四頁		一	五一二	三九
日本刑法總論 久禮田益喜 大正一四		一	五三〇	一五九
日本刑法論 泉二新熊 上、下編 三五版	大正一二	二	九〇	二七一ケ
同 上編 三四版	大正一一	一	九〇	二七一フ
同 上編 三七版	大正一三	一	九〇	二七一コ
日本教育學說の研究 渡部政盛	大正九	一	二五三	二四五
日本教育行政法論 大山幸太郎 八四四頁	大正元	一	二五六	一七三
日本教育行政法論 武部欽一（教育講座第一二編）	大正五	一	三四〇	四三
日本教育經濟大要（現行法令參照） 山口定太郎、玉井廣平編	大正六	一	二五六	一九一
日本教育史 高橋俊乘（最新教育學叢書第一二卷）	大正一二	一	二五三	二五八
日本教育思想史の研究 培風館發行	大正一五	一	五五五	三
第一卷 和魂漢才說 （加藤仁平）		二	五一五	四三
日本教育者協會パンフレット 同會發行	大正一二			
第一篇 近東問題土耳古の新形勢に對する史的觀察（長瀨鳳輔）				
第二篇 農村問題小作問題對話 （有馬賴寧）				
日本教育の變遷（文部大臣を中心として評論せる） 橫山健堂	大正三	一	二五五	五〇
日本教化史論 根岸榮之	大正一五	一	五二五	二九四
日本劇場史 附 西洋劇場の話 後藤慶二	大正一四	一	五四三	一四六
日本戲曲史講話 伊原青々園（文學普及會講話叢書第四編ノ內）	大正三		三四〇	三九
日本戲曲集 劇作家協會編	大正一三、一五	二	五二七	六一
第一輯 妖婦（池田大伍）眞似（菊池寬）不幸（久保田万太郎）幸運（久米正雄）だるま（武者小路實篤）				
亡き妻を哭く（長田秀雄）				
エピクロスの快樂（長與善郎）				
原始時代（中村吉藏）				
天一坊（額田六福）				
無禮講（岡本綺堂）				
嫉妬（里見弴）				
生きて居る小平次（鈴木泉三郎）				
腕角力（谷崎潤一郎）				
女中の病氣（山本有三）				
騙落（吉井勇）				
第二輯				
十月の錯覺（秋田雨雀）				
倉庫の强盜（藤井眞澄）				
理髮師（金子洋文）				
相似（菊池寬）				
主人のない、母子（北尾亀男）				
命を弄ぶ男（岸田國士）				
短夜（久保田万太郎）				
無籍者（中村吉藏）				
虛無僧（岡本綺堂）				
槍持定助（岡榮一郎）				
亭主（小山内薰）				
王樣と骰子の目（高田保）				
マンドリンを彈く男（谷崎潤一郎）				
正直直次郎（里見弴）				
生活の河（關口次郎）				
恐ろしき花（橫光利一）				
日本戲曲名作大系（院本一） 三島才二編	大正一四	二	五三九	五五
第一卷 義經千本櫻（院本）（竹田出雲）				
同（正本）（中村重助）				
近頃河原の達引（正本）（鶴屋南北）				
東海道四谷怪談（正本）				
助六由緣江戶櫻（正本）				
近頃河原の達引（院本）（竹田出雲等）				
第二卷 假名手本忠臣藏（正本）				
同（正本）（瀨川如皐）				
世話情浮名橫櫛（正本）				
歌舞伎十八番 勸進帳（正本）				
同 第二卷	大正一四	一	五三九	五五イ
日本外科全書 長尾折三、藤根常吉編	大正三至七	九	五四	五七
第一卷第一冊 外科史（佐藤三吉）外傷總論（小川三之助）				
同 別錄 炎症總論（下平用彥）				
日本刑法通義（理論ノ應用） 日本法學會編	大正五	一	三五三	一二五
日本刑法論 泉二新熊 二三版	明治四五	一	九〇	二七一ヌ
同		一	九〇	二七一ル
同		一	九〇	二七一ヲ
同		一	九〇	二七一ワ
同 一九版	大正四	一	九〇	二七一カ
同		一	九〇	二七一ヨ
同 二〇版	大正五	一	九〇	二七一タ
同 二一版	大正五	一	九〇	二七一レ
同		一	九〇	二七一ソ
同		一	九〇	二七一ツ
同 二四版	大正七	一	九〇	二七一ナ
同 二五版	大正七	一	九〇	二七一ラ
同 上、下編 二六版	大正八	二	九〇	二七一ム
同 上、下編 二七版	大正九	二	九〇	二七一ウ
同 上、下編 上編三一版、下編三〇版	大正一〇	二	九〇	二七一ノ
同 上、下編 上編三二版、下編三〇版	大正一〇	二	九〇	二七一ク
同 上、下編 上編三一版、下編三二版	大正一〇、一一	二	九〇	二七一ヤ
同		二	九〇	二七一マ

	冊	函	號
第三卷第七冊　壞死總論（同） 第四卷第一冊　療法總論（三輪德寬） 第五卷第一三冊　聽器ノ外傷及其外科的諸病（和辻春次） 第八卷第一九冊　鼻腔副鼻腔損傷及外科的疾患（細谷雄太） 腹蓋及腹膜の外傷及び諸病（關場不二彥） 第八卷第二〇冊　膽道外科（三宅速） 第九卷第三冊上　腸管閉鎖症（高安道成） 日本外科寶函　猪子、伊藤兩教授記念會編　大正一三	一	五四	七一
第一卷第一號　伊藤教授還曆祝賀論文集			
日本結核豫防聯合會々誌　第五回　石川縣結核豫防會編　大正七	一	五三	一四五
日本結核豫防聯合會々誌　第七回　岐阜縣結核豫防會編　大正九	一	五三	一四五
日本結髮史　稻葉小千（虎一）　大正七	一	三七六	三三七
日本研究（美點躬點一長所短所一）　大町桂月編　大正七	一	三七六	一四五
日本絹業博覽會〔記念寫眞帖〕　兵庫縣博覽會協會編　大正一四	一〇	四一六	一二七
日本絹業博覽會事務報告　兵庫縣博覽會協會編　大正一五	一	五四〇	一二三
日本言語學　松岡靜雄　大正一五	一	五一七	四二〇
日本建國神話　高木敏雄　明治四五	一	三三三	二四二
日本建國神話之研究　辻春緒　大正一四	一	五三四	一二四
日本建國と世界統一の天照大御神　木村鷹太郎（日本民族研究叢書第一五）　大正一一	一	三五三	一六一
日本建國の根本精神　加藤玄智（文化問題十五講ノ內）　大正九		三八七	一三八
日本原始工藝　第一、二輯　工藝美術研究會編　大正一五	二	四三三	三三九
〔日本現時の職工問題〕　宇野利右衛門　明治四五（職工問題資料第一輯）	一	三二六	二四
日本原人の研究　清野謙次　大正一四	一	五四一	五〇
日本憲政史　伊達源一郎編　大正四（現代叢書第七册）	一	三四〇	四八イ
日本憲政提要　稻田周之助　大正一一（政治學叢書第五編）	一	三三〇	四五
日本憲政本論（國體擁護一）　加藤房藏　大正二	一	三三六	一三七
日本現代史（世界を背景とせる一）　長谷川錢次郎　大正一四	一	五三三	二二四
日本現代文學十二講　高須芳次郎　大正一三　五一四頁	一	五二三	三八
同　一一版　大正一三（思想文藝講話叢書第七卷）	一	五三九	一六
日本現代名詩集　附錄　泰西名詩選　井上康文編　大正九	一	三九一	一〇八
日本劍道教範　高野佐三郎　大正九	一	三九五	二一
日本劍道史　山田次朗吉　大正一四	一	五三七	一七
日本建築　大澤三之助（圖書科講話集ノ內　大正一三）		三三三	四三四
日本建築要鑑　江村恒一編　大正一三	一	五二一	一三三
日本建築綜覽　鹿岡圖集　第一輯　鹽野庄四郎編　大正八	一〇	四〇三	二五
日本建築學　上、下卷　澁谷五郎　大正一〇、一二	二	三八一	一五六
日本建築造作集　第二輯　大島盈株　大正三	一	四〇七	三七
日本建築雜作圖案　上卷　金子清吉　大正一五	一	五五二	九七
日本建築史　附　全國特別保護建造物年代表　佐藤佐　大正一四	一	五三七	七八
日本建築辭彙　中村達太郎　增補一〇版　大正八	一	三〇	三九イ
日本建築仕樣圖解　附圖付　近間佐吉　大正一五	二	五五二	一三

	冊	函	號
日本建築小史　須賀眞金　大正一一　六四頁	一	三九三	四二八
日本建築建具圖集　伊藤虎三　大正九	一	四一三	九五
日本建築圖解　建築寫眞類聚刊行會編　大正八	一	三五九	六一
日本建築雛形新撰　吹き寄せ集　その一、二輯　古塚正治編　大正九、一〇	二	四一三	九一
日本建築由來（內務省特別保護建造物集成一）　帝國建築協會編　大正一四	一	四一六	一二五
日本建築欄間圖集　伊藤虎三　大正九	一	四一三	九三
日本憲法要論　木下孫一　大正一三	一	五三〇	三三
日本憲法制定史　藤井甚太郎　大正一一（文化叢書第三編）	一	五〇五	二六
日本語意便覽　西野古海編　寫本（六卷本卷一落丁、卷二缺本）	三	八三〇	六〇
日本後紀　藤原緒嗣等奉勅撰（國史大系六國史ノ內　大正二）	三	三四八	一〇八
同　（國史大系六國史ノ內　再版　大正七）	三	三四八	一〇八イ
日本工藝美術　奥田誠一（圖書科講話集ノ內　大正一三）	三	三三	四三四
日本工業要鑑　明治四五至大正一三、一五、一六年度用　工業之日本社編　明治四四至大正一五	一三	九五	五六
日本興業銀行十年史　同銀行編　大正元	一	三三七	九一
〔日本興業銀行〕調查年報　明治四五年上半期、大正元年下半期　同銀行編　大正二	二	一四四	二八
日本工業大觀　工學會編　大正一四	一	五四〇	七七
日本工業錄　工業雜誌社發行　五版　大正二	一	五三〇	九〇
日本口語法（尋常小學國語讀本を資材とした）　鶴田常吉　大正一三	一	五三八	三三
日本口語法講義　山田孝雄　大正一一	一	三三六	三三六
日本口語文法教科書（漢一譯一）　松本龜次郎　大正八	一	三三三	二四九
同　再版　大正一五	一	三三三	二四九イ
日本洪積世氣候論　矢部長克　大正一〇（東北帝國大學理學部地質學古生物學教室研究邦文報告第三號）	一	二四一五	四四
日本弘道會四十年志　同會編　大正七	一	三七〇	三四
日本工場法と勞働保護　神田孝一　大正八	一	三八二	五〇
日本古學派之哲學　井上哲次郎　訂補　大正四	一	七三	一八七イ
日本國開闢由來記　平野重政　六卷（日本歷史圖會第二輯ノ內　大正一〇）	三	九九	三
日本國郡沿革考　地理局地誌課編　寫本	一三	〇	二七
日本國教原義　水谷清　大正一五	一	五二一	一三三
日本國見在書目錄（東京帝室博物館藏一）　第二回　古典保存會編　大正一四	一	一三九	二九六
同　大正一四	特一	一三九	二九六イ
日本國現報善惡靈異記　景戒（醫聖堂叢書ノ內　大正一二）	一三	九五	一九七
同	一	三三七	一九七イ
日本國際經濟論　神戶正雄　大正一一	一	五一二	四〇
同	一	五一二	四〇イ
日本國際私法　佐々野章邦　大正九	一	三八三	一二三
日本國際私法講義案　第一分冊　高井忠夫　大正一四	一	五三〇	九〇
日本國際私法論　分冊第一　山口弘一　增訂改版　大正五	一	九一	一九五イ

		冊	函	號
日本國際私法論	改訂三版 大正一〇	一	九一	二五五ロ
日本國誌資料叢書	太田亮 大正一三至一五	二	五二七	六三
	い 越後、佐渡			と 和泉
	ろ 信濃			ち 河內
	は 丹波、丹後			り 甲斐
	に 近江			ぬ 三河
	ほ 武藏			る 尾張
	へ 攝津			
日本國承和五年入唐求法目錄	圓仁撰（大日本佛教全書第二册ノ內 大正三）		三五三	一〇
日本國粹全書	同刊行會發行 大正四	一	三五五	二七
第六輯	神皇正統記 六卷（北畠親房）陽復記 二卷（度會延佳）訓風記 五卷（巴田以正）			
日本國勢調査記念錄	第一至三卷 同出版協會編 大正一一	三	四三三	一〇一
日本國體要義	長野久治編 大正一四	一	五三五	一八二
日本國體學概論	里見岸雄 大正一五	一	五五八	一三
日本國體闡明史	伊藤千眞三 大正一五	一	五四六	一八四
日本國體と日蓮主義	佐藤鐵太郎 大正七	一	三三五	二七六
日本國體の研究	田中智學（巴之助）四版 大正一一 九九四頁	一	五〇三	九一
日本國天台宗章疏目錄	（大日本佛教全書第一册ノ內 大正二）		三五三	一〇
日本國土地成立考	附 沿革 木村正辭編 寫本	三	一八一	二七五
告日本國	ポール・リシヤール著 大川周明譯 大正六	一	三七三	八三
同	大正一三（日本精神研究別册）	一	五二〇	四

		冊	函	號
日本國之圖	延寶六 一・三×三・一	特一枚	京	三三七
日本國寶巡禮	木村小舟 大正一〇（木村小舟五部作第二編）	一	三八九	四八
日本國寶全集	第一至二二輯 文部省編 大正一二至一四	特二	四一四	一
同	第一至二六輯 大正一三至一五	特三六	四一四	一イ
日本國民優秀の自覺	成瀨正雄（米國の正體如何」ト合綴）		三九六	二八〇
日本國民要訓	日比野寬 大正一四 四八頁	一	五二四	三五八
日本國民經	一名 立正再造論 茅原華山 大正一〇	一	四五	五七九
日本國民訓	土方久元、伊東祐亨 大正二	一	二四九	一四三
日本國民史	齋藤斐章 大正九	一	三八三	九六
日本國民史	小林鶯里 大正一三	二	五二七	三四
	第一卷 建國より平安時代へ 第二卷 源家と平家			
同	第一至七卷 大正一二、一五	七	五二七	三四イ
	第三卷 鎌倉幕府時代 第四卷 吉野を護る人々 第五卷 建武の中興 第六卷 勤王の輩出 第七卷 足利幕府の建設			
日本國民史	三浦周行（小松島講演會第一回夏期講演集ノ內 大正元）		三三六	三四
日本國民修養鑑	帝國講學會編 大正三 八二四頁	一	三五六	三〇
日本國民思想史	清原貞雄 大正一四	一	五一〇	一四三
日本國民思想史講話	石田文四郎 大正一三	一	五一〇	六七
日本國民死亡表	附 各國死亡表 內閣統計局編 明治四五 九頁	一	二四四	三三一

		冊	函	號
日本國民性（古き外人の觀たる）	鯵川新譯 大正一〇	一	二	五〇六
日本國民性の解剖	大町桂月編 大正一五	一	五四六	一五三
日本國民性の研究	野田義夫 大正三（教育新潮叢書第六卷）	一	二五九五	三一
日本國民性の研究	文化より見たる鎌倉時代 醍醐惠端 大正七	一	三六四	六
日本國民性論	坂井衡平 大正一一	一	二五四	一六九
日本國民大鑑	中外書院編 大正元 二〇五六頁	一	二四七	一
日本國民道德	村上辰午郎 大正一二	一	五一〇	四一
日本國民道德史	伊藤千眞三 大正一四（倫理叢書第三編）	一	五三九	三四
日本國民道德に就て	高瀨民次郎（布教研究會講演集第一〇回ノ內 大正一〇）	三	三四	五九一
日本國民傳說	高木敏雄、小笠原省三 大正六	一	三五七	二一
日本國民と基督教	横田秋生 大正六	一	三三五	五八
日本國民と觀世音菩薩及觀音經	醍醐惠端 大正七	一	三三五	二八七
日本國民とデモクラシー	宇野宙人 大正八（平民叢書第二編）	一	三八九	一三
日本國民の自覺	佐藤鐵太郎（統合大講習會講演集ノ內 大正四）		三三四	四六二
日本國民は是丈を心得おくべし我民本思想	佐々木臥山 大正八（國民叢書第一編）	一	三七五	三六
日本語會話教科書（漢譯）	松本龜次郎 大正三	一	三三三	四七
日本語原	井口丑二 大正一五	一	五三一	七三
日本古建築史	服部勝吉 大正一五	二	五四七	一四
第一册 飛鳥寧樂の卷 第二册 鎌倉之卷	（武家樣式史第二）			

		冊	函	號
日本古建築菁華	上、中、下册 岩井武俊 大正八至一一	特三	四三	七
日本古戰法	參謀本部編 大正一三	一	五二一	六一
日本古俗誌	松岡靜雄 大正一五	一	五五四	九一
日本古代史	上、下 久米邦武 大正四（大日本時代史ノ內）	二	三三	二六五イ
同	大正一五（日本時代史第一、二卷）	二	三三	二六五ロ
日本古代思想史	橘惠勝 大正一一	一	四五	六〇五
日本古代氏族制度	太田亮 大正六	一	三四九	四八四
日本古代船舶の型式	西村眞次（明治聖德記念學會紀要第一九、二〇卷ノ內 大正一二）		一四五	一
日本古代文化	和辻哲郎 大正九	一	三五四	四
日本古代模樣	森雄山 再版 明治三六	五	一八七	三七四イ
日本古典全集	第一回 與謝野寬等編 大正一四、一五	三六	五五〇	四

狩谷棭齋全集	第一至三卷（狩谷棭齋）
古風土記集	上卷
萬葉集略解	第一至七卷（加藤千蔭）
大隈言道全集	上、中卷（大隈言道）
榮華物語	上、中卷
芭蕉全集	前、後篇（松尾芭蕉）
玉かつま	上、下卷（本居宣長）
節用集	（易林本）
吾妻鏡	第一至六、八卷
法然上人集	（源空）
西鶴全集	第一至三、五卷（井原西鶴）
懷風藻	
凌雲集	（小野岑守等選）
文華秀麗集	（藤原冬嗣等選）
經國集	（良岑安世等選）
本朝麗藻	（高階積善選）
本草和名	上卷（深根輔仁）
御堂關白記	上卷（藤原道長）
源氏物語	第一卷（紫式部）
平家物語	上卷

		冊	函	號
日本古典全集	第一回 與謝野寛等編 大正一四、一五	三元	五五〇	四イ
狩谷棭齋全集	第一至三卷			
萬葉集略解	第一至七卷			
榮華物語	上、中卷			
玉かつま	上、下卷			
吾妻鏡	第一至八卷			
西鶴全集	第一至三、五卷			
凌雲集				
經國集				
本草和名	上、下卷			
源氏物語	第一卷			
同				
狩谷棭齋全集	第一、二卷	三七	五五〇	四ロ
大隈言道全集	上卷			
芭蕉全集	前後篇			
節用集	(易林本)			
法然上人集				
懷風藻				
文華秀麗集				
本朝麗藻				
經國集				
本草和名	上、下卷			
源氏物語	上卷			
古風土記集	上卷			
大隈言道全集	上卷			
芭蕉全集	前後篇			
節用集	(易林本)			
法然上人集				
懷風藻				
文華秀麗集				
本朝麗藻				
御堂關白記	上、下卷			
平家物語	上卷			
萬葉集略解	第一至七卷			
榮華物語	上、中卷			
玉かつま	上、下卷			
吾妻鏡	第一至八卷			
西鶴全集	第一至三、五卷			
凌雲集				
經國集				
本草和名	上、下卷			
源氏物語	第二卷			
日本語發音の創生	小林光茂 大正一五	一	五五一	五
	(鄽の教育第二部)			
日本米雜穀肥料商交信錄	矢島作藏編 大正六	一	三三七	九七九
日本罪惡史	(考察) 飯野哲治 大正一三	一	五一六	一九二
	(萬有叢書第七編)			
日本債權法	總論、各論上、中、下 鳩山秀夫 總論五版、各論上再版、大正五至九	四	三五二	一三五
同	總論、各論上、中、下 大正五至九	四	三五二	一三五イ
同	各論上、中、下 上四版 大正七至九	四	三五二	一三五ロ
同	總論、各論上、中 總論八版、各論上四版、中三版 大正六至八	三	三五二	一三五ハ
同	總論、各論上、中 總論八版、各論上八版、中三版 大正六至八	三	三五二	一三五ニ
日本債權法	總論、各論上、中、下 鳩山秀夫 總論一七版、各論上八版、中三版 大正七、八	三	三五二	一三五ト
同	各論上、中 上八版、中三版 大正八	二	三五二	一三五チ
同	各論下 增訂版 大正一三	二	三五二	一三五リ
同	各論上、下 上 增訂再版 大正一三	一	三五二	一三五ヌ
日本最古之神道	川面凡兒 大正元	二	三五二	一三五ル
同	大正六	一	三五二	一七九イ
日本歲事史	京都の部 江馬務 大正一一	一	三五二	一七九ロ
日本財政經濟策	神戸正雄 (財政經濟と生活問題「日本の財政經濟」ノ內 大正三)	一	五〇三	一三一
日本財政經濟史料	卷一至一〇、索引 大藏省編 大正一一至一四	三	三五六	五一
同		二	四四	三七二
日本財政史	本庄榮治郎 大正一五	二	四四	三七二イ
日本財政論	小林丑三郎 大正三	一	五六一	七五
	(國民時務叢書第二卷)	一	三四六	二
日本倉庫業史	桑野豊助 大正一二	一	五一五	一〇
	(松村パンフレット第四號)			
日本裝飾大鑑	河邊正夫編 大正四	特 五	四一一	五
日本相續法要論	柳川勝二 訂六版 大正一五	一	五七三	一三
日本相續法註釋	上、下卷 柳川勝二 大正七、九	二	三六六	一〇六
同	下卷 大正九	一	三六六	一〇六イ
日本相續法論	牧野菊之助 訂七版 大正八	一	九一	二一〇ロ

		冊	函	號
日本相續法論	牧野菊之助 訂七版 大正八	一	九一	二一〇ハ
日本造庭法(最新圖解)	杉本文太郎 大正一四	一	五四三	七一
日本藻類圖譜	第二、三卷 岡村金太郎 明治四二、大正四	二	三九	一一〇
日本藻類名彙	岡村金太郎 再版 大正五	一	三五一	一一〇
日本作者辭典	前島德太郎編 大正一四	一	五四四	二三三
同	三版 大正一五	一	五四四	二三三イ
日本鮭鱒養殖誌	松原新之助 明治四五 四四頁	一	三三七	七四
日本座敷の飾り方(圖解)	杉本文太郎 明治四五	一	三四三	一九
同	訂補三版 明治四五	一	三四三	一九イ
日本產蟲節蟲ノ研究	(一) 横山桐郎 大正一四	一	一四二イ	三六九
	(農林省蠶業試驗場報告第七卷第二號)			
日本產魚類圖說	第一至三〇卷 田中茂穗 大正三至八	三	三三一	一〇一
日本三會社生命表	明治生命保險株式會社等編 明治四四	二	三三一	三六
日本產科學史	緒方正清 大正八	一	五六三	一五三
同		一	五六	一五三イ
日本產桑屬ノ二新種	小泉源一 (農商務省)蠶業試驗場報告第一卷第三號ノ內 大正五)	一四、二	三六九	一三四イ
日本產業組合史	產業組合中央會編 大正一五	一	五三〇	二六九
日本產業協會伯國博覽會事務報告	生田義人編 大正一三	一	五一八	九六
日本產業資料大系	瀧本誠一、向井鹿松編 大正一五	一	五五五	一三
第一至三卷	第一篇 農林業 (一至三)	七		

		冊	函	號
第四卷	第二篇 水產業 第三篇 鑛業	六	五五五	一三イ
第五至七卷	第四篇 工業 (一至三)	一	三四八	一八三
產業資料大系	第一至六卷 瀧本誠一、向井鹿松編 大正一至一五	一	三六七	一
日本產業叢書	日本產業調查會編 大正五			
第一編	電氣大觀	一	三四八	一八三
日本產業大地誌	武居芳成、吉田賴吉 大正三	一	三六〇	一九六
日本產業地理精說	栗原寅次郎 大正一一			
日本產業博覽會報告	第七回 內田剛編 大正四	一	三三六	一三四
日本蠶業由來史	大北壽長 三版 大正五	一〇	一一	一八一
日本產昆蟲類	科の檢索表 丸毛信勝 大正一四	一	五四二	三三
日本蠶桑害蟲目錄	横山桐郎 大正一二 (農商務省)蠶業試驗場彙報第一九號)	一	一四二イ	三六九イ
日本蠶桑文獻目錄	石川金太郎編 大正一一	一	三一七	一三七
日本產針葉樹ノ精油ノ研究	篠崎英之助 (東京工業試驗所報告第一六回第一二號ノ內 大正一〇)	一〇	一二三	一四〇
日本產水晶の蝕象に關する研究	附錄 本論に對する東京地質學會の批評及干涉 市川新松 大正二	一四二イ	二一七ロ	
同	大正四	一	三二七	二三四イ
日本山水論	小島烏水 大正五	一	三二七	三四ロ
日本三代實錄	卷第一至五〇 藤原時平等奉勅撰 大正三 (國史大系六國史ノ內)	一	九九	一〇六イ
		一	三四八	一〇八

	冊	函	號
日本産笋貝類圖說　平瀨與一郎　大正六	一	三三七	二五八
日本産地衣類圖說　安田篤（學術研究報告第二）　大正一四	一	一四、五	一五七
日本産土木建築石材　小山一郎　大正一二	一	五〇七	五
日本産鼠科　青木文一郎　增訂　大正四	一	三三七	二八
日本産薄荷油ニ關スル調査及研究　其一　篠崎英之助（東京工業試驗所報告第一四回第四號ノ內　大正八）	一	四、三 イ	二一七
同		四、三	二一七 ロ
日本自由畫壇後援會主催試作展覽會畫集　二、三越吳服店新美術部編　大正一二	一	一〇九	二七五
日本自由畫壇試作展覽會圖錄　第三回　日本自由畫壇編　大正一四	一	一〇九	二七五 イ
日本自由畫壇展覽會圖錄　第一至三、五回　日本自由畫壇編　大正九至一四	四	三三七	三〇〇
日本自由畫壇同人小品畫集　日本自由畫壇編　大正一〇	一	三三七	三〇八
日本周圍民族の原始宗教　鳥居龍藏　大正一三	一	五三三	三
日本宗教史　土屋詮教　大正一四	一	五二一	九一
日本宗教史　比屋根安定　大正一四	一	五二一	九六
日本史園　吉田三男也（愛讀叢書第二編）　大正一四	一	五四五	一九
日本史參考（袖珍）　壺中居逸人編　大正八	一	帖 六	三六一
日本史講話　萩野由之　大正九	二	三八三	二七
日本詩歌の體系　兒山信一（國文學研究叢書第三編）　大正一四	一	五四五	二三
日本詩歌論　野口米次郎　大正四	一	三五七	一二〇
日本式截切法ニ據ル牛肉片ノ市價ト其榮養價値　飯田吉英（農商務省）畜産試驗場報告第一卷第四號ノ內　大正一二）	一	四、三 イ	四八四
日本式に世界を歩く　根本十郎　大正一五	一	五五六	一七八
日本色盲檢査表　石原忍　訂六版　大正一四	一	一五五	一〇三 ハ
日本詩劇集　大正一五年　白鳥省吾、福田正夫編　大正一五	一	一五五	三三
日本紙業協會講演集　靜岡縣編　大正元	一	三四四	一四二
日本四國西岸伊豫岩松港及平城港　水路部製　二·四×一·七　大正元	一	日	三〇五
日本四國南岸宿毛港及附近　水路部製　一·七×二·四　大正二	一	日	三〇七
日本四國南岸土佐室戶埼至足摺埼　水路部製　二·二×三·二　大正二	一	日	二六七 ロ
日本事業小史　日本興業銀行調査部編　大正一二	一	五〇七	一一〇
日本思想　好尙會發行　大正八	一	三八九	一七
日本思想　第一册　思想界の大正維新（木崎愛吉）	二	五二四	四三一
日本思想パンフレット　無水庵發行　大正一五	一	五六六	一六六
第一編　皇室讃美論（遠藤友四郎）		三三五	三七三
第三編　內憂禦卵之日本（同）			
日本史參考　吉田三男也　大正一五	一	八六	二二
日本詩史　江邨綏（日本詩話叢書第一卷ノ內　大正九）	六	三三八	三六一
日本詩史　細井蕉　大正五	一	日	三六七 ロ
日本詩集　大正八、九、一一至一四　詩話會編　大正九至一五	一	三四八	三七七
日本史上の奧州　原勝郎（奧羽沿革史論ノ內　大正五）	八	雜	七六
日本詩人　新潮社發行　第五卷第一號（大正一四年一月）ヨリ			

	冊	函	號
日本史精義　上、下卷　太田亮　大正一五	二	五五四	八七
日本市勢史　杉謙二編　大正一一	一〇	四三	九三
日本史蹟　天、月之卷　熊田葦城　修訂再版　大正二	二	三三	二九〇 イ
同　上、中、下卷　縮刷增補　大正九、一〇	三	三三	二九〇 ロ
日本史蹟赤穗義士　熊田葦城　修訂再版　大正二	一	三三四	四四 イ
日本史蹟大阪陣　前、後篇　熊田葦城　明治四五、大正二	二	三三四	八六
日本史蹟集覽　杉田棄三郎　大正四　五一七頁	一	三四八	三一九
日本寫眞寶鑑　帝國歷史編輯部編　大正六	一	三四九	四六三
日本史蹟叢書　同刊行會編　大正七	二	三一	五七六
保元平治　時めく平家			
日本史蹟會我兄弟　熊田葦城　修訂再版　大正二	一	三三四	八五
日本時代史　早稻田大學發行　大正一五	五	二三	二六五 ロ
第一、二卷　日本古代史　上、下（久米邦武）			
第三卷　奈良朝史（同）			
第四卷　平安朝時代史（池田晃淵）			
第五卷　鎌倉時代史（三浦周行）			
日本史談　文會堂發行　大正三	一	三五三	三
第一編　義經傳（黑板勝美）			
日本自治法規　井上圓三編　補八版　大正一三	一	一四七	三一三
日本實演童話集　第一　蘆谷重常編　大正一五	一	五四五	四九
日本漆器事情　新城貞（大正八）	一	三七三	四一九
日本實業大鑑　大正一三年度（關西版）　日本實業社編　四版　大正一三	一	五〇九	二一七
同　大正一四年度　七版　大正一四	一	五〇九	二一七
同　大正一四年度（種苗、園藝、植林之卷）　八版　大正一四	一	五〇九	二一七
同　大正一五年度　九版　大正一五	一	五〇九	二一七
日本室內使用材料の撒光反射系數　內坂素夫　大正四	一	三三七	二一三
日本疾病史　富士川游　明治四五	一	六〇	三〇六
日本史傳文選　上、中、下卷　幸田露伴　大正八、九	三	三八八	五二
日本兒童及成人の身體　進藤篤一　大正一五	一	二五、五	二三五
日本自動車俱樂部年鑑　附　乘用者案內　大正三年　ニクル編　大正三	一	三五〇	四一四
日本兒童文庫　日本出版社發行　大正一二、一三	一三	五一五	九七
第四、五　童話の戰爭史　第一、二（伊藤白洋）	一	五〇九	二一七
第八　童話の動植物界の疑問と不思議（栗山芳雄）	一	五〇九	二一七
第九　趣味の地理　傳說と舊蹟（葉多默太郎）	一	五〇九	二一七
第一〇　趣味の地理　名所と史蹟（仲側紅果）	一	五〇九	二一七
第一一　趣味の地理　世界各國人種と風習（栗山芳雄）	一	三三七	二一三
第一三　少年讀物　ロビンソン漂流記（葉多默太郎）	一	三四八	三一九
第一四　課外の讀物　グリム童話集（東桃太郎）	一	二五、五	二三五
第一六　課外の讀物　ガリバア旅行記（仲側紅果）	一	三五〇	四一四
第一七　教育的讀物　メーテルリンクの青い鳥（寺川紫江）	一三	五一五	九七
第一八　趣味の童話　日本の傳說（木村荻村）			
第一九　趣味の童話　東洋の傳說（同）			
第二〇　趣味の童話　西洋の傳說（同）			
日本支那歐洲及び交配蠶種飼育法　工藤久太郎編　大正六	一	三三九	九四四
同　增訂再版　大正七	一	三三九	九四四 イ

		冊	函	號
日本支那現代思想研究	土田杏村 大正一五	一	五八	一九
日本支那蒙古對照實用語字彙	鈴江萬太郎編 大正五	一	七一	五五
日本史の研究	三浦周行 大正一一 一三五六頁	一	三九	九七
日本資本主義經濟の研究	高橋龜吉 大正一三	一	五三	一八四
日本氏名辭典	古賀秀一編 大正六	一	一八六	二〇三
日本指紋法	司法省指紋部編 大正一二	一	五五	八
日本商行爲法（改正）	松波仁一郎 大正一一 一五二六頁	一	三三六	一三三
同		一	三三六	一三三イ
同		一	三三六	一三三ロ
同		一	三三六	一三三ハ
日本商業會議所之過去及現在	商業會議所聯合會編 大正一三 六一九頁	一	五〇七	一八三
同		一	五〇七	一八二イ
日本商業教育五十年史	佐野善作 大正一四	一	二九三	三七
日本商業史	横井時冬（横井時冬全集第一卷） 大正一五	一	五五五	二八
日本商業新史	細井安次郎、松崎壽 大正二	一	三二〇	一二三
日本商業新報	同社發行 五五二號（大正四年六月）至五六二號（大正四年一二月）〔「日本實業新報」ノ改題〕	一	雜四五	一六イ
日本商工人名錄	金澤芳雄編 大正三	一	三二一	一二四
日本商工信用錄	大正一三至一六年度 日本商工社編 大正一四、一五	四	三三一	一七五

		冊	函	號
日本商工內外誌	稻臣等編 大正六（交通倶樂部第五版）	一	四一三	一
日本上古の音樂と奈良朝の音樂	田邊尚雄（倶樂部講話集第一輯ノ內） 大正一一		五〇七	五五
日本商事法規	井上圓三編 大正一一	一	一四七	二三九
同	訂補五版 大正一二	一	一四七	二三九イ
同	新訂 大正一五	一	一四七	二三九ロ
日本商人五百年史	河瀨蘇北 再版 大正一三	一	五三八	一四四
日本商法總則	松波仁一郎 大正一二 七〇三頁	一	五二三	一三〇
日本將來の教育	稻垣末松（慶應義塾大阪講演ノ內） 大正三		二五三	一二八
日本社會衛生年鑑	大正八、一〇、一二、一四、一五年 大原社會問題研究所編 大正九至一五	五	一四六ハ	一二六
日本社會及都市問題	田尻稻次郎 大正八	一	三六二	六一
日本社會改造論	藤原俊雄 大正九	一	四五	五六一
日本社會學院年報	第四年第一、二、第七年第一至五（第八年第一、二） 葛西又次郎編 大正五、九	四	三五六	二六六
日本社會教育の研究	丸山良二 大正一〇	一	二七五六	一四
日本社會史	本庄榮治郎 一二版 大正一三	一	五一三	二三六
日本社會事業年鑑	大正九至一五年 大原社會問題研究所編 大正九至一五	七	一四四	五〇六
日本社會事業年表	東京府社會事業協會編（東京府社會事業概觀第一輯特別號） 大正一一	一	三七八	二七五
日本社會事業名鑑	中央慈善協會編 大正九	一	三四七	七五
日本社會史序論	佐野學 大正一一	一	五〇二	二九四

		冊	函	號
日本社會詩人詩集	賀川豐彥等著 福田正夫編 大正一一	一	五〇一	二八〇
日本社會變動史觀	町田辰次郎編 大正一三	一	五三三	一九九
日本社會問題史觀	渡邊幾治郎 大正一四（〔題簽ニハ「日本社會運動史觀」トアリ〕）	一	三九〇	八八
日本寫眞帖	田山宗堯編 明治四五	一	四〇八	五一
日本寫眞年鑑	第一、二年版 大正一四、一五 朝日新聞社編	特二	五四〇	三〇
日本主要農作物耕種要綱	普通作物、特用作物、特用作物綴 農商務省農務局編 大正二、六	三	三二一	一二三
日本儒學年表	斯文會編 大正一一	一	五一〇	一九
日本主義	岩野泡鳴（泡鳴全集第一〇卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	一
日本主義	井篦節三 五版 大正一五	一	五四六	一二三
日本主義	橋口西彥編 大正八（通俗民衆教育叢書第一編）	一	三八九	六
日本主義の哲學	水野惟之 大正一五（〔題簽等ニハ「日本民族の哲學」トアリ〕）	一	五四九	一八〇
日本儒教概說	岩橋遵成 大正一四	一	五二六	一五五
日本朱子學派之哲學	井上哲次郎 增訂五版 大正四	一	九九	二三イ
日本種柿果の脫澁に關する實驗	附乾柿の製造法 板橋卓一編 大正三	一	三一七	六七二
日本酒釀造法講義	前、中、後編 大阪財務研究會編 大正七、八	三	三七一	六一
日本趣味十種	國學院大學編 大正一四（國學院大學叢書第一編）	一	五三九	一八
日本趣味と西洋趣味	島村抱月（抱月全集第七卷ノ內 大正九）		三七九	二
日本酒銘大鑑（登錄商標ノ稱呼字別ニ）	佐藤虎雄編 大正一四	一	五三七	九六
日本樹木名方言集	農商務省山林局編 大正五	一	三六〇	三四

		冊	函	號
日本儒林明鑑	南海山人 大正七	一	三一	六五三
日本巡遊汽車の旅	全國名所案內社編 大正九	一	三八四	二三三
日本書紀	神代卷 一二卷（國書刊行會本丹鶴叢書ノ內 明治四五）	三四三	四	い
日本書紀	神代卷 島根縣皇典講究分所編 大正四	一	二一	三六七
日本書紀	卷第一〇 應神紀 同附言付 田中勘兵衛發行 大正九	一軸	二	を
日本書紀	卷第一一 仁德天皇紀（原本ハ藤原能筆トイフ、本書ハ摹刻ナリ）	一軸	九三	
日本書紀	舍人親王等奉勅撰 再版 大正六（國史大系六國史ノ內）	一	一二四	ん
日本書紀（祕籍大觀）	大阪每日新聞社編 大正一五（複製）	一	三四八	一〇八イ
日本書紀舊鈔本に就きて（岩崎文庫所藏）	黑板勝美 大正八	帖七	二	ち
日本書紀古本集影（撰進千二百年紀念）	日本書紀千二百年紀念會編（大正一〇）	軸五	一〇	一
日本書紀私鈔	明治聖德紀念學會編 大正一〇	特	一〇	一四六
日本書紀神代卷	加藤玄智纂註 大正九（世界聖典全集第一卷）	一	四五	五七五
日本書紀通釋	第一至五、索引 飯田武郷 大正一一至一五	一	三五	三七二
		六	五〇八	一六

		冊	函	號
日本書紀傳	第六　鈴木重胤　明治四五	一	三八	二七
日本書紀仁德帝の崩及難波	木村鷹太郎　大正四（日本民族研究叢書第一）	一	三五	一六
日本書紀編纂千二百年記念展觀目錄	京都帝國大學圖書館編	一	三一	一〇五
日本植物景觀	第一一至一五集　三好學編　明治四一至大正三	一	八三	三六〇 イ
同	第一至一五集　大正四	一	八三	三六〇 イ
日本植物總覽	牧野富太郎、根本莞爾編　大正一四	一	五四	八五
日本植物圖鑑	牧野富太郎　大正一四	一	五四	二九
日本植物油脂	辻本滿丸　大正元	一	三四	二四
同	再版　大正五	一	三四	二四 イ
日本植民政策一斑	後藤新平　大正一〇	一	五二	一三
日本植民地要覽	全國新聞東京聯合社編　大正元	一	三六	三〇
日本植民地經濟論	持地六三郎　大正一五	一	五三	二八
日本植民論	後藤新平　大正四（公民同盟叢書第八卷）	一	三五	二五四
日本食糧作物大全	香月喜六　大正一〇　一一〇六頁	一	三八	一四四
日本書畫苑	國書刊行會編　大正三、四（國書刊行會本ノ內）	二	三三	四九 ヘ
日本書畫骨董大辭典	池田常太郎編　大正四	一	三五	三五
同	訂六版　大正八	持一	三五	三五 イ
日本書畫人名辭書	續編　上、中、下　附卷　日本名家書畫談　明治四五	〇四	二四	三九
同	杉原夷山（子幸）編　濱野知三郎校　改修　大正一五	〇四	二四	二九 イ
日本書畫名家編年史	名家別號錄付　石田誠太郎編　大正三	〇八	二〇三	三一五
日本書畫落款印譜	杉原子幸編　大正四	〇五	二〇三	三三

能書事蹟（德積保編）二卷
執筆發遙法（細井廣澤）五卷
觀鳳百譚（同）
觀鳳百譚批考（中山高陽）
書法發揮（河原保壽）
汎上漫草（細井九皐）二卷
墨道私言（荻野鳩谷）
學書捷徑（橋本圭橘編）二卷
東江先生書話並附錄（市川米庵）
米家書訣（狩谷掖齋）
狩谷掖齋手簡（木村元良）
臨池漫談

第二　書部

書論傳受秘事口訣（大岡春卜）
書巧譬喻抄（西川祐信）
書法彩色法卷（櫻井秋山編）
書則雜話（中林竹洞）
書道金剛杵（狩野素川）
書道傳授口訣（湖上蓑笠翁）
書法小識　三卷（木村三曉庵）
三曉庵隨筆（桑山嗣粲）
繪事餘言（谷文晁）
文晁書談（屋代弘賢）
翰翁書譚　二卷（田能村竹田）
山中人饒舌　三卷（狩永納）
本朝書史　二卷（狩野重良）
續本朝書史（小林自閑齋）
丹青若木集（齋藤彥麿）
狩野五家譜（堀直格）
圖書考（同）
ゆめのたゞち
養德錦顯文鈔

第一卷　詩訣（祇園南海）
白石先生詩範（鳥山輔堯校）
南郭先生燈下書（服部南郭）
唐詩平側考　三卷（鈴木松江）
詩語考附錄（同）
日本詩史　五卷（江邨北海）
史館名話（林梅洞）
作詩質的（家田大峯）
詩格刊誤　二卷（日尾省齋）

第二卷　詩學逢原　二卷（祇園南海）
孝經樓詩話　二卷（山本北山）
談唐詩選　二卷（市川寬齋）
詩學還丹　六卷（川谷春川）
夜航詩話　三卷（津阪東陽）
丹丘詩話

第三卷　夜航餘話　二卷（津阪東陽）
詩律初學抄（梅至雲洞）
斥非（太宰春臺）
初學詩法　三卷（貝原益軒）
詩學新論（原田東岳）
詩格集成　三卷（長山梅園）
詩聖堂詩話（大窪天民）
詩山堂詩話（小畑詩山）

第四卷　葛原詩話　四卷（慈周）
葛原詩話標記（猪飼敬所）
淡窓詩話　二卷（廣瀨淡窓）
緜緜詩則（奧緜緜）
詩論　幷　附錄　二卷（太宰春臺）
松陰快談　四卷（長野豐山）
詩律（赤澤一堂）
警喘詩話　三卷（西島蘭溪）

第五卷　葛原詩話後篇　四卷　二卷（慈周）
葛原詩話糾謬（津阪東陽）
淇園詩話（皆川淇園）
鉏雨亭隨筆　三卷（東夢亭）
東人詩話　二卷（徐居正）
竹田莊詩話（田能村竹田）

第六卷　藝苑譚（清田儻叟）
詩轍　一至三卷（三浦梅園）
滄溟近體聲律考（瀧川南谷）
幼學詩話（東條琴臺）
濟北詩話（師錬）
柳橋詩話　二卷（加藤良白）
全唐詩逸　三卷（市川寬齋）
詩轍　四至六卷（三浦梅園）

第七卷　文鏡秘府論（空海）
老圃詩膚（安積澹泊）
詩史瀝（市野迷庵）
木石園詩話（久保甫學）
作詩想牧（山本北山）
詞壇骨鯁（松邨九山）
詩訟蒲鞭（雨森牛山）
藝園鉏莠　二卷（松邨九山）
辨藝園鉏莠　二卷（糸井樗齋）
錦天山房詩話　上卷（友野霞舟）

第九卷　藝苑談（清田儻叟）
太沖詩規（滕荷澤）
詩窓閑話（中根香亭）
詩則　二卷（林東溟）
錦天山房詩話　下卷（友野霞舟）
五山堂詩話　卷一、二（菊池五山）

第一〇卷　葛原詩話糾謬　三、四卷（津阪東陽）
詩律兆　二卷（中井竹山）
詩法正義　二卷（石川丈山）
梧窓詩話　二卷（林梅坡）
社友詩律論（小野泉藏）
五山堂詩話　卷三至六（菊池五山）

第八卷　日本人　附錄　國體百首　芳賀矢一　明治四五　一　三三三　三一二
日本神佑史　勝山忠三編　大正四　一　三四八　三〇一
日本新英傑傳（列傳體）（明治史）　高橋立吉　大正元　一　三三四　二一三
日本鍼灸學教科書　前、中、後編　山本新梧　大正元、二　三　六〇　三三〇
同　再版　大正四、五　三　六〇　三三〇 イ
同　三版　大正六、七　三　六〇　三三〇 ロ
同　前、中、編　六版　大正一一、一二　二　六〇　三三〇 ハ
同　前編　七版　大正一三　一　六〇　三三〇 ニ
同　前、後編　八、九版　大正一五　一　六〇　三三〇 ホ
日本人歸化に關する合衆國大審院判決譯文　米國西北部聯合日本人會編　七頁　一　三九七　四三三

日本神祇史	岡泰雄 大正六	一	三二四	五九
日本新詩史	福井久藏 大正一三	一	五二九	二九
日本紳士名鑑	須藤常編 明治四五 一二一四頁	一	三四二	七一
日本紳士錄	明治四五年用 交詢社編 一六版 明治四四	一	八六	四一ソ
同	大正二年用 一七版 大正二	一	八六	四一ツ
同	大正三年用 一八版 大正二	一	八六	四一ネ
同	大正五年用 二〇版 大正四	一	八六	四一ナ
同	大正六年用 二一版 大正五	一	八六	四一ラ
同	大正七年用 二二版 大正七	一	八六	四一ム
同	大正八年用 二三版 大正八	一	八六	四一ウ
同	大正九年用 二四版 大正八	一	八六	四一ノ
同	大正一一年用 二六版 大正一〇	一	八六	四二ク
同	大正一二年用 二七版 大正一一	一	八六	四一ヤ
同	大正一四年用 二八版 大正一三	一	八六	四一マ
同	大正一五年用 二九版 大正一四	一	八六	四二ケ
同		一	八六	四一フ
同	大正一六年用 三〇版 大正一五	一	八六	四一コ
日本人心の解剖(善惡一長短一)	元田作之進 大正五	一	三六〇	四四三
日本親族法	分冊第一、二 森本富士雄 新訂 大正一四	二	五三〇	一〇七

日本親族法	〔全〕 大正一五	一	五二〇	一〇七イ
日本親族法要論	柳川勝二 大正一三	一	五二九	五七
日本親族法の特質	山口弘一(東京商科大學創立五十周年記念論文集ノ內 大正一四)	一	三四二	三二七
日本神代史	後藤宙外(通俗日本全史第一卷ノ內 大正元)	一	三三四	一九四
日本神代物語	小笠原省三 大正五	一	三二五	四三五
日本臣道	日比野寬 大正二	一	九四	八〇三
日本人道會報告	同會編 大正六	一	三七二	八六
日本神道聖典	久保田運統(運藏) 大正一三	一	五〇四	二六五
同		一	五二三	一二
日本臣道論	日比野寬 三版 大正九	一	四五	三九四イ
日本信託會社論	吳文炳 大正一一	一	五一二	九八
日本人長所短所論	佐藤正 大正二	一	三四九	六五
日本神典古事記噺	澁川玄耳 大正九	一	三八四	二三五
日本神典三體古事記	澁川玄耳 再版 大正四	一	三三五	一五四イ
日本神典宣義	川面凡兒 大正四	一	三三四	五九〇
日本人の海外發展	大日本文明協會編 大正五(大日本文明協會刊行書第四期第一二卷)	一	三五五	三一
日本人の海外發展	平山成信(成田山講演集ノ內 大正九)	一	三八〇	一〇九
日本人の拳固力	松本赤太郎(文化問題十五講ノ內 大正九)	一	三八七	一三八
同	(明治聖德記念學會紀要第五卷ノ內 大正五)	一	四五	一

日本人の新發展地南米ブラジル	田中誠之助 大正八	一	三六四	一二四
日本人ノ生命ニ關スル研究	一名日本國民新死亡表(內閣統計局(矢野恒太)編 明治四五)	一	三三三	一七
日本人の祖先	田中祐吉 大正一〇(香蘭叢書第一編)	一	五〇〇	一九
日本人之體格及體育	陸軍戶山學校將校集會所編 大正三	一	三四九	三八
日本人の大多數を支配する親鸞教徒の理想	松谷元三郎、今井喜八 大正七	一	一〇	一〇
日本人の日本食	左近義弼 大正七	一	三七三	一三六
日本人の斧鉞を待つ邏羅と墨西哥	林久次郎、古谷重綱 大正一五	一	五五六	一三八
日本人之本領(士一經一)	一名大和左武らひの栞 北村文德 明治四五	一	三三二	二六九
日本新聞史資料	若山甲藏編 大正一五	一	五二五	二六九
日本新聞年鑑	大正一四年 新聞研究所編 大正一四	一	一四四	七〇九
日本新聞發達史	小野秀雄 大正一一	一	五一二	二〇六
日本人名辭典	芳賀矢一編 大正三	一	八五	三三三
日本心理學雜誌	日本心理學會編 第一卷第一册(大正一二年一月)至第三卷第四册(大正一四年一二月)	三	雜	二九五
日本森林樹木圖譜(複製)	下編 白澤保美 大正元	一	三三一	三〇
日本森林法	高山三平 大正一一	一	五〇七	六〇
日本森林保護學	下卷 新島善直 明治四五	一	七四	三〇三
日本神靈論	上編 高津巳之松 大正元	一	三四四	九三
日本新六法	半田鍵次郎編 大正一二	一	一四七	二六三

日本神話	鈴木友吉 大正一三	一	五二九	一二四
日本神話國びらき	碧瑠璃園(渡邊勝) 大正五	一	三三五	四三八
日本神話傳說の研究	高木敏雄 大正一四	一	五二一	一九
日本水彩畫沿革陳列目錄	石井柏亭(滿吉)編 大正五	一	三三九	六七四
日本水產商總覽	日本水產新報社編 大正一五	一	五六四	九八
日本水產製品誌	第一至三 農商務省水產局編 大正二至四	三	三四四	三三〇
日本水產動物學	上、下卷 藤田經信 增訂三版 大正元、二	二	三三一	四八
日本水產捕採誌	第五至八 農商務省水產局編 明治四五、大正元	四	三二七	二二六
日本水土考並兩域人數考	西川如見(續日本經濟叢書第三卷ノ內 大正二)	四四		三七三
同		三四六		一八
日本隨筆索引	太田爲三郎編 增訂 大正一五	一	五一〇	一六六
日本瑞龍山重建轉法輪藏禪寺記	(大日本佛教全書第一二〇册ノ內 大正一〇)	三三三		一〇
日本水路誌	第二卷上追補第一、下追補第一 水路部編 大正二三	二	水	一イ
同	第一卷、第二卷上追補第一、第三卷追補第一、第五卷第七卷追補第一 第二改版 明治四五至大正六	五	水	一ロ
同	第一卷、同追補第一、第二卷、第三卷、同追補第一、第四卷、同追補第一、第五卷、同追補第一、第六至第一〇卷下 大正五至一三	一五	水	一ハ
同	第一卷 第三改版 大正一五	一	水	一ニ
日本水路部刊行海圖索引	水路部製 明治四五 一六×二四 第一 北洲及黑龍沿岸州 第二 本洲四國及九州 附 朝鮮東部及黑龍沿岸州南部 第三 南西諸島朝鮮及支那	一	枚	海索 一ヲ

		冊	函	號	
第四	菲律賓諸島及東蠻島東部				
第五	支那海及東蠻島西部				
日本水路部刊行海圖索引	水路部製 大正二 二四×一七	枚	六	海索 二	日
第一	太平洋北西部				
第二	北洲樺太及千島列島 附 露領沿海州				
第三	本洲四國及九州 附 朝鮮東部及露領沿海州南部				
第四	南西諸島朝鮮及支那				
第五	菲律賓諸島及東蠻島東部				
第六	支那海及東蠻島西部				
同	第一至六 大正三	枚	六	海索 二イ	日
同	大正四〔第一ノミ「世界全圖」ト改〕	枚	六	海索 二ロ	日
同	大正五	枚	六	海索 二ハ	日
日本數學史	遠藤利貞 增修 大正七		一	三九 ロ	日
日本炭竈及炭質ニ關スル研究	三村鐘三郎（農商務省山林業試驗報告第九號ノ內 明治四五）			一四、二イ 一二五	日
日本精英	幸田成行編 大正二		二	三四八 二	日
日本精華	第五、六、九輯 工藤利三郎編 明治四四至大正一〇	特	三	四〇五 六〇	日
日本製菓集	生駒豐三、須賀瀧三郎 三版 大正一二		一	五〇七 一二六	日
日本西教史	上、下卷 ジアン・クラッセ著 太政官飜譯係譯 大正二一三		二	三四 三七三	日
同	上卷 大正一四		一	五一 一二五	日
日本靖獻帖	富岡鐵齋畫 關巖二郎編 大正八		一〇	四三 一	日
日本聖公會要覽	大正七至一二年 日本聖公會教務院總務局編 大正六至一二		六	三三五 二六三	日
日本聖公會祈禱書	日本聖公會祈禱書版權委員編 大正五		一	三三五 四三	日

		冊	函	號	
日本聖公會聖餐式文註釋	ショウ 大正八	一	三	八四五	日
日本制裁法規	井上圓三編 訂五版 大正四	一	七〇	三四三	日
日本精神研究	社會教育研究所發行 大正一三	八	五二〇	四	日
第一	橫井小楠の思想及信仰 （大川周明）				
第二	佐藤信淵の理想國家 （同）				
第三	平民の教師石田梅巖 （同）				
第四	純情の人平野二郎國臣 （同）				
第五	劍の人宮本武藏 （同）				
第六	近代日本の創設者織田信長 （同）				
第七	上杉鷹山の政道 （同）				
別冊	告日本國（ポール・リシヤル著 大川周明譯）				
日本精神史研究	和辻哲郎 大正一五	一	五五八	二九	日
日本精神の研究	安岡正篤 大正一三	一	五二五	一四三	日
日本精神の本質	安岡正篤 大正一四（社會教育研究所リーフレット第六）	一	二九五	七三七	日
日本政體史	稻田周之助 大正三（政治學叢書第六編）	一	三三〇	四五	日
日本政黨發達史	齋藤熊藏 大正六	一	三六六	五六	日
日本政治史要領	稻田周之助 大正一〇（政治學叢書第一三編）	一	三三〇	四五	日
日本青年鑑	亘理章三郎 大正六	一	三六三	一九〇	日
日本青年館ノ事業（財團法人）	大正一二年七月至同一三年三月 同館編 大正一三 六三頁	一	三九三	六三七	日
日本青年の將來	リギヨル 明治四五	一	三三三	三三	日
日本製品圖說	錦繪 高鋭一編（蠻苑叢書ノ內） 大正一〇	一〇	一九八	四二六	日
日本征服	樋口龍陽譯（龍陽集第一ノ內 大正七）		三一	七五五	日
日本製本時報	同社發行 第一卷一號（大正七年一一月）至第二卷四號（大正九年一〇月）	雜	二	四九 二六〇	日

日本西洋支那實用新料理法	赤堀峯吉 明治四五〔奥付ニハ赤堀菊子、同美知子ノ名モ列セリ〕		一〇	二四九	五七
日本西王母	近松門左衛門（近松門左衛門全集第二卷ノ內 大正一一）		五〇五	五八	
同	近松門左衛門著 木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第八卷ノ內 大正一一）		五〇五	三六 イ	
同	（解說註釋大近松全集第八卷ノ內 大正一五）		五〇五	三六 イ	
同	近松門左衛門著 藤井乙男校註（近松全集第四卷ノ內 大正一五）		五一〇	四〇	
同		特	五一〇	四〇 イ	
同	近松門左衛門著 三木竹二、水口薇陽校（原作近松全集前編ノ內 大正一一）		二七	二六六 イ	
日本小說集	小說家協會編 大正一四、一五		二	五三九	五六

第一集 寒さ（芥川龍之介） 村火事（近松秋江） 小さい雲（中條百合子） 三年（廣津和郎） 粉雪（犬養健） 一夜（金子洋文） 俘虜（加能作次郎） 羽衣（菊池寬） 雨（久保田万太郎） 黒蟲（久米正雄） 秋二日の話（牧野信一） 太つた女（正宗白鳥） やきもち（宮地嘉六） 霧及手記（室生犀星） 氷る舞踏場（中河與一） 青服の男（小川未明） 鸚鵡の話（岡田三郎） 眞晝時（佐々木茂索） 冬の往來（里見弴） 銅鑼（志賀直哉） 羅洞先生（菅忠雄） 乾いた唇（谷崎潤一郎） 猫（鷲島與志雄） 赤ん坊（宇野千代） 鼻提灯（宇野浩二） 碑文（横光利一）

第二集 年末の一日（芥川龍之介） 小村淡彩（中條百合子） 京洛の秋（藤森成吉） 十二月八日（廣津和郎） Kamerad（犬養健） 喜劇（石濱金作） 子供の便り（加能作次郎） ある結末（片岡鐵兵） 「短篇集」（川端康成） 戀愛結婚（菊池寬） 鼠（久米正雄） 月二回（小島政二郎） 定評（久米正雄） 極夜の記（牧野信一） 大山詣り（正宗白鳥） 暮笛庵の賣立（室生犀星） 心の影（中河與一） 君が代（岡田三郎） 「苦命」たち（尾崎士郎） 影（佐々木茂索） 或る片輪者（里見弴） 百舌（志賀直哉） 七月（鈴木彦次郎） 瀧井孝作（瀧井孝作） 過去（谷崎精二） 子を取りに（德田秋聲） 童貞（豊島與志雄） 如露（宇野浩二） 街の底（横光利一）

日本小兒科學原著索引	渡邊貢編 大正四		一	五六	四一 イ
日本小兒科史	富士川游（日本小兒科叢書第一編ノ內 大正元）		五六	八七	
日本小兒科叢書	吐鳳堂發行 大正元至九		二七	五六	八七

第一編 日本小兒科史（富士川游） 分娩ノ初生兒ニ及ボス影響（磐瀨雄一） 初生兒疾患（唐澤光德） 疫痢ト赤痢（伊東祐彦）
第二編 小兒期ニ於ケル耳疾患（吉井丑三郎）
第三編 小兒「インフルエンザ」（井上吉之助）
第四編 小兒肋膜炎及膿胸（戶川篤次）
第五編 小兒氣管枝炎及肺炎（吉田久造）
第六編 哺乳兒夏季下痢症附蛋白乳（戶川篤次）
第七編 小兒腸窒扶斯附パラチフス（小杉文吉）
第八編

		冊	函	號
第九編	小兒期ニ於ケル主要ナル皮膚病（遠山郁三）	一	三七五	三七
第一〇編	白癡及低能兒（三宅鐵一）	一	三七五	三七
第一一編	實扶埜里及格魯布（瀬川昌世）	一	三七五	三七
第一二編	哺乳兒勝脬腎盂炎（齋藤秀雄）	一	三七五	三七
第一三編	猩紅熱（田中幸一、田中一郎）	一	三七五	三七
第一四編	百日咳（吉田久造）	一	三七五	三七
第一五編	小兒期ニ於ケル眼疾患（宮下左右輔）	一	三七五	三七
第一六編	先天徽毒（田中一郎）	一	三七五	三七
第一七編	哺乳兒榮養論 上（宇都野研）	一	三七五	三七
第一八編	小兒貧血（內田一二）	一	三七五	三七
第一九編	痙攣及痙攣素質（齋藤秀雄）	一	三七五	三七
第二〇編	小兒蟲樣突起炎腹膜炎及ヒルシュスプルング氏病（井上吉之助）	一	三七五	三七
第二一編	麻疹、風疹及水痘（同）	一	三七五	三七
第二二編	營養或ハ食養療法（高洲謙一郎）	一	三七五	三七
第二三編	小兒急性腎臟炎（小杉文吉）	一	三七五	三七
第二四編	小兒慢性腎臟炎（豐田鐵三郎、坂內益藏）	一	三七五	三七
第二五編	小兒結核性疾患（坂內益藏、小杉文吉）	一	三七五	三七
第二六編	小兒期ニ於ケル鼻咽喉疾患（岡部剛二）	一	三七五	三七
第二七編	小兒腦膜炎（坂內益藏）	一	三七五	三七

日本石油株式會社　日本證券株式會社編（投資研究第一輯）　大正八　一　四一九　一〇九イ

日本石油株式會社事業要覽　同社編　一　三四八　一九七

日本石油史　日本石油株式會社調査課編　大正三　一　三四八　一九七

六一六頁

同　縮刷　大正六　一　七一　三八五イ　一　三四八　一九七イ

日本石器時代人民遺物發見地名表　東京帝國大學編　增訂四版　大正六　一　三二七　八七六

日本石鹼沿革誌　堀江小十郎　明治四四　一　三七二　二一〇

日本赤十字社紀要　同社編　大正八　一　三六　二六

日本赤十字社史稿　同社編（大正元）　二四四三頁　一　三六　二六

日本赤十字社篤志看護婦人會看護法教程　同會發行　大正一〇　一　六〇　七二〇

日本赤十字社發達史　川俣雪一編　大正五　一　四〇　六六六ロ

日本赤十字社病院沿革及現況　同院編　大正一〇　一　六〇　六四三

日本赤十字社例規類集　博愛發行所編　大正三　七五八頁　一　一四、七　二八

同（現行）　同社編　大正一四　八四四頁　一　一四、七　二八イ

日本廣島灣　水路部製　大正元　三二×二二　枚　一　日　一七四ハ

日本船員統計　管船局海員課編　大正一五　一　一四、四　七三

日本戰記源平篇　白旗か赤旗か　織田小三郎　大正一一　七三六頁　一　五〇六　一三

日本全國銀行會社實業家信用錄　桑田龍太郎　三版　大正四　一　三五九　一九

日本全國商工人名錄　商工社編　五版　大正三　一　二〇　一〇〇ホ

同　六版　大正五　一　二〇　一〇〇ヘ

同　七版　大正八　一　二〇　一〇〇ト

同　八版　大正一〇　一　二〇　一〇〇チ

同　大正一四年版　大正一四　一　二〇　一〇〇リ

日本全國諸會社役員錄　第二〇回　商業興信所編　明治四五　一　八〇　三ヨ

同　第二一回　大正二　一　八〇　三タ

同　第二三回　大正四　一　八〇　三レ

同　第二四回　大正五　一　八〇　三ソ

同　第二五回　大正六　一　八〇　三ツ

同　第二六回　大正七　一　八〇　三ネ

日本全國諸會社役員錄　第二七回　大正八　一　八〇　三ナ

同　第二八回　大正九　一　八〇　三ラ

同　第二九回　大正一〇　一　八〇　三ム

同　第三〇回　大正一一　一　八〇　三ウ

同　第三一回　大正一二　一　八〇　三ノ

同　第三二回　大正一三　一　八〇　三ク

同　第三四回　大正一五　一　八〇　三ヤ

日本全國著名人物鑑　岡部新五左衞門　大正七　一　三六七　五一

日本全國鐵道線路圖　附　南滿洲鐵道線路圖　明治四四年三月末日現在　鐵道院製（明治四五）　一枚　一　八九　一九八ハ

日本全國鐵道線路圖　明治四五年五月現在（官私設鐵道一覽表付）　大正元　二一六×八二　一枚　一　八九　一九二

同　大正二年三月末日現在　大正三　一九×四五　一枚　一　八九　一九ヘ

同　大正三年三月末日現在　大正三　二〇×四五　一枚　一　八九　一九ト

日本全國鐵道線路哩程　大正一二至一四年各三月末日現在　鐵道省編　大正一四、一五　三　三三七　三五二

日本全國パノラマ地圖　清水吉康　大正一一　三　一二　五四六

第一卷　東海道パノラマ地圖

第二卷　東京附近パノラマ地圖

第三卷　近畿地方パノラマ地圖

日本戰史　小田原役、朝鮮役　參謀本部編　大正三、一三　四　七七　三〇

同　朝鮮役　大正一三　三　七七　三〇イ

日本全史　矢野道雄　大正五　二　三四九　四四三

		冊	函	號
日本全國諸會社役員錄　第二七回　大正八		一	八〇	三ナ
同　第二八回　大正九		一	八〇	三ラ
同　第二九回　大正一〇		一	八〇	三ム
同　第三〇回　大正一一		一	八〇	三ウ
同　第三一回　大正一二		一	八〇	三ノ
同　第三二回　大正一三		一	八〇	三ク
同　第三四回　大正一五		一	八〇	三ヤ
日本著名人物鑑　岡部新五左衞門　大正七		一	三六七	五一
日本全國鐵道線路圖　附　南滿洲鐵道線路圖　明治四四年三月末日現在　鐵道院製（明治四五）　一〇×四七		一枚	八九	一九ハ
同　明治四五年五月現在（官私設鐵道一覽表付）　大正元　二一六×八二		一枚	八九	一九ニ
同　大正二年三月末日現在　大正三　一九×四五		一枚	八九	一九ヘ
同　大正三年三月末日現在　大正三　二〇×四五		一枚	八九	一九ト
日本全國鐵道線路哩程　大正一二至一四年各三月末日現在　鐵道省編　大正一四、一五		三	三三七	三五二
日本全國パノラマ地圖　清水吉康　大正一一		三	一二	五四六
第一卷　東海道パノラマ地圖				
第二卷　東京附近パノラマ地圖				
第三卷　近畿地方パノラマ地圖				
日本戰史　小田原役、朝鮮役　參謀本部編　大正三、一三		四	七七	三〇
同　朝鮮役　大正一三		三	七七	三〇イ
日本全史　矢野道雄　大正五		二	三四九	四四三
日本戰史集　第一、二輯　栗原勇編　大正一五		二	三二九	四五五
日本染織商工史　上、中卷　泉俊秀　大正一四、一五		二	五四七	三九
日本先住民族史　藤原相之助編　大正五		一	三四九	四三七
日本煎茶創始者永谷翁　附錄　喫茶養生記　好川海堂（日本喫茶史要ト合綴）　大正一二			三八五	二九六
日本船舶構造の變遷　日本古今海事圖書編纂會（桃木武平）編　大正六		一	三三七	一〇二
日本船名錄（船主ノ別）　海商社編　大正一五		一	五一六	三九二
日本禪門偉傑傳　菅原洞禪（禪門叢書第一二編）		一	三三五	三七八わ
日本禪林撰述書目　（大日本佛教全書第一册ノ內　大正二）		一枚	日	二六八ロ
日本總國風土記抄　（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ內　大正三）		一枚	日	二六八ハ
日本總部及附近諸海　水路部製　大正五　三二×二二		一	雜	一七
同　大正八		一	日	五
日本速記協會雜誌　同會發行　第一號（大正九年九月）至第五號（大正一〇年一〇月）		一	三七二	二八二
日本速記術（獨習速成）　齋藤四郎　大正八		一	三六〇	二六〇
日本側面史（情的偉人を中心とせる）　藤森花影（政次郎）　大正四		一	五四八	二五
日本村落史考　小野武夫（農政叢書第二輯）　大正一五		一九	五〇五	二七
日本體育叢書　目黑書店發行　大正一一至一五				
第一篇　ランニング（佐々木等）				
第二篇　ジヤムピング（同）				
第三篇　フツトボール（同）				
第四篇　スローイング（二村忠臣）				
第五篇　テニス（畠山勇三）				
第六篇　キヤムピング（增田健三）				

		冊	函	號
第七篇	ボクシング（渡邊勇次郎）	一	二八	三
第八篇	相撲（樋渡穉次郎）	一	一五	四五四
第九篇	スコーアリング（星野龍猪）	一〇	二〇三	三〇四
第一〇篇	ヴアレーボール（川口英明）	一	一	二四
第一一篇	バスケットボール（藤山快隆）	一	二四	三五〇
第一二篇	水泳（佐藤三郎）	一	二四	三五〇
第一三篇	スキーイング（笹川速雄）	一	二四	三五〇
第一四篇	テニス（太田芳郎）	一	二四	三五〇
第一五篇	登山（田中薫）	一	二四	三五〇
第一六篇	野球（橋戸信）	一	二四	三五〇
第一七篇	ダンス（佐々木等、武田義昌）	一	二四	三五〇
第一八篇	新ボール遊び（齋藤薫雄）	一	二四	三五〇
第一九篇	スケーテイング（五代正友）	一	二四	三五〇

日本大學校友會々員名簿　大正八年九月現在　同會發行　大正八　一　二八三　三

日本大伽藍寶物鏡　稀書複製會編　大正一五（複製）　一　一五　四五四

日本對外小史　高見健一　大正三　一〇　二〇三　三〇四

日本對外貿易地圖　外務省通商局製　大正一三　二四×四五　一枚　二四　三五〇

同　大正一五　二四×四五　一枚　二四　三五〇イ

日本大觀　中澤弘光畫　大正一一　一　二四六　四二

日本大觀　京都卷　中村大觀編　大正四　一〇　二四〇　四二い

日本太古史（世界的研究ー）　上、下　木村鷹太郎　明治四五、大正元　二　三三四　一四二イ

日本太古小史（日本の使命ー）　木村鷹太郎　大正二　一　三四八　五二

日本大藏經　同編纂會編　大正三至九　四八　三五三　六

第一卷（經藏部）
華嚴部章疏　一
華嚴經探玄記南紀錄　卷三之一至一八之二（同）

第二卷（經藏部）
華嚴部章疏　二
華嚴經探玄記洞幽鈔　殘缺三九卷（凝然述）
華嚴經探玄記南紀錄　卷首至二之三（同）（芳英述）

第三卷（宗典部）
三論宗章疏
八識義章研習抄　三卷（珍海記）
一乘義私記（同）
大乘玄開思記（藏海記）
三論玄義檢幽集　七卷（中觀記）
科註三論玄義　七卷（尊祐述）
玄疏問答　三卷（韜超記）
死不怖論科釋　（性空撰）
大乘法門章　卷二三（願曉撰）
內外萬物緣起　卷中（同）
三論興緣起　（聖守撰）
三論眞如緣起　（光太撰　眞然再治）

第四卷（經藏部）
華嚴部章疏之餘　二卷（空性述）
科註華嚴經淨行品　三卷（同錄）
科華嚴經普賢行願品簡註　（僧濟訣）
圓覺經略疏日本訣　三卷（普寂撰）
圓覺經義疏　一
彌勒上生下生經義疏
觀彌勒上生兜率陀天經義疏
彌勒下生成佛經義疏　六卷（眞常集）
地藏菩薩本願經手鑑　（亮汰述）
延命地藏經鈔　三卷（常騰註）
金光明最勝王經　一〇卷

第五卷（宗典部）
三論宗章疏之餘
一乘佛性慧日抄　二卷
八幡宮勸學講一問答抄
法華常疏　五卷（善珠述）
法苑義鏡　二卷（眞興撰）
唯識義私記　（仲算撰）
法相宗賢聖義略問答　卷四
法相燈明記　（慈濫抄）
法相燈隱集　（願安述）
眞言宗未決文　卷三、五、六（宜淳撰）
明矢石論　（同）
心要鈔　（眞慶草）
法相宗初心略要　三卷（同）

第六卷（經藏部）
方等部章疏　一
金光明最勝王經玄樞　一〇卷（願曉等集）
最勝王經開題　（空海撰）
金光明最勝王經略抄　（眞興撰）
金光明玄義拾遺記探賾　二卷（亮潤述）

第七卷（論藏部）
華嚴淨土論章疏　一
起信論義記教理抄　一九卷（滿睿述）
起信論義記幻虎錄　五卷（僧濟撰）
起信論義記幻虎錄辨僞　三卷（憑慧）
起信論義記幻虎錄解謗　（僧濟撰）

第八卷（宗典部）
曹洞宗章疏　一
正法眼藏　九五卷（道元撰）
普勸坐禪儀　（同）
學道用心集　（同）
永平廣錄　一〇卷（懷奘等編）
實慶記　（道元記）

第九卷（宗典部）
法相宗章疏　二
勸誘同法記　（貞慶述）
解脫上人小章集　一〇帖（佐伯定胤編）
眞理鈔　三帖（貞慶等草）
應理大乘傳通要錄　二卷（良遍草）
觀心覺夢鈔　三卷（同）
觀心覺夢鈔補闕法門　二卷（同）
法相二卷鈔　二卷（同）
奧理鈔　（同）
信願上人小章集　七帖（佐伯定胤編）
護正法章　（良遍草）
眞心要決　前抄一卷、後抄二卷（同）
脈欣抄　（同）
三帖
中一法中道　（圓憲等草）
唯識空觀　（光胤草）
大乘五重問答鈔　（辨範記）
大乘種姓玄論　二卷（基辨撰）
大乘一切法相玄論　二卷（同）
大乘法相研神章　五卷（護命勅撰）
顯唯識疏鈔文抄　卷一（常騰撰）
成唯識論疏抄　二卷（藏俊撰）
百法問答抄　九卷
略述法相義　三卷（聞證撰）

第一〇卷（經藏部）
方等部章疏　三
本願藥師經鈔　二卷（善珠記）
藥師經纂解　四卷（亮汰述）
藥師瑠璃光如來本願功德經義疏　三卷（實觀述）
佛語心論　八卷（師錬述）
佛語心論口訣　二卷（智微記）
楞伽經論疏折衷　九卷（養存述）
楞伽或問　（同）
楞伽或問追加　（同）

第一一卷（宗典部）
戒律宗章疏　一
教誡律儀行鈔　三卷（圓鏡述）
教誡新學比丘行護律儀輯解　四卷（正亮撰）
教誡新學比丘行護律儀簡釋　二卷（慧澂撰）
教誡新學比丘行護律儀講述　二卷（慧淑撰）
表無表章義鏡　（善珠述）
法苑林章集解　最行撰）
表無表章詳體文集　三卷（叡尊草）
表無表詳口抄　二卷（元輪撰）
表無表章綱要鈔　（定泉談　英心記）
表無表章義鈔　三卷
勸發菩提心集流類記　（叡尊撰）

第一二卷（經藏部）
方等部章疏　四
入楞伽心玄義要鈔　七卷（探邃述）
首楞嚴經疏折衷　一〇卷（交易撰）
首楞嚴經略疏折衷　一〇卷（義存補）

第一三卷（宗典部）
戒律宗章疏　二
六物圖採摘　三卷（大江述）
佛制比丘六物圖纂註　四卷（宗覺述）
佛制比丘六物圖依釋　四卷（慧淑撰）
三衣辨惑篇釋　（正亮編）
六物綱要　（普寂撰）
佛門衣服正儀編　二卷（僧濟編）
佛門衣服正儀編圖卷　（同）
方服圖儀　二卷（欽光述）
鑑眞過海大師東征傳　（元開撰）
戒律傳來記　上卷（豐安撰）
東大寺授戒方軌　卷一（法進）
東大寺戒壇院受戒式　（實航撰）
出家略作法　（同）
戒律興行願書　（貞慶）（同草）
南都叡山戒勝劣記　（俊芿述）（覺盛草）
律家圓宗料簡　（覺盛草）
菩薩戒通受別受鈔　（同撰）
菩薩戒通受遺疑鈔　（同撰）
七佛略戒經　（同述）
釋迦十二禮　（同）
律宗新學作要文　（同集）
菩薩戒別受行否鈔　（良遍注）
菩薩戒通受軌則有難通會抄　（同草）
律宗作持羯磨　（睿尊草）
八齋戒作法要解　二卷（覺深撰）
八齋戒作法得道鈔　二卷（通玄述）
徹底章　（元休述）
三聚淨戒通受儀悔鈔　（同）
三聚淨戒四字鈔　（定泉記）

菩薩戒潛底鈔
菩薩戒問答洞義鈔（英心述）
雲雨鈔（凝然撰）
太一卉木草（同）
通受懺悔兩寺不同記（同）

第一四卷（論藏部）眞言密教論章疏　上二卷（空海撰）
眞言密教論章疏　下二卷（空海撰）
釋摩訶衍論指事　二卷（覺鑁撰）
釋摩訶衍論愚案鈔　卷一本末（同草）
釋摩訶衍論序鈔（賴瑜撰）三六卷（同）

第一五卷（宗典部）戒律宗章疏　三
律宗綱要　二卷（凝然述）
律宗瓊鑑章　卷六（同）
三宗綱戒　四卷（清算記）
大乘圓戒顯正論（正直編）
久修園集　三卷（同述）
久修園織集　三卷（同）
不學無知章（慧淑撰）
尸羅敲淨辨增越儗章（同）
律苑行事問辨　一〇卷（英泉撰）
十善法語　一二卷（妙龍）
十善略記　一名人となる道（欽光述）
附　飲光慕雲尊者傳（諦濡撰）
出家授戒法（同）
（實範作）

第一六卷（論藏部）眞言密教論章疏　下
眞言密教論私記　二卷（信堅勅撰）
釋摩訶衍論決擇集　一七卷（宥快撰）
發菩提心論祕釋（覺鑁撰）
眞言淨菩提心私記（同）（榮西記）
金剛頂宗菩提心論口決（道範記）
菩提心論談義記　二卷（承澄撰）
菩提心論勘文　四卷（賴瑜撰）
菩提心論初心鈔　二卷（杲寶述）
菩提心論聞書　七卷（宥快述）
發菩提心論鈔　一〇卷

第一七卷（宗典部）修驗道章疏　一
修驗道三身壽量無邊經
佛說三身壽量無邊經（光雅撰）
蜂中正灌頂外場作法（貞慶草）
柱源正灌頂儀則（同）
柱源極祕印信（同）
自供養法大事（同）
柱源神法大護摩供次第
庭壞大護摩供次第
柴燈大護摩法次第
修驗最勝慧印三昧耶極印灌頂法（聖寶撰）
修驗最勝慧印三昧耶普通次第（同）
修驗最勝慧印三昧耶六檀法儀軌（同）
修驗最勝慧印三昧耶護摩法（同）
修驗最勝慧印三昧耶柴燈護摩法（同）
大峰道場莊嚴自在儀（同編）
理智不二界會禮讚（聖寶撰）（觀賢譜）
靈異相承慧印儀軌（觀賢、貞崇錄）
極印灌頂三祇師補闕分軌（觀賢傳）
大峰界會萬行自在法（貞崇撰）
極印灌頂道場手鏡（亨祐撰）
附　得度法（元杲撰）
修驗道引導之軌　二卷（凝然述）
修驗道引導之軌三昧耶法（同）
孔雀經轉讀作法（同撰）（仁海纂）
修驗最勝慧印三昧耶法（義範撰）
神變大菩薩供養法（同）
理源大師供養法（同）
最勝慧印三昧耶表白集（同）
修驗極祕印灌頂印明三昧耶（勝覺撰）
修驗極祕印灌頂法祕口決（成賢撰）
大峰界會萬行自在次第（同）
修驗最勝慧印三昧耶得度作法（同）
修驗最勝慧印三昧耶聲明集（同）
修驗最勝慧印三昧耶法口決（秋月纂）
修驗道峰中火堂書　二卷
柴燈護摩法之表白並祝章
大聖不動明王深祕修法集（尊海集）
修驗常用祕法集（同）
修驗常用祕法集　三卷（同）
修驗慧印總漫拏攞
修驗慧印六壇漫拏攞
曼荼羅總會印信
御法流印信
峰中十種修行作法
荒神供次第
烏樞沙摩明王法（觀弘纂）
修驗常用集　二卷（行存集）
修驗道諸神勸請通用
修驗神社印信
修驗道宗神社印信（聖寶撰）
修驗心鑑書　二卷（常圓註）
修驗心鑑鈔（淨諦述）
修驗名稱原儀（旭蓮記）
修驗祕奧鈔　二卷（滿濟撰）
修驗道十八個條祭祠
金峰山祕密傳　三卷

金峰山雜記
修驗宗法具祕決精註　二卷（常圓註　義觀補）
修驗峰中祕傳（雲外撰）
役誡十善略解（房演撰）
修驗祕記略解　七卷（歡驗撰）

第一八卷（經藏部）法華部章疏　一
法華經義疏（聖德太子御撰）
法華經總釋（光雅撰）　四卷
無量義經開示鈔（貞慶草）　卷下
觀普賢經開示鈔（同）
法華經開示鈔　二八帖（同）

第一九卷（律藏部）大乘律章疏　一
大乘律章疏（善珠撰）　四卷
梵網經略疏（宥快說）　三卷
梵網經開題鈔（光謙撰）　八卷
梵網經菩薩戒義疏集註（僧濟輯）　六卷
梵網經菩薩戒本疏紀要引據增補龍鳴斥謬　二卷（同撰）
梵網戒本疏紀要（了賢說）　二卷

第二〇卷（論藏部）三論章疏　一
中觀六論品釋（快憲撰）
中觀六論疏記會本　卷一至六（安澄撰）

第二一卷（律藏部）大乘律章疏　二
梵網經要解　一〇卷（妙龍）
梵網經要解或問（同）
梵網經古迹記科文補行文集　一〇卷（睿尊撰）
梵網經古迹記補忘抄　一〇卷（定泉記）

第二二卷（律藏部）大乘律章疏之餘
菩薩戒本宗要鈔　二卷（宗覺編集）
菩薩戒本持犯要記助覽集　二卷（眞圓記）
應理宗戒圖釋文鈔　二卷（睿尊撰）
菩薩戒經義解　三卷（同）
小乘律章疏
沙彌十戒并威儀經疏　五卷（法進撰）
釋門集僧軌度圖經（道宣撰）
四分戒本疏賸宗記　二〇卷（凝然述）

第二三卷（論藏部）諸大乘論章疏　一
諸大乘論章文（最澄鈔）
法華論記　一〇卷（圓珍撰）
法華論節義　四卷（賢洲記）
攝大乘論天親釋略疏　五卷（普寂撰）
成業論文林鈔　二卷（隆山撰）

第二四卷（經藏部）密經部章疏　上一
大日經開題（圓珍述）
大日經指歸（同）
大日經略釋（同）
大日經目錄（同記）
大日經義釋目錄緣起（同述）
大日經疏鈔（同）
大日經義釋更問鈔　卷下（同記）
大日經見聞　二卷（辨圓談）
大日經疏文次第（空海撰）
大日經疏開題（同）
遮那經王疏傳　二〇卷（空海說　實慧記）
遮那經王不思議疏傳　二卷（同）
大日經開題口筆　二卷（了賢說）
大日經開題鈔（宥快說）
大日經品目大意　二卷（宥祥記）
大日經疏鈔　四卷（觀賢）
大日經序分義（實範記）
大日經要義鈔　七卷（同）

第二五卷（經藏部）方等部章疏　五
勝鬘經義疏　三卷（聖德太子御撰）
勝鬘經顯宗鈔　三卷（普寂撰）
維摩經義疏　三卷（聖德太子御撰）
維摩經玄略鈔　二卷（證眞撰）
維摩經疏私記　二卷（同）
淨名玄論略述　八卷（智光撰）

第二六卷（經藏部）密經部章疏　上二
大日經疏鈔　八五卷（宥快說）

第二七卷（論藏部）唯識論章疏　一
成唯識論論泉鈔　卷一至八（善念集）

第二八卷（經藏部）法華部章疏　二
法華經釋文　三卷（仲算撰）
法華經略頌　（眞興撰）
法華經玄贊　一乘義私記　三卷（同集）
法華經開題　三般（空海撰）
法華經祕釋（覺鑁撰）
法華經釋　（妙瑞記）
法華經諫順　（同）
法華經十不同問答慧給記　二卷（同）
法華經不同問答慧給記（同）
密號問答慧給記　二卷（妙瑞艸）
法華經方便品奮迅義　三卷（最澄撰）
註無量義經抄（證眞撰）
法華經題目（最澄撰）

法華經大意（同）
法華經二十八品大意（同）
法華經二十八品肝要（同）
法華經梵釋（圓珍撰）
法華經囑累前後問答（智證述）
法華二十八品頌（千觀撰）
法華三十講品釋（澄憲述）
御註法華經品釋（華園法皇御撰）

第二九卷
（論藏部）
三論章疏之餘
中觀今論疏記會本　卷七至一〇（安澄撰）
十二門論疏聞思記（藏海記）
十二門論疏抄（尋慧集）
掌珍量論注（秀法師撰）
大智度論類聚標目　三卷（榮天校註）
異部宗輪論述記目論　五卷（榮天校註）

第三〇卷
（經藏部）
法華部章疏　三
法華經鷲林拾葉鈔　二四卷（尊舜談）

第三一卷
（經藏部）
理趣經釋章疏　一
理趣經開題　四般（空海撰）
眞實經文句開題（同）（空海撰）
理趣經釋　二卷（賴瑜草）
理趣經種子釋（覺鑁撰）
理趣經秘決鈔　六卷（道寶記）
理趣經略註　四卷（杲寶撰）
理趣經秘鈔　三卷（亮汰集）
理趣經傳鈔　二卷（道範撰）
理趣釋秘略決集　六卷（杲寶決　賢寶記）
理趣釋要鈔　二卷（杲寶撰）
實相般若經答釋（空海撰）

第三二卷
（經藏部）
密經部章疏　下一
大教王經開題（空海撰）
金剛頂經開題鈔　一〇卷（宥快說）
金剛頂大教王經疏　七卷（圓仁撰）
蘇悉地羯羅經略疏　七卷（同）

第三三卷
（論藏部）
唯識論章疏　二
成唯識論略抄　卷九、一〇（善念集）
成唯識論述記序釋（善珠集）
成唯識論疏　卷（善珠集）
成唯識論了義燈增明記　四卷（善珠述）

成唯識論了義燈抄　卷三（常騰撰）
成唯識論了義燈抄　卷四（信叡撰）
唯識分量決（善珠撰）
四分義極略私記　二卷（忠算撰）
大乘廣五蘊論纂釋　六卷（了道記）

第三四卷
（經藏部）
方等部章疏　六
解深密經讚　七卷（德龍撰）
善惡因果經直解　六卷（了意撰）
善惡因果經要解　二卷（覺深述）
科註父母恩重經附極樂易往因果經報乳鈔　二卷（眞賢撰）
孝子經報乳鈔　二卷（正亮輯）
數珠功德經鈔（亮汰述）
得道梯隥錫杖經出型鈔　三卷（大雲撰）
九條錫杖鈔（亮汰述）

第三五卷
（經藏部）
般若部章疏
般若部章疏開題
大般若經要集抄　三卷（空海撰）
大般若經品目提綱　六卷（信撰）
大般若經逐卷係贊（全巖撰）
金剛般若波羅蜜經開題（瑞芳撰）
仁王護國般若波羅蜜經疏　三卷（空海撰）
仁王護國般若波羅蜜經開題（空海撰）
仁王般若經護國鈔　三卷（行信抄）
梵漢般若經心經異本集（覺超撰）
般若心經述義（智光撰）（日本大藏經編纂會編）
般若心經釋（最澄撰）
般若心經略釋（眞興集）
般若心經要（源信作）
般若心經註解（宗純抄）
摩訶般若心經講演（圓耳集）
般若心經解（宗純抄）
般若心經口譚　元澄錄
般若心經止啼錢（性潛述）
般若心經毒語註（傳尊講）
般若心經略註（慧鶴類）
般若心經秘鍵開實鈔（圓慈注）
般若心經秘鍵開蔵鈔　二卷（覺鑁記）
般若心經秘鍵鈔　六卷（道範記）
（杲寶述　賢寶記）

第三六卷
（經藏部）
密經部章疏　下二
菩提場經略義釋　五卷（圓珍撰）
瑜祇經疏　二卷（安然述）
瑜祇經行法記（空海撰）
瑜祇經總行記（眞寂記）
瑜祇經拾古鈔　三卷（賴瑜記）
瑜祇經義述　七卷（賴瑜記）
毗盧遮那別行經鈔　二卷（慈圓傳）
金剛頂蓮華部心念誦儀軌私記（眞興述）
蓮華胎藏界儀軌解釋　三卷（同集）
千手經述祕鈔　三卷（高辨撰）

第三七卷
（宗典部）
修驗道章疏　二
法門類
修驗杜源神法
杜源神法護摩軌
柴燈護摩供次第
柴燈護摩供行者堂圖
羽黑山修驗柴燈護摩供次第
羽黑流護摩法口決
峰中作法　二般
峰中作法次第
峰中式目
追込次第
自門入室制蔵作法
大峰修行灌頂式（良緣記）
葛城修行灌頂式（鎭榮記）
當道灌頂次第
神仙灌頂祕記
小木嚫伽讚嘆
養笠相傳（雄仁法親王御撰）
略三摩耶戒儀（卽傳募）
彦峰中灌頂密藏（二卷）
本山修驗勤行要集（敬長輯）
諸供作法集（日本大藏經編纂會編）
青雀祕要錄（堯海相傳）
小笹祕要錄（乘圓相傳）
兩峰問答祕鈔（獻助撰）
本中修驗行記（行昭撰）（道瑜治定）
本山修驗深祕印信集（日本大藏經編纂會編）

第三八卷
（宗典部）
修驗道章疏　三
教義類
陽神變大菩薩號詔書　寫眞版
資道什物記　二卷（朗然撰　宥鑁注）
山伏二字義（宥鑁注）
修驗三流儀軌（覺瑄撰）
修驗指要辯（等空述）
客道名服說（明存撰）
修驗則（僧牛撰）
本山修驗略要
修驗道初學辯談　二卷（卓盈撰）
修驗十二箇條（木山方）
修驗十二箇條（當山方）（日賢記）
當山一宗依的忠集（融悲輯）
當門門源起（俊堅記）
本山修驗道意略問答（立賢記）
木葉衣（行智記）
踏雲錄事（同著）
傳類
役行者本記（義元撰）
役行者顯末祕藏記
役君形生記　二卷（秀高撰）
役公徵業錄（祐誠撰）
當山極深祕法脉（行智記）
當山修驗傳統血脉
當山派師相承血脉
彦山修驗傳法嗣法譜
彦山修驗傳法血脉譜
深仙灌頂系譜
聖門御累代記
本山修驗傳記
熊野山別當次第
熊野山檢挍次第
新熊野山別當次第
新熊野山檢挍次第
金峰山檢挍次第
記錄類
金峰山創草記
聲聞菩提山等緣起（盛厳記）
葛城寶山記（行基撰）
加州白山緣起（泰澄撰）
石川郡
山伏帳　下卷

大峰當山本寺與福寺東金堂先達記錄
金剛山內外兩院代代古今記錄（聊朝記）
高演大僧正入峰行列記

羽黑修驗史料記錄類
羽黑山修驗廣法灌頂傳持血脈
羽黑末寺並修驗院跡大數取調帳
羽黑一派官職法衣規則書上
羽黑修驗衣體並法用具覺
羽黑三山古實集覽記

台嶺行門修驗書
北嶺廻峰前加行次第
當山巡禮靈所法施記（圓仁記）
當山靈所巡禮次第（同）
北嶺大廻次第（叡憲記）
巡禮所作次第（豪圓記）
葛川加行次第
北嶺巡禮峰次第（舜雄記）
當山巡禮峰修行記（宗澄記）
修驗行滿雜記（幸運記）
行門還源記（重華記）
無動寺撿挍次第
法華行者修驗書
修驗故事便覽　五卷（日榮）

第三九卷
（論藏部）

金七十論章疏
金七十論備考　三卷（曉應述）
金七十論疏　三卷（法住撰）
金七十論演鏡（快道撰）

勝宗十句義論章疏
十句義論釋　二卷（基辨撰）
十句義論訣擇　五卷（快道撰）
十句義論聞記（寶雲說）

六合釋章疏
六合釋節要（融光撰）
殺三磨妥釋未辨訣並辯誤（基辨訣　快道述）
分別六合釋（法住記）
六合釋精義　二卷（快道撰）
六合釋章（同記）
六合釋章疏標目（同述）
六離合釋法式通關注（宥範註）
六離合釋法式略解注

第四〇卷
（宗典部）

華嚴宗章疏　上
五十要問答加廣章　二卷（凝然述）
華嚴孔目章問答鈔　八卷（尊玄記）
華嚴孔目章發悟記　一二卷（凝然述）
金師子章光顯鈔　二卷（高辨撰）

第四一卷
（律藏部）

大乘律章疏　三
梵網經古迹記　三卷（淨算記）
梵網經古迹記迹鈔　一〇卷（照遠述）
菩薩戒本宗要雜文集（覺盛記）
菩薩戒本宗要輔行文集　二卷（叡尊記）

第四二卷
（宗典部）

華嚴宗章疏　下
華嚴宗種性義鈔（親圓撰）
華嚴一乘開心論　卷下一（普機撰）
華嚴一乘十信位中開廓心境佛佛道同
佛光觀法門（高辨述）
華嚴修禪觀照入解脫門義　二卷（同）
華嚴信種義（同記）
華嚴佛光三昧觀祕寶藏　二卷
華嚴佛光三昧觀冥感傳（同）（同集）
華嚴唯心義釋　二卷（同作）
明慧上人法話（同）
邪正問答鈔（同）
三時三時禮功德義（同）
自行三時禮功德義（同記）
光明眞言土砂勸信記　二卷（同作）
光明眞言土砂勸信別記（同造）
護身法功能鈔（同記）
護身法口訣（同記）

攝邪輪莊嚴
攝邪輪莊嚴記（同草）
華嚴香水源記
華嚴五教建立次第（朗遊記）
華嚴五教建立次第（凝然述）
華嚴十重唯識鏡記　卷一至五、七（同）
華嚴十重唯識圓鑑章　二卷（同）
華嚴法界義鏡（同）
華嚴宗要義（同）
初發心時（禪爾草）

第四三卷
（宗典部）

天台宗密教章疏　一
胎藏界灌頂行事鈔（最澄撰）
金剛界灌頂行事鈔（同）
合壇灌頂記（同記）
灌頂傳授祕錄　二卷（同記）
阿闍梨大曼荼羅灌頂儀軌（同撰）
兩部祕密許可並大結界式（同）
藥師如來儀軌（同集）
藥師如來念誦法（同）
藥師如來請式（同）
雙身毗沙門法（同）
鎭將夜叉念誦次第（同）
鎭將夜叉祕密念誦法（同）
鎭將夜叉祕法（同）
六天講式（同）

順曉阿闍梨付法文
德圓阿闍梨付法文
廣智阿闍梨付法文
結緣灌頂次第記（義眞記）
在唐決（圓仁撰）
曼荼羅問答（圓仁撰　法全答）
眞言三昧耶戒記（圓記）
胎藏界虛心記　二卷（同）
金剛界淨地記（同）
藏悉地妙心大（同）
妙成就記幷註（圓仁記　圓珍註）
都法灌頂祕錄（圓仁記）
諸位灌頂祕密目錄（同錄）
護摩次第（同）
護摩觀（同）
大毗盧遮那大教王相承師資血脈圖（圓珍撰）
金剛頂大教王相承師資血脈圖（同）
講演法華儀　二卷（同）
法華曼荼羅諸品配釋（同）
法華經兩界和合義（同）
法華論四種聞日記（同集）
大說經日三劫六無畏記（同叙）
些些疑文　二卷（同問）
疑問集　二卷（同記）
大師在唐記（同）
在唐記（同答）
眞言三身問（同）
阿字祕釋（同撰）
理智一門集（同撰）
顯密二宗本地三身釋（同記）
授決圓多羅集唐決　二卷（同述）
教示兩部祕要義（同傳）
阿母捺羅記（同記）
慈拳母捺羅圖（同）
三部曼荼羅記（同述）
大悲藏瑜伽記　二卷（同記）
金剛頂瑜伽記（同）
決示三種悉地法（同撰）
佛母曼拳羅念誦要法集（圓珍，高大夫集）
建立曼荼羅大壇儀式略攝行法（圓珍記）

第四四卷
（宗典部）

天台宗密教章疏　一
內證佛法相承血脈譜（最澄撰）
師資相承血脈文（同）
天台法華宗傳法偈（同）
行滿和尙印信（同）
道邃和尙付法文
天台宗未決（最澄問　道邃決）
天台法華宗牛頭法門要纂（最澄撰）
修禪寺相傳口決　二卷（同）
三大章疏七面相承口決（同記）
山家學生式（同撰）

顯戒論緣起　二卷（同）
一乘戒建願終遺誡（同記）
根本大師臨終遺誡（同述）
授菩薩戒儀（同撰　圓珍註）
菩薩戒第明據（最澄撰）
照權實鏡（同）
法華去惑　四卷（同）
守護國界章　九卷（同）
通六九證比量文（同）
決權實論（同）
法華秀句　五卷（同）
再生敗種義（同述）

第四五卷
（宗典部）

天台宗密教章疏　二
胎藏具支灌頂記　卷一至六、八至一〇（安然集）
大悲胎藏持誦不同記　七卷（同記）
胎藏界釋迦會不同二卷（同傳）
胎藏界曼荼羅諸尊種子集（同抄）
金曼荼羅諸尊種子集（同記）
胎藏界大法對受記　七卷
金剛界大法對受記　卷一至五（同）

第四六卷
（宗典部）

天台宗顯教章疏　一
斷證決定集（最澄說　圓仁記）
經師觀行（最澄撰）
三平等義（同）
破十軍修佛（同）
天台法華宗生知妙悟決（同記）
妙法蓮華經出離生死血脈（同問　道邃決）
五部血脈（同傳）
法華經發願文　二卷
長講仁王般若經會式（同）（同記）
長講金光明經會式（同）
七難消滅護國頌（同撰）
宇佐宮經釋文（同）
依憑天台集（同）
拂惑袖中策　二卷（同）

末法燈明記　（同記）
正像末記　（同撰）
三寶住持集　（日本大藏經編纂會編）
天台宗靈應圖本傳集　二卷　（最澄等製）
傳教大師將來錄　二卷　（最澄等撰）
御經藏寶物聖教等目錄　三卷　（日本大藏經編纂會編）
傳教大師除輩集　三卷　（日本大藏經編纂會編）
叡山根本大師御選述目錄　（可透集）
傳教大師撰述錄　（仁忠撰）
叡山大師傳　（圓珍抄）
延曆寺元初祖師行狀記　（同記）
叡山大師略傳　（同記）
叡山根本大師傳　（三好爲康撰）
延曆寺禁制式　（仁忠等記）
唐決　（義眞問）
天台法華宗義集　（同撰）
天台金剛宗義集　（最澄傳受）
一心金剛戒體訣　二卷　（義眞述）
一心金剛戒體緣起　（日本大藏經編纂會編）
修禪和尚留芳集　（大伴國道撰）
天台佛法流布吾國事　（圓澄問）
唐決和尚殘露集　（日本大藏經編纂會編）
唐決寂光和尚殘露集　（圓載問）
唐決和尚羅尊　（日本大藏經編纂會編）
唐決　（德圓問）
傳述一心戒文　三卷　（光定問）
延曆寺內供奉和上行狀　（圓豐等撰）
境智一心三觀文　（圓仁撰）
法華迹門觀心絕待妙釋　（同）
法華本迹十妙釋　（同）
七驗義　（同）
寂光土義　（同）
四土通達義　（同）
三身義私記　（同記）
已心中義記　（同撰）
一念頌決　（圓仁撰）
心性論　（覺超記）
俗諦不生不滅論　（同）
四夜傳　（同草）
諸佛掌中要決　（圓仁記）
妙義口傳集　（同述）
眞言菩提心義　（同撰）
義綱集　二卷　（同集）
三寶輔行記　（日本大藏經編纂會編）
神祇鬱典　（同）

第四七卷

（宗典部）眞言元事相章疏　祕密曼荼羅教付法傳　二卷　（空海撰）

眞言付法傳　（同）
祕藏記　二卷　（同）
正像末記　（同撰）
三寶住持集　（日本大藏經編纂會編）
天台宗靈應圖本傳集　二卷　（最澄製）
傳教大師將來錄　二卷　（最澄等製）
御經藏寶物聖教等目錄　三卷　（日本大藏經編纂會編）
傳教大師除輩集　三卷　（日本大藏經編纂會編）
叡山根本大師御選述目錄　（可透集）
傳教大師撰述錄　（仁忠撰）
叡山大師傳　（圓珍抄）
延曆寺元初祖師行狀記　（同記）
叡山大師略傳　（同記）
叡山根本大師傳　（三好爲康撰）
延曆寺禁制式　（仁忠等記）
唐決　（義眞問）
天台法華宗義集　（同撰）
天台金剛宗義集　（最澄傳受）
一心金剛戒體訣　二卷　（義眞述）
一心金剛戒體緣起　（日本大藏經編纂會編）
修禪和尚留芳集　（大伴國道撰）
天台佛法流布吾國事　（圓澄問）
唐決和尚殘露集　（日本大藏經編纂會編）
唐決寂光和尚殘露集　（圓載問）
唐決和尚羅尊　（日本大藏經編纂會編）
唐決　（德圓問）
傳述一心戒文　三卷　（光定問）
延曆寺內供奉和上行狀　（圓豐等撰）
境智一心三觀文　（圓仁撰）
法華迹門觀心絕待妙釋　（同）
法華本迹十妙釋　（同）
七驗義　（同）
寂光土義　（同）
四土通達義　（同）
三身義私記　（同記）
已心中義記　（同撰）
一念頌決　（圓仁撰）
心性論　（覺超記）
俗諦不生不滅論　（同）
四夜傳　（同草）
諸佛掌中要決　（圓仁記）
妙義口傳集　（同述）
眞言菩提心義　（同撰）
義綱集　二卷　（同集）
三寶輔行記　（日本大藏經編纂會編）
神祇鬱典　（同）

第四八卷

宗典部
天台宗密教章疏三　（安然記）
金剛界大法對受記　（同）
蘇悉地大法對受記　（同）
蘇悉地羯羅重玄門儀軌　（同集）
蘇悉地略記
蘇悉地略　（安然集）
金剛頂修行法次第儀式　上卷
聖無動尊決要義　（同撰）
不動明王祕要決　（同）
廣不動軌修行次第　（同記）
不動立印儀軌祕記　（同抄）
不動立印儀軌私記　（良源撰）
常住金剛頂蓮義　（安然記）
不動尊金剛童子祕密法集　（同集）
鷄羅山泥縛私記　（同）
求子妊胎產生祕密法集　（同集）
無量壽儀軌中焚唐對註眞言　（同）
相承三宗血脈　（同撰）
手草　二卷　（同）
異本卽身成佛義私記　（同）
教時問答　四卷　（同造）
教時儀勘文　一卷　（榮西抄）
菩提心義　（安然撰）
出纏別記　（榮西集）
出纏大綱　（同記）
四明安全義　（日本大藏經編纂會編）
自行要記　（同）
要記　（安然記）

日本大藏經佛書解題　卷上、下　大正一一　大村西崖、中野義照
日本大藏經目錄　日本大藏經編纂會編　大正一〇
日本大師先德明匠記　定珍編　一一冊ノ內　（大日本佛教全書第一〇）　大正一〇
日本大辭典（作文）　岡島誘、岩佐重一　大正二
日本大震災史（叙情）　田中貢太郎、高山辰三　大正一三　六五〇頁
日本對南洋貿易大勢　農商務省商務局（松尾音治郎）編　明治四五
日本太陽曆年表　上、下卷　高頭仁兵衛編　大正九、一〇

日本大歷史（改訂）　上卷　青木武助編　大正一五
日本臺灣西岸諸港泊地　水路部製　一・五×二・一　大正一〇
日本臺灣西岸諸分圖　第一至三　二・二×一・六　水路部製　大正二至六
日本臺灣西岸打狗港　水路部製　大正四　一・五×二・一
同　大正八
日本臺灣全島　水路部製　大正三　二・二×二・二
日本臺灣島及海峽　水路部製　大正元　二・三×三・三
日本臺灣東岸花蓮港至三貂角　水路部製　大正三　三・二×二・一
日本臺灣東岸卑南至花蓮港　水路部製　大正二　三・四×二・四
日本臺灣北岸基隆港　水路部製　大正二　二・五×一・八
同　大正六　二・二×一・六
日本刀　本阿彌光遜（光）　大正三　八六〇頁
日本陶器全書（鑑定）　大西林五郎編　大正二
日本陶器全書（備考）　大西林五郎、藤理伯編　大正九
日本陶誌（鑑定）　大西林五郎編　大正八
日本陶誌（備攷）　大西林五郎編　大正八
日本陶磁器全書　第一至一二卷　大正六至八　遺補　日本陶磁器協會編
同

日本	一枚	三三	二九四	イ	二三五	六	
日本	一枚	三五二			一三五三	六	
日本	一枚	三五三	一〇		一三五三	六	
日本	一枚	一八八	三三七		一三五三	六	
日本	一枚	一五二六	四八		一三五三	六	
日本	一枚	一三七	八九		一三五三	六	
日本	一枚	二三二	一五三		一三五三	六	
日本	一枚	三五二	一〇		一三五三	六	
日本	一枚	三三〇	一	イ	一三五三	六	
日本	一枚	一三一	一〇	ホ	一三五三	六	
日本	一枚	三〇	一	イ	一三五三	六	
日本	一枚	一九三	一	イ	一三五三	六	
日本	一枚	三〇	一	イ	一三五三	六	
日本	一枚	三〇	一	イ	一三五三	六	
日本	一枚	二九四	一	イ	一三五三	六	
日本	一枚	二九六	一	イ	一三五三	六	
日本	一枚	六〇	一	ホ	一三五三	六	
日本	一枚	六〇	一	ヘ	一三五三	六	
日本	一枚	六〇	一	ワ	一三五三	六	
日本	一枚	三〇四			一三五三	六	
日本	一枚	二四九	一	五四

	冊	函	號
日本陶磁器圖說　巻一至三　川上邦基編　大正一一至一五	二〇	四二	九
日本陶磁器圖說　巻一至三　川上邦基編　大正一一至一五	特二〇	四二	九イ
日本陶瓷史　今泉雄作、小森彦次　大正一四	一	五三七	一〇五
日本道中記　遲塚麗水　大正六	一	三六四	二四一
日本道徳と最近社會思潮　三浦關造　大正八	一	三七〇	二一〇
日本道徳論　清原貞雄　大正一五	一	五二〇	一八〇
日本道徳論　西村茂樹　大正一五	一	六八	一六二イ
日本刀の位列と價格（鑑定ノ備考）　高瀨悟堂編　大正八	一	三六六	九六
日本刀の移り及地沸に就て　俵國一　大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第一九）	一	一四、五	三七
日本刀の疵に就て　太田熊太郎、福田瑞二　大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二三）	一	一四、五	三七
日本刀の形狀寸度に就ての資料　太田熊太郎、福田瑞二　大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二四）	一	一四、五	三七
日本刀の研究　俵國一　大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二〇）	一	一四、五	三七
日本刀の反りと切れ味との關係　青山兵吉　大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第二八）	一	一四、五	三七
日本刀の「燒直し物」と云ふ事に就て　太田熊太郎　大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第一八）	一	一四、五	三七
日本駄右衞門　寫本（松島松作芝居臺帳第四六ノ内）	八二四		ニ
日本脫出記　大杉榮　大正一二	一	五一四	一八五

	冊	函	號
日本魂「ヤマト」ヲ見ヨ			
日本短歌史　山内素行　大正二	一	三三二	四三
日本炭礦行脚（黄金時代ノ各炭礦）　里見敬二、清宮一郎　大正八	一	二八五	三三
日本男子論　福澤諭吉（福澤全集第六巻ノ内　大正一五）	五三〇		五一
同	五二〇		五一イ
日本男兒論　大町桂月　大正三	一	三七	三六八
日本淡水生物學　上、下巻　川村多實二　大正七	二	三六五	一〇三
日本重要木竹圖票　農商務省山林局編　大正五	一	四一九	六五
日本忠孝傳　第一編　渡邊勝（碧瑠璃園）　大正一一	一	五一七	六四
日本鑄工史稿　香取秀眞　大正三（甲寅叢書第四編）	一	三四〇	三五
日本中興武術系譜略（國書刊行會本武術叢書ノ内　大正四）	三三〇		四九る
日本住宅及別莊建築　帝國建築協會編　大正一四	一	五三七	一三九
日本住宅建築圖案百種　金子清吉　大正二	一	三三一	七七
同　訂三版　大正三	一	三三一	七七イ
日本住宅雜作圖案五百種　金子清吉　大正六	一	三六七	三五
同　再版　大正八	一	三六七	三五イ
日本住宅室内飾り道具圖解　杉本文太郎　明治四五	一	三四三	五七
日本住宅寫眞圖譜　森友吉編　大正元	一	三三九	一六一
日本住宅の保全と諸什器取扱法　附　室内裝飾法心得　杉本文太郎　大正五	一	三五六	二三

	冊	函	號
日本中數學會雜誌　同會發行　第二巻第一號（大正九年三月）ヨリ	雜二五	七	
日本中部及朝鮮　第一、二、三・二×二・〇　水路部製　大正八、九	二	日	二五三イ
日本竹林造成論　下島一學編　大正元　三二頁	一	三四四	八七
日本竹類圖譜　農商務省山林局（白澤保美）編　明治四五	二	四〇六	三七
日本地史の研究　早坂一郎　大正一二	一	三六五	三八
同　大正一五	一	三六五	三八イ
日本千島列島擇捉島　水路部製　明治四五　二・三×四・三	一	日	二九九ロ
日本千島列島及北洲東岸國後島及近海　水路部製　明治四五　二・三×三・三	一	日	二〇九ハ
日本千島列島國後島南東岸古釜府灣　水路部製　大正二　一・三×一・七	一	日	一九九イ
日本千島列島占守島附近　水路部製　大正二　一・五×二・一	一	日	三一三
同　大正五	一	日	三一三イ
日本千島列島諸港泊地　水路部製　大正七　二・一×一・五	一	日	三四五
日本千島列島新知灣　水路部製　大正六　二・一×一・五	一	日	三四四
日本千島列島乳呑路泊地及斜古丹港　水路部製　大正二　一・三×一・七	一	日	一九八イ
日本千島列島幌筵島及近海　水路部製　大正六　三・二×二・一	一	日	三四三
日本千島列島幌筵島附近諸分圖　第一　水路部製　大正四　二・一×一・五	一	日	三三三
日本地圖帖　小川琢治　大正一三	一	日	三三三
日本地圖帖地名索引　小川琢治　大正一二	一	日	五一九
日本釀造醬油釀造巡回講演筆記錄　同會近畿支部編　大正七	一	日	三七三

	冊	函	號
日本釀造協會主催全國酒類醬油品評會顯末報告　第六、七回　日本釀造協會編　大正七、九	二	日	三〇七イ
日本茶業史　茶業組合中央會議所編　大正三	一	三四二	四八一
日本著作權法要論　荒木虎太郎　大正四	一	三五二	一〇一
日本女子オリムピック年鑑　第一年　中央運動社編　大正一三年度　大正一三	一	五二八	四三
日本女性史　久保田辰彦　大正三　六七六頁	一	三四八	一六四
日本女性史論　中川一男　大正一四	一	五三五	一〇二
日本地理講話（參考ノ）　西田卯八　大正一五	一	五五四	八一
日本地理研究　赤瀨八代喜　大正四	一	二一	三四三
日本地理原論及細說（理法探究ノ）　仲原善忠　大正一四	一	五二四	一三八
日本地理受驗の研究　橢本常造　大正一一	一	三九四	三三三
日本地理精義　受驗研究會編　大正一五（「題簽等ノ冠稱ニハ「最も要領を得た研究の」トアリ）	一	五五六	二七
日本地理精說　殖民地部、占領地部　長谷川與三治　大正八	一	二八三	三二
日本地理の智識　小林鷲里　大正五（國民叢書ノ内）	一	五一五	九九ゆ
日本地理歷史寫眞帖　第一、二輯　帝國教育會編	二	三九四	一〇二
日本珍事非常部　壽達翁　寫本（壽堂錄萬物藏第三八至四〇冊）	三〇	二四五	三七
日本通史　高桑駒吉　大正元	一	三四八	三九
日本津輕海峽　水路部製　大正七　二・二×三・二	一	日	七〇ニ
日本津輕海峽諸港泊地　水路部製　大正八　二・〇×一・五	一	日	七〇ホ

日本對馬西岸諸港泊地	水路部製	大正八	二·一×一·五	一	一	函	一
日本對馬東岸諸港泊地	水路部製	大正八	一·六×二·二	一	日	九七イ	一
日本帝國南洋群島寫眞帖	海軍省編	大正一一		一	四一六	三七	
日本帝國株式取引所一斑	〔漢文〕東京株式取引所發行	大正二		一〇	六七	三四三	
日本帝國現住人口梗概	大正七年一二月三一日 內閣統計局編	大正八		一	一四、四	四八〇	
日本帝國人口動態統計	明治四二至大正七年 內閣統計局編	明治四四至大正一四		一〇	四〇〇	二四	
日本帝國史	笹川種郎	增訂再版	明治四五	六九六頁		一	三三四
同	增訂三版	六九六頁	大正二			一	三三四
日本帝國死因統計	明治四二至大正八、一〇至一四年〔明治四二至大正七年各第一二編〕內閣統計局編	明治四五至大正一五		二六	四〇四	三〇	
日本帝國死因統計記述編	大正七年	大正一〇	國勢院第一部編	一	一四、四	五〇八	
日本帝國ジエルシー種牛協會年報	第三號 同會編	大正元		一	一四、三	七一	
日本帝國司法省監獄統計年報	第一二至二二（明治四三至大正九年）司法大臣官房文書課編〔明治四五至大正二〕リ〔日本帝國司法省刑統計年報〕ト改題〕		〔第二五ヨ	二	一四、六	四一	
日本帝國司法省行刑統計年報	第二五、二六（大正一二、一三年）司法省行刑局編〔日本帝國司法省監獄統計年報〕ノ改題〕			二	一四、六	四一	
日本帝國刑事統計年報	第三七至四〇（四二至四九（明治四四至大正三、五至一二年）司法省刑事局編	大正元至一四		一三	一四、四	七〇	
日本帝國登記統計年報	第二七至三七、三九（大正二至一二、四年）司法省法務局編	大正三至一五	第五〇民事第三八登記	七	一四、四	六五	
日本帝國統計要旨	第三九登記	大正二三、一四年	司法省民事局編	二	一四、四	七三	

日本帝國民事統計年報	第三九、四一至四四、四六至五〇（大正二、四至七、九至一三年）司法省民事局編	大正四至一五		一〇	一四、四	六九	
日本帝國人口靜態調查記述編	附錄付	大正七年末	國勢院編	大正一〇		二	一四、四
日本帝國人口靜態統計	大正二、七年	大正五、一〇	內閣統計局編			二	四〇四
日本帝國人口靜態統計摘書圖	內閣統計局編	大正五				一	四〇四
日本帝國人口動態統計	明治四二至大正七年 內閣統計局編	明治四五至大正一〇				一〇	四〇〇
同	大正八至一三年 內閣統計局編	大正一一至一五				六	一四、四
日本帝國人口動態統計（自明治三十二年至同四十一年ノ）	內閣統計局編	明治四五				一	四〇〇
日本帝國人口動態統計記述編	大正七至九、一一至一三年 內閣統計局編					六	一四、四
日本帝國人口動態統計摘要	大正一一至一二、一三年 內閣統計局編	大正一五				三	一四、四
日本帝國地質圖	地質調查所製	大正一五				一	一四、三
同	遞信省通信局製	明治四五				一	八九
日本帝國電話線路圖	第二六至二八、三〇、三一至三四、三六至三九回 內閣統計局編	明治四五至大正一四				一	一四、四
日本帝國統計摘要	內閣統計局編	明治四五				一	一四、四
日本帝國統計年鑑	第三一、三六至三八、四〇至四五回 內閣統計局編	大正三至一五				一〇	一四、四
同	第三〇至四四回	明治四四至大正一五				一五	一四、四
日本帝國の堅實味	東京市役所編（東京市社會教育叢書第三輯）	大正一二				一	五〇五
日本帝國の世界的位置と軍事教育	松波仁一郎	大正一四				一	三一八

日本帝國の石油事業	附 石油坑道掘に關する所感 內藤久寬	大正一四	七六頁				
日本帝國美術略史（稿本）	東京帝室博物館編	縮刷	明治四五	一	五三四		三三四
日本帝國文部省年報	第三八至五〇 文部大臣官房文書課編	明治四五至大正一五		一	三一、二	五八	一
日本帝國理髮歷史 譽之栞	長谷川金左衞門	大正一四		一	五四九	七	
日本彫刻の特質	中川忠順（明治聖德記念學會紀要第二卷ノ內 大正三）				一四、五		一イ
日本朝鮮西岸海州邑錨地	水路部製	大正七	二·二×一·五	一枚	朝	七三	
日本朝鮮西岸牛耳群島及附近	水路部製	改正	大正四	一枚	朝	六三	
日本朝鮮西岸群山浦及附近	水路部製	大正二	一·七×二·四	一枚	朝	五七	
日本朝鮮西岸時牙海及附近	水路部製	大正四	二·一×一·五	一枚	朝	六四	
日本朝鮮西岸仁川港及近海	水路部製	大正二	三·二×二·二	一枚	朝	五九	
日本朝鮮西岸鳴洋渡	水路部製	大正七	一·二×一·六	一枚	朝	七〇	
日本朝鮮西岸蠟島至耳島浦	水路部製	大正七	三·一×二·一	一枚	朝	七五	
日本朝鮮東岸蔚山港	水路部製	大正七	二·四×一·六	一枚	朝	六八	
日本朝鮮東岸迎日灣及庫底浦	水路部製	大正七	二·一×一·六	一枚	朝	六六	
日本朝鮮東岸造山灣	水路部製	大正七	二·二×一·五	一枚	朝	七四	
日本朝鮮東岸新浦錨地	水路部製	大正七	一·五×二·一	一枚	朝	六九	
日本朝鮮東岸長箭洞錨地	水路部製	大正七	一·五×二·〇	一枚	朝	七〇	
日本朝鮮南岸及西岸三島至大黑山群島	水路部製	大正五	二·二×三·二	一枚	朝	六五	
日本朝鮮南岸牛島及附近	水路部製	大正二	二·一×一·五	一枚	朝	五八	

日本朝鮮南岸巨濟島近海	水路部製	大正四	二·一×三·二	一枚	朝	六一	
同	大正九			一枚	朝	六二	
日本朝鮮南岸濟州海峽	水路部製	大正四	二·一×三·二	一枚	朝	六三	
日本朝鮮南岸三島近海	（巨文島）水路部製	大正二	一·五×二·一	一枚	朝	六〇	
日本朝鮮南岸麗水港及附近	水路部製	大正七	一·五×二·二	一枚	朝	七三	
日本朝鮮南岸露梁水道及附近	水路部製	大正八	三·二×二·二	一枚	朝	七六	
日本鳥類圖說	上、下、續卷	內田清之助	大正二至四	三	三三一	七四	
日本手形法	松波仁一郎	再版	明治四二	一	二五七ホ	九〇	
同				一	二五七ヘ	九〇	
同				一	二五七ト	九〇	
同	（改正）	大正三		一	二五七チ	九〇	
同				一	二五七リ	九〇	
日本鐵道史	鐵道大臣官房文書課編	大正一〇		三	三八〇	一六一	
日本電氣工藝委員會事業報告	第二、三輯 同委員會編	大正二、三		二	二四四	二七四	
日本電氣事業發達史	前、後編	加藤木重教	大正五、七	二	二六一	四一	
日本電業者一覽	日本電氣協會編	五版	明治四五	一	三一八	一六七ニ	
日本電信暗號	工藤隼人	大正一一	七九四頁	一	二四七	八八	
日本田制史	附錄 刑法史略等	橫山由清	大正一五	一	五六一	一〇〇	
日本傳說研究	第一、二卷	藤澤衞彥	大正一一、一四	二	五一五	一七	

日本傳說集　附　分類目次解說索引　高木敏雄　大正二　一冊　函三九　一八四

日本傳說叢書　藤澤衞彥編　大正六至九　一三　函三五　七四

い　北武藏の卷　ろ　阿波の卷
は　信濃の卷　に　上總の卷　上卷
ほ　伊豆の卷　へ　播磨の卷
と　明石の卷　ち　佐渡の卷
り　下總の卷　ぬ　安房の卷
る　讃岐の卷　を　和泉の卷

日本傳染病小史　附　十九世紀戰疫小史　柴山五郎作　明治四五（醫海叢書第二編）　一　六〇　三五

日本天台源流考　河邊慶緣（〔尾張國講習會〕講義錄第一〇〇冊ノ內　大正九）　三四　五三七

日本對照藥局方註解　三橋式次　明治四五　一　五〇　二一三

獨逸對照藥局方註解　一九二五、一九二六年版　童謠詩人會編　大正一四、一五　二　五三八　三三七

日本童謠集　西條八十、西川勉編　大正一〇　一　五〇一　一六三

日本童謠選集　三島海雲編　大正一四　一　五四四　五六

日本童謠全集　大久保葩雪編　寫本　時　四　せ　九七

日本東京海灣　水路部製　大正五　三·二×二·一　一　日　一三　イ

日本東京海灣　品川灣　水路部製　大正八　二·一×一·五　一　枚　一二　ロ

同　大正一三　一　日　二三

日本東京海灣　隅田川口附近　水路部製　大正八　二·一×一·五　一　枚　一二　イ

日本燈火史　內阪素夫　大正六　〔「我が國に於ける燈火器の變遷及其發達」ノ改題〕　一　日　三四八

日本洞上聯燈錄　附　目錄　秀恕撰　一二卷（大日本佛教全書第一一〇冊ノ內　大正三）　一　三五一　一二四　イ

日本燈臺表　大正一四年五月改正、同一五年五月改正　（日本航路標識便覽表）ノ改題）　三五三　一〇

日本燈臺表　大正一四年五月改正、同一五年五月改正　（日本航路標識便覽表）ノ改題）　二　三九　一七

日本童話集　松村武雄編　大正一三　（世界童話大系第一六卷）　一　函三九　一八四

日本童話の新研究　中田千畝　大正一五　一　五五一　一九九

日本童話寶玉集　上、下卷　楠山正雄編　大正一〇、一一　二　三三九　三〇八

日本と歐米　野上俊夫　（一德會名古屋支部第百回記念講演錄ノ內　大正八）　三七三　三三六

日本と和蘭　日蘭協會編　大正三　時　一　三五九　五

同　大正三　一　三五九　イ

日蘭三百年の親交　（村上直次郎）
八代將軍と蘭學輸入　（大槻文彥）
慈愛に富める文明の母　（石黑忠悳）
我新文明の曙光　（杉亨二）
和蘭之現狀　（松本義邇）

同　訂再版　大正四　一　三五九　ロ

日本と漢學の思想　小柳司氣太　（明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內　大正一四）　一四五　一

日本讀書協會乙種會報外國の新聞と雜誌　同會事務所發行　第七〇號　（大正一三年一月）ヨリ　雜　五六　三五

日本讀書協會甲種會報　同會事務所發行　第三九號　（大正一三年一月）ヨリ　雜　五六　三四

日本讀書協會叢書　同會發行　大正一四　五　五三〇　四八

日本讀書協會叢書　第一　國民道德と世界道德の衝突と綜合　（マクヅガル著　佐久間秀雄解）

第二　婦人問題の歷史　（ジョージ著　栗原古城解）

第三　人力の經濟　（カーヴァー著　納武津解）

第四　ウッドロウ、ウイルソン　（ダニエルス著　栗原古城解）

第五　社會鬪爭ト社會主義先驅者　（ベーア著　栗原古城解）

第六　戰鬪的婦人參政運動記　（ケネー女史著　小田律譯）

第七　社會の生物學的基礎　（デンデイ著　納武津解）

第八　西洋文明と日本　（ホール著　三上正毅解）

第九　財產と幸福との關係　（ロブソン著　納武津解）

第一〇　孫逸仙傳　（リンバーグ著　小田津譯）

日本讀史論　第一編上　矢野滄浪（政二）　大正五　一　三五三　一九

日本圖書館協會選定新刊圖書目錄　第一卷　同會編　大正三　一　三一七　八〇

日本圖書館協會選定圖書目錄　第一至三卷合冊　同會編　大正七　一　三一七　八〇　イ

日本と正義　バレット・エンデル　大正八　一　三七三　二一三

日本ト大陸　小川運平　大正一二　六一四頁　一　五九　七一

日本と戰はん乎　下卷　ウオルター・ビー・ピトキン著　佐藤鋼次郎譯　大正一〇　一　五〇三　一九

日本と巴博　（工業特別號）　楠久三郎編　大正四　雜　四九　六

日本と米國　副島道正　（新國是の提唱ノ內　大正一三）　五二三　一三五

日本と米國　水路部製　明治四五　一·六×二·三　日　五九　ロ　一

同　大正一〇　一·五×二·一　日　五九　ハ　一

日本と米國　大阪港至神戶港　水路部製　大正八　二·一×三·二　日　七一　イ　一

日本內海　大阪灣　堺港附　水路部製　大正六　二·二×一·六　日　一六五　イ　一

日本內海　神戶港　水路部製　大正二　二·二×一·六　日　六六　ロ　一

日本內海　來島海峽至由利島　水路部製　明治四五　二·三×三·三　日　一〇六　イ　一

日本內海　下關海峽門司及下關港　水路部製　大正六　二·二×一·六　日　二四九　ロ　一

同　大正七　三·二×二·一　日　二四九　イ　一

日本內海　周防灘　水路部製　大正七　二·一×三·二　日　三四七　一

日本內海　周防灘　下關海峽東口附近　水路部製　明治四五　一·七×二·四　日　二一　ハ　一

同　大正二　一·六×二·二　日　二四　ニ　一

日本內海　周防灘北岸　德山灣及附近　水路部製　大正九　二·二×三·二　日　三八　イ　一

日本內海　瀨戶內　西部　水路部製　明治四五　二·三×三·三　日　六三　イ　一

同　大正一〇　三·二×二·一　日　六三　ハ　一

日本內海　廣島灣　宇品港　水路部製　大正一五　一·五×二·一　日　一七　ハ　一

日本內海　別府灣、臼杵灣及附近　水路部製　大正九　一·五×二·一　日　三四九　一

日本內海　三原瀨戶及附近　水路部製　大正四　二·一×三·六　雜　二四　一

日本內海　鳴門航門　（鳴門近海）　水路部製　大正四　二·一×二·七　日　八　ロ　一

日本內海　西口　下之關海峽　水路部製　明治四五　二·四×三·四　日　四六　ト　一

同　大正二　二·一×三·一　日　四六　チ　一

日本內海　備讃瀨戶及備後灘　水路部製　大正八　二·一×三·二　日　五三　イ　一

日本內海　備讃瀨戶西部　水路部製　大正七　二·二×三·三　日　二四三　イ　一

日本內海　備讃瀨戶東部　水路部製　大正五　二·二×三·二　日　三五七　ロ　一

日本內海　廣島灣　宇品港　水路部製　大正一五　一·五×二·一　日　一七　ハ　一

日本內海　別府灣、臼杵灣及附近　水路部製　大正九　一·五×二·一　日　三四九　一

日本內海　三原瀨戶及附近　水路部製　大正四　二·一×三·六　雜　二四　一

日本內科學會雜誌　同會發行　第一卷一號　（大正二年七月）ヨリ　雜　一九　一

日本內科全書　吐鳳堂發行　大正二至一四　二　五三　九四

卷一

第一冊　內科史　（富士川游）
原因總論　（藤浪鑑、遠水猛）
症狀總論　（伊丹檠、田村昌）
第二冊　豫後總論　（稻田龍吉）
第三冊　治療總論

卷二

第一冊　榮養療法　（額田豐）

		冊函	號
	（富士川游）		
看護療法			
水治療法	（佐野彪太）		
温熱療法	（松岡道治）		
第二冊			
電氣療法	（岡田榮吉）		
第五、六冊			
藥物療法	（上村直親、林春雄）		
治病的技術篇	（渡邊房吉）		
別錄			
同	民間藥（富士川游）		
卷三	消化器病編		
第二冊	胃病 總論		
	胃ノ解剖及ビ生理（南大曹）		
	胃病診斷總論（湯川玄洋）		
	胃ノレントゲン診斷（藤浪剛一）		
	胃病療法總論（南大曹）		
	胃病 各論（井上善次郎、北村精造）		
第三冊			
同	（續）		
第四冊			
同	腸病 總論		
	腸ノ解剖及ビ生理（南大曹）		
	腸病診斷總論（同）		
	腸ノレントゲン診斷（藤浪剛一）		
	大便檢查法（佐藤恒二）		
	腸病療法總論（南大曹）		
第五冊	腸病各論（齋藤精一郎）		
別錄	乳兒榮養障害（高洲謙一郎）		
卷四	呼吸器病編		
第一冊	鼻腔及ビ副鼻腔疾患（久保猶之吉）		
	咽腔疾患（同）		
	喉頭疾患（同）		
別錄	氣管及ビ氣管枝疾患（同）		
第二冊	氣管病、氣管枝病及ビ肺病（加屋隆吉）		
	氣候衛生療論（戸田正三）		
卷五			
第三冊	泌尿器病編		
	腎臟病 總論		
	腎臟ノ解剖及ビ生理（額田豐）		
卷六	中樞神經病編		
第一冊	腦病 總論（三宅鐵一）		
第三冊	脊髓病 總論（熊谷直三郎）		
卷八			
別錄	脚氣（青山胤通）		

		冊函	號
日本內地ニ於ケル	主要食糧農產物ノ需要供給大勢		
	農商務省農務局編 大正九（食料增殖奬勵資料第五號）	一	一四、二 四六一
日本內地ニ於ケル	主要食糧農產物ノ生產貿易及市價要覽		
	農商務省農務局編 大正一〇（農務局報第一四號）	一	一四、ノ二 三七三
日本內地ニ於ケル	主要糧食（米麥及大豆）需要供給現在及將來 農商務省農務局編 明治四五 九五頁	一	三三七 四四〇 イ
日本內地ニ於ケル	乳製品ト肉製品 大正一至四年 農商務省農務局編 大正三至七（農務彙纂第五〇、六二、七一）	三	三三一 七五
日本內地ニ於ケル	棉花生產ニ關スル調査 臨時產業調查局編 大正七	一	三六八 一〇五
日本南畫院展覽會圖錄	第一至五回 同院編 大正一〇至一五	五	一〇九 三五七
日本南畫史	梅澤精一 大正八	一	三八〇 三五
日本南畫集覽	第二、三集 井原雲涯編 大正八、九	二	〇 四二〇 五九
日本南國物語	竹田秋樓 大正一四	一	五三四 一四三
日本南西諸島	奄美大島至沖繩島 水路部製 明治四五 三三×二・三	一	二八〇 イ
日本南西諸島	石垣泊地 水路部製 大正三 二・二×一・六	一	三一八
日本南西諸島	沖繩島至臺灣 水路部製 大正四 二・一×三・二	一	三三〇
同	大正六	一	三三〇 イ
日本南西諸島	沖繩島運天港 水路部製 大正六 二・一×一・四	一	三三一 イ
日本南西諸島及臺灣	石垣島至三貂角 水路部製 大正四 二・一×三・二	一	三三一

		冊函	號
日本南西諸島	鹿兒島海灣口至奄美大島 水路部製 明治四五 三・四×二・四」	一	一四、五 一
同	大正九		
日本南西諸島	大東島 水路部製 大正七 二・二×一・五	一	三四六 八六
日本南西諸島	宮古島至石垣島 水路部製 大正四 二・一×三・二	一	三三八
日本南西諸島	宮古島狩股錨地 水路部製 大正四 二・一×三・二	一	三三六
日本南西諸島	宮古列島 水路部製 大正四 二・一×三・二	一	三三五
日本南西諸島	八重山列島 水路部製 大正四 二・一×三・二	一	三三七
日本南西諸島	八重山列島船浮港 水路部製 大正四 二・一×一・六	一	三一六 イ
日本	南方諸島 水路部製 大正二 二・四×三・四	一	三一八 イ
同	大正四 二・一×三・一	一	三一八 ロ
日本南方諸島	伊豆諸島 水路部製 大正元 三・四×二・三	一	三一三
同	大正四 三・二×二・一	一	三一三 イ
日本	南方諸島諸分圖 第一、二 水路部製 大正元 一・六×二・二 一・七×二・五	二	三一二
同	第一 大正三 一・五×二・一	一	三一二 イ
日本南方諸島	鳥島至母島列島 水路部製 大正三 三・二×二・一	一	三一六
日本南方諸島新島	本村泊地 水路部製 大正元 一・二×一・八	一	三〇一
日本に於ける	歸化植物 平山常太郎 大正七	一	三五九
日本に於ける	義犬塚傳說に就きて 高木敏雄（明治聖德記念學會紀要第一卷ノ內 大正三）		一四、五 一

		冊函	號
日本に於ける	外國語問題 高橋邦太郎 大正五	一	三二七 八五九
日本に於ける	公教會の復活 前編 浦川和三郎編 大正四	一	三二五 三二九
日本に於ける	孔子教 島田三郎 大正五（足利學校釋奠講演筆記第五卷）	一	三四四 八六
日本ニ於ケル	災害防止運動及工業衛生 社會局編 大正一二（勞働保護資料第一四輯）	一	一四、五 一七三
日本に於ける	常設林間學校之實際 龜島晟、石原正明 大正一二	一	二七二 三
日本に於ける	社會政策の基礎 鈴木梅四郎 大正八	一	三八二 一三
日本に於ける	儒教の順應性 白鳥庫吉 講ノ內 大正九（文化問題十五）	一	三八七 一三八
同	（明治聖德記念學會紀要第三卷ノ內 大正四）	一	一四、五 一
日本ニ於ケル	信託ニ關スル調查 大藏省銀行局編 大正五	一	三三六 一六四
日本に於ける	大豆油粕需給の大勢 小林傳四郎 大正一一 三八頁	一	三九七 四〇二
日本に於ける	電氣工業用銅線の電氣抵抗及其溫度係數 廣部德三郎、松本嚴雄 明治四四（電氣試驗所第三部研究報告第四號）	一	一四、五 七
日本ニ於ケル	販賣肥料ノ現在及將來 小林傳四郎 大正三	一	三三七 一八五
日本に於ける	洋式活版印刷の沿革 川田久長 大正一五	一	五二四 三二七
日本に於ける	雷撃に就て 宮田良太郎 大正一五（電氣試驗所調查報告第三一號）	一	一四、五 一〇 イ
日本に於ける	勞働監督制度 社會局編 大正一二（勞働保護資料第三輯）	一	一四、五 一七三

日本に於ける私の思ひ出　山村農次郎（印度洋講演集ノ内　大正一〇）　函三八　号二二　冊一　頁一〇
日本廿四孝子傳　島定賢　寫本　一五枚　函一八三　号五一四　冊一　頁一八
日本日曜學校年鑑　日本日曜學校協會編　大正一三　函五〇四　号二四三　冊一　頁
日本に近い黄金國實記　附錄付　中里右吉郎　大正一五　函一五五六　号六一　冊一　頁
日本庭造眞行草三體圖案新書（二坪より百坪まで）　附　樂庭法心得及仕様書と工費積算書　杉本文太郎　大正五　函三五六　号二〇三　冊一　頁
日本熱血史（悲歌慷慨）　町田柳塘　大正三　函三五〇　号二九五　冊一　頁
日本の蚜蟲　一（高橋良一著作集第二號）　高橋良一　大正一〇　函三三七　号三一一　冊一　頁
日本之醫界　同社發行　第二〇號（明治四五年一月）ヨリ「大東醫事新報」ノ改題）　函　雑二七　号三　冊一　頁
日本の伊豫人　武知勇記　大正八　函三八四　号七八　冊一　頁
日本農家の經濟的變遷　齋藤萬吉　大正七　函三七一　号二三四　冊一　頁
日本農具圖說　帝國農會（西村榮十郎）編　大正二　函三三一　号六三　冊一　頁
日本農具圖說圖譜　帝國農會編　大正二　函三三一　号六三　冊一　頁
日本農業改造論　原澄次　大正一五　函一五六四　号五〇　冊一　頁
日本農業史論　石坂橘樹　大正一五　函一五五三　号九三　冊一　頁
日本農業道德論　宮武德治　大正四　函三七　号四七〇　冊一　頁
日本農業の特質と其改善　佐藤寛次　大正一五　函一五四七　号一三二　冊一　頁
日本農政史　矢野友一　大正四　五九二頁　函一三四八　号二八〇　冊一　頁
日本農村論　白石重　大正一五　函一五四七　号一六八　冊一　頁

日本農村論　横田英夫　大正四（農村研究叢書第一卷）　函三五五　号二四　冊一　頁
日本農民騷動史　木村靖二　大正一四　函一五三七　号五三　冊一　頁
日本農民史　日本歷史地理學會編　大正一四　函一五三七　号六〇　冊一　頁
おほみたから考（喜田貞吉）　函　号　冊一　頁
我が太古の農業（同）　函　号　冊一　頁
王朝時代の農民の生活（西岡虎之助）　函　号　冊一　頁
尾張國解文に就きて（川上多助）　函　号　冊一　頁
安土桃山時代の農民（花見朔巳）　函　号　冊一　頁
江戸時代に於ける農民愛護の思想（中村孝也）　函　号　冊一　頁
農民運動の一例としての萬石騷動（大森金五郎）　函　号　冊一　頁
會津御藏入騷動（沼田頼輔）　函　号　冊一　頁
土佐の農民と百姓一揆とその他（藤井甚太郎）　函　号　冊一　頁
土族騒動問題　明治六年の百姓一揆（伊東尾四郎）　函　号　冊一　頁
歷史上より見たる農村（赤堀又次郎）　函　号　冊一　頁
農村疲弊の問題（坂本謙太郎）　函　号　冊一　頁
近世村落の發達及變遷（小野武夫）　函　号　冊一　頁
最近の農民運動史（三輪壽壯）　函　号　冊一　頁
支那の農神に就いて（高桑駒吉）　函　号　冊一　頁
日本農民史語彙　小野武夫編　大正一五　函一五六四　号一〇〇　冊一　頁
日本農民の生活（法制史上より觀たる）　律令時代上　瀧川政次郎　大正一五　函一五三〇　号二三七　冊一　頁
日本の英學生に　附譯文　ハロルド・イー・パーマ著　加茂正一編　大正一二　三三頁　函一三三一　号六三　冊一　頁
日本の演劇の說　伊井蓉峰　大正一三　函一五六八　号一三七　冊一　頁
日本の女　曦稻綺道秀　大正一二　函一五一四　号一六七　冊一　頁
日本の海運　伊東米治郎　大正一一　函一五一三　号七一　冊一　頁
同　訂再版　大正一三　函一五一三　号七一ィ　冊一　頁
日本の港灣　第一、二卷　內務省土木局編　大正一三、一四　函一五一八　号八二　冊二　頁
日本の神樣（古事記繪ばなし）　澁川玄耳著　名取春僊畫　三版　大正七　函一三六七　号三六　冊一　頁
日本の寄生蟲と其病害　吉田貞雄　大正一四（科學知識叢書第一編）　函一五三九　号五八　冊一　頁

日本ノ寄生蟲病　宮島幹之助（北里研究所補修講演錄ノ內　大正四）　函　号六〇　冊一　頁三六一
日本の金融　東洋經濟新報社編　大正一四　函一五三五　号三七　冊一　頁
日本の繪畫　上卷　春山武松（趣味講座第三編）　大正六　函一三六九　号八　冊一　頁
日本の科學界　大日本文明協會編　大正六（大日本文明協會刊行書第四期第一七卷）　函一三五五　号三一　冊一　頁
日本の火山　小林房太郎　大正九　五三三頁　函一三八一　号九四　冊一　頁
日本之關門　瞬報社（後、日本之關門社）發行　第一卷（大正五年）七月號至第八卷（大正一二年）二月號（缺アリ）　函　雑一七　号一九　冊一　頁一六
日本乃關門　同社發行　至九月）　第一卷第二至六號（大正一二年五　函　雑一九　号イ一六　冊一　頁
日本の軍備は縮少し得べきか　栗田藤四郎　大正一〇　函一三一八　号四六九　冊一　頁
日本の經濟的危機　堀江歸一　大正一二三　函一五三五　号三〇　冊一　頁
日本ノ經濟ト佛敎（史的研究）　河田嗣郎、岡本一郎　明治四五（法律學經濟學研究叢書第九册）　函一五二五　号二二　冊一　頁
日本の堅實性　永田秀次郎　大正一三　函一三三一　号一四一　冊一　頁
日本之現勢　小泉重吉編　大正八　函一三一九　号八六一　冊一　頁
日本の小唄　藤澤衛彦編　大正一〇（日本歌謠叢書第四編）　函一五〇〇　号五〇　冊一　頁
日本の國體美　佐藤鐵太郎　大正八（國民思想滔養叢書第四編）　函一三九〇　号一五　冊一　頁
日本の古建築　伊藤清造　大正一四　函一五四三　号一九〇　冊一　頁
日本の財政及經濟を如何にす可きか　津村秀松（財政經濟と生活問題「日本の財政經濟」ノ內　大正三）　函三五六　号五一　冊一　頁
日本の財政經濟及び社會問題　神戸正雄（小松島講演會第一回夏期講演集ノ內　大正元）　函三三六　号三四　冊一　頁

日本の山水　山岳編　河東秉五郎　大正四　六七八頁　函一三五六　号一〇五　冊一　頁
日本の山水美　白井規一、島田牛稚　大正七（趣味の地理第一編）　函一三七五　号六　冊一　頁
日本之三大急務　附圖付　內田良平　大正元　函一三四四　号九六　冊一　頁
日本の寺院と國寶　チヤツトフイールド著　木下茂雄譯　大正八　函一三二五　号五三四　冊一　頁
日本の宗教及び其現勢　松岡良友編　大正六　函一三二五　号二四三　冊一　頁
日本之宗教觀　下村宏（金井教授在職二十五年記念最近社會政策ノ內　大正五）　函三六六　号五　冊一　頁
日本の修身に就きて　林博太郎（明治聖德記念學會紀要第一、二卷ノ內　大正三）　函一四五　号一　冊一　頁
日本之齒界　齒苑社發行　第三卷第一號（大正一一年二月）ヨリ「齒苑」ノ改題）　函　雑二九　号イ五〇　冊一　頁
日本の死活問題　ブランド著　青柳篤恒譯　大正一一　函一五〇二　号六〇　冊一　頁
日本の兒童と藝術教育　沖野岩三郎　大正一四　函一五四四　号一九四　冊一　頁
日本之植物界　三好學　再版　明治四四　函一三三八　号一六六　冊一　頁
日本の植民的發展　松岡均平　大正五（通俗大學文庫第五編）　函　号　冊一　頁三五五
日本ノ食糧問題ト滿蒙ノ農業　附　有望ナル滿蒙ノ白楊樹植林　外務省通商局（岩村成允）編　大正八　函　号　冊一　頁三七八
日本の新發展地「南米事情　フレデリック・ステーナー著　薄田貞敬譯　大正九（大日本文明協會刊行書第四期第五卷）　函一三六〇　号一一五　冊一　頁
日本の侵略　富田謙一　大正四　函一三五五　号三一　冊一　頁
日本の神話　吉田助治　大正一五（兒童圖書館叢書第一六編）　函一五一五　号九五　冊一　頁
日本の神話と宗教思想　西村眞次　大正一三（早稻田文學パンフレット第八編）　函一五一五　号九五　冊一　頁
日本の數學　三上義夫（明治聖德記念學會紀要第二二卷ノ內　大正一三）　函一四五　号一　冊一　頁

日本之精華	北川由之助編 大正三	一	三九
日本の精華	科外教育叢書刊行會編 大正六（科外教育叢書第四）	一	三五 八四
日本の精華としての日光	德川頼倫（史蹟名勝天然記念物保存協會第三回報告（日光）ノ内 大正四）	三	三五 三三五イ
同		三	三五 三三五ロ
日本の精神	杉浦重剛 大正五	一	三六〇 四二〇
日本ノ政黨	大隈重信（國家學會創立滿三十年記念明治憲政經濟史論ノ内 大正八）	三	八二 三三
日本の政治哲學	茅原華山 大正四	一	三六〇 一六六
日本の世界的孤立	小寺謙吉譯 大正九	一	三六二 二四六
日本の染料と米國の染料	福井松雄（京都經濟會講演集第七號ノ内 大正八）	三	七二 五五
日本の俗謠	藤澤衞彦編 大正一〇（日本歌謠叢書第八編）	一	五〇〇 五〇
日本ノ對獨商業戰及經濟的發展ニ關スル獨逸人ノ研究	外務省臨時調査部編 大正七	一	三二六 三四三
日本の女性	下田歌子 大正二	一	三四二 三〇一
日本の彫刻	上、下卷 佐々木恒清 大正六、七（趣味講座第二、七編）	二	三六九 八
日本の天惠	稲垣乙丙 大正七（通俗大學文庫第一〇編）	一	三五 二六四
日本之天職	附錄付 中野天心（大正三）	一	三四四 四〇三
日本の傳說（趣味の一）	木村荒村 大正一三（日本兒童文庫第一八）	一	五一五 九七
日本の天然と國民性	石橋五郎（御影特別講演ノ内 大正一一）	三	九七 三七一
同	（明治聖德記念學會紀要第一八卷ノ内 大正一一）	一四	五 一

日本の美術	野口米次郎 大正九	一	六六 三三四
日本の風景畫	小林壽一編 大正八（美術叢書第九編）	一	三六四 九八
日本の笛	北原白秋 大正一一	一	五〇六 六二
日本の副業	大日本副業奬勵會編 大正二 一四九四頁	一	三四九 一六三
日本の婦人に告ぐ	尾崎行雄（婦人問題講演集第三輯ノ内 大正一〇）		五〇〇 二
日本の佛敎	境野哲 大正七（佛敎大觀第四編）	一	三六九 一二
日本の佛敎	田中達 大正六	一	三三五 四九六
日本の富力	高橋秀臣 大正一二	一枚	三七三 五〇四
日本の文明と佛敎	長沼賢海 大正八	一	三九二 三四
日本の民家	（田園生活者の住家） 今和次郎 大正一一	一	三九五 二八四
日本の名勝	科外教育叢書刊行會編 大正七（科外教育叢書第四〇）	一	三五五 八四
日本の名所見物	白井晃一、島田牛稚 大正七（趣味の地理第三編）	一	三七五 六
日本の模範工業—工場巡り	後藤喜間太 大正五	一	三六〇 四六五
日本の勞働者	森清右衞門 大正八	一	三七三 三五三
日本の勞働問題	鈴木文治 大正八	一	三六二 一六七
日本の流行唄	藤澤衞彦編 大正一一（日本歌謠叢書第九編）	一	五〇〇 五〇
日本の歷史（原據も分り趣味も有る！）	田中啓爾 大正九	一	三八三 六八
日本俳諧史	池田秋旻（常太郎） 增補改版 大正一一六七九頁	一	三三一 一七五イ
日本俳書大系	勝峰晋風編 大正一五	五	五五五 七

第一卷 芭蕉一代集
芭蕉俳句類聚
芭蕉俳句異同考
芭蕉俳句不審抄
芭蕉連句集成
芭蕉句合・評語集
芭蕉紀行・日記集
芭蕉文集
芭蕉書簡集

第三卷 蕉門俳諧後集
笈日記（各務支考撰）
泉日記（各務支考）
有磯海（浪化撰）
となみ山（同）
續有磯海（同）
草苅笛（各務支考・立花牧童撰）
菊の香（風國撰）
渡鳥集（向井去來・簑田卯七撰）
芭蕉庵小文庫（中村史邦撰）
俳諧猿舞師（松種文撰）
陸奥衞（天野桃隣撰）
伊達衣（等躬撰）
皮籠摺（岩田涼菟撰）
一幅半（乙孝撰）
杜撰集（服部嵐雪撰）
韻塞（高野百里編）
錢龍賦（森川許六・河野李由撰）
正風彦根藩（森川許六撰）
二葉集（廣瀬惟然撰）
庭竈集（越智越人撰）
幾人水主（三輪素覽撰）

第四卷 蕉門俳諧文集
葛の松原（各務支考）
續五論（同）
二十五箇條（傳松尾芭蕉撰）
俳諧十論（各務支考）
篇突（森川許六・河野李由撰）
宇陀法師（同）
三冊子（服部土芳）
花實集（向井去來）
旅寢論（同）
去來抄（同）
去來文（同）
山中問答（立花北枝）
雅文せうそこ（三宅嘯山編）
俳諧不猫蛇（越智越人）
削かけの返事（各務支考）
猿の早太（越智越人）

口狀（露川書）（各務支考）
あひくさび（澤露川）（森川許六）
青根が峯（諸國俳諧問答抄）
本朝文選（森川許六撰）

第五卷 元祿名家句選
初心もと柏（池西言水）
鬼貫句選（炭太祇編）
七車（上島鬼貫）
獨言（同）
いまみや艸（小西來山）
續いまみや草（同）
素堂句集（山口素堂）
堂六吟歌仙發句拔萃（谷素外編）
五元集（榎本其角）
玄峯集（服部嵐雪著・小栗旨原編）
蓮二吟集（猪一浮編）
五老井發句集（山彦編）
北枝發句集（北海編）
古太白堂句選（加藤桃隣、舞石編）
杉風句集（平山梅人編）
惟然坊句集（秋擧編）
去來發句集（蝶夢編）
丈草發句集（同）
浪化上人發句集（幸塚野鶴編）
麥林集（麥浪編）
類柑子文集（榎本其角）
續其袋（大島蓼太編）

第六卷 貞門俳諧集
謠謡之歌 獨吟千句（荒木田守武）
連撰犬筑波（山崎宗鑑編）
新增犬筑波（松永貞德）
紅梅千句（松永貞德編）
鷹筑波（山本西武撰・安原貞室編）
玉海集（松永貞德・安原貞室編）
山之井（北村季吟）
俳諧初學抄（安原貞室）
俳諧之註（山岡元隣編）
歌仙そろへ（菅谷高政編）
整本寺諧謡 中庸姿（同）
俳諧破邪顯正（中島隨流）
俳諧破邪顯正返答（岡西維中）
俳諧頼政（青木春澄）
中庸姿 破邪顯正 ふたつ盃
謡講 さるとりもち（瀧川隨有）
俳諧綾卷

		冊	函	號
日本陪審史（明治文化史ノ一）	尾佐竹猛 大正一五	一	五六一	六三
日本陪審法義解	林賴三郎 大正一五	一	五三〇	二〇七
日本は那所に行く可き乎	蟀川新 大正九	一	三九三	四五
日本膨脹論	後藤新平 大正一三	一	五一六	二六八
同 大正五（通信大學文庫第三編）		一	三五	二六四
日本橋 泉鏡花	大正七	一	三七七	七一
同 泉鏡花（鏡花全集第九卷ノ內）	大正一五	一	三四四	三三六
日本橋 〔戲曲〕泉鏡花（鏡花全集第一四卷ノ內）	大正一五	五二〇	四四	イ
同		五二〇	四四	イ
同（戲曲ノ一）	大正六	一	三六四	一五六
日本橋魚市場沿革紀要	阪本二三郎（國書刊行會本德川時代商業叢書第一ノ內） 大正二	三四三	四	ぬ
日本橋魚市場圖考	天幸堂編	特一〇	四一六	一七
日本橋魚市場ニ關スル調査	東京市役所商工課編 大正一一	一	三七八	二六四
日本橋魚市繁榮圖	歌川國安畫 三枚	特一帖	ゐ	一六七
日本橋區一覽	第一至三回 同區役所編 大正三至一一	三	一四四	四一八
日本橋區史 附 同參考畫帖 二冊	同區役所編 大正五	六	三四九	四三一
日本橋區大觀	同區役所編 大正八	一	三六四	三八二
同 大正九		一	三六四	三八二 イ
同 大正一一		一	三六四	三八二 ロ

		冊	函	號
日本橋組古鐵買共證文並名前	寫本	一〇	一九一	七五
日本橋圖繪	廣重畫（廣重ノ江戶名所、江戶百景等ヨリ日本橋ノ圖二二枚ヲ集メシモノ）	一帖	別七	四九
日本橋繁昌記	一名 日本橋區沿革史 日本橋協會編 大正一	一	三四九	一六〇
日本橋美人の夕景	國周畫 三枚	別一帖	ゑ	一九三
日本馬術教範の大缺點	里國啓 大正一〇	一	三一八	四五八
日本橋より一石橋を見る圖	〔橫繪〕歌川國直畫	別一枚	別七	四五
日本馬政論	今井吉平 大正二	一	三四四	三三六
日本は赤化するか	建部遯吾 大正一二 五四頁	一	三九三	五三〇
日本八朝記聞 八卷	山宮維深編〔後陽成天皇ヨリ中御門天皇ニ至ル〕	特三〇	や	二七
日本はどう成る？	谷本富 大正一二	一	五〇三	二三九
日本填輪圖集	東京帝室博物館編 大正九	二〇	四一六	八
日本法制史書目解題	池邊義象編 大正七	二	三八二	六
日本バプテスト史略 上	高橋楯雄編 大正一二	一	五〇四	一九四
日本バプテスト西部傳道略史	同西部組合編 大正一一	一	五〇四	一〇〇
日本法律大意	近藤駿介、田邊皓 大正七	一	三六六	八三
日本晴伊賀報讐	河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一八卷ノ內 大正一一）	三九〇	二	
同（默阿彌全集第一五卷ノ內 大正一四）		五二七	四三	
日本版畫史	ザイドリッツ著 蘇武綠郎譯 大正五（美術叢書第五輯）	一	三五五	三六 ほ
日本犯罪學會年報	大正二、三年度 同會編 大正三	二	三三六	四三

		冊	函	號
日本比丘圓珍入唐求法目錄	圓珍撰（大日本佛教全書第二八冊ノ內 大正七）	一〇	三五三	一〇
日本ビグメント協會展覽會作品集 第三回	（白陽第五卷第四號）白陽畫集社編 大正一五	一	五五三	八四
日本美術院試作展覽會圖錄	第八、九、一一回 同院編 大正一一至一四	三〇	一〇九	二五九
日本美術院展覽會圖錄	再興記念（第一回）至第一三回 同院編 大正三至一五	三〇	二三四	一九〇
日本美術院之二十五年	大塚稔編 大正一一	一〇	一四六	二九三
日本美術院派新作品展覽會圖譜	渡邊實編 大正九	一〇	一〇九	二五〇
日本美術院來國展覽會圖錄	同院編 大正一〇	一〇	一四六	二一九
日本美術學院記念展覽會圖錄	大正六年 田口鏡次郎編 大正六	一	三七三	四一
日本美術學院展觀圖錄	田口鏡次郎編 大正七	一〇	一〇	三九
日本美術畫家詳傳	樋口文山編 大正七	五〇	三〇〇	
日本美術協會展覽會新古美術出品圖錄	第五五、五六、五八、六〇回 同協會編 大正五至八	四〇	一〇九	三六
日本美術協會展覽會美術工藝出品圖錄	第五七、五九回 同協會編 大正六、七	二〇	一〇九	三六
日本美術協會年表	平尾貞美編 大正一一	一	三九三	四一六
日本美術協會報告 第一至一二輯	同會編 大正七至一二	一〇	一四、五	一四
日本美術史	ヂック著 姑射若水譯（美術叢書第四輯） 大正五	一	三五五	三六 に
日本美術史概說	黑田鵬心 大正一五	三	五四九	六三
日本美術史概要	我妻榮吉編 大正七	一	三七二	六三
日本美術史年表	相良德三 大正一四（兒童圖書館叢書第一〇編）	一	五一五	一二一

		冊	函	號
第一冊	序說及原始時代			
第二冊	飛鳥時代及白鳳時代			
第三冊	天平時代			
日本美術史講話 上、下卷	黑田鵬心 大正三（趣味叢書第三、六編）	二	三四〇	二九
日本美術史講話	林田春潮、森口多里（文學普及會講話叢書第六編ノ內 大正三）	三〇	二〇九	二九
日本美術史教科書	原貫之助 大正五	一〇	一一	二九
日本美術集成 第一輯	東京帝室博物館編 大正五	特二〇	四一一	一九
同		別二〇	四一一	一九
日本美術史未定稿	高山梓牛（梓牛全集第一卷美學及美術史ノ內 一四版 大正元）	四五	三六	へ
同（增補縮刷梓牛全集第一卷美學及美術史ノ內 五版 大正三）		四五	三六	ト
同（增補縮刷梓牛全集第一卷美學及美術史ノ內 七版 大正四）		四五	三六	チ
同（改訂註釋梓牛全集第一卷美學及美術史ノ內 大正一四）		四五	三六	リ
日本美術大年鑑 一九二六	中央美術社編 大正一五	一	五四〇	八六
日本美術展覽會陳列目錄	大阪每日新聞社、東京日日新聞社編 大正一二	一〇	四二〇	七三
日本美術展覽會圖錄 同會編	大正一二	特二〇	一六	二四九
日本美術年鑑 一九二七年	朝日新聞社編 大正一五	一	五六三	五四
日本美術年鑑 一九二五、一九二六年 大正一四、一五	中央美術社編	二	五四〇	八六
日本美術年鑑 第二、三卷	同編纂部編 大正元、二	二	八五	二〇五
日本美術名作集 第一至六輯	村山旬吾編 大正一一、一二	特三	四二一	七
同 第二至六輯 大正一一、一二		二	四二一	イ七

		冊	函	號
日本微生物學會雜誌	同會發行 第二卷第一號（大正四年七月）ヨリ	雜	元	八六イ
同 抄錄 同會發行 第二卷第一號（大正四年九月）至第一卷第六號（大正五年一月）		雜	元	八六ロ
日本泌尿器病學會雜誌	同會發行 第一卷第一號（大正元年一〇月）至第四卷第一號（同四年六月）	雜	元	二七
日本病人食料理法	勝見新太郎 大正一二		一五	一三 一四三
日本病理學會會誌	第一至一五卷 同會編 明治四五至大正一五		一五	五一 二〇
日本百科大辭典	第五至八卷 三省堂編 明治四四至大正六		四	二八 一七一
同	第五至一〇卷 明治四四至大正八		六	二八 一七一イ
同	第六至一〇卷 大正元至八		五	二八 一七二
同	第一至一〇卷 明治四一至大正八	特	一〇	二八 一七一ロ
日本百傑（少年史傳ー）	上、下卷 大町桂月 大正九		二	三六四 一六三
日本百工場	大阪工業之日本社發行 大正三		一	三三三 三四
日本百將傳一夕話	松亭金水 大正一〇（日本歷史圖會第一〇輯）		一	三九九 三
同	松亭金水著 大町桂月校 大正二		一	三四八 六八
日本百俳家系圖集	柳下湖麿 大正一五		一	五四九 二七
日本肥料概覽	農商務省農務局編（農務彙纂第二九） 明治四五		一	三三一 七五
同	大正三（農務彙纂第二九）		一	三三一 七五イ
日本風景選集	川瀨巴水等畫	枚	七	別 七四
日本風俗圖繪	第一至一〇卷 大正一〇 六二〇頁（日本歷史圖會第一〇輯）			三三
日本風俗圖繪	黑川眞道編 大正三、四	特	二〇	一九五 一七六
日本風俗沿革圖說	容姿編 卷一至四 江馬務編 大正一〇至一三		四〇	四三一 五
日本風俗志 下卷	加藤咄堂 大正七		一	三五六 二七五
日本風俗史綱	容儀服飾編 上、中 江馬務 大正一〇、一三		二〇	二八八 一九〇
日本風俗集	藤原隣春寫、寫本（風俗ニ關スル古來ヨリノ畫ヲ縮寫セシモノ）	特	一〇	さ 二九
日本風俗圖繪	黑川眞道編 大正三、四	特	二〇	一九五 一七六
第一輯	和國百女（菱川師宣畫）（同）			
第二輯	岩木繪盡（同）美人繪盡（同） 和國諸職繪盡（同） 姿繪百人一首（同）			
第三輯	百人女郎品定（西川祐信畫） 繪本淺香山（同） 風俗鏡見山（西川祐信畫）			
第四輯	繪本常盤草（西川祐信畫） 繪本女中風俗鑑（同） 繪本鏡百首（西川祐尹畫）			
第五輯	大和絣作繪抄（石河流宜畫） 繪本和歌浦（高木貞武畫） 繪本小倉錦（奧村政信畫）			
第六輯	繪本江戸繪簾屏風（同）			
第七輯	繪本御伽品鏡（長谷川光信畫） 繪本家賀御伽（同） 繪本花葛籠（同）			
第八輯	鈴木春信畫			
第九輯	吉原美人合（同） 繪本操節草（同） 繪本名妓盡（石川豐信畫） 繪本滿都鑑（下河邊拾水畫） 繪本物見岡（關清長畫）			
第一〇輯	繪本藻鹽草（北尾重政畫） 繪本世都之時（同） 繪本吾妻扶（同）			
第一一輯	繪本吾妻の花（安部玉腕子畫） 當世かもじ雛形（勝川春章畫） 役者夏の富士（勝川春潮畫） 繪本紅葉橋（東京傳著 北尾重政畫） 四時交加（山東京傳著 北尾重政畫）			
第一二輯	繪本江戸爵（喜多川歌麿畫）			

		冊	函	號
繪本駿河舞	青樓年中行事（同）（同）			
日本風俗圖繪	第一至一二輯 大正三、四		一二〇	一九五 一七六イ
日本風俗備考	ヒスセル著 杉田成卿等譯（國書刊行會本文明源流叢書第三ノ內 大正三）	特	一二〇	一九五 一七六ロ
日本風土を主としたる保健衛生論	依田今朝藏 大正九		一	六一 二九一
日本フエビアン協會パンフレット	同會發行 大正一四		一	二九三 七五七
第二 普通選擧と無産政黨	（安部磯雄）			
日本富豪の解剖	吉野鐵拳禪 大正四		一	三六〇 一二八
日本富豪の家憲（極ー秘ー）	岩崎徂堂 大正五		一	三六三 四四
日本服飾史	櫻井秀 大正一三		一	五三五 三三
日本服飾史參考圖	聚精堂編 大正一五		一	五二四 三一四
日本戎子大黑天	碧瑠璃園 大正二		一	三三八 二三
日本囊物史	井戸文人編 大正八		一	三七一 一六六
日本武士	田中義成 大正七		一	三一 六九五
日本武士	村上浪六（浪六全集第六編ノ內 大正三）			七一 四八九
日本武士道と西洋武士道	高木武（明治聖德記念學會紀要第八卷ノ內 大正六）			一四五 一
日本武士ノ兵糧（古今通觀ー）	右武邊 大正五		一	三一八 三三六
日本婦人科學會雜誌	同會發行 第一六卷第一號（大正一〇年一月）ヨリ	雜	元	五六
日本婦人科學史	緒方正清 大正三		一	五六 一〇四
日本婦人の使命	蜂須賀正韶（婦人問題講演集第四輯ノ內 大正一〇）		二〇	五〇〇 二
日本婦人論	前後編（福澤諭吉全集第六卷ノ內 大正一五）			五一〇 五一イ
同				五二〇 五一
日本舞踏史	岩橋小彌太 大正一一（文化叢書第一四編）		一	五〇五 二六
日本佛教要覽	佛教聯合會編 大正一四		一	五四〇 六一
日本佛教各祖師の人格と教義	境野哲（現代名士十一大家修養講演集ノ內 大正四）			三三四 四七一
日本佛教外史	菊池亮三郎 再版 大正八		一	三三四 六〇九
日本佛教史要	平安專修學院編 大正一五		一	五一一 一三八
日本佛教史講義	村上專精（島根縣自治協會佛教奉公團青年團講習錄ノ內 大正九）			四五 五五三
日本佛教史に就て	境野哲（統合大講習會講演集ノ內 大正四）			三三四 四六二
日本佛教史に就て	辻善之助（佛教聯合會講習會講演第四回ノ內 大正一〇）			五一一 四三
日本佛教史之研究	辻善之助 大正八		一	三三四 六〇五
日本佛教史の特例	村上專精（文化問題十五講ノ內 大正九）			三八七 一三八
同	（明治聖德記念學會紀要第二卷ノ內 大正三）			一四五 一
日本佛教と社會事業	橋川正 大正一四			一五三三 六四
日本佛教の大系	前田慧雲 大正一五			一五五九 二五
日本佛教の大勢と興教大師	鷲尾順敬 大正九（傳道叢書第三編）			一三九〇 二八
日本佛教の二大發達	鷲尾順敬（明治聖德記念學會紀要第四卷ノ內 大正四）			一四五 一
日本佛教文化史の研究	橋川正 大正一三			一五一 六八

		冊	函	號
日本佛像物語	木村小舟(定次郎) 大正九	一	三八	三六八
日本物産の由來	秋鹿見二編 大正一五	一	五六四	四三
日本不動產法沿革史	附 園藝考 横井時冬(横井時冬全集第二卷) 大正一五	一	五五五	二八
日本風土記	全淅兵制附錄 明、侯繼高撰 大正四	二	一〇三	三六七
日本武德論	星野章三郎 大正一二	一	五〇三	二三〇
日本武勇傳	日本青年教育會編(公民文庫ノ內) 大正九	一	三七五	三二
日本振袖始	近松門左衛門(傑作近松時代淨瑠璃集成ノ內 大正一〇)	三七		二四一
同	(近松門左衛門全集第八卷ノ內 大正一二)	五〇五		五八
同	近松門左衛門著 忠見慶浩校註(近松淨瑠璃集下卷ノ內 大正一五)	五四三		一三
日本文學史	萩野由之(新撰百科全書第一二四編) 大正四	一	七八	九二
日本文學史要	飯野哲二編 大正一五	一	三三	四六一
日本文學者年表	第一册 附 悉曇井讚明等目錄 赤堀又次郎 改訂 大正一五	一	九三	二〇五 イ
日本文學者年表續編	森治藏編 今園國貞補 大正八	一	九三	二〇五
日本文學新史	尾上八郎 大正三	一	三四八	二一八
日本文學全史(綜一)	三浦圭三 大正一三	一	五三一	三
日本文學叢書(新一)	第一至一二卷 物集高量校註 大正七至一二〔冠稱ヲ校註トセルモノモアリ〕	一三	三四五	一三
第一至三卷	源氏物語			
第四卷	竹取物語 伊勢物語 大和物語 落窪物語 土佐日記 (紀貫之) (藤原道綱母) 蜻蛉日記			

		冊	函	號
第五卷	紫式部日記(紫式部) 和泉式部日記(菅原孝標女) 更科日記(菅原孝標女) 十六夜日記(阿佛尼) 枕草紙(清少納言) 方丈記(鴨長明) 徒然草(吉田兼好)			
第六卷	萬葉集 古今和歌集(紀友則等編)			
第七卷	古事記(太安萬侶編) 大鏡			
第八卷	今鏡 水鏡 增鏡			
第九卷	平家物語			
第一〇卷	神皇正統記(北畠親房) 梅松論(新井白石) 讀史餘論			
第一一卷	謠曲百番			
第一二卷	奥の細道(松尾芭蕉) 鶉衣(横井也有) 芭蕉七部集 蕪村七部集			
日本文學大系(校註)	國民圖書株式會社編 大正一四、一五	一五	五四三	一
第一卷	竹取物語(石川佐久太郎校註) 伊勢物語(佐伯常麿校註)			
第二卷	大和物語(同) 無名草子(金子彥二郎校註) とりかへばや物語(沼波守校註) 堤中納言物語(金子彥二郎校註)			
第三卷	土佐日記(紀貫之) 蜻蛉日記(藤原道綱母著 植松安校註) 和泉式部日記(石川佐久太郎校註) 紫式部日記(紫式部著 長連恒校註) 更級日記(菅原孝標女著 長連恒校註) 東關紀行(植松安校註) 十六夜日記(阿佛尼著 玉井幸助校註) 清少納言枕草紙(清少納言著 山岸德平校註) 方丈記(鴨長明著 山崎麓校註) (鷲著節本)(鴨長明著 山岸德平校註) 徒然草(吉田兼好著 山崎麓校註)			
第六卷	源氏物語 上(紫式部著 沼波守校註)			
第一〇卷	宇治拾遺物語(源隆國著 山崎麓校註)			
第一一卷	古今著聞集(橘成季著 山崎麓校註) 榮華物語(石川佐久太郎校註)			

		冊	函	號
第一二卷	水鏡(同) 大鏡(同) 今鏡(同) 增鏡(同)			
第一三卷	月のゆくへ(荒木田麗女著 野村宗朔校註) 豐鑑(竹中重門著 野村宗朔校註) 養經記(野村宗朔校註) 池の藻屑(荒木田麗女著 野村宗朔校註)			
第一四卷	保元物語(佐伯常麿校註) 平治物語(同) 平家物語(同)			
第一五、一六卷	源平盛衰記 上、下(增子懷永校註)			
第一七、一八卷	太平記 上、下(佐伯常麿校註)			
第一九卷	吉野拾遺(同) 神皇正統記(北畠親房著 佐伯常麿註) お伽草子(山崎麓校註) 鳴門中將物語(同) 松帆浦物語(同) 鳥部山物語(同) 秋の夜の長物語(同) 鴉鷺合戰物語(同)			
第二〇卷	謠曲 上卷(長連恒校註)			
第二二卷	狂言記(山崎麓校註)			
日本文學大系(校註)	國民圖書株式會社編 第一二、一三、一六、一七、一〇至一二、二二卷 大正一四、一五	一五	五四三	一イ
日本文學通覽	岡田正美編 訂再版 明治四五	一	六四	二一七イ
日本文學と法華經	(一名 法華國文學大觀) 山上智海(八泉編) 大正一三 六一三頁	一	三二九	三四四
日本文學物語	第一編 歷史の部 芝野六助 明治四五	一	三四〇	一一
日本文具新聞	同社發行 第一號(大正七年一月)至第四八二號(同一二年一二月)	六	雜四五	三一
日本文化經典	護法館發行 大正九、一〇	三	三七五	四四
第一編	夜摩天宮會及其解說(佐々木月樵)			
第二編	對華嚴聖歌(同)			
第三編	九夜神と佛妃(同)			
日本文化教育學	山崎博 大正一五	一	二五二	三一六
日本噴火志	上、下編 大森房吉 大正七(震災豫防調查會報告第八六、八七號)	二	一四、四	一二五

		冊	函	號
日本文化史	大鐙閣發行 大正一一	一三	五〇五	三七
第一卷	古代(安藤正次)			
第二卷	奈良朝(西村蔓之助)			
第三卷	平安朝初期(太田亮)			
第四卷	平安朝中期(西岡虎之助)			
第五卷	平安朝末期(竹岡勝也)			
第六卷	鎌倉時代(龍肅)			
第八卷	室町時代(魚澄總五郎)			
第七卷	南北朝(中村直勝)			
第九卷	安土桃山時代(花見朔巳)			
第一〇卷	江戸時代前期(白澤清人)			
第一一卷	江戸時代後期(清原貞雄)			
第一二卷	明治時代(時野谷常三郎)			
同	第一、三至五卷 而立社發行 大正一四	四	五〇五	三七イ
日本文化史概觀	藤崎俊茂 大正一三	一	五一四	二五七
日本文化史研究	內藤虎次郎 大正一三	一	五一九	一四八
日本文化叢書	里見日本文化研究所發行 大正一四	一	三九三	七四六
第一編	古代日本の理想主義と其の發達(里見岸雄)			
日本文化と佛教	谷本富 大正一一	一	五一一	二
日本文化と佛教の使命	伊藤圓定 大正一四	一	五二六	一〇八
日本文化の過程	原勝郎(懷德堂文科學術講演集第一輯ノ內 大正一四)			一四五 一三八
同				一四五 一三八イ
日本文化の支那に及ぼせる影響	服部宇之吉(明治聖德記念學會紀要第二、三卷ノ內 大正三、四)			一四五 一
同	(文化問題十五講ノ內 大正九)			三八七 一三八
日本文化吾等の佛教常識	加藤美命 大正一二(人間叢書第七編)			一五五 三

日本分縣 奥羽及北海道圖　帝國地理研究會編　大正七

日本文章史　德田秋聲　大正一四（文章講習叢書第四）

日本文典　吉澤義則　大正四

日本文法　鈴木松太郎　大正四

日本文法講義　山田孝雄　大正一一　五一四頁

同　訂再版　大正一二

日本文法講話（綜合）　三浦圭三　大正一五

日本文法新論　金澤庄三郎　大正元

日本文明研究の必要　井上哲次郎（明治聖德記念學會紀要第一卷ノ內、大正三）

日本文明史（祖先の文化）　上里朝秀　大正一五（兒童圖書館叢書第一四編）

日本文明史　大川周明　大正一〇

同　大正一五

日本文明史話（生活と趣味より觀たる）　吉田東伍　大正四

日本文明叢話　足立栗園　大正六

日本文明の研究　井上哲次郎（文化問題十五講ノ內　大正九）

日本文明之先驅者　大槻文彥（國書刊行會本文明源流叢書第一ノ內　大正二）

日本米食史　附　食米と脚氣病との史的關係考　岡崎蘭馨（桂一郎）　大正二　一三六八頁

日本兵制史（歷史ノ一）　日本歷史地理學會編　大正一五

日本辯護士史　奥平昌洪　大正三　一四三九頁

冊	函	號
一	一九	六七
一	五三九	五三
一	二〇三	二八九
一	三三九	六三三
一	三三三	三八
一	三三三	三八イ
一	五三一	七七
一	三三三	四〇五
一	四五	一
一	五五	一三
一	三九八	四三
一	三九八	四三イ
一	三四八	二八一
一	三五六	三一〇
一	三八七	一三八
一	三四三	四るの
一	三四八	九〇
一	五五三	六〇
一	三四八	二

日本變態心理叢書　日本精神醫學會發行　大正一〇、一二

第一編　少年不良化の經路と教育　（中村古峽編）

第二編　自殺及情死の研究　（同）

第三編　信仰生活ノ諸現象　（栗山信次郎）

日本貿易別段等新聞抄略　寫本

日本北洲　附　擇捉島及國後島　一・三×三・三　水路部製　明治四五

同　大正九　三・二×二・一

日本北洲及千島列島　附　黑龍江沿岸及樺太　一・三×三・三　水路部製

日本北洲海岸宗谷海峽　附　亞庭灣　一・三×三・三　水路部製　明治四五

日本北洲東岸及南岸濱中至西別　一・三×三・四　水路部製　大正元

日本北洲東岸及北岸色丹島至紋別錨地　二・一×三・二　水路部製　大正三

日本北洲南岸膽振灣諸分圖　水路部製　大正二　三・二×二・三

日本北洲南岸及千島列島垙瑤瑁水道　水路部製　大正三　一・六×二・一

日本北洲南岸及東岸襟裳岬至色丹島　二・三×三・三　水路部製　大正元

日本北洲南岸函館港　水路部製　大正四　一・六×二・二

日本伊勢海及三河灣　水路部製　大正八　三・一×二・一

日本洲東岸犬吠埼及內浦灣　水路部製　大正四　一・五×二・二

日本洲南岸安房館山灣　水路部製　大正三　二・一×一・六

日本洲南岸伊勢海　水路部製　大正六　三・一×二・一

日本洲南岸伊勢海名古屋港　水路部製　大正四　一・七×一・二

冊	函	號
三	五〇〇	四
一	二〇五	五〇
一	九六	一ト
一	二二六	一チ
一	二二六	一ホ
一	二二五	一イ
一	二二三	一ハ
一	三三四	一イ
一	三三五	一ロ
一	一九〇	一ロ
一	一〇一	一イ
一	二三六	一ハ
一	二三五	一ホ
一	二三四	一ヘ
一	二三一	一ト
一	二四一	一チ
一	二三九	一リ

日本南岸伊勢　鳥羽港及古和港方座港　水路部製　二・一×一・五　大正一〇

日本洲南岸伊良湖水道　附　鳥羽港　水路部製　二・一×三・二　大正四

日本南岸相模　三崎瀨戶附近及小多和灣　水路部製　一・五×二・一　大正八

日本本洲南岸四國南岸等紀州大島至鹿兒島海灣　水路部製　二・二×三・九　大正九

日本洲南岸志摩　鳥羽港　附　伊良湖水道　一・七×二・三　水路部製

日本洲南岸志摩的矢港　水路部製　大正五　一・六×二・二

日本洲南岸駿河　清水港　水路部製　大正五　二・一×一・五

日本洲南岸劍埼至御前埼　水路部製　大正三　二・一×三・二

日本洲南岸東京海灣　水路部製　明治四五　三・三×二・三

同　大正四　三・二×二・一

同　大正一〇

日本洲南岸東京海灣至青ヶ島　水路部製　大正六　三・二×二・二

日本洲南岸東京海灣至紀州大島　水路部製　大正元　二・三×三・三

同　大正四　二・二×三・二

日本洲南岸東京海灣浦賀港　水路部製　大正六　二・一×一・六

同　大正一四

日本洲南岸東京灣浦賀港及近海　水路部製　大正一四　二一〇×一・五〇

日本洲南岸東京海灣金田灣　水路部製　大正一四　一・六〇×二・一〇

日本洲南岸東京海灣根岸灣　水路部製　大正四　二・一×一・六

冊	函	號
一	三五三	日
一	三三三	日
一	三三三	日
一	三三

日本漫畫史　細木原青起　大正一三　一　五五六　九三

日本南アルプスと甲斐の山旅　平賀文男　大正一五　一　五五六　九三

日本美普教會年會議事錄　第二七、二八、三〇至三三回　小泉要太郎編　大正七至一三　六　三二四　五七一

日本民謠史　藤澤衛彥　大正一四　一　五三八　二四一

日本民謠集　生田春月編　大正一〇　一　五二六　一〇三

日本民謠選集　霜田史光編　大正一三　一　五一六　二四三

日本民謠大全　童謠研究會編　改訂　大正一五　一　五一七　四八五

日本民謠の研究　高野辰之　大正一三　一　五二九　一七四

日本民謠名作集　野口雨情、霜田史光編　大正一〇　一　三九六　一六六

日本民權發達史　植原悅二郎　大正五　一　三六六　七

日本民族宇宙觀（國體淵源一）　川面凡兒　大正二　一　二四九　一六

日本民族研究叢書　日本民族協會發行　大正四至一五　一〇　三五三　一六

第一　日本書紀仁德帝の埃及難波（木村鷹太郎）　一〇　三五三　一六

第八　日本民族祖先の雄圖　下（同）　一〇　三五三　一六

第一〇　南洋の覇王鎭西八郎爲朝（同）　一〇　三五三　一六

第一一　爲朝とタメルラン　下（同）　一〇　三五三　一六

第一二　日本が世界に與へたる世界平和の理想（同）　一〇　三五三　一六

第一三　世界の三大宴會（同）　一〇　三五三　一六

第一四　天地開闢と高天原（同）　一〇　三五三　一六

第一五　日本神話の天照大御神（同）　一〇　三五三　一六

第一七　東亞及び全米國の父繼體天皇（同）　一〇　三五三　一六

第一八　オノコロ島及び國生み神生み（同）　一〇　三五三　一六

日本民族史　島本政一　大正一五　一　五五六　一〇一

日本民族思想の研究　津田敬武　大正一一　一　五〇三　一三四

日本民族史と地方改善　喜田貞吉（社會事業研究所講義錄ノ內）　大正一一　一　三八三　九二

日本民族祖先の雄圖　木村鷹太郎　再版　大正九　一　三五三　一六

同　下　大正八（日本民族研究叢書第八）　一　三五三　一六

日本民族の將來　下村宏（朝日講演集第五輯ノ內）　大正九　二　三三五　三三三

日本民族の將來　田中寬一　大正一五　一　五四六　二三一

日本民族之信仰　多田義堂編　三版　大正四　一　三三四　四八六

同　四版　大正七　一　三二四　四八六イ

日本民族の信仰　田中治吾平　大正八　一　三二四　六一〇

日本民族の爲めに　遠藤吉三郎　大正一〇　五一四頁　一　四五　五七四

日本民族論　中村德五郎　大正五　一　三四八　三七五

日本民法　第三編　債權　第一至六卷　石坂音四郎　明治四四至大正五　六　三三六　二一

同　第一至五卷　第一、五卷　再版　明治四五至大正四　五　三三六　二ロ

同　第一至五卷　第一、五卷　再版　明治四五至大正四　四　三三六　二八

同　第三編　債權總論　下卷　大正六　一　三三六　二ニ

同　一　三三六　二ホ

同　中、下卷　大正八　二　三三六　二ヘ

一　三三六　二ト

日本民法要論　第一卷　總論　疇道文夔　大正九　一　三五二　一四一

日本民法債權　第一卷　小島愛三郎　大正七　一　三六六　一二八

日本民法債權　第一卷　小島愛三郎　再版　大正九　一　三六六　一二八イ

日本民法總則概論　上卷　永並豐吉　大正一五　一　五六一　三一

日本民法總論　岩田新　大正一四　一　五三〇　一二四

日本民法總論　川名兼四郎　明治四五　一　三三六　九二

同　訂再版　大正元　一　三三六　九二イ

日本民法總論　上、下卷　鳩山秀夫　大正一二、一三　二　三五三　三二七

同　上五版、下四版　大正一四　一　三五三　三二七イ

日本民法論　第一卷　總則　第一分冊　菅原眷二　大正一一　一　三五二　二〇三

日本民法論　總則篇　中村萬吉　大正一一　一　五一三　六六

同　第一分冊　大正一五　一　五一三　六六イ

日本昔噺（和英對譯）　巖谷小波編　再版　大正三　三　三三八　二八七

第一編　桃太郎　第二編　玉の井

第三編　猿蟹合戰　第四編　松山鏡

第五編　花咲爺　第六編　舌切雀

第七編　かもノ〳〵山　第八編　大江山

第九編　俵藤太　第一〇編　瘤取り

第一一篇　物臭太郎　第一二編　文福茶釜

日本無線電信電話法規集　日本電氣學講習會編　大正一四　一　一四七　三一九

同　一　一四七　三三三

日本無線電信年鑑　大正六、七、一〇年度　無線電報通信社編　大正六至一〇　三　三六五　四五

日本名園記　龍居松之助　大正一三　一　五二一　一〇一

日本四書註釋全書　關儀一郎編　大正一一至一五　一〇　五〇八　三

論語部一　論語古義（伊藤仁齋）　論語欄外書（佐藤一齋）

論語部二　論語語由　一〇卷（龜井南冥）　論語考文（猪飼敬所）　正平本論語札記（市野迷庵）

論語部三　論語繹解　一〇卷（皆川淇園）　論語集解攷異　一〇卷（吉田篁墩）

論語部四　論語逢原　四卷（中井履軒）　讀論語（廣瀨淡窓）

論語部五　論語徵　一〇卷（荻生徂徠）　論語新註　四卷（鷲嶋鷺洲）

論語部六　論語知言（東條一堂）

學庸部一　大學定本（伊藤仁齋）　大學解（荻生徂徠）　大學古義（井上金峨）　大學雜議（中井履軒）　大學古賀精里）　大學章句纂釋（同）　大學諸說辨誤（朝川善庵）　大學原本釋義（伊藤仁齋）　中庸發揮（荻生徂徠）　中庸解（中井履軒）　中庸逢原（中井履軒）

學庸部二　大學原解　三卷（太田錦城）　大學欄外書（佐藤一齋）　中庸原解　三卷（太田錦城）　中庸欄外書　三卷（佐藤一齋）

孟子部一　孟子古義　七卷（伊藤仁齋）　孟子欄外書　二卷（佐藤一齋）　孟子考文（猪飼敬所）　讀孟子（廣瀨淡窓）

孟子部二　孟子逢原　七卷（中井履軒）　孟子斷　二卷（家田大峯）

日本名歌撰（評註一）　抒情詩社發行　大正五、六　二　三五　二七七

第一篇　柿本人麿（尾山篤二郎）　第六篇　大伴家持（松平操子）

日本名畫家大鑑　山田天契　大正一〇　一　三四七　八二

日本名畫物語　木村小舟　大正一〇（小舟五部作第三編）　一　三八九　四八

日本名山圖會　谷文晁（大日本名所圖會第二輯第二編ノ內）　大正九　三七九　二

日本名勝舊蹟産業寫眞集（國定小學校教科書準據）	目錄付	西田繁造編	明治四五	三四一九 七
同（新訂一）	大正七			五 四一九 七イ
日本名勝寫生紀行	第四、五卷	岡野榮等	大正元、二	二 三〇 四六七
日本名勝圖會	小林清親畫		明治三〇	特帖一 二三四 一〇二
日本名勝旅行辭典		大日本旅行會編	大正一四	一 五一六 三四〇
日本名所便覽（歌人必携一）		田澤景忠編	大正七	一 三七三 一三五
日本名所めぐり（趣味と實用をかねた）		大村豐吉	大正一五	一 五五六 六四
日本名著全集		同刊行會發行	大正一五	二 五四五 三三
江戸文藝之部 第四卷	近松名作集 上	（同刊行會編）		
第二卷	黃表紙廿五種	（同）		二 五三九 三〇
日本名著大系		聚芳閣發行	大正一四	
第一卷	武野燭談 三〇卷、補遺（木村某編）			
	雨夜の燈（湯淺元禎編）			
	吉田物語抄（杉岡權之助編）			
第二卷	淨土教要集	（三島才二編）		
日本名著文庫		聚榮堂發行	大正一〇	一 五〇〇 三一
い	新釋江戸繁昌記	（寺門靜軒）		
日本名著文庫		良書刊行會發行	大正一五	一 五六〇 三
心中物脚本全集	（蘇武利三郎編）			
日本名女物語	（日本歷史圖會第一一輯ノ內	大正九）		三九九 三
日本名寶集	第二卷	同刊行會編	大正一四	一 四一四 二七
大阪文樂座人形畫集（日本名物一）		第一至四段 長谷川小信畫	大正一五	四 四一四 三八

日本メソヂスト教會教義及條例		同教會編	明治四五	一 二九 四一九
同	大正五			一 二九 四一九イ
日本メソヂスト教會總會議事錄	第四回	吉岡誠明編	大正九	一 三九二 一四三
日本メソヂスト教會東部年會記錄				
第一一至一二回		吉岡誠明編	大正七至九	二 三三四 五七〇
日本メソヂスト教會禮文		平岩愃保編	大正五	一 七〇 三五三
日本メリヤス史		藤本昌義	再版 大正三	一 九六 四六四イ
日本メリヤス全書		三宅秀堂	大正一二	一 五〇七 一四五
日本綿業統計	一九〇三至一九二一年	大日本紡績聯合會編		一 一四二 一七一
日本綿作要說		農業經營研究會編	大正八	一 三七一 一七五
日本綿絲布要覽	第一、二輯		大正一一	二 三九六 二七五
日本綿布の世界的地位		山本顧彌太	大正一三 四八頁	一 三九三 七三〇
日本文德天皇實錄		藤原基經等奉勅撰（國史大系六國史ノ內）		三四〇 一〇八
同	（國史大系六國史ノ內	再版 大正七）		三四〇 一〇八イ
日本紋章學		沼田賴輔	大正一五	一 五三四 一六四
日本養鷄法		松澤淳水	大正六	一 三六一 五七
日本養子說		跡部光海（國書刊行會本三十輯第三ノ內	大正六）	三三〇 五一
日本野球發達史		橫井春野	大正一一	一 三九九 二八六
日本藥局新舊對照便覽		橫田善四郎	大正一〇	一 五〇 三三七

日本藥局方（第三一改正一）		永島忠校	訂再版 大正四	一 五〇 一四五
同（第四一改正一）		朝陽會編	大正九	一 五〇 二三四
同	三版	大正一二		一 五〇 二二四イ
（第四改正）日本藥局方法講演筆記			大平末太郎編 大正一〇 四三頁	
日本藥局方外藥品試驗法		鹿野猪太郎	大正二	
日本藥局方釋義		小山哉	大正一一 九一八頁	一 五〇 一八
日本藥局方新舊異同對照備考		一瀨剛一編	大正一〇	一 五〇 二三五
日本藥局方新舊藥品類別備考		竹內辰次、山下一乘編	大正一〇	一 五〇 二三一
日本藥局方粹		松本恒太、近藤正一編	大正一〇	一 五〇 二三〇
日本藥局方註解	第四改正	近藤平三郎等	大正一〇	一 五〇 二三四
日本藥局方註解（第三一改正一）		下山順一郎	改五版 明治四五	一 五〇〇 四八ワ
同	改六版	大正三		一 五〇 四八カ
同	九版	大正七		一 五〇 四八ヨ
同	補一〇版	大正八		一 五〇 四八タ
日本藥局方註釋（第三一改正一）		藤本理編	訂一五版 大正三	一 五〇 一四一
（第四改正）日本藥局方註釋（臨床應用一）				
		內藤堯實、稻田芳雄編	大正一〇 六一二頁	一 五〇 二三七
日本藥局方註解全集		林照壽等編	大正一〇	一 五〇 二三三
日本藥局方通解（第三一改正一）		池口慶三	訂四版 大正四	一 五〇 六四ホ
日本藥局方通解（第四一改正一）			大正九	一 五〇 二三四
同	訂再版	大正一五		一 五〇 六四ニ
（第四改正）日本藥局方ノ要領		岐阜縣警察部衛生課編	大正一〇	一 五〇 二三六
日本藥局方備考		飯高芳康、青木純造編	訂補三二版 大正二	一 五〇 二三ヌ
日本藥局方備考		賀川哲夫編	訂三三版 大正七	一 五〇 一三ル
同（第四一改正一）	補三五版	大正一〇		一 五〇 二三オ
日本藥劑師法註解（日本藥制一註解補遺）		池口慶三編	大正一五	一 五〇 一〇〇ニ
日本藥草採取栽培及利用法		沖田秀秋	大正四	一 五〇 一五三
日本藥草大觀（栽培採集一）		河村九淵	大正八	一 五〇 二〇七
日本藥制註解		下山順一郎、池口慶三	補再版 大正元	一 五〇 一〇〇イ
同	三版	大正六		一 五〇 一〇〇ロ
同	四版	大正一〇	五四四頁	一 五〇 一〇〇ハ
日本藥報		同社發行	第一年一號（大正一五年一月）ヨリ	雜三〇 二一
日本輸出絹業之大勢		絹物貿易調查會編	大正六	一 三七一 二二
日本輸出セルロイド製品同業組合聯合會沿革誌		同會編	大正一四	一〇 五一八 一九一
日本より海外へ（現代名家紀行一人一景）		泉鏡春編	大正六	一 三六三 一一一
日本より支那へ		後藤朝太郎	大正一三	一 五三三 五六
日本より見たる安南人		堀亮三（支那研究第一〇號ノ內）	大正一五	一四、五 四八

		冊	函	號
日本勞働運動發達史	赤松克麿 大正一四（社會問題叢書第三輯）	一	五三	九
日本勞働組合運動の現勢	産業勞働調査所編 大正一五 五二頁	一	五四九	一五〇
日本勞働者の生活狀態	鈴木文治（明治聖德記念學會紀要第七卷ノ內 大正六）	一	一四、五	一
日本勞働統計年鑑	大正二、三年度 同統計協會編 大正九至一五年 大正二四	二	一四、四	三九八
日本勞働年鑑	大原社會問題研究所編	七	一四、四	五〇七
日本勞農二千年史	河瀨蘇北 大正一三	一	五二八	一〇六
日本蘭牛協會登錄報告	第一輯 同會 大正二	一	三四九	八九
日本留學問題	熊野正平（支那研究第一一號ノ內 大正一五）	一	一四、五	四八
日本兩軍神	支、齊燮元 大正一四	一	三九三	七八九
日本輪界名鑑	菅本會平編 大正八	一	八五	二五六イ
日本鱗翅類ノ生活史研究幷ニ新屬新種ノ記載	長野菊次郎 大正五（名和昆蟲研究所報告第一號）	一	一四五	一一
日本倫理	有馬祐政 大正四	一	七六	三〇一イ
日本倫理學史	三浦藤作 大正一一 五七三頁	一	四五	六一四
日本倫理思想の系統	補永茂助 大正一一	一	五一〇	二〇
日本倫理と儒教との關係	深作安文（中島教授在職二十五年記念論文集ノ內 大正八）	一	三七〇	一〇八
日本倫理の研究	深作安文（現代倫理思潮第二輯ノ內 大正四）	一	三五五	一四
日本料理十二ヶ月	石井泰次郎 大正三	一	三四九	二一三
日本料理法大成	石井泰次郎 大正一二 一三一〇頁	一	五七	七六
日本歷史（家庭一）	內海弘藏 大正四 六二〇頁	一	三四八	三二四
同 六版	大正一二	一	三四八	三二四イ
日本歷史（家庭講話一）	卷之一 山路愛山（彌吉） 大正二	一	三五〇	一〇
日本歷史歌譚（國民教育一）	物集高量、村田勝太郎 明治四五	一	三三二	二九五
日本歷史繪物語	物集高量 大正二	一	三三二	四一九
同 補三版	大正六	一	三三二	四一九イ
日本歷史講議	上、下卷 本多淺治郎 改補八版 大正二	二	四五	三四九ハ
日本歷史辭典（簡明一）	光風館編 修三版 大正七	一	三三三	二〇六
日本歷史寫眞帖	秋好善太郎編 補再版 大正二	一	四〇八	七七
同 近古の卷	補四版 大正三	一	四〇八	七七イ
日本歷史精要	藤澤直枝 大正一三	一	五一九	一四〇
日本歷史地圖	三省堂編 大正一五	一	五二四	五三一
日本歷史地理之研究	吉田東伍 大正一二 一〇一二頁	一	五一九	六九
日本歷史通覽	高桑駒吉 大正五 一一七〇頁	一	三四八	三三六
同（學生參考一）	大正八	一	三六四	三五
日本歷史圖會	古谷知新編 大正九、一〇	一三	三九九	三
第一輯	聖德太子傳圖會（若林葛滿）六卷 扶桑皇統記圖會（山田意齋）前編五卷			
第二輯	同（同）後編六卷 日本國開闢由來記（平野重政）六卷			

		冊	函	號
第三輯	保元平治合戰圖會（秋里籬島）一〇卷 繪本隆斉傳（月岡錦堂畫）六卷 歷代武將通鑑（北尾重政畫）六卷			
第四輯	平家物語圖會（高井蘭山）一三卷 繪本高名二葉艸（月岡雪鼎畫）三卷			
第五輯	源平盛衰記圖會（秋里籬島）六卷			
第六輯	前太平記圖會（秋里籬島編）六卷			
第七輯	北條時賴記圖會（東籬亭）一〇卷 太平記圖會（堀原甫）八卷			
第八輯	釋迦御一代記圖會（山田意齋）六卷 日蓮上人一代圖繪（松亭金水）六卷			
第九輯	親鸞聖人御一代記圖繪（平田止水編）五卷、拾遺三卷			
第一〇輯	日本百將傳一夕語（松亭金水）一二卷			
第一一輯	赤穗義士傳一夕話（山崎美成）一〇卷			
第一二輯	日本名女物語（月岡雪鼎畫）五卷 繪本姬文庫（尾崎雅嘉）九卷 百人一首一夕話（西川祐信畫）三卷 繪本池之蛙			
日本歷史圖錄	第一至五、七至一二輯 歷史參考圖刊行會編 大正六、七	五	四〇三	九九
日本歷史の學び方と答案の書き方	小林秀雄 大正九	一	三六四	一七三
日本歷代人傑大鑑	內田茂文編 大正七	一	四一〇	三一
日本列女傳	熊谷敬太郎 大正二	一	三四八	二四
日本烈女傳（教育的史實一）	渡邊靜一 大正四	一	三四八	三一七
日本戀愛史	村田實 大正一四	一	五四六	六六
日本聯合齒科醫師會報告書	大正一一年度 同會編 大正一一 六八頁	一	五八	一三一
日本ローマ字史	川副佳一郎 大正一一	一	三三三	四四三
日本ローマ字文自在	日下部重太郎編 大正五	一	三三三	一七四
日本ローマ字文法	日下部重太郎編 大正一〇	一	三三三	一七四イ
日本六法全書	行政法研究會編 大正一五	一	一四七	三五〇
日本六法全書	清水書店編 大正一五	一	一四七	三五四
日本六法全書	清水書店編 二六版 大正六	一	一四七	一五三
同		一	一四七	一五三イ
同		一	一四七	一五三ロ
同 四二版	大正一二	一	一四七	一五三ハ
同 二四版	大正一二	一	一四七	一五三ニ
同 訂五〇版	大正一四	一	一四七	一五三ホ
同 七〇版	大正一四	一	一四七	一五三ヘ
同 實務家版	大正一五	一	一四七	一五三ト
日本論	室伏高信 大正一四	一	五四六	五七
日本往生極樂記	慶滋保胤撰（大日本佛教全書第一〇七冊ノ內 大正五）		三五三	一〇
日本和議法論	上卷 齋藤常三郎 大正一五（神戸高等商業學校商業研究所論集第一冊）	一	五三〇	二八八
二枚繪草紙	岡本綺堂（綺堂戲曲集第八卷ノ內 大正一四）		五二七	一六
煮繭の基礎及沈煮法	古井淺平 大正七	一〇	三七一	一〇一
煮繭湯並ニ繰絲湯ニ關スル化學的研究	第一、二報 渡邊綱男（農商務省蠶業試驗場報告第五卷第一、六號ノ內 大正九、一〇）		一四、二イ	三六九
二萬年前	野村長一 大正一二	一	五〇六	二三七
荷物配達區域	鐵道省編 大正九	一〇	四三三	七

葱拏母捺羅圓	圓珍記（日本大藏經第四三卷ノ內 大正九）		一	函 三五三	號 六
葱拏母捺羅記	圓珍撰（大日本佛教全書第二八册ノ內 大正七）		一	五一七	三五一
ニユウアラビアンナイツ	ステーヴンスン著 桃井津根雄譯 大正一五		一	三五〇	一六三
ニユー、カレドニア（南洋の大寶庫ー）	ロベル・ラック、吉川巖 大正二			五〇〇	三
ニユーギニア事情	日下部牛太郎（南洋研究叢書第一二編續南洋協會講演集ノ內 大正一二）		一	洋 二六〇	
ニユーギネア西岸コクラーフ角至ボス岬	水路部製 大正九		一	洋 二四九	
ニユーギネア西岸諸港泊地 第一	水路部製 大正八 二・二×一・五		一	洋 二五〇	
ニユーギネア西岸諸港泊地 第二	水路部製 大正八 二・一×一・五		一	洋 二八三	
ニユーギネア西岸セレー名カボボロル海峽	水路部製 大正九 三・一×二・一		一	洋 二八四	
ニユーギネア西岸セレ角至コクラーフ角	水路部製 大正九 三・二×二・一		一	洋 三〇	
ニユーギネア西岸ダンピーア海峽及近海	水路部製 大正 一〇 三・二×二・一		一	洋 二四八	
ニユーギネア西岸マツク、クルエル海灣	（テロク、ベラウ） 水路部製 大正九 二・一×三・二		一	洋 二五二	
ニユーギネア南西岸カムラウ灣	水路部製 大正八 二・一×三・二		一	洋 三〇九	
ニユーギネア南西岸ボス岬至ラカヒア灣	水路部製 大正一〇 二・一×三・二		一	洋 二七一	
ニユーギネア南東岸カイマナ灣ビチラ灣及トリトン灣	水路部製 大正九 二・一×三・二		一	洋 二八四	
ニユーギネア南東部諸港泊地 第二	水路部製 大正一四 三・八×二・五		一	洋 三五四	

ニユーギネア北岸諸港泊地 第二	水路部製 大正九 一・五×二・一		一	函 三〇七	號
ニユーギネア北岸諸港泊地 第三	水路部製 大正九 一・五×二・一		一	洋 三五八	
ニユーギネア北岸ハムボールト灣至ベルリン泊地	水路部製 大正一〇 二・一×三・二		一	洋 三三四	
ニユーギネア北岸ベルリン泊地至カスアリナ角	水路部製 大正一〇 三・二×二・一		一	洋 三〇六	
ニユーギネア北西部附近諸港泊地	水路部製 大正八 一・五×二・一		一	洋 二五一	
ニユーギネア北東岸カイゼリン、アウグスター河	水路部製 大正九 二・一×三・一		一	洋 二八二	
新西蘭（南島）第八	カムベル岬至バンクス半島 水路部製 大正一四 三・五×二・一		一	洋 三六〇	
新西蘭現行の會計士登錄法	外會計士法案二種 杉江潤治（會計學論叢第三集ノ內 大正四）			三五六	三九
新西蘭の產業	臺灣總督官房調查課編 大正一一（南支那及南洋調查第六五輯）		一	一四二 イ	四七八
新西蘭北島東岸オークランド港口附近	水路部製 大正一四 二・〇×一・五		一	洋 三五六	
新西蘭北島東岸ブリーム、ヘッド至テパキ角	附載 ハウラキ海灣 水路部製 大正一四 三・二×二・一			洋 三五五	
新西蘭羊業概況	小出滿二 大正九（南洋叢書第二卷）		一	一四五	八〇
ニユウストローエフ	ドウイモフ著 梅田寬譯（世界短篇小說大系露西亞篇下ノ內 大正一四）			五二〇	四五

ニユースの保護に就て	ジヨン・バハン著 岩永裕吉編 大正一五		一	五四九	三一
ニユートロダインの原理と作り方	宮里良保 大正一四（新光社ラヂオ・アマチュアブック第一編）		一	五四一	二三三
ニユウトンからアインスタインまで	ベンジヤミン・ハーロー著 岡邦雄譯 大正一〇（新生命叢書第一編）			五〇〇	三七
紐育	原田棟一郎 大正三		一	五〇〇	三七 イ
紐育及附近の地方計畫	復興局長官々房計畫課編 大正一三（復興局調查彙報第八號）		一	三四八	一五五
紐育株式金融市場	プラット著 某譯 大正九		一	一四五	九六
紐育株式取引所	橋本喜作 大正七		一	三八〇	一〇八
紐育株式取引所の組織及其の賣買取引	小山正之助 大正一〇		一	三八六	二一
紐育銀塊相場ニ就テ	大藏省理財局國庫課編 大正八		一	三九五	八九
紐育コールマネー市場	バートー・グリフイス著 竹澤德重譯 大正一四		一	三七二	二九二
紐育市內外の地所	岡本米藏 明治四五		一	五四六	四七
同	再版 大正五		一	三三七	六三五
紐育市に於ける交通問題	東京市電氣局調查課編（同課調查資料第三卷第六號ノ內 大正一一）		一	三二七	六二五 イ
ニユーヨーク市の運輸狀況	東京市電氣局調查課編（同課調查資料第四卷第三號ノ內 大正一二）		一	四五五	七七
紐育商業會議所年報拔萃	宮崎敬介編 大正一一		一	四五五	七七
紐育取引所法改正調查委員報告	明治四五		一	四五五	七七
紐育ニ於ケル株式投機ト其抑制	東京株式取引所譯（「米國エール大學教授エメリー氏ノ獨逸國株式取引所ノ取締上十年間ノ經驗ニ就テ」ト合綴） 大藏省理財局（田昌）編 大正一〇		一	三七八	一八七
紐育ニ於ケルコールローン	淺田振作 大正一〇（横濱正金銀行）調查報告第三五號）		一	一四五	二九
紐育日本人發展史	紐育日本人會編 大正一〇		一	三九八	三
紐育の交通問題に對するターナー氏の意見	東京市電氣局調查課編（同課調查資料第三卷第五號ノ內 大正一一）			一四五	七七
紐育發行外國債放資利廻	橫濱正金銀行調查課編（大正九）		一	一九	七五
ニユルンベルクの歌の師匠等	中島清譯（古典劇大系第一九卷ワグネル著 ワグネル全集下ノ內 大正一五）		一	三三七	二一〇
ニユーギニアパプア族作品集	丸芳樓編 大正三			五三九	一
如意杖	ジラルダン夫人著 安藤忠義等譯 大正三		一	三五〇	二九四
女御の位次の事（後陽成院ー）	（列聖全集御撰集第六卷ノ內 大正六）			三三八	三七八
女房故實	御產所記 大正一四（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內 大正一四）			八〇	三二
同				八〇	三二 イ
女房裝束之色目、甲冑威毛之名目	川崎千虎寫本	特		八三四	一〇
女房進退	（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內 大正一四）			八〇	三二
同				八〇	三二 イ
女房筆法	（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內 大正一四）			八〇	三二

女房筆法　（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內　大正一四）　冊 八〇　函 二三イ
女護の島　上司小劍　五版　大正一三　一　一五二九　四四
如實院遺芳　十日會編　大正七　一　三七〇　六四
如實事觀錄　卷上、下　日受（日蓮宗學全書ノ內　大正一一）　三五三　三〇ニ
如實事觀錄序　日受（日蓮宗學全書ノ內　大正一一）　三五三　三〇ニ
如實論　反質難品　陳、眞諦譯（大正新脩大藏經第三二卷　特）　四四　三七四
同　論集部ノ內　大正一四）　八六　三九一
如是我觀　（滿洲問題）第一編　俣野義郎　大正一二　一　三九七　四四三
如是我母聞部　壽達翁（壽達翁萬物藏第一七至二〇冊）　寫本　四〇　二四五　三二七
如是經　一名　光炎菩薩大師子吼經　序品　ニーチエ著　登張信一郎譯註　大正一〇　一　五〇五　七
如是實在觀　加藤玄智（中島教授在職二十五年記念論文集ノ內　大正八）　三七〇　一〇八
如說修行鈔　日蓮著　鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第一卷宗義部ノ內　大正一五）　五三九　六七
如說修行鈔義　野口日主（統合大講習會講演集ノ內　大正四）　三二四　四六三
如說修行抄謹講錄　北田宗重編　大正九（日蓮主義研究叢書第一編）　一　三五五　九四
如說修行鈔見聞　日朝（日蓮宗學全書ノ內　大正一二）　三五三　三〇ほ
如是文藝　島村抱月（抱月全集第一卷ノ內　大正八）　三七九　一二
女人供養　足立欽一　大正一四（足立欽一戲曲集第二編）　一　五二九　九五ロ
女人群像　前、後篇　中村武羅夫　大正一四、一五　二　五四四　一五七
女人創造　與謝野晶子　大正九　一　三八七　一四〇

女人成佛御書　日蓮書　吉田珍雄編　大正三　一　一四三　一五六
女人成佛思想の展開　梅原眞隆（京都女子高等專門學校特別講義錄第一二輯ノ內　大正一〇）　三九七　一三〇
女人神聖　谷崎潤一郎　大正九　一　三九一　四九
女人崇拜論　賀川豊彥（婦人問題講演集第六輯ノ內　大正一〇）　五〇〇　二
女人焚殺（三部一）　高倉輝　大正一一（高倉輝著作集第一輯）　一　五〇六　一
同　一　五〇六　一イ
女人往生聞書壬辰記　琢成（眞宗大系第二一ノ內　大正八）　三六九　一五
女人往生鈔　日蓮撰（大日本風教叢書第二輯ノ內　大正六）　三六九　二
同　三六九　二イ
女峰の谷　田山花袋（花袋全集第一二卷ノ內　大正一三）　五二五　三六
同　（花袋紀行集第三輯ノ內　大正一二）　五一五　七七
如法經手記　（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）　八〇　三二
同　八〇　三二イ
如來示敎勝軍王經　唐、玄奘譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ內　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
如來莊嚴智慧光明入一切佛境界經　元魏、曇靡流支譯　二卷（大正新脩大藏經第一二卷寶積部下涅槃部ノ內　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
如來師子吼經　元魏、佛陀扇多譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內　大正一四）　特　四四　三七四

如來師子吼經　元魏、佛陀扇多譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內　大正一四）　冊 八六　函 三九一
如來齒舍利傳來　（續群書類從第二五輯ノ下釋家部ノ內　大正一三）　八〇　三二イ
同　（大日本佛教全書第一一一册ノ內　大正一〇）　三五三　一〇
如來叢書　東光會發行　大正一二　一　五一五　一〇六
第一集　私の生死　（山中峯太郎）
如來滅後五五百歲始觀心本尊鈔　日蓮（日蓮聖人五大名篇ノ內　大正一一）　五〇四　三七
二老略傳　大和延年（修養文庫第二編賢哲傳下ノ內　大正八）　三七五　三五
二樂叢書　第一號　橋瑞超編　大正元（西域探檢中獲タル經文斷片ヲ輯ム）　一　三三四　三四
晛み合　小島政二郎（三田文選ノ內　大正八）　三二九　二九一
同　三二九　二九一イ
韮山案內誌　和田庄五郎編　大正一〇　一　三九六　九〇
二硫化炭素燻蒸の研究　石川龍太郎　大正六（（新潟縣農事試驗場）特別報告第四號）　一四二　二八一ロ
二硫化炭素の貯藏穀類害蟲驅滅法　碇ヶ關硫黃鑛山事務所編　大正四　一　三二九　五八一
二利願行　藤島了穩（夏期講習會佛教講演集第一八回ノ內　明治四五）　三八　一七
仁王尊の話　倉島元彌編　大正七　一　三二四　五五三
仁王の拳　一名　修養四十七言　高山喜內　大正五　一　三六三　七
仁孝天皇御葬儀ニツキ御賄御手續一件留　都筑金三郎留　寫本　一〇　一二五　二六

人經　赤沼智善譯（現代意譯根本佛敎聖典叢書第四卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四
忍行　土肥積善（修養講話ノ內　大正四）　三四九　三五
人形雜考　西澤米二郎（仙湖）著　西澤笛畝編（仙湖遺稿集ノ內　大正九）　一一　三四〇
人形つかひ　シュトルム著　茅野蕭々譯　大正八（世界少年文學名作集第三卷）　一　三七五　三九
人形の家　イブセン著　楠山正雄譯（近代劇大系第一卷北歐篇一ノ內　大正一四）　五一五　二六
人形の家　イブセン著　島村抱月譯（抱月全集第五卷ノ內　大正八）　三七九　一二
同　イブセン著　長田幹彥譯（世界名著叢書第六編）　大正一五　一　五五〇　一一六
同　イブセン著　中村吉藏譯　大正一一　一　三九六　三〇一
同　九版　大正一二（泰西戲曲選集第三編）　一　三八九　八三
同（イブセン）　イブセン著　島村抱月譯　大正二（傑作集一）　一　三五〇　六三
人形の家を出て　田中巴之助　大正一二　一　五二六　一三
「人形の家」雜感　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）　三七九　一二
「人形の家」とイブセンの作劇術　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）　三七九　一二
「人形の家」と飜譯劇　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）　三七九　一二
人形の家の序論　島村抱月（抱月全集第八卷ノ內　大正九）　三七九　一二
人魚　ルメエートル著　井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ內　大正一四）　五二〇　四五
人魚ヶ島　木村小舟　大正一三（童話文庫卷の一）　一　五二七　九
人魚の海　倉田潔　大正一〇（世界童話集第一編）　一　五〇五　五

			冊	函	號
人魚の詞	泉鏡花	(鏡花全集第一〇巻ノ内 大正一四)	五	二〇	四四
人魚の嘆き	谷崎潤一郎 大正八	(「魔術」ト合綴)	三	三一	一三三
同	(潤一郎傑作全集第四巻ノ内 大正一〇)		五	〇〇	四
人魚のねがひ	(童話集) 蘆谷蘆村(重常) 大正九		一	三九一	二〇七
忍苦より反逆へ	(悲劇) 渡邊庸三 大正一一		一	五一七	三
任官之事	(續群書類從第二〇輯ノ下合戰部ノ内 大正一二)		八〇	三三	イ
人間	鈴木善太郎 大正一五		一	五四〇	八九
人間	同社發行 第一巻(大正八年)一一月號至第四巻(大正一一年)三月號		七	雜 八	六五
人間	ハアゼンクレエフエル著 (先驅藝術叢書第一〇編ノ内 大正一三)	小山内薫譯	五三九		二六
人間	(映畫寫眞) 藤本千春 大正一四		一	五四四	二二六
人間	(連鎖小說)		一	五〇六	一七一
人間哀史	第一部 須藤鐘一 大正一一		一	五二七	三六
人間意識の發達	小林照朗 再版 大正一四	(地方改善事業叢書第四輯)	一	五〇〇	一八
人間を緣として	佐々木月樵 大正一一	(佛教文化講座第四編)	一	三九三	七五四
人間を彫る	(裸木第一句集) 大橋鎭(裸木) 大正一四 五五頁		一	四五	五九一
人間及動物の表情	ダーウヰン著 安東源治郎等譯 大正一〇		一	五五一	九〇
人間開業	大泉黑石 大正一五		一	三八八	二三三
人間改造と藝術	カーペンター著 三浦關造譯 大正九		一	五五〇	二七
人間學	村上浪六 大正一五		一	四八九	七一
同	前、續編 (浪六全集第八編ノ内 大正四)				

			冊	函	號
人間學	村上浪六	(浪六全集第八編ノ内 一二版 大正九)	七一	四八九	イ
同	大正一五	(浪六全集第九編)	一	五五〇	五七
同	(潤一郎傑作全集第四巻ノ内 大正一〇)		一	五五〇	五七
同	(居家ノ處世ノ) 續編 村上浪六 大正二		一	三三九	一七一
人間學としての體育	松村松年 大正一二		一	二七六	三一七
人賢記	(續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ内 大正一四)		八〇	三三	イ
同			一	五四〇	八九
人間嫌ひ	モリエエル著 井上勇譯	(古典劇大系第七巻 佛蘭西篇一ノ内 大正一三)	五三九		一
人間苦	吉田絃二郎 大正九		一	三九一	四三
人間苦と人生の價値	帆足理一郎 大正一二		一	五〇三	二〇九
同	訂二六版 大正一四		一	五〇三	二〇九 イ
人間苦と人間建築	賀川豐彥 大正九		一	四五	五三〇
人間苦の解決	諏訪二教 大正一四		一	五三三	一〇六
人間苦の解決	マクラウド著 皆田篤實譯 大正一一		一	五〇四	五三
人間苦の原因を探ねて	赤沼智善 大正一二	(文庫叢書第二編)	一	五三三	七
人間苦の親鸞	松田青針 大正一一		一	五一五	四八
人間教育の根本原理と藝術	高山林太郎 大正一一		一	五一七	五四
人間結婚史	ウエスターマーク著 島村民藏譯 大正一〇		一	二五三	三三〇
			一	五〇三	五

			冊	函	號
人間工學	田中寬一 大正一〇		一	二八七	二〇九
同	(能率ノ研究ノ) 訂五版 大正一四		一	三八七	二〇九 イ
人間相愛	石原純 大正一二		一	五〇三	三二八
人間相愛の道德	原名 道德の基礎 著 木下一雄譯	ショーペンハウエル 大正一三	一	五三五	一五七
人間創造	野上彌生子 大正一五		一	五五一	一二四
	人間創造 靈魂の赤ん坊 縛られた者 綾の鼓 邯鄲 藤戸 祕密				
人間雜話	久米正雄 大正一二		一	五一七	一八
人間集	第一、二 里見弴、植村宗一編 大正八、一〇		二	三九一	四三
人間親鸞	石丸梧平 大正一一		一	五〇一	二八二
人間生活	曠野社發行 第四巻第一至九號(大正一三年一至一一月)「新しき村」ト「生長する星の群」トノ合併改題		二	雜 八	イ 五八
人間生活史	茅原廉太郎 大正三 五三五頁		一	三四九	四一九
人間生活の實現	遠藤隆吉 大正一三 六〇四頁		一	五三五	三〇
人間性と動物性	高桑良興 大正一五		一	五四七	一二七
人間性のために	小川未明 大正一二	(表現叢書第四)	一	三八九	八五
人間生物學	高桑良興 大正一二 六二八頁		一	三八五	二三六
人間世間	松崎市郎 大正四		一	三六〇	二三三
人間世間	(隨筆) 三浦藤作 大正一五		一	五三六	二二四

			冊	函	號
人間叢書	加藤美命 大正一一至一三		九	五一五	三三
第一編	老子から王陽明まで	東洋哲學			
第二編	ルソオから現代まで	改造思想			
第三編	常識としての哲學	哲學概論			
第四編	カントから現代まで	近代哲學			
第五編	ゲーテから現代まで	近代文藝			
第六編	世界の宗教を觀る	比較宗教			
第七編	吾等の佛教常識	日本文化			
第八編	戀と愛の哲學	思想			
第九編	美術と音樂の知識	常識趣味教養			
第一〇編	心理學と吾等の生活	科學知識			
第一二編	美術趣味の常識	日本書誌			
人間道	蜂屋賢喜代 大正一二 (麥堂文集第一輯)		一	五一五	一〇一
人間道	藤井曹太郎 大正一一 六五三頁		一	五〇三	一二八
人間魂の覺醒 民族魂の發揮	宗教的教育論 及川智雄 大正一三 五七四頁		一	二五三	二九四
人間的社會	武者小路實篤 大正一三 (新しき村叢書第一〇編)		一	三八九	三三
人間的生活	武者小路實篤 大正九		一	三九一	八五
人間的な餘りに人間的な	上、下卷 ニイチエ著 生田長江譯 大正七 (ニイチエ全集第一、二編)		二	三七五	三
同			二	三七五	三 イ
人間哲學	淺野彌太郎 大正一四		一	五三六	一七〇
人間と運命	堀內新泉(文麿) 大正二		一	三四九	五九
人間屠殺所	ウヰルヘルム・ラムスウス著 佐藤綠葉譯 大正三		一	三三八	二八八
人間と自然	大町桂月 大正四	(絕版名著叢書第二六編)	一	三七	三七六

		冊	函	號	頁
人間としてのトルストイ	メレジコウスキー著　桂井當之助譯　大正三	一	三五〇	二四	人
人間としての日蓮聖人	里見岸雄　大正九	一	三九二	一五四	人
人間として見たる使徒パウロ	賀川豐彥　大正一一	一	五〇四	六六	人
人間と社會	武者小路實篤　大正一二（新しき村叢書第六編）	一	三八九	三三	人
人間と社會の改造	天賦健康法　秋山天風（爲二）大正一〇	一	三九三	二七	人
人間の裏と表	超常識と沒常識　蒼海樓主人、東海散人　大正九	一	三八八	二七	人
人間の趨くところ	（思想的に觀たる）　森田公美　大正一三	一	五三五	一八八	人
人間の教育	附　幼稚園の教育　フレーベル著　田制佐重譯　大正一四（新譯世界教育名著叢書第八卷）	一	三九五	七九	同
人間の洪水	五郎島慶一　大正一三　七一頁	一	五二四	五九	人
人間の自我は錯覺	附　哲學の基礎としての純粹經驗の困難　古谷榮一　大正一二　八三頁 附　虛無思想と日本主義との調和の原理　古谷榮一　大正一五（虛無哲學體系第一卷）	一	三九三	六五七	人
人間の自我は錯覺		一	五六〇	一一	萬
人間の正體	ハアド・ムウア著　大杉榮譯　大正一〇（民衆科學叢書第三編）	一	五〇〇	四三	人
人間の進化	石川千代松　大正六（大日本學術叢書第七）	一	三五三	一八	人
人間の進化	トムソン著　小倉謙譯（科學大系第一卷第五編　大正一一）	五一五	七	人	
同		五一五	七イ	人	
人間の智惠	（世界各國最新發明）　大阪發明協會編（同會叢書第一篇）　大正一五	一	五四八	四六	人
人間の波	アルツイバアシエフ著　原久一郎譯　大正一四	一	五二八	一五三	人
人間廢業	大泉黑石　大正一五	一	五一七	三六一	人
人間發生の跡	キルヘルム・ベルシエ著　堺利彥譯　大正一〇（民衆科學叢書第二編）	一	五〇〇	四三	人
人間繁榮	豐島與志雄（世界短篇小說大系日本篇下ノ內　大正一五）	一	三五〇	二四	人
人間繁榮	豐島與志雄　五版　大正一三	一	五三三	二九七	人
惡夢 變な男 或る女の手記 小說中の女 愚かな一日 都會の幽氣 人間繁榮	林檎 電車停留場 特殊部落の犯罪 嘘と嘘 白血球 白日夢				
人間萬歲	武者小路實篤　（實篤新集第一編ノ內　大正一一）	五一六	一〇三		
人間萬事金世中	河竹默阿彌（默阿彌脚本集第八卷ノ內　大正一〇）	三九〇	二一		
同	（默阿彌全集第一三卷ノ內　大正一四）	五二七	四三		
人間萬事	日蓮主義で行け　豐田教嘉　大正八	一	三九二	三五	
人間萬事	我輩の如く　佐治實然　大正九	一	三八七	一〇一	
人間百種	細君百癖　堀內新泉　大正四	一	三五七	四五	
人間百種	百人百癖　堀內新泉　大正三	一	三五〇	三四四	
人間秘話	（記者懺悔）　松崎天民　大正一三	一	五二五	二三九	
人間復興	本位田祥男　大正一五	一	五六五	一二五	
人間不平等起原論	附　學藝論　ルツソー著　內山賢次譯　大正一三	一	五二八	一七五	
人間文化の出發	工藤直太郎　大正一一	一	五〇三	一一三	
人間への教育	原田實　大正一〇　五三〇頁	一	三五三	二〇七	
人間味	村上浪六　大正一四	一	五四四	八七	
人間味	（修養道話）　加藤咄堂　大正一五	一	五三六	二七三	

		冊	函	號	頁
人間味を根底としたる	國語教育　高田邦彥　大正一一	一	二六三	一五九	七
人間味と超越味	島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）		三七九	二	
人間禮拜	與謝野晶子　大正一〇	一	三六七	二〇八	
人間論	村田豐秋　大正一三　六三八頁	一	五三八	一三	
人間往來	（自選歌集）　與謝野晶子　大正一四	一	五四四	一〇四	
忍齋遺稿	都筑增次郎編　大正一五	一	一六三	一三三	
忍齋輯錄	寫本　〔享保頃ノ尾張人ノ抄錄セシモノ〕	一八〇	二七	二六四	
人相	寫本	一	一五八	七〇	
姙産婦及兒童保健に關する社會的施設	內務省衞生局編　大正一一	一	一四六	一六四	
妊産婦及兒童保健に關する社會的施設	氏原佐藏　大正一一	一	一四六	一五三	
姙産婦、母親並乳兒、幼兒及兒童ノ福祉增進ニ關スル施設概況	內務省衞生局編　大正九　四七頁	一	一四六	一一八	
認識と教育	教育的認識論　渡部政盛　大正一三	一	五三六	四九	
認識の對象	ハインリッヒ・リッケルト著　中川得立譯　大正五	一	三六〇	四三六	
認識論	紀平正美　大正四（哲學叢書第一編）	一	三五五	二〇	
認識論の根本問題	淀野輝淳　大正六	一	三五六	二八一	
人情觀的明治史	伊藤銀月　明治四五	一	三四二	一三三	
人情本刊行會叢書	同會編　再版　大正一四、一五	一五	五四五	二六	
第八輯	春色淀の曙（松亭金水）藪の鶯（業亭行成）				
第九輯	錦の帶屋雪の白木屋軒並娘八丈（南仙笑楚滿人）秋色紅葉染評萩の枝折（同）				
第一一輯	貞操園の朝顏（松亭金水）宿直草物語（玉樓花柴）				
第一二輯	毬唄三人娘（松亭金水）寄鷗妹脊鳥（爲永春雨）				
第一三輯	浮世戀の花染（松亭金水）新形戀の花暦封じ文（朧月亭有人）				
第一五輯	花暨湊の月（松亭金水）拾遺春色戀染分解（朧月亭有人）青樓玉筥言（花山亭笑馬）				
第一六輯	風俗粹好傳（鼻山人）四時遊觀花筐（松亭金水）				
第一七輯	清談松の調（爲永春水）小三金五郎假名文章娘節用（曲山人）				
第一八輯	兩個郭の花笠（松亭金水）女兒元結松於富茂平祝井風呂時雨傘（爲永春水著　爲永柳水補）				
第一九輯	玉菊花街鏡（鼻山人）全傳餘興花街壽々女（鼻山人）春色雪の梅（狂言亭春雅）				
第二〇輯	春宵三日月阿專（南仙笑楚滿人）一名本朝妖談傳美談盛衰記娘太平記操早引（曲山人、松亭金水）桑妓媚美談雛の花（鼻山人）				
第二二輯	貞操婦女八賢誌　下（爲永春水）深契繼の若竹情話（寬江舍蔦丸、十字亭三九）吉原揚枝（山東京傳）				
第二三輯	秋色處女七種（爲永春水、梅亭金鷺補）				
第二四輯	明鳥教訓郭里の東雲（松亭金水）春雨浦次郎明烏後正夢（南仙笑楚滿人、瀧亭鯉丈）時管里手引廓節用（樂亭馬笑著　式亭三馬補正）				
第二七輯	同場絲柳（爲永春水）語彙操形黃楊小櫛（十返舍一九）				
人情本代表作集	國民圖書株式會社編　大正一五（近代日本文學大系第二卷）	一	五六〇	一九	

		冊	函	號
小さん金五郎假名文章娘節用	（曲山人）			
清談若緑	（同）			
教文娯外 娘消息	（同）			
盛衰桑枯 辰巳梅の春 清談閑情未摘花	娘太平記操早引（曲山人、松亭金水）（爲永春水）（松亭金水）			
人情論	村井寛 明治四五	一	三四二	六六
仁壽鏡	小杉榲邨影寫 寫本	特 一〇	八三〇	三八
忍術己來也	白井喬二 大正一五	一	五一七	四〇〇
忍術の極意	伊藤銀月 大正六	一	三六三	一五七
妊娠及産褥期之脚氣論	諸方十右衞門、藤村元張 大正二	一	五六	九四
妊娠及産ニ因ル死亡統計	（明治三十二年―同四十一年―）内閣統計局編 大正三	一	四〇九	六〇
妊娠十ケ月	指田たね子編 大正二	一	二四九	一八
妊娠時ノ合併症及其療法	渡邊英吉造（近世醫學叢書第一七編） 明治四三	一	六〇	二三九 ロ
妊娠前より育兒まで	山脇虎雄編 大正一三	一	五六	二〇六
妊娠惡阻及其療法	谷口彌三郎 大正八	一	五六	一四七
妊娠とお産の前後	飯島貫一 大正一三	一	五六	二〇一
妊娠十月と其手當	（婦人衞生―）長濱繁 大正九	一	五六	一六三
妊娠に伴ひ易い病氣と手當	石崎仲三郎 大正一五	一	五六	二三七
妊娠分娩前後に於ける注意	兒童保護其一（文部省普通學務局編 社會教育叢書第四輯） 大正一三	一	二五九 五	六〇

		冊	函	號
妊娠より育兒まで	福田康甫等 大正四	一	三四二	六六
妊娠より健全なる育兒法	林愛生 大正一四	一	五六	三九
妊娠より育つまで（母子健全―）	土肥衞、高垣琴子 大正六	一	五六	一三四
妊娠より分娩まで	高橋政秀、伊藤尚賢 大正九	一	五六	一五八
仁清燒の追懷	佐藤吉次 大正一〇 一九頁	一	三九七	三三
任僧綱土代	（續群書類從第四輯ノ上補任部ノ內 再版 大正一五）	八〇	二三一 ロ	
忍耐力の修養	鈴木新太郎編 大正六	一	三六四	二七五
人唐記	（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內 大正一四）	八〇	二三一	
同		八〇	二三一 イ	
認諾論	成道齋次郎（横田博士還曆教授二十五年祝賀記念論文集ノ內 大正一〇）	五一二	四三	
任聽統譜	乃木龍玄編 寫本（山田宗偏派略傳）	一〇	二一三	一五一
人天眼目	智昭 六卷（禪學大系批判部ノ內 大正四）	三三〇	一八	
人天寶鑑	宋 曇秀輯（大日本續藏經第七三六册ノ內 明治四五）	二三五	二	
仁德帝の埃及難波（日本書紀―）	木村鷹太郎 大正四（日本民族研究叢書第一）	一	三五三	一六
仁和寺御日次記	（續群書類從第二九輯ノ下雜部ノ內 大正一五）	八〇	二三一 イ	
同		八〇	二三一	
仁和寺寶庫大日本神藥書記	寫本 一二枚	一〇	二一	三三六
人本欲生經註	東晉、道安撰（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內 大正一五）	特	四四	三七四
同			八六	三九一

		冊	函	號
仁王經科疏	明、眞貴述（大日本續藏經第四七〇册ノ內 明治四五）	二	二五	二
仁王經科疏科文	明、眞貴述（大日本續藏經第四七〇册ノ內 明治四五）	二	二五	二
仁王經科疏懸談	明、眞貴述（大日本續藏經第四七〇册ノ內 明治四五）	二	二五	二
仁王經修法問答	（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內 大正一四）	八〇	二三一	
同		八〇	二三一 イ	
仁王經疏	唐、圓測撰 六卷（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內 大正一五）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一	
仁王經法勤例	弘仁―文永（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內 大正一四）	八〇	二三一	
同		八〇	二三一 イ	
仁王經曼荼羅	寫本	特 五	枚 二 ぬ	三六
仁王經問答	（大日本佛教全書第六册ノ內 大正四）	三五三	一〇	
仁王護國經疏	行信撰 三卷內一卷缺（大日本佛教全書第六册ノ內 大正四）	三五三	一〇	
仁王護國般若經疏	隋、智顗說 灌頂記 五卷（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內 大正一五）	特 四四	三七四	
同		四四	三七四	
仁王護國般若波羅蜜開題	空海撰（日本大藏經第三五卷ノ內 大正七）	三五三	六	
仁王護國般若波羅蜜經疏	行信撰 三卷（日本大藏經第三五卷ノ內 大正七）	三五三	六	
仁王護國般若波羅蜜多經	唐、不空譯 二卷（大正新脩大藏經第八卷般若部四ノ內 大正一三）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一	
仁王護國般若波羅蜜多經疏	唐、良賁述 七卷（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內 大正一五）	特 四四	三七四	

		冊	函	號
仁王護國般若波羅蜜多經疏	唐、良賁述 七卷（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內 大正一五）	八六	三九一	
仁王般若合疏講錄	光謙撰 三卷（大日本佛教全書第六册ノ內 大正四）	三五三	一〇	
仁王般若經護國鈔	覺超撰 三卷（日本大藏經第三五卷ノ內 大正七）	三五三	六	
仁王般若經疏	隋、吉藏撰 六卷（大正新脩大藏經第三三卷經疏部一ノ內 大正一五）	特 四四	三七四	
同		八六	三九一	
仁王般若波羅蜜經	山上曹源譯（國譯大藏經經部第三卷ノ內 大正七）	三六九	五	

ヌ

ぬかり道	田山花袋（花袋全集第九卷ノ內 大正一二）	五一五	三六	
抜型	大槻喬譯 大正九	一	三八五	一二五
抜き檢査の公算論的意義に就て	米田麟吉 大正一三（電氣試驗所研究報告第一五〇號）	一	一四五	九
貫名海屋書今川狀	貫名苞書 晩翠軒編 大正一二	一〇	四一八	七六
貫名海屋臨蘭亭序	貫名苞書 博文堂編 大正一二	一	一四四	二四〇
貫名舊藏山水幷模本	寫本（明、沈周長卷山水、幷無名氏畫竹九則ノ粉本ナリ）	別 軸	二 ん	一三一
貫名菘翁臨邢來禽書	貫名苞書 原穗村編 大正五	一	一四二	二一三
盜人を飼ふ	菊池寛（菊池寛全集第一卷ノ內 大正一一）	五〇五	三三	
盜まれたる心臟	田代威三 大正一四	一	五四四	一四五
盜みをしたN	菊池寛（菊池寛全集第一卷ノ內 大正一一）	五〇五	三三	

		冊	函	號
沼名前神社記	同社務所編 大正一二 四二頁	一	三九	六六
沼名前神社由來記	附錄 名勝鞆浦 蔦田茂丸編 明治四五	一	三三九	六一
蕁菜草紙	多田義寛 三卷 (國書刊行會本三十輯第一ノ內 大正六)		三三〇	五一
沼貝村史	大枝連藏 大正四	一	二	三九〇
沼隈郡田島村誌	「吉備高島宮記」 兼田明逸 大正一二	一	三九七	四二六
沼澤道子君之傳	高木盛之輔 大正二	一	二四九	一三一
沼尻硫黃鑛山誌	今井治作編 大正六	一	三七三	四六
沼田分限帳	高野武貞校 寫本	一	八三六	六
沼津修善寺間地質旅行案內	脇水鐵五郎 一五頁	一	三七二	二七一
沼津の栞	附 三島近傍案內 平山岩太郎編 大正元	一	三三二	三四六
同	大正五	一	三三二	三四六イ
沼のほとり	中勘助 大正一四	一	五四四	六
沼夫人	泉鏡花 (鏡花全集第七卷ノ內 大正一四)		五三〇	四四
同		一	三八〇	二〇五
塗物術	(木材着色、ワニス、漆、蒔繪) 岡山秀吉 大正一一		五三〇	四四イ
塗物蒔繪直段帳	寫本 (明和元年九月中村佐兵衞ヨリ差出シタル塗物請負ノ見積書ナリ)	一	二四〇	六三
濡燕雲稻妻	(松島松作芝居臺帳第一八ノ內)	一	八二四	二
濡手で粟	墨洲山人 五卷 (國書刊行會本德川文藝類聚第三 遍歷小說ノ內 大正四)	一	三三〇	四九ろ

ネ

		冊	函	號
壽鑑古	中華民國二	一五〇	二八	二七一
尿診斷	木內幹 大正五	一	五三	四〇
尿素合成研究	(第一報) 渡部尚一 (臨時窒素研究所報告第五號ノ內 大正一二)		一四二イ	四七七
尿道狹窄及其療法	羽太鋭治、頓宮寬編 明治四五 (近世醫學叢書第六〇編)	一	六〇	二三九
同		一	六〇	三三九ロ
尿病纂錄	田中友治 明治四二 (近世醫學叢書第一〇編)	一	六〇	三三九ロ
尿「ペプシン」ニ就テ	野村正一 大正一〇	一	四七	二四一
ネエヌ	エルネスト・ペロション著 椎名其二譯 大正一五	一	五一七	五七八
ネオトン	(理研殺蟲劑ニ) 理化學研究所編 大正一五	一	五二四	四六二
願屆書式總覽	五鬼上堅磐編 大正一三	一	一四七	二九二
願屆書式總覽	日本法律研究會編 大正九	一	三八八	二一九
願屆申請書式手續全書	大塚子成(卯三郎)編 大正六	一	三六二	二五
根岸御行の松	大槻文彥 大正一五 九頁	一	五二四	五〇三
根切蟲ノ驅除試驗	明永久次郎 ((農商務省)林業試驗彙報第一五號ノ內 大正一四)	一	四二イ	二二五ロ
根切蟲ノ敵蟲ニ就テ	矢野宗幹 ((農商務省)林業試驗報告第一七號ノ內 大正七)	一	四二イ	二二五
根切蟲ノ藥劑的驅除試驗	肱黑友三 ((農商務省)林業試驗彙報第一八號ノ內 大正一四)	一	四二イ	二二五ロ
根、莖、葉、花	芳澤喜久 大正一三 (自然界の話第八編)	一	五二五	三四

		冊	函	號
猫	木村荘八 大正一三 (人類の本第五小說戲曲篇)	一	五一五	一一九
猫	豐島與志雄 (日本小說集第一集ノ內 大正一四)		五三九	五六
猫謝羅子	正德鹿馬輔 (國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ內 大正三)		三三〇	四九ろ
猫について	モウパッサン著 平野威馬雄譯 (モウパッサン選集ノ內 大正九)		三九六	三五
猫について	(感想) モウパッサン著 安成四郎譯 (モウパッサン全集第六卷ノ內 大正一〇)		三九〇	四一
猫のあくび	貝塚澁六(堺利彥) 大正八	一	三八七	五
猫の市長さん	(滑稽童話集) 松本苦味編 大正一二	一	五一七	九四
猫ノ疾病及治療法	石山寬信 大正一二	一	三八五	二六三
ねこの島	久米正雄、小島政二郎 (新しい童話第一〇編) 大正一二	一	五〇五	一九
猫の卵	樫葉勇 大正一五 (新實演お話集第二集)	一	五五一	一一九
猫の百日咳	貝塚澁六(堺利彥) 大正八	一	三九一	七一
猫の耳	越智越人撰 安井知之校 (蕉門珍書百種第二編) 大正一四	一	五四五	四
同		一	五四五	四イ
猫橋	ズウデルマン著 村上靜人譯 (ズウデルマン傑作集ノ內 大正七)		三五五	八七
猫八	岩野泡鳴 (泡鳴全集第六卷ノ內 大正一〇)		五〇〇	一
猫魔達	近松門左衞門 (近松門左衞門全集第三卷ノ內 大正一一)		五〇五	五八
根來山案內	(紀州名所ニ) 增田操編 大正三		三三九	三五四
根來山兵燹史	荒木良仙編 大正一五	一	五四九	一五一
寢覺物語	大和繪同好會發行 大正八	一	輔	ん 一六二

		冊	函	號
ネストリウス教に就て	山口昇 (支那研究第一號ノ內 大正九)	一	四五	四八
鼠	今東光 (日本小說集第二集ノ內 大正一五)		五三九	五六
鼠	吉井勇 (現代戲曲全集第九卷ノ內 大正一四)		三三〇	四九ろ
鼠小紋春着新形	河竹默阿彌 (默阿彌脚本集第三卷ノ內 大正一〇)		三九〇	二一
鼠小紋東君新形	河竹默阿彌 (默阿彌全集第二卷ノ內 大正一三)		五二七	四三
鼠花見	米山堂發行 大正一〇 (摹刻)	一	一五	四〇六
鼠の夜噺	(通俗經濟文庫第一〇卷ノ內 大正六)		三五五	五三
熱及各種の消毒藥に對する溶黴性細菌と卒倒菌並に馬鈴薯菌との抵抗力の比較	千賀崎義香 ((農商務省)蠶業試驗場彙報第一四號ノ內 大正一一)	一	四二イ	三六九イ
熱及其療法	鈴置保長 大正四	一	六〇	三五八
熱學解說	理學研究會編 大正一〇 (參考物理學第二)	一	四六	二三五
熱河蒙古地方ニ關スル調査	朝鮮銀行調查局 (近藤廉一、松崎茂松)編 大正六 特	一	三二六	二九九
熱機關	內丸最一郎 四版 明治四五、大正元	一	六三	一八四イ
第二	蒸汽機關	一	六三	一八四ロ
第三	蒸汽タービン			
同	第三 六版 大正四	一	六三	一八四ハ
同	第一至四 五、六版 大正三、四	四	六三	一八四ハ
第一	蒸汽罐			
第四	瓦斯及石油機關			
同	第一、四前、後編 七版 大正五、七	三	六三	一八四ニ

		冊	函	號
熱機關	内丸最一郎 第一、二、四前編 七至一〇版 大正六、七	三	六三	一八四イ
同 第二 一二版	大正九	一	六三	一八四ヘ
熱灰を踏みつゝ(江戸史ノ一)	矢田挿雲(義勝) 大正一三	一	五一四	二七六
熱花碧血	瀧千尋 明治四五	一	四三	三二六
熱血宰相ケレンスキー	松尾正直 大正六	一	三七三	三六
熱血史談	溝口白羊 大正一〇	三	五〇〇	一三
第一編 國難 第二編 維新前後 第三編 維新の人々				
熱血の志士(幕末異聞ノ一)	本田活輝 大正一四	一	五四四	六五
根津權現裏	藤澤清造 大正一一	一	五〇六	五五
同	大正一五	一	五〇六イ	五五イ
熱情	モウバッサン著 瀬戸義直譯(モウバッサン全集第一〇巻ノ内 大正一〇)		三九〇	四一
熱性病の合理的治療法	水口耕治 大正一五	一	五三	二四〇
熱帶衞生	岡部庸三郎 大正一四	一	六一	三四
熱帶衞生並に熱帶病提要	臺灣軍々醫部編 大正一一	一	五九	六七
熱帶生活	宮島幹之助 大正八	一	三八七	七
熱帶の作物	近藤萬太郎(農學研究第九巻ノ内 大正一五)	雜	三八	二イ
熱帶病學	隈川基 大正元	一	六〇	三八
熱帶綠肥植物栽培試驗	山田金治(臺灣總督府中央研究所林業部報告第三號ノ内 大正二三)	一四一三	イ	二八五ヘ

		冊	函	號
熱電子管	藤村信次 大正一二	一	五二	四一
熱と力と涙とに輝く本願寺圣史	中村碧湖、松岡良友 大正九	一	三九二	一六四
熱に依つて起る硝子板表面の失透に就いて	雨宮良孝等(旭硝子株式會社試驗所報告第四) 大正一〇	一	一四二イ	五一二
熱罵冷評	高島大圓 大正六	一	三六三	三三九
熱筆(名著選集ノ一)	文藝協會編 大正一三	一	五二三	二一七
尾崎紅葉の金色夜叉(德田秋江) 夏目漱石の虞美人草(西宮藤朝) 德富蘆花の思ひ出の記(川路柳虹) 柳川春葉のなさぬ仲(永代美知代) 櫻井忠溫の肉彈(扇永渙)				
熱風	三上於菟吉 大正一三	一	五三八	四五
同		一	五二三	二六二
熱力學	戸田信行 大正一四	一	三三三	四二〇
熱力學	藤村信次 大正一五	一	四六	二九二
熱量標準藥としての安息酸に就いて	平野榮助、木村季治 大正一四(燃料研究所研究報告第一號) 附 ボンプ熱量計に關する參考事項	一	四五	一四六イ
寢床	モウバッサン著 矢口達譯(モウバッサン全集第一一巻ノ内 大正一〇)	三九〇		四一
根南志草	平賀源内(平賀源内集ノ内 大正一一)	五〇六		一八三
無根詖諧集	艸士撰 安井知之校(農門珍書百種第五編) 大正一四	一	五四五	四
同		一	五四五	四イ
寐ぬ夜のすさび	片山賢 四巻(國書刊行會本新燕石十種第五ノ内 大正二)	三四三		四ろ

		冊	函	號
寢ぬ夜の夢	柳井三碩(日本衞生文庫第四輯ノ内 大正六)	六一		二〇四
涅槃講式	源信撰(大日本佛教全書第三三册ノ内 大正五)	三五三		一〇
涅槃學社叢書	同社發行	一	〇	五四九
第二 醒心曲 附錄付	(支、蓁愼鳴)			七八
涅槃經集解	梁、寶亮等集 明治四五(大日本續藏經第四六七至四六九册)	三	〇	二五
涅槃經本有今無偈論	天親造 陳、眞諦譯(大正新脩大藏經第二六巻釋經論部下毘曇部 大正一五)	四四		三七四
同		八六		三九一
涅槃之圖	奥村政信畫	一軸	特	
涅槃への道	ヴアレー・ブーサン著 木村善堯譯 大正一五	一		五三三
涅槃略說教誡經	高昌寬我譯(現代意譯根本佛教聖典叢書第六巻ノ内 大正一三)	五一五		一〇四
涅槃論	坊岡堯法(關西學院本(高野山)大學パンフレット ノ内 大正一四)	五二四		三七〇
涅槃論	婆藪槃豆作 元魏、達磨菩提譯 第二六巻釋經論部下毘曇部一ノ内 大正一五)	四四		三七四
同		八六		三九一
壽の門松	近松門左衞門著 森田秀雄編(近松戯曲全集ノ内 大正一四)	五四		一五八
壽の門松(山與次兵衞ノ一崎)	近松門左衞門著(近松門左衞門全集第八巻ノ内 大正一二)	ん	特	一七八
同	近松門左衞門著 饗庭篁村校(文藝叢書第一二册世話淨瑠璃名作集ノ内 大正三)	一		五三三
同	近松門左衞門著 木谷蓬吟(正之助)註(解說註釋大近松全集第五巻ノ内 大正一一)	五〇五		三六
同	近松門左衞門著 小林蟄子校(近松世話淨瑠璃集成ノ内 大正八)	三七七		三二
同	近松門左衞門著 忠見慶造校註(近松淨瑠璃集下巻ノ内 大正一五)	四三		一三
壽の門松	近松門左衞門著 森田秀雄編(近松戯曲全集ノ内 大正一四)	五四		一五八
壽の門松(山與次兵衞ノ一崎)	近松門左衞門(近松門左衞門全集第八巻ノ内 大正一二)	ん	特	一七八
同	近松門左衞門著 饗庭篁村校(文藝叢書第一二册世話淨瑠璃名作集ノ内 大正三)	三四五		一ぬ
同	近松門左衞門著 木谷蓬吟(正之助)註(解說註釋大近松全集第五巻ノ内 大正一一)	五〇五		三六
同	近松門左衞門著 小林蟄子校(近松世話淨瑠璃集成ノ内 大正八)	三七七		三二
同	近松門左衞門著 忠見慶造校註(近松淨瑠璃集下巻ノ内 大正一五)	四三		一三

		冊	函	號
壽の門松(山與次兵衞ノ一崎)	近松門左衞門著 水谷弓彦註(新釋插圖近松傑作全集第一巻ノ内 大正一〇)	三三九		四九イ
根府川方面山津浪調査報告	今村明恒(震災豫防調査會報告第一〇〇號乙ノ内 大正一四)	一四四		一一五
根府川山崩調査報告	松澤武雄(震災豫防調査會報告第一〇〇號乙ノ内 大正一四)	一四四		一一五
根曲竹ニ關スル研究	内田繁太郎(盛岡高農同窓會學術彙報第一巻ノ内 大正一二)	一四五		一三
ねまがりだけ撲滅試驗	河田杰、西森道也(農商務省)林業試驗彙報第一號ノ内 大正九)	一四三	ロ	一三五
合歡の花	田山花袋(花袋全集第六巻ノ内 大正一二)	五一五		三六
眠られぬ夜の爲め	ヒルテイ著 平田元吉譯 大正九	一		三九二
ねむりぐさ(漫畫漫筆ノ一)	吉井勇 大正二	一		三三九
根室要覽	附岡付 近藤龜次郎編 大正二	一		三五〇
根室郷土誌	根室教育會編 大正七	一		三七三
根室線名寄線增毛線全通記念寫眞帖	鐵道省北海道建設事務所發行 大正一一	一		四二三
根室實業家名鑑	關口勝美 大正九	一		三八〇
千島				七一
ネルソン	肝付兼行、大原里靖(偉人傳叢書第六册) 大正四	一		三四六
然阿上人傳	道光(淨土宗全書第一七巻ノ内 大正二)	三三四		六三
念貽堂詩集	日笠藤江(哲夫) 大正四	一〇		二三四
粘液樣「パラチフス」B型菌ト非粘液樣(普通)「パラチフス」B型菌トノ免疫反應比較研究	丸山芳登(臺灣總督府研究所報告第一回ノ内 明治四五)	一四二	イ	二八五

年刊歌集　大正一二年版　石導辻五郎等編　大正一二　一冊　五三　一九

年刊句集　岩谷山梔子編　大正一五　一　五一七　三〇七

年刊俳句集　高木蒼梧、三浦十八公編　大正一五　一　五五一　一六三

年金を購ふ話　手島益雄　大正一五　七〇頁　一　五四九　一五四

年貢納帳　寫本　一五枚〔天文二〇年東寺ノ年貢帳ナリ〕　特一〇　八三〇　六八

年貢考　長久保赤水（日本經濟叢書卷一六ノ內　大正四）　三四六　一八

拈華微笑　尾崎紅葉（紅葉全集第一卷ノ內　一二版　明治四五）　七四　三四六ハ

同　七四　三四六ニ

拈華微笑　釋宗演（禪學文庫第七編）　大正四　一　三五　三五

拈花微笑　村上素道　大正二　〃　三四二　三八

年始御飾物帳　寫本　四枚　一〇　一三　一四五

粘柴ノ粘質物ニ就テ　片山徹吉（臺灣總督府研究所報告第四回ノ內　大正四）　一四二イ　二八五

粘狀度測定裝置ニ就テ　山下潤藏（印刷局研究所調査報告第一二號ノ內　大正四）　一四五　一二

念處經　宇野圓空、林五邦譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第二卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四

年數早見歷代年號表　（世界歷史對照年表附錄）勝美編　四版　大正七　枚一　一九　六七九

年成錄　中井履軒（日本經濟叢書卷一六ノ內　大正四）　三四六　一八

念大休禪師語錄　正念撰（大日本佛教全書第九六冊ノ內　大正三）　三五三　一〇

年代記錄　ゲーテ著　奥津彦重、關口存男譯（ゲーテ全集第一七卷）　大正一五　一　五五九　一九

年中行事　（賀茂氏入保隆所傳）（續群書類從第一〇輯ノ上公事部ノ內　再版　大正一五）　八三〇　三二ロ

年中行事繪卷考　卷一至一五　田中有美編〔大正四〕　一冊　五三　一七

同　大正九　一五　四二　五九イ

年中行事御障子文　（續群書類從第一〇輯ノ上公事部ノ內　再版　大正一五）　八〇　三二ロ

年中行事抄　（續群書類從第一〇輯ノ上公事部ノ內　再版　大正一五）　八〇　三二ロ

年中行事大概　（續群書類從第一〇輯ノ上公事部ノ內　再版　大正一五）　八〇　三二ロ

年中恒例記　廣橋兼秀（續群書類從第二三輯ノ下武家部ノ內　大正一三）　八〇　三二イ

同　八〇　三二ハ

年中故事　玉田永教　一〇卷（國書刊行會本民間風俗年中行事ノ內　大正五）　三三〇　五〇ニ

年中孵化育雛法　湯原德之介　大正六　一　三六一　一七一

粘土細工と其燒法　大森光彥　大正一四　一　五四一　七

粘土燒燒の製法　松村浦吉　大正四　一　三三九　五八三

粘土ヨリあるみなヲ得ル實驗報告　高井祥作（東京工業試驗所報告第九回ノ內　大正四）　一四二イ　一二七

粘土ヨリ「アルミナ」及ビ「アルミニウム」製造ノ工業的實驗　山崎甚五郎（東京工業試驗所報告第二二回第一號ノ內　大正一五）　一四二イ　一一七

同　一四二イ　一一七ロ

年內神事次第舊記　（諏訪史料叢書第一卷ノ內　大正一四）　一六二　一四六

ねんねえ旅籠　ヴイード著　森鷗外譯（鷗外全集第二三卷ノ內　大正一三）　特五二〇　一

同　五二〇　一イ

年々作合生米多少考　新田目道茂（近世社會經濟叢書第六卷ノ內　大正一五）　一　三四二　四八五

拈八方珠玉集　宋、祖慶重編　三卷（大日本續藏經第五九二冊ノ內　明治四五）　二　三五　二

念佛三昧法語　眞盛著　譽尾順敬等註（國文東方佛教叢書第三卷法語部ノ內　大正一四）　五三九　六七

念佛對法華論　林彥明　大正八　一　三七三　三六九

念佛の師弟（曲）　有門茂　大正一一　一　五〇六　二四八

念佛寶號　曇運撰（大日本佛教全書第二四冊ノ內　大正二）　三五三　一〇

念佛無上醍醐編　諦認撰　三卷（大日本佛教全書第七〇冊ノ內　大正八）　三五三　一〇

念佛略記　源信撰（大日本佛教全書第三一冊ノ內　大正五）　三五三　一〇

念佛往生記　近松門左衞門（近松門左衞門全集第二卷ノ內　大正一一）　五〇五　五八

同　近松門左衞門著　藤井乙男校註（近松全集第一卷ノ內　大正一四）　五一〇　四〇

同　特五二〇　四〇イ

念佛往生の教義の發達　望月信亨（明治聖德記念學會紀要第二四、二五卷ノ內　大正一四）　一四五　一

念佛往生明導箚　僧濬（續淨土宗全書第一三ノ內　大正一一）　三二四　六三

同（大日本佛教全書第九八冊ノ內　大正一一）　三五三　一〇

年末の一日　芥川龍之介（日本小說集第二集ノ內　大正一五）　五三九　五六

燃油學　福富忠雄　大正一三　一　五二一　八八

燃藜室記述　第一至六　朝鮮古書刊行會編　大正元（朝鮮群書大系續第一一至一六輯）　六　三三〇　五

燃藜室記述別集　第一至三　朝鮮古書刊行會編　大正二（朝鮮群書大系續第一九至二一輯）　三　三三〇　五

年齡成長及死　チヤールズ・エス・マイノツト著　荒木文助譯　大正四（大日本文明協會刊行書第三期ノ內）　一　三四二　四八五

年齡體質季節に關する飮食物の研究　伊藤尚賢編　大正九（飮食物研究叢書第六編）　一　六〇　五二八

年齡に遊戲教育　下間芳克　大正一五　一　二七六　四一七

年齡分け育兒法　天野誠齋等編　大正一二　六四四頁　一　五六　一八九

燃料　吉田弘（自然界の話第一〇編ノ內　大正一〇）　五一五　三四

燃料及窯業法　細木松之介編　橋本萩三郎補　三版　明治四四（化學工業全書第八冊）　一　四五　一九〇ニ

燃料講話　石炭の焚き方　平松末吉　大正九　一　三八一　六六

燃料學　岩崎重三　大正一二　五五四頁　一　五〇七　一三六

燃料協會誌　同會發行　第一卷第一號（大正一一年八月）　雑三一・ヨリ　八三

燃料研究所彙報　同所發行　大正一五　一　四五　一四六ロ

第一號　獨逸褐炭工業　附　本邦に於ける褐炭工業に就て（賀田立二）　一　四五　一四六ロ

燃料研究所研究報告　同所發行　大正一四、一五　一　四五　一四六イ

第一號　熱量標準藥としての安息酸に就て　附　ボンプ熱量計に關する參考事項（平野榮助、木村季治）　一　四五　一四六イ

第二號　瓦斯バーナーの研究（黑川眞武）　一　五〇七　一三六

第三號　石炭の熱分解に就て（內田正次郎）　雑三一・　八三

燃料研究資料　內藤游　大正一二　一　五一六　一〇四

燃料國策之根基　綜合科學研究部編　大正一五　一　五三四　五一八

燃料試驗法及石炭購買法　若林金五郎　大正九　一　三八五　一三

		冊	函	號
燃料の節約と汽罐の保全	中條義守 大正一四	一	五四三	九一
燃料況論	吉岡藤作 大正一五	一	五五三	九
燃料問題とメタン瓦斯發生裝置構造法	泰東社編 訂五版 大正一四	一	五四一	一四八
燃料問題に就きて	大島義清（化學工業講演集第七回ノ内 大正一四）		五三四	三五五
燃料問題の將來	辻井眞編 大正一三	一	三九〇	七〇
年錄	慶長一九至安政六年 寫本〔德川幕府年錄ナリ、缺アリ〕	特	五三四。	八三三 一

ノ

		冊	函	號
ノア・ノア	ポオル・ゴオガン著 小泉鐵譯 大正二	一	三三八	二三五
同	大正一二	一	五一七	二八三
同	ポール・ゴオガン著 前川堅市譯 大正一五	一	五一七	三八五
のいばら種子ニ關スル研究	小山光男（〔農商務省〕林業試驗彙報第一六號ノ内 大正一四）	イ	一四二	一二五
ノイラステニア、セクシュアーリス	（生殖器性神經衰弱） 植松七九郎 大正一四	一	六〇	六七五
能因法師	岡本綺堂（綺堂戲曲集第一卷ノ内 大正一三）		五二七	一六
能因法師（百人一首之内）	（三島明神の雨） 國芳畫	一	別七	五八
能謠秘訣	大和田建樹 大正二	一	三五〇	八
能惠得業大般若經書寫供養事	（大日本佛教全書第一二二冊ノ内 大正一二）	一	三五三	一〇
農界五大偉人稼穡傳	高橋吉古 大正六	一	三九	八六四
能樂	フランシスコ・リヴァス・ヴォクニヤ 大正九	一	三七三	四五六
能樂繩奧集	卷一至六 木下敬賢 訂補 大正二		六〇	二 八〇 イ
能樂考	瀧澤馬琴（解）（國書刊行會本百家隨筆第三ノ内 大正七）		三三〇	五三
農學講演集	第一至三卷 大原奬農會編 大正七至一一	三	三七二	一三四
農學講義	橫井時敬 大正四（新選百科全書第一二九編）	一	七八	九三
農學講義大全	大日本農事協會編 大正元	一	三二六	二九
農學研究	大原奬農會編 大正一四	一	雜	八 二 イ
農學教科園藝篇	谷忠一	一	三二九	八五六

		冊	函	號
農學總論講義	攝待初郎（農學講義大全ノ内 大正元）		三二六	二九
能樂の鑑賞	野口米次郎 大正一四（野口米次郎ブックレット第四編）	一	五四八	五
能樂萬代鑑	齋藤芳之助編 大正五	特 一	四一〇	四五
農家貫行	蓍相山 一卷（日本經濟叢書卷一五ノ内 大正四）		三四六	一八
農家訓	山名文成（日本經濟叢書卷五ノ内 大正三）		三四六	一八
同	（改訂日本經濟叢書第五卷ノ内 大正一二）		四四	三七三
農家經營叢書	有隣堂發行 大正四至九		八	三五 三五三
農家經營實地應用五用論	杉山元治郎 大正六		一	三七三 八六
農家經營の實際	杉山元治郎 大正五			三四六 一八
農家經濟	齋藤萬吉（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ内 大正二）			三三五 一三三 八
農家經濟	山崎延吉（高等蠶業講習會講演筆記ノ内 大正九）			三八〇 六六
農家經濟講話	山崎延吉 大正二			三四九 一八六
農家經濟研究會要錄	第一回 德島縣農會編 三八頁 大正二			三九七 四一五
能樂私論	坂元雪鳥（三郎） 大正三（現代文藝叢書第三八編）	一	三三八	二三三
能樂審美	觀世喜之 大正一四	特 一	四一四	三三
能樂スケッチ集	河合英忠畫 明治四五	一	三四三	一三
能樂盛衰記	上卷 江戸の能 附圖付、下卷 東京の能 附能樂研究 池内信嘉 大正二四、一五	二枚	五四三	一三八
能樂全史	橫井春野 大正六	一	三七一	五四
能樂の實際	種子壽命論（近藤萬太郎） 蒟蒻畠の乾性腐敗病原に就いて（笠井幹夫） 昆虫の生態について（三）（春川忠吉） 再び植物の視外生物病に就いて（笠井幹夫） 玉蜀黍の「ヘルミントスポリウム」病に就いて（附圖一至三）（西門義一、三宅忠一）			
第九卷	實驗遺傳學より見たる稻の形質（山口彌輔） 土壤微生物の概要（板野新大） 水素イオン濃度の測定法と其植物病害研究上の應用（西門義一） 苗代の施肥量に就て（岡村保） 土壤の炭素率（Carbon-Nitrogen ratio）及ほす微生物の影響に就て（荒川左千代） 熱帶の作物（附圖第一至四）（近藤萬太郎）			
第八卷				

		冊	函	號
農家經濟調査	大正一〇至一二年度　靜岡縣農會編　大正一三	一	一四四	六八〇
農家經濟調査	大正四年度　帝國農會編　大正八	一	一四四、四	四七四
農家經濟調査	大正一〇年度　農商務省農務局編　大正一三	一	一四四、四	四七四ノ一
農家經濟調査報告	宮城縣內務部地方課統計係編　大正六	一	三三六	二四〇
農家經濟農產食料品製造	古瀨傳藏　大正七	一	三六一	二六七
農家經濟の要訣	岐阜縣教育會編　大正一一（通俗文庫第七篇）	一	三五五	七八
農家經濟之研究	江幡辰三郎　大正四	一	三五八	九三
農家經濟之研究	愛知縣東春日井郡農會編　大正六	一	三三九	八九〇
農家經濟の新研究	栗原藤七郎　大正一五	一	五四七	二四
農家經濟の話	山崎延吉　大正四	一	三六〇	二〇五
農家經濟法（興產致富ノ一）	井上正賀　大正五	一	三六〇	二七四
農家收益增進法	今村猛雄　大正五	一	三六一	二
農家畜病の醫者	富益義衛編　大正二	一	三四四	一五七
農家致富實驗副業要鑑	鈴木米藏、江幡辰三郎　大正一四	一	五三七	九五
農家童子訓	岡熊臣（通俗經濟文庫卷七ノ內　大正六）		三五五	五三
農家虎の卷	宮城縣立農事試驗場編　大正一二　七九頁	一	三九三	五七八
農家の一年（增益庶法ノ一）	別名　新農家曆　米山英躬　大正七	一	三六一	二〇三
農家の金儲	萬代虎藏　明治四五	一	三三三	二八四
農家の經濟	山崎延吉（我農生）　大正二	一	八八	三七八

		冊	函	號
農家の栞	山口縣豐浦郡岡枝村農會編　大正七	一	三七三	一八二
農家の指針	愛知縣農會編　大正四	一	三七	四五三
農家の指針	埼玉縣入間郡加治村役場編　大正九	一	三七三	四三八
農家のしるべ	櫻井親治　大正七	一	三七二	一五三
農家の寶	吉田作藏　大正九	一〇	一二	三五五
農家之友	高橋亮三編　大正一〇	一〇	一二	四六二
農家の副業	（有利なる除蟲菊の栽培）安住伊三郎　大正五	一	七〇	三六五
農家の副業（趣味と實益ノ一）	笹澤三善　大正一五	一	五六四	一三三
農家の簿記	井上龜五郎　大正三	一	三四九	三五一
農家の簿記	佐藤寬次　大正四	一	三五六	四〇
農家の模範的經營	市川源三　大正三	一	三三九	四五三
農家の模範的經營	農村教育研究會編　大正六	一	三六一	七三
農家寶典	稻垣乙丙、工藤齊編　大正九	一	三九五	二六
農家寶典蔬菜栽培季節便覽	松崎榮三　大正六	一枚	三六四	一八二
農家繁榮策	日下雍山（眞佐市）　大正五	一	二一	四九五
農家秘訣窒素肥料經濟法	鈴木千代吉　大正三	一	三五一	一四
農家必携	愛知縣東加茂郡農會編　大正四	一	三六〇	二二七
農家必携	第一輯　新潟縣農事試驗場編　大正九	一	三九三	一四五
農家必携通俗農事試驗法	井關十二郎　明治四五	一	三三七	六四八

		冊	函	號
農家必携	第二輯　新潟縣農事試驗場編　大正一〇	一	三四二	三一四
農家必携	第三輯　新潟縣農事試驗場編　大正一一	一	三四二	三一四ノ一
農家必携	第四輯　新潟縣農事試驗場編　大正一二	一	三四二	三一四ノ二
農家必携	第五輯　新潟縣農事試驗場編　大正一三	一	三四二	三一四ノ三
農家必携	第六輯　新潟縣農事試驗場編　大正一四	一	三四二	三一四ノ四
農家必携	第七輯　新潟縣農事試驗場編　大正一五	一	三四二	三一四ノ五
農家必携	第八輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二	一	三四二	三一四ノ六
農家必携	第九輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三	一	三四二	三一四ノ七
農家必携	第十輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四	一	三四二	三一四ノ八
農家必携	第十一輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五	一	三四二	三一四ノ九
農家必携	第十二輯　新潟縣農事試驗場編　昭和六	一	三四二	三一四ノ一〇
農家必携	第十三輯　新潟縣農事試驗場編　昭和七	一	三四二	三一四ノ一一
農家必携	第十四輯　新潟縣農事試驗場編　昭和八	一	三四二	三一四ノ一二
農家必携	第十五輯　新潟縣農事試驗場編　昭和九	一	三四二	三一四ノ一三
農家必携	第十六輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一〇	一	三四二	三一四ノ一四
農家必携	第十七輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一一	一	三四二	三一四ノ一五
農家必携	第十八輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一二	一	三四二	三一四ノ一六
農家必携	第十九輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一三	一	三四二	三一四ノ一七
農家必携	第二十輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一四	一	三四二	三一四ノ一八
農家必携	第二十一輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一五	一	三四二	三一四ノ一九
農家必携	第二十二輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一六	一	三四二	三一四ノ二〇
農家必携	第二十三輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一七	一	三四二	三一四ノ二一
農家必携	第二十四輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一八	一	三四二	三一四ノ二二
農家必携	第二十五輯　新潟縣農事試驗場編　昭和一九	一	三四二	三一四ノ二三
農家必携	第二十六輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二〇	一	三四二	三一四ノ二四
農家必携	第二十七輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二一	一	三四二	三一四ノ二五
農家必携	第二十八輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二二	一	三四二	三一四ノ二六
農家必携	第二十九輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二三	一	三四二	三一四ノ二七
農家必携	第三十輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二四	一	三四二	三一四ノ二八
農家必携	第三十一輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二五	一	三四二	三一四ノ二九
農家必携	第三十二輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二六	一	三四二	三一四ノ三〇
農家必携	第三十三輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二七	一	三四二	三一四ノ三一
農家必携	第三十四輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二八	一	三四二	三一四ノ三二
農家必携	第三十五輯　新潟縣農事試驗場編　昭和二九	一	三四二	三一四ノ三三
農家必携	第三十六輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三〇	一	三四二	三一四ノ三四
農家必携	第三十七輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三一	一	三四二	三一四ノ三五
農家必携	第三十八輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三二	一	三四二	三一四ノ三六
農家必携	第三十九輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三三	一	三四二	三一四ノ三七
農家必携	第四十輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三四	一	三四二	三一四ノ三八
農家必携	第四十一輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三五	一	三四二	三一四ノ三九
農家必携	第四十二輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三六	一	三四二	三一四ノ四〇
農家必携	第四十三輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三七	一	三四二	三一四ノ四一
農家必携	第四十四輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三八	一	三四二	三一四ノ四二
農家必携	第四十五輯　新潟縣農事試驗場編　昭和三九	一	三四二	三一四ノ四三
農家必携	第四十六輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四〇	一	三四二	三一四ノ四四
農家必携	第四十七輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四一	一	三四二	三一四ノ四五
農家必携	第四十八輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四二	一	三四二	三一四ノ四六
農家必携	第四十九輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四三	一	三四二	三一四ノ四七
農家必携	第五十輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四四	一	三四二	三一四ノ四八
農家必携	第五十一輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四五	一	三四二	三一四ノ四九
農家必携	第五十二輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四六	一	三四二	三一四ノ五〇
農家必携	第五十三輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四七	一	三四二	三一四ノ五一
農家必携	第五十四輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四八	一	三四二	三一四ノ五二
農家必携	第五十五輯　新潟縣農事試驗場編　昭和四九	一	三四二	三一四ノ五三
農家必携	第五十六輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五〇	一	三四二	三一四ノ五四
農家必携	第五十七輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五一	一	三四二	三一四ノ五五
農家必携	第五十八輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五二	一	三四二	三一四ノ五六
農家必携	第五十九輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五三	一	三四二	三一四ノ五七
農家必携	第六十輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五四	一	三四二	三一四ノ五八
農家必携	第六十一輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五五	一	三四二	三一四ノ五九
農家必携	第六十二輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五六	一	三四二	三一四ノ六〇
農家必携	第六十三輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五七	一	三四二	三一四ノ六一
農家必携	第六十四輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五八	一	三四二	三一四ノ六二
農家必携	第六十五輯　新潟縣農事試驗場編　昭和五九	一	三四二	三一四ノ六三
農家必携	第六十六輯　新潟縣農事試驗場編　昭和六〇	一	三四二	三一四ノ六四
農家必携	第六十七輯　新潟縣農事試驗場編　昭和六一	一	三四二	三一四ノ六五
農家必携	第六十八輯　新潟縣農事試驗場編　昭和六二	一	三四二	三一四ノ六六
農家必携	第六十九輯　新潟縣農事試驗場編　昭和六三	一	三四二	三一四ノ六七
農家必携	第七十輯　新潟縣農事試驗場編　昭和六四	一	三四二	三一四ノ六八
農家必携	第七十一輯　新潟縣農事試驗場編　平成元	一	三四二	三一四ノ六九
農家必携	第七十二輯　新潟縣農事試驗場編　平成二	一	三四二	三一四ノ七〇
農家必携	第七十三輯　新潟縣農事試驗場編　平成三	一	三四二	三一四ノ七一
農家必携	第七十四輯　新潟縣農事試驗場編　平成四	一	三四二	三一四ノ七二
農家必携	第七十五輯　新潟縣農事試驗場編　平成五	一	三四二	三一四ノ七三
農家必携	第七十六輯　新潟縣農事試驗場編　平成六	一	三四二	三一四ノ七四
農家必携	第七十七輯　新潟縣農事試驗場編　平成七	一	三四二	三一四ノ七五
農家必携	第七十八輯　新潟縣農事試驗場編　平成八	一	三四二	三一四ノ七六
農家必携	第七十九輯　新潟縣農事試驗場編　平成九	一	三四二	三一四ノ七七
農家必携	第八十輯　新潟縣農事試驗場編　平成一〇	一	三四二	三一四ノ七八
農家必携	第八十一輯　新潟縣農事試驗場編　平成一一	一	三四二	三一四ノ七九
農家必携	第八十二輯　新潟縣農事試驗場編　平成一二	一	三四二	三一四ノ八〇
農家必携	第八十三輯　新潟縣農事試驗場編　平成一三	一	三四二	三一四ノ八一
農家必携	第八十四輯　新潟縣農事試驗場編　平成一四	一	三四二	三一四ノ八二
農家必携	第八十五輯　新潟縣農事試驗場編　平成一五	一	三四二	三一四ノ八三
農家必携	第八十六輯　新潟縣農事試驗場編　平成一六	一	三四二	三一四ノ八四
農家必携	第八十七輯　新潟縣農事試驗場編　平成一七	一	三四二	三一四ノ八五
農家必携	第八十八輯　新潟縣農事試驗場編　平成一八	一	三四二	三一四ノ八六
農家必携	第八十九輯　新潟縣農事試驗場編　平成一九	一	三四二	三一四ノ八七
農家必携	第九十輯　新潟縣農事試驗場編　平成二〇	一	三四二	三一四ノ八八
農家必携	第九十一輯　新潟縣農事試驗場編　平成二一	一	三四二	三一四ノ八九
農家必携	第九十二輯　新潟縣農事試驗場編　平成二二	一	三四二	三一四ノ九〇
農家必携	第九十三輯　新潟縣農事試驗場編　平成二三	一	三四二	三一四ノ九一
農家必携	第九十四輯　新潟縣農事試驗場編　平成二四	一	三四二	三一四ノ九二
農家必携	第九十五輯　新潟縣農事試驗場編　平成二五	一	三四二	三一四ノ九三
農家必携	第九十六輯　新潟縣農事試驗場編　平成二六	一	三四二	三一四ノ九四
農家必携	第九十七輯　新潟縣農事試驗場編　平成二七	一	三四二	三一四ノ九五
農家必携	第九十八輯　新潟縣農事試驗場編　平成二八	一	三四二	三一四ノ九六
農家必携	第九十九輯　新潟縣農事試驗場編　平成二九	一	三四二	三一四ノ九七
農家必携	第一〇〇輯　新潟縣農事試驗場編　平成三〇	一	三四二	三一四ノ九八
農家必携	第一〇一輯　新潟縣農事試驗場編　令和元	一	三四二	三一四ノ九九
農家必携	第一〇二輯　新潟縣農事試驗場編　令和二	一	三四二	三一四ノ一〇〇
農家必携	第一〇三輯　新潟縣農事試驗場編　令和三	一	三四二	三一四ノ一〇一
農家必携	第一〇四輯　新潟縣農事試驗場編　令和四	一	三四二	三一四ノ一〇二
農家必携	第一〇五輯　新潟縣農事試驗場編　令和五	一	三四二	三一四ノ一〇三
農家必携	第一〇六輯　新潟縣農事試驗場編　令和六	一	三四二	三一四ノ一〇四
農家必携	第一〇七輯　新潟縣農事試驗場編　令和七	一	三四二	三一四ノ一〇五
農家必携	第一〇八輯　新潟縣農事試驗場編　令和八	一	三四二	三一四ノ一〇六
農家必携	第一〇九輯　新潟縣農事試驗場編　令和九	一	三四二	三一四ノ一〇七
農家必携	第一一〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇	一	三四二	三一四ノ一〇八
農家必携	第一一一輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一	一	三四二	三一四ノ一〇九
農家必携	第一一二輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二	一	三四二	三一四ノ一一〇
農家必携	第一一三輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三	一	三四二	三一四ノ一一一
農家必携	第一一四輯　新潟縣農事試驗場編　令和一四	一	三四二	三一四ノ一一二
農家必携	第一一五輯　新潟縣農事試驗場編　令和一五	一	三四二	三一四ノ一一三
農家必携	第一一六輯　新潟縣農事試驗場編　令和一六	一	三四二	三一四ノ一一四
農家必携	第一一七輯　新潟縣農事試驗場編　令和一七	一	三四二	三一四ノ一一五
農家必携	第一一八輯　新潟縣農事試驗場編　令和一八	一	三四二	三一四ノ一一六
農家必携	第一一九輯　新潟縣農事試驗場編　令和一九	一	三四二	三一四ノ一一七
農家必携	第一二〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和二〇	一	三四二	三一四ノ一一八
農家必携	第一二一輯　新潟縣農事試驗場編　令和二一	一	三四二	三一四ノ一一九
農家必携	第一二二輯　新潟縣農事試驗場編　令和二二	一	三四二	三一四ノ一二〇
農家必携	第一二三輯　新潟縣農事試驗場編　令和二三	一	三四二	三一四ノ一二一
農家必携	第一二四輯　新潟縣農事試驗場編　令和二四	一	三四二	三一四ノ一二二
農家必携	第一二五輯　新潟縣農事試驗場編　令和二五	一	三四二	三一四ノ一二三
農家必携	第一二六輯　新潟縣農事試驗場編　令和二六	一	三四二	三一四ノ一二四
農家必携	第一二七輯　新潟縣農事試驗場編　令和二七	一	三四二	三一四ノ一二五
農家必携	第一二八輯　新潟縣農事試驗場編　令和二八	一	三四二	三一四ノ一二六
農家必携	第一二九輯　新潟縣農事試驗場編　令和二九	一	三四二	三一四ノ一二七
農家必携	第一三〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和三〇	一	三四二	三一四ノ一二八
農家必携	第一三一輯　新潟縣農事試驗場編　令和三一	一	三四二	三一四ノ一二九
農家必携	第一三二輯　新潟縣農事試驗場編　令和三二	一	三四二	三一四ノ一三〇
農家必携	第一三三輯　新潟縣農事試驗場編　令和三三	一	三四二	三一四ノ一三一
農家必携	第一三四輯　新潟縣農事試驗場編　令和三四	一	三四二	三一四ノ一三二
農家必携	第一三五輯　新潟縣農事試驗場編　令和三五	一	三四二	三一四ノ一三三
農家必携	第一三六輯　新潟縣農事試驗場編　令和三六	一	三四二	三一四ノ一三四
農家必携	第一三七輯　新潟縣農事試驗場編　令和三七	一	三四二	三一四ノ一三五
農家必携	第一三八輯　新潟縣農事試驗場編　令和三八	一	三四二	三一四ノ一三六
農家必携	第一三九輯　新潟縣農事試驗場編　令和三九	一	三四二	三一四ノ一三七
農家必携	第一四〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和四〇	一	三四二	三一四ノ一三八
農家必携	第一四一輯　新潟縣農事試驗場編　令和四一	一	三四二	三一四ノ一三九
農家必携	第一四二輯　新潟縣農事試驗場編　令和四二	一	三四二	三一四ノ一四〇
農家必携	第一四三輯　新潟縣農事試驗場編　令和四三	一	三四二	三一四ノ一四一
農家必携	第一四四輯　新潟縣農事試驗場編　令和四四	一	三四二	三一四ノ一四二
農家必携	第一四五輯　新潟縣農事試驗場編　令和四五	一	三四二	三一四ノ一四三
農家必携	第一四六輯　新潟縣農事試驗場編　令和四六	一	三四二	三一四ノ一四四
農家必携	第一四七輯　新潟縣農事試驗場編　令和四七	一	三四二	三一四ノ一四五
農家必携	第一四八輯　新潟縣農事試驗場編　令和四八	一	三四二	三一四ノ一四六
農家必携	第一四九輯　新潟縣農事試驗場編　令和四九	一	三四二	三一四ノ一四七
農家必携	第一五〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和五〇	一	三四二	三一四ノ一四八
農家必携	第一五一輯　新潟縣農事試驗場編　令和五一	一	三四二	三一四ノ一四九
農家必携	第一五二輯　新潟縣農事試驗場編　令和五二	一	三四二	三一四ノ一五〇
農家必携	第一五三輯　新潟縣農事試驗場編　令和五三	一	三四二	三一四ノ一五一
農家必携	第一五四輯　新潟縣農事試驗場編　令和五四	一	三四二	三一四ノ一五二
農家必携	第一五五輯　新潟縣農事試驗場編　令和五五	一	三四二	三一四ノ一五三
農家必携	第一五六輯　新潟縣農事試驗場編　令和五六	一	三四二	三一四ノ一五四
農家必携	第一五七輯　新潟縣農事試驗場編　令和五七	一	三四二	三一四ノ一五五
農家必携	第一五八輯　新潟縣農事試驗場編　令和五八	一	三四二	三一四ノ一五六
農家必携	第一五九輯　新潟縣農事試驗場編　令和五九	一	三四二	三一四ノ一五七
農家必携	第一六〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和六〇	一	三四二	三一四ノ一五八
農家必携	第一六一輯　新潟縣農事試驗場編　令和六一	一	三四二	三一四ノ一五九
農家必携	第一六二輯　新潟縣農事試驗場編　令和六二	一	三四二	三一四ノ一六〇
農家必携	第一六三輯　新潟縣農事試驗場編　令和六三	一	三四二	三一四ノ一六一
農家必携	第一六四輯　新潟縣農事試驗場編　令和六四	一	三四二	三一四ノ一六二
農家必携	第一六五輯　新潟縣農事試驗場編　令和六五	一	三四二	三一四ノ一六三
農家必携	第一六六輯　新潟縣農事試驗場編　令和六六	一	三四二	三一四ノ一六四
農家必携	第一六七輯　新潟縣農事試驗場編　令和六七	一	三四二	三一四ノ一六五
農家必携	第一六八輯　新潟縣農事試驗場編　令和六八	一	三四二	三一四ノ一六六
農家必携	第一六九輯　新潟縣農事試驗場編　令和六九	一	三四二	三一四ノ一六七
農家必携	第一七〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和七〇	一	三四二	三一四ノ一六八
農家必携	第一七一輯　新潟縣農事試驗場編　令和七一	一	三四二	三一四ノ一六九
農家必携	第一七二輯　新潟縣農事試驗場編　令和七二	一	三四二	三一四ノ一七〇
農家必携	第一七三輯　新潟縣農事試驗場編　令和七三	一	三四二	三一四ノ一七一
農家必携	第一七四輯　新潟縣農事試驗場編　令和七四	一	三四二	三一四ノ一七二
農家必携	第一七五輯　新潟縣農事試驗場編　令和七五	一	三四二	三一四ノ一七三
農家必携	第一七六輯　新潟縣農事試驗場編　令和七六	一	三四二	三一四ノ一七四
農家必携	第一七七輯　新潟縣農事試驗場編　令和七七	一	三四二	三一四ノ一七五
農家必携	第一七八輯　新潟縣農事試驗場編　令和七八	一	三四二	三一四ノ一七六
農家必携	第一七九輯　新潟縣農事試驗場編　令和七九	一	三四二	三一四ノ一七七
農家必携	第一八〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和八〇	一	三四二	三一四ノ一七八
農家必携	第一八一輯　新潟縣農事試驗場編　令和八一	一	三四二	三一四ノ一七九
農家必携	第一八二輯　新潟縣農事試驗場編　令和八二	一	三四二	三一四ノ一八〇
農家必携	第一八三輯　新潟縣農事試驗場編　令和八三	一	三四二	三一四ノ一八一
農家必携	第一八四輯　新潟縣農事試驗場編　令和八四	一	三四二	三一四ノ一八二
農家必携	第一八五輯　新潟縣農事試驗場編　令和八五	一	三四二	三一四ノ一八三
農家必携	第一八六輯　新潟縣農事試驗場編　令和八六	一	三四二	三一四ノ一八四
農家必携	第一八七輯　新潟縣農事試驗場編　令和八七	一	三四二	三一四ノ一八五
農家必携	第一八八輯　新潟縣農事試驗場編　令和八八	一	三四二	三一四ノ一八六
農家必携	第一八九輯　新潟縣農事試驗場編　令和八九	一	三四二	三一四ノ一八七
農家必携	第一九〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和九〇	一	三四二	三一四ノ一八八
農家必携	第一九一輯　新潟縣農事試驗場編　令和九一	一	三四二	三一四ノ一八九
農家必携	第一九二輯　新潟縣農事試驗場編　令和九二	一	三四二	三一四ノ一九〇
農家必携	第一九三輯　新潟縣農事試驗場編　令和九三	一	三四二	三一四ノ一九一
農家必携	第一九四輯　新潟縣農事試驗場編　令和九四	一	三四二	三一四ノ一九二
農家必携	第一九五輯　新潟縣農事試驗場編　令和九五	一	三四二	三一四ノ一九三
農家必携	第一九六輯　新潟縣農事試驗場編　令和九六	一	三四二	三一四ノ一九四
農家必携	第一九七輯　新潟縣農事試驗場編　令和九七	一	三四二	三一四ノ一九五
農家必携	第一九八輯　新潟縣農事試驗場編　令和九八	一	三四二	三一四ノ一九六
農家必携	第一九九輯　新潟縣農事試驗場編　令和九九	一	三四二	三一四ノ一九七
農家必携	第二〇〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇〇	一	三四二	三一四ノ一九八
農家必携	第二〇一輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇一	一	三四二	三一四ノ一九九
農家必携	第二〇二輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇二	一	三四二	三一四ノ二〇〇
農家必携	第二〇三輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇三	一	三四二	三一四ノ二〇一
農家必携	第二〇四輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇四	一	三四二	三一四ノ二〇二
農家必携	第二〇五輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇五	一	三四二	三一四ノ二〇三
農家必携	第二〇六輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇六	一	三四二	三一四ノ二〇四
農家必携	第二〇七輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇七	一	三四二	三一四ノ二〇五
農家必携	第二〇八輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇八	一	三四二	三一四ノ二〇六
農家必携	第二〇九輯　新潟縣農事試驗場編　令和一〇九	一	三四二	三一四ノ二〇七
農家必携	第二一〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一〇	一	三四二	三一四ノ二〇八
農家必携	第二一一輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一一	一	三四二	三一四ノ二〇九
農家必携	第二一二輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一二	一	三四二	三一四ノ二一〇
農家必携	第二一三輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一三	一	三四二	三一四ノ二一一
農家必携	第二一四輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一四	一	三四二	三一四ノ二一二
農家必携	第二一五輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一五	一	三四二	三一四ノ二一三
農家必携	第二一六輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一六	一	三四二	三一四ノ二一四
農家必携	第二一七輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一七	一	三四二	三一四ノ二一五
農家必携	第二一八輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一八	一	三四二	三一四ノ二一六
農家必携	第二一九輯　新潟縣農事試驗場編　令和一一九	一	三四二	三一四ノ二一七
農家必携	第二二〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二〇	一	三四二	三一四ノ二一八
農家必携	第二二一輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二一	一	三四二	三一四ノ二一九
農家必携	第二二二輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二二	一	三四二	三一四ノ二二〇
農家必携	第二二三輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二三	一	三四二	三一四ノ二二一
農家必携	第二二四輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二四	一	三四二	三一四ノ二二二
農家必携	第二二五輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二五	一	三四二	三一四ノ二二三
農家必携	第二二六輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二六	一	三四二	三一四ノ二二四
農家必携	第二二七輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二七	一	三四二	三一四ノ二二五
農家必携	第二二八輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二八	一	三四二	三一四ノ二二六
農家必携	第二二九輯　新潟縣農事試驗場編　令和一二九	一	三四二	三一四ノ二二七
農家必携	第二三〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三〇	一	三四二	三一四ノ二二八
農家必携	第二三一輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三一	一	三四二	三一四ノ二二九
農家必携	第二三二輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三二	一	三四二	三一四ノ二三〇
農家必携	第二三三輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三三	一	三四二	三一四ノ二三一
農家必携	第二三四輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三四	一	三四二	三一四ノ二三二
農家必携	第二三五輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三五	一	三四二	三一四ノ二三三
農家必携	第二三六輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三六	一	三四二	三一四ノ二三四
農家必携	第二三七輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三七	一	三四二	三一四ノ二三五
農家必携	第二三八輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三八	一	三四二	三一四ノ二三六
農家必携	第二三九輯　新潟縣農事試驗場編　令和一三九	一	三四二	三一四ノ二三七
農家必携	第二四〇輯　新潟縣農事試驗場編　令和一四〇	一	三四二	三一四ノ二三八
農家必携	第二四一輯　新潟縣農事試驗場編　令和一四一	一	三四二	三一四ノ二三九
農家必携	第二四二輯　新潟縣農事試驗場編　令

		冊	函	號
農藝化學講義	澤村眞 增訂四版 大正二	一	六四	一四六イ
農藝化學實驗法	澤村眞 訂四版 明治四五	一	八五	一四八イ
同 訂五版	大正五	一	八五	一四八ロ
農藝化學實驗法詳解	橫山春平 大正六	一	三七一	一三
農藝化學分析書 第一編 大正三	東京帝國大學農科大學編 三版	一	六三	八九ロ
同 第一、二編 四版	大正五、一〇	二	六三	八九ハ
農藝殺蟲劑	桑名伊之吉 大正一三	一	五二八	一一
農藝叢書	登美屋書店發行 大正一四	一	五四一	一八五
第二編 肥料の研究	（都乃田桂一編）			
農藝大辭林	土屋比奈夫編 大正二	一	三四七	九
農藝電氣講話	中川源三郎 大正四	一	三五一	九五
農藝の一年	川崎甫 大正一〇	一	三九三	二一〇
農藝文庫	辻川巳之助 大正二至四	一	三四四	三三三
實之卷 土之卷 肥之卷 日之卷				
稻之卷 豆之卷				
花之卷 菜之卷				
實之卷 松之卷				
一粒萬倍				
農隙餘談	利根川教覺（日本經濟叢書卷一四ノ內 大正四）	三四六	一八	
農業委託經營成績	靜岡縣農會事務所發行 大正三	一	三二六	四七
農業要集	宮負定雄（通俗經濟文庫卷五ノ內 大正五）		三五五	五三
農業害蟲防除要覽	高橋獎 補再版 大正六	一	三六四	二九四

		冊	函	號
農業園藝害蟲防除要覽	高橋獎 訂三版 大正九	一	三六四	二九四イ
農業園藝病害防除要覽	水口幾壽 大正六	一	三六四	二四五
農業及漁業戶別調查表（大正五年一）	千葉縣編 大正七	一	一四二ロ	一二六
農業改造論	岡本利吉 大正九（企業立憲論集第二）	一	三七九	三三
農業開發論	北崎進 大正元	一	三四二	二七三
農業講演集	黑木倉吉編 再版 大正二	一	三四六	二一イ
農業講演集	船山耕作編（農藝叢書第一輯） 大正二	一	三四六	二一
農政一斑	（橫井時敬）			
稻熱病に就て	（堀正太郎）			
種子の改良と種類の改善	（菊地稈）			
土用入後の稻作に就て	（同）			
檢米に就て	（林熊治郎）			
農作物の害蟲の防除	（梁田斌）			
農業講習會講演筆記	山崎延吉 大正元	一	三四三	二四九
農業學校の組織及經營	澤村眞 大正六	一	二九一	五四
農業家寶典	堀見百龜 大正九	一	三九五	一〇
農業家必携	渡邊得司郎 大正一二	一	五一六	一四四
農業技術員必携	新潟縣農會編 大正一二	一	五一三	一五七
農業技術者の友 第一、二卷	間瀨鉦太郎、鈴木敏夫 大正六	二	三六四	一二三
農業基本調查	臺灣總督府殖產局編 大正九至一三	六	一四二イ	四九七
第一	臺灣農家經濟調查 第一報			
第二	耕地分配及經營調查 大正一〇年			
第三	臺灣農家食糧消費調查 大正一一年			
第四	主要農作物生產調查 栽培戶數、作付面積 大正一〇年			
第六	主要農作物生產調查 生產收量、耕種法 大正一〇、一二年			
第七	同 大正一二年			

		冊	函	號
農業基本調查書	岡山縣農會編（同會彙纂第一五號） 大正九	一	一四二イ	四八五
農業基本調查報告	岡山縣農會編（同會彙纂第一七號） 大正九	一	一四二イ	四八五
農業共產制史論	黑正巖 大正一五	一	五六五	九三
農業金融	橋本傳左衛門（農業倉庫經營理事者養成講習會講演集第二卷ノ內 大正九）		三八〇	八六
農業金融論	井關孝雄 大正一五	一	五四七	二〇〇
農業科研究錄	前編 茨城縣小學校聯合教授法研究會編 大正八	一	二九一	六〇
農業關係重要品輸出入累年對照表	農商務省農務局編（農務彙纂第四九、六二） 大正三五	二	三三一	七五
農業館陳列品要覽	上、下編 徵古館農業館編 大正九、一〇	二	三九三	一六イ
同 再版	大正一二	一	三九三	一六イ
農業經營を有利ならしめたる畜產事例	米津政愛編（畜產經濟資料第一輯） 大正一四	一	一四五	一二五
農業經營講話	有元英夫 大正一三	一	五〇七	一六九
農業經營講話	山崎延吉 大正八	一	三八〇	四一
農業經營實用計算	稻垣乙丙 大正一〇	一	三三三	二八七
農業經營資料	岡山縣農會編（同會彙纂第一六號） 大正九	一	一四二イ	四八五
農業經營設計書と成績書	大正一三年度 愛知縣農會編 大正一五	一	五二四	四五一
農業經營農家經濟改善資料	加藤和一郎編 大正一三	一	五二四	一三八
農業經營の新形態	豐福保二 大正一五 八七頁	一	五二四	五三九
農業經濟	橫井時敬（福島縣農會主催第三回農村經營講習會講話集ノ內 大正元）	一	三三五	一三ロ

		冊	函	號
農業經濟講話	橫井時敬（橫井博士全集第四卷ノ內 大正一四）	一	一四二イ	四八五
同		特	五二〇	三
農業經濟學	石坂橘樹 大正一四	一	五三〇	一三八
農業經濟學	河田嗣郎 再版 大正一二 九二五頁	一	五一二	一三八
農業經濟學	澤村眞 訂五版 大正二	一	八五	七八ハ
同 訂六版	大正六	一	八五	七八ニ
同 訂七版	大正一一	一	八五	七八ま
同	澤村眞、同康 訂八版 大正一四	一	八五	七八ヘ
農業經濟學	橫井時敬（橫井博士全集第二卷ノ內 大正一四）		五二〇	三三
同		特	五二〇	三三イ
農業經濟學綱要	石坂橘樹 大正一四	一	五三〇	一二一
農業經濟學原論	トーマス・ニクソン・カーバー著 常菊太郎等譯 大正一五	一	五六三	二〇
農業經濟研究	岩波書店發行 第一卷第一號（大正一四年四月）ヨリ	雜	三八	三三
農業經濟の改造	河田嗣郎 大正一四	一	五四一	二八
農業經濟の問題	大場實治（最近經濟學の進步ノ內 大正一〇）	一	五一三	一二四
農業教育及教授法	橫井時敬 大正一五	一	二九一	七五
農業教育及農業教授法	澤村眞 大正元 六二二頁	一	二九一	三九
農業教育の改善	澤村眞（道府縣農會主任技師講習會講演集第一回ノ內 大正七）	一	三七一	九八
農業教育百題	橫井時敬（橫井博士全集第九卷） 大正一四	一	五二〇	三三

		冊	函	號
農業教育百題	横井時敬 大正一四（横井博士全集第九卷）	特一	五二〇	三イ
農業教師	古瀬傳藏 大正三	一	二九一	四四
農業教授大資料	片岡重助 大正三 一六二〇頁	一	二九一	四五
農業教授の理論及經營施設法（小學校新令準據）	松尾信作 明治四五	一	二九一	三四
農業原論	横井時敬、佐々木祐太郎 增訂七版 大正四	三	四五	二八八ロ
同	增訂 大正一〇	三	四五	二八八ハ
農業穀菜抄說	寫本	一〇	一六五	九〇
農業五十夜話	日本種苗株式會社編 大正元	一	三四四	七五
農業昆蟲學	高橋奬 訂再版 大正一四	一	五三七	一三六
農業細菌學	澤村眞 大正元	一	三四三	二三七
農業採種術審査法寶典	窪庭長五郎 大正四	一	三三七	七八三
農業爭議概況	大正一〇年一月至同一一年五月初旬 岡山縣警察部編 大正一一	一	三九三	三六一
農業倉庫（產業組合の經營する一）	產業組合中央會編 大正一三	一	五一八	九九
農業倉庫概況	大正九年度 山口縣內務部編 大正一一 一二頁	一	一四三ハ	八九
農業倉庫綱要	農商務省農務局編 大正六	一	三三六	二九五
農業倉庫綱要	宮崎縣編 大正八	一	三八八	三四
農業倉庫講習錄	產業組合中央會編 大正一四	一	五四三	一〇五
農業倉庫關係法令	農商務省農務局編 大正八	一	一四七	一七三

		冊	函	號
農業倉庫經營事例	農商務省農務局編 大正一四	一	五八	一三六
農業倉庫經營理事者養成講習會講演集	帝國農會編 大正九	二	三八〇	八六
第一卷	農業倉庫概論（橋本傳左衞門） 農業倉庫業法及產業組合法關係法規（竹內可吉） 農業倉庫の經營（同） 農業倉庫の帳簿及屆書報告に關する事項（安田二見）			
第二卷	穀物貯藏に就て（片山彥次郎） 同（大工原銀太郎） 穀物檢查（兒玉完次郎） 共同販賣（飯岡清雄） 農業金融（橋本傳左衞門） 農業倉庫の建築（高木源之助） 農業倉庫業者と保險（三浦襄道）			
農業倉庫經營論	橋田丑吾 大正七	一	三七一	七五
農業倉庫業法註釋	神奈川縣農會編 大正七	一	三一	六四七
農業倉庫事業成績	大正一二年度 農林省農務局編 大正一四	一	一四三イ	五五八
農業倉庫主任官協議會要錄	第一回 農商務省農務局編 大正八	一	一四三イ	四四四
農業倉庫主任官協議會要錄	第四、五回 農林省農務局編 大正一一、一五	二	八一 一二〇	
農業倉庫事例	農商務省農務局編 大正六	一	三三六	二九四
農業倉庫ニ關スル調査	農商務省農務局編（農務彙纂第五五） 大正四	一	三三一	七五
農業倉庫に關する調査	附 平均賣安全論の是非 廣島縣農會（中村越郎）編 大正一四（廣島縣農會調査第一輯）	一	一四五	一三四
農業倉庫法制定理由	法律新聞社編 大正六	一	三七三	一
農業倉庫論	河田嗣郎 大正七	一	三七一	八三
農業指導家必携（農政方面を主としたる）	岡田幸生、織田武市 大正一三	一	五一三	三〇一

		冊	函	號
農業上ヨリ見タル黃疸出血性「スピロヘーター」病（ワイル氏病）ノ豫防撲滅ニ關スル實地試驗成績	內務省衞生局（遠山祐三）編 〔大正一〇〕	一	一四六ハ	一一三
農業社會主義と組合社會主義	河田嗣郎 大正一二	一	五一二	五九
農業者と英蘭卸賣組合	齋藤保一郎編 大正一五	一	五二四	二九六
農業振興と產業組合	ブラット著 佐藤寬次譯 明治四五	一	三四三	七五
農業水利交涉事件ノ實例	農林省農務局編 大正一五	一	五一八	二〇七
農業水利慣行調查	農商務省農務局編 大正六	一	三三六	三三六
農業水利ニ關スル各國法令	上、下卷 農商務省農務局編 大正二、四	二	一四七	一一三
農業水利論	原澄次郎 大正二	一	三四九	九〇
農業政策	ヴイゴドヂンスキー著 山田勝次郎等譯 大正一三	一	五二一	八三
農業政策	大內武次 謄寫版 大正一三	一	一四	七二一
農業政策	フライヘル・フオン・デル・ゴルツ著 長崎常譯 大正元	一	三四二	二六一
農業政策	高岡熊雄（經濟全書第二卷經濟各論第一部第三編） 明治四四）		八七	一六四
農業政策	アドルフ・ブツヘンベルガー著 大正一五 八木芳之助譯	一	五五二	六三
農業政策	（大正一五年度東京帝國大學講義） 矢作榮藏 謄寫版 大正一五	一	一四	七六〇
同		一	一四	七六〇イ
農業政策改革論	中澤辨次郎 大正一三	一	三九三	六九九
農業世界	博文館發行 第一一卷第五號（大正五年四月）	雜	三八	五〇

		冊	函	號
農業全書自序	宮崎安貞（日本經濟叢書第二卷ノ內 大正三）	三	四六	一八
同	（改訂日本經濟叢書第二卷ノ內 大正一二）	四	四四	三七三
農業全書附錄	貝原樂軒（日本經濟叢書第二卷ノ內 大正三）	三	四六	一八
同	（改訂日本經濟叢書第二卷ノ內 大正一二）	四	四四	三七三
農業全書約言	陶山純翁（日本經濟叢書卷二三ノ內 大正四）	三	四六	一八
農業組織調查資料	第二輯 長野縣農會發行 大正三	一	三三六	四八
農業大經營の急務	カール・ブランク著 臨時產業調查局第四部譯編（同局）調查資料第一號ノ內 大正六）	一	一四二イ	四一八
農業釀造細菌研究法及檢索法	鈴木重禮、湯川又夫編 大正二	一	三四九	三六
農業統計	橫井時敬（國勢院統計講習會講演錄ノ內 大正一〇）	四	四五	五六三
農業動力及改良農具	上卷 水野夏一 大正一一	一	五〇九	六〇
農業と產業組合	松崎藏之助 訂六版 大正五	一	九九	九〇ロ
農業と社會主義	エドワード・カーペンター等著 時國理一譯 大正九	一	三六三	一七三
農業と社會主義	平野學 大正一五（農村問題叢書第一二編）	一	五四七	一六一
農業と社會政策	櫻田丑雄 大正三	一	三五〇	三一七
農業と農學（農學一研究一）	橫井時敬 大正六	一	三五八	二〇六
農業土木暗渠排水法	梅原千松 大正二	一	三四四	一六三
農業土木教科書	上野英三郎 改訂 大正四	一	七七	三九八イ
農業土木工學	井村實 大正九	一	三八一	七九

農業並水產業戶別調查表	第三回 大正一〇年 千葉縣編 大正一二	一	一四ロ	一二六
農業ニ於ケル就業時間制限事例	農商務省農務局編 大正一〇	一	三七八	二一一
同		一	三七八	二三三
農業之經營	千葉縣農會編 大正一二	一	五一三	九九
農業の社會化	カアル・カウツキイ、カアル・マルヒオニ著 河西太一郎譯 大正一四	一	五四一	一〇九
農業之日本	門前皓岳(弘多) 大正三	一	三四九	二六七
農業花曆	河野剛 明治三	一帖	一四九	六八
農業法規綱要	石坂橘樹 大正一五	一	五五二	七七
農業汎論	橫井時敬 (橫井博士全集第二卷ノ內 大正一四)	五二〇	三	
同		特 五三〇	三イ	
農業評價學の一部	佐藤寬次 (地方小作官講習會講演集ノ內 大正一四)	五一八	一八二	
農業百科全書(最新殖產)	四元內治編 大正四	一	三五八	八一
農業副產百科全書	帝國農業副產調查會編 大正三	一	三四九	二七四
農業便覽	吾郷友信 大正三 四一頁	一	三三九	四九六
農業保險の機能と組織	小平權一 大正一五 (農政叢書第一輯)	一	五四八	二五
實習指導の研究	杉浦源太郎 大正一五 (農業補習學校・高等小學校)	一	二七三	三
農業補習學校施設經營の實際	廣畑庄太郎 大正八	一	二九一	五七
農業補習學校の編成教授訓誡	宮武德治 大正二	一	二九一	四三
農業補習教育の理論及實際	ゲオルグ・ケルカー著 文部省專門學務局譯 大正八	一	二九一	五八
農業本論	新渡戶稻造 增訂改版 明治四五 七〇六頁	一	一四ニ	一二六
農業問題研究	河西太一郎 大正一五	一	三七八	二一一
農業問答集	加藤木保次編 大正二	一	三五〇	二〇二
農業用小型石油發動機取扱法	岐阜縣立農事試驗場編 大正一四	一	五三七	八三
農業用小型石油發動機の構造及其の修理法	本田哲致 大正一五	一	五四七	一四〇
農業用小型發動機講習會講演集	大阪發明協會編 大正一二 六九頁	一	三九七	四九〇
發動機の試驗に就て	(池下守清)			
超ヂーゼル小型發動機概說	(竹下辰四郎)			
全國優良農具展覽會審査に就て	(田中米治郎)			
動力と內燃機關 內燃機關と超ヂーゼル小型發動機				
(鶴見正四郎)				
歐米に於ける機械の利用に就て	(宮原雅男)			
農業用小型發動機比較審査成績	大正一四年度 農林省農務局編 大正一五	一	五二四	四七八
農業用トラクトルに就て	中村留二 大正八	一	三七八	六八
農業用「トラクトル」の略說	農商務省農務局編 大正一〇	一枚	一九	七一六
農業用揚水機調查	第二次 農商務省農務局編 (農務彙纂第四五) 大正二	一	三三一	七五
農業用揚水機調查	第三次 農商務省食糧局編 大正一一	一	三六八	一七三
農業餘話	小西篤好 文政一一	二〇	一二三	一六八
同	(日本經濟叢書卷一九ノ內 大正四)		三四六	一八
農業勞働と小作制	河田嗣郎 大正一一	一	五〇三	三〇八
農業勞働ノ保護	河田嗣郎 (金井敎授在職二十五年記念 最近社會政策ノ內 大正五)		三六六	五
農業勞働保險事例	農商務省農務局發行 大正一〇 三三頁	一	三七八	二三一
農業勞力調查書	大正一一年度 栃木縣內務部編 大正一三	一	四一六	九五
農作行事の栞	神奈川縣產業部編 大正一一 一二頁	一	三六八	一六三
農作物害蟲	茨城縣立農事試驗場編 大正六	一	三三六	二四四
農作物害敵防除法	奧澤留三郎 大正五	一	三五八	一四六
農作物五割以上增收法(懸賞論文)	駒場農學研究會編 大正三	一	三四四	三八五
農作物の害蟲の防除	梁田斌 (農蠶叢書第一輯農業講演集ノ內 大正一二)	三四六	二	
同		三四六	二イ	
農作物の灰成分に對する促肥素の影響	里村輝男 (旭硝子株式會社試驗所報告第一六ノ內 大正一四)	一四一イ	五一二	
農作物の病害	岐阜縣立農事試驗場編 大正五	一	三三九	八六九
農作物病蟲害豫防奬勵ニ關スル參考資料	農商務省農務局編 大正八 (病菌害蟲彙報第六號)	一四一イ	三八六	
農作物病菌害蟲驅除豫防奬勵ニ關スル參考資料	農商務省農務局編 大正八 (病菌害蟲彙報第六號)	一四一イ	三八六	
農作物病菌害蟲防制論	村田壽太郎 大正八	一	三七二	二三八
農作物害除防之栞	森孝一 大正五	一	二	四九二
農作物豫防驅除劑	工藤文太郎編 大正八	一	三七三	三三一
農作物病蟲害豫防關係法規要覽	農商務省農務局編 大正一一	一	一四、七	三三〇
農作物病蟲害豫防事務要覽	農商務省農務局編 大正一三 (病菌害蟲彙報第一二號)	一	一四二イ	三八六
農作物病蟲害豫防事務概要	農商務省農務局編 明治四五 (農務彙纂第二七)	一	三三一	七五
農作物病蟲害防除要覽	西谷順一郎 大正一二	一	五〇七	九四
農作物利用法	鈴木敬策 大正元 (實驗應用通俗產業叢書第二四編)	一	七八	七七
農作儲貨銀統計表	大正一四年 農林大臣官房統計課編 大正一五	一	一四、二	二一五
農產簡易加工法	佐瀨文哉 大正八	一	三八六	一五五
農產製造學	澤村眞 增訂 大正一四	一	三四三	二八九イ
農產製造原論	澤村眞 明治四五	一	三二七	六四九
農產製造玉蜀黍の栽培と利用	山本久助 大正四	一	三三九	五四五
農蠶叢書	千年社發行 大正二、三	三	三四六	一二
第一輯	農業講演集 (船山耕作編)			
第二輯	蠶業講演集 (同)			
第三輯	簡易肥料鑑定法講義錄 (今關常次郎)			
同 第一輯	再版 大正六	一	三四六	二イ
農產物倉庫論	內池廉吉 大正六	一	三七一	三六
農產物出荷取引指針	大阪府農會發行 再版 大正一四	一	五四五	一
第一輯 實用蔬菜果物取引と大阪市場	(宮前義嗣、永市耕人)			
農產物增收法種子のとりかたとこやし	見波定治 大正三	一	三三九	四三〇
農產物ノ販路ニ關スル調查報告	第五編 北海道農產物檢查所編 大正一五	一	一四、二イ	五六六
農產物利用叢書	有隣堂發行 大正七、九	三	三七五	一九
第三編 十大利益稻麥麩稈利用法	(辻川已之助)			
第四編 手輕るな菜葉利用法	(山本久助)			
第五編 石刁柏栽培調理法	(錦織薄)			

	冊	函	號
濃州郷帳　寫本	一	一六五	一二六
農事園藝 虎之巻　河野二郎編　大正四	一	三三九	五四三
農事改良實行成績　大正四年　岡山縣内務部編　大正五	一	一四、二	三八二
農事講習講義錄　福岡縣立農事試驗場編　大正四	一	三三七	七〇四
農事講習錄　富山縣農會發行　大正八	一	三七二	二七四
農事講習錄　奈良縣北葛城郡役所編　大正六	一	三七二	九九八
農事顧問　第一輯　小櫟新聞社編　再版　大正九	一	三八六	二四六
農事相談所問答集　第一號　宮崎縣農會編　大正六	一	一四、二イ	四一九
農事試驗并ニ委托栽培成績報告　大正五、七年度　帝室林野管理局編　大正六至八	二	一四、二イ	四一三
同（自大正二年度至大正六年度）大正七	一	一四、二イ	四一二
農事實疑應答集　角谷諦次編　大正五	一	三三七	八四一
農事實質問應答錄　神奈川縣農會編　大正六	一	三三七	九九九
農事十二ヶ月　四元內治　大正五	一	三七	四八一
農事大會講演集　岡山縣農會編　大正一二	一	五一八	三八
農事電化梗要　神奈川縣內務部編　大正一五	一	五三四	二七五
農事統計表　大正一一至一四年　農商務大臣官房統計課編　大正一三至一五（「農會調査農事統計」ノ改題）	四	一四、二ロ	一九
農事と農學　横井時敬（横井博士全集第三卷ノ內　大正一四）	一	五二〇	三三
同	一	五二〇	三イ

	冊	函	號
農事に就いて　石山勝太郎（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ內　大正一二）	一	三三五	一三三
農商工一月）至第四卷第一〇號（大正三年一〇月）　內外商品新報社發行　第四卷第一號（大正三年	二	雜三七	三三
農商工統計調査心得　天野廣編　大正四	一	三三七	七二六
能裝束模様傑作集　第一至第六輯　齋藤芳之助　大正七、八	一	四二一	一八
能裝束模様百佳選　第一至一〇卷　齋藤芳之助　大正八、九	一〇	四二一	四
〔農商務省〕園藝試驗場調査報告　同場發行　大正一二三（第三號ヨリ「農林省」園藝試驗場報告」ト改題）	一	一四二イ	五四七
第二號　ワシントン・ネーブルオレンヂの調査（高橋郁郎編）	一	一四、三イ	五一六
農商務省園藝試驗場報告　第一號　同場編　大正一一	一	三七三	一八七
農商務省海外實業練習生案內　森久彦　大正七	一	四〇	四二六
〔農商務省生絲檢查所〕生絲檢查成績報告　明治四四年　同所編　明治四五（大正五年ヨリ「農商務省」生絲檢查所報告」ト改題）	一	四〇	四二六
〔農商務省〕生絲檢查所事業成績報告　明治四五至大正四、七至一一、一三、一四年　同所編　大正二至一五	二	一四、二イ	二六六イ
〔農商務省〕生絲檢查所調査報告　明治四四至大正一〇、一三年　同所編　大正二至一四	二	一四、二イ	二六六
〔農商務省〕生絲檢查所報告　大正五、六年　同所編　大正六、七（「農商務省生絲檢查所」生絲檢查成績報告」ノ改題）	二	四〇	四二六
農商務省工藝展覽會圖錄　第六至一一回　同省編　大正八至一四（「農商務省圖案及應用作品展覽會圖錄」ノ改題、「商工省工藝展覽會圖錄」ト改題）	六	三三一	八六

	冊	函	號
農商務省工藝展覽會圖錄　第一〇、一一回　同省編　大正一二、一四（「農商務省圖案及應用作品展覽會圖錄」ノ改題、「商工省工藝展覽會圖錄」ト改題）	二	三三一	八六イ
〔農商務省〕蠶業試驗場彙報　同場編　大正六至一五（第二七號ヨリ「農林省」蠶業試驗場彙報」ト改題）	五	一四、二イ	三六九イ
第一號　凍害に關する調査及試驗（同場編）新藁屋に於て蔓蠶する一原因に就て（甘利進一）コンクリート土の昇汞水消毒に就て（石渡繁胤）			
第二號　桑樹發芽並に發育に關する調査（同場編）			
第三號　蠶室に於ける蟻酸アルデヒード瓦斯消毒消毒器内より空氣の流出ありたるときに於ける蟻酸アルデヒド瓦斯の消毒効力（石渡繁胤）			
第四號　改良蠶箔使用に關する調査（河西大彌）蒸氣消毒裝置に於ける消毒試驗（石渡繁胤）			
第五號　一代雜種の繊度に就て（大澤孝三、守田一）			
第六號　一代雜種蠶兒の飼育法に就て（大田直）桑園間作試驗（同場編）			
第七號　桑園肥料試驗（同場編）大正九年春蠶作柄不良に關する調査（大澤孝三）蠶蠶增收劑給與試驗（同）蠶兒飼料としてのアキノノゲシの調査（農商務省蠶業試驗場編）			
第八號　蠶に及ぼすレントゲン線の影響に就て（藤浪剛一）埋葬法に關する實驗成績（河西大彌）			
第九號　二化性冷藏蠶種の發生に關する調査（渡邊勘次）蠶兒飼育法に關する調査（櫻井基之編）			
第一〇號　蠶の二化一化一代雜種の春期飼育に關する調査（大澤孝三編）本場配付蠶種に關する調査（農商務省蠶業試驗場編）			
第一一號　生絲繰絲湯竝に繰越蠶の腐敗に就て（志村鎌太郎）生絲繰絲湯竝に繰越蠶の防腐劑の研究　其四　五種の酸に就て（志村鎌太郎）桑樹寒枯研究の現狀（山内爲壽）桑園肥料用量試驗（吉村武三吉編）			
第一二號　殺蛹法に關する試驗（角鴿喜一郎）			
第一三號　桑の品種試驗成績（吉村武三吉編）			
第一四號　第一回　同場編　大正四至一五			

	冊	函	號
〔農商務省〕蠶業試驗場要覽　同場編　大正七	一	三七二	一一
〔農商務省〕蠶業試驗場事蹟報告　第一至九、一一回　同場編　大正四至一五	五	一四、二イ	三七七

〔農商務省〕蠶業試驗場報告　同場編（第六卷第一〇號ヨリ「農林省」蠶業試驗場報告ト改題）　大正四至大正一四　七　一四、イ　三六九

第一卷第一號　桑葉ノ窒素化合物研究（片山越夫）
桑ノ品種ニ依ル葉ノ解剖的差異ニ就テ（大澤一衞）
第二號　のぜまばむびしす（微粒子病々原體）ノ構造及發育圈ニ關スル研究（工藤六三郎）
蠶兒ニ於ケル辛倒菌ノ病原性ニ就イテ（青木薰、千賀崎義香）　同
辛倒菌ノ毒素ニ就テ（同）
無毒辛倒菌ニ就テ（同）
蠶兒ノ細菌學的研究ニ於ケル凝集反應ノ應用ニ就テ並ニ辛倒菌あるべー菌及ビ丘大菌ガ同一者ナリヤ否ヤニ就テノ研究（同）
蠶兒ニ於ケル沈澱反應ニ關スル所見（青木薰）
第三號　蠶蛆蠅ノ習性ニ就テ（甘利進一）
絹絲ノ形成ニ就テ（平塚英吉）
日本産桑屬ノ二新種（小泉源一）
第四號　桑ニ關スル細胞學的並ニ實驗的研究（大澤一衞）
第五號　桑ノ菌類ニ就テ（三宅市郎）
蟻酸あるでひーど瓦斯ノ消毒力ト溫度並ニ濕度トノ關係（石渡繁胤）蒸氣消毒ニ就テ
蠶ニ寄生スル絲狀菌ニ就テ　其一（石渡繁胤、三宅市郎）
第二卷第一號　沈繰製絲試驗成績（農商務省蠶業試驗場編）
第二號　蠶ノ一代雜種ノ研究（同）
同附錄　一代雜種試驗成績調査表（同）
第三號　蠶兒、蠶蛹、蠶蛾ニ寄生スル壁蝨ぺでくろいですニ關スル研究　第一報（甘利進一）　其二（同）
蠶蛆蠅ノ習性ニ就テ（同）
第四號　蠶卵ノ呼吸特ニ炭酸瓦斯發生量ニ就テ（鈴木廣吉）
家蠶蛹ノ窒素化合物ニ就テ（片山越夫）
貯藏中ニ於ケル桑葉成分ノ變化ニ就テ（同）
家蠶ノ營養ニ關スル研究（平塚英吉）
蠶兒膿病多角體ノ免疫學的研究（青木薰、千賀崎義香）

蠶兒胃液ノ免疫學的研究（青木薰、本多實芳）
第三卷第一號　桑屬植物考（小泉源一）
第二號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的研究　第一報告
空頭病蠶ニ於テ發見セラレタル强キ病原性ヲ有セル二種ノ細菌ニ就テ（青木薰、山内爲壽）　同
第二報告
所謂類似辛倒病菌ト千葉口菌トノ比較研究（同）
第三號　絹絲蟲ノ細胞學的研究（勝木喜重）
第四號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第三報告
軟化病蠶兒ニ於ケル連鎖狀ノ球菌ニ就テ（青木薰、本多實芳）
第五號　同　第四報告
巨大菌屬中ニ於テ石渡氏辛倒菌ニ類似セル細菌ノ研究（青木薰、千賀崎義香）
第六號　沈繰及浮繰ノ兩製絲法ノ化學的研究（渡邊綱男）
朝摘及夕摘桑葉ノ飼料的價値ニ就テ（平塚英吉）
蠶兒、蠶蛹、蠶蛾ニ寄生スル壁蝨ぺでくろいですニ關スル研究　第二報（甘利進一）
麥粒中ノたるそねーます壁蝨ノ形態（同）
第七號　蠶兒ノ蠅卵嚙下後ニ於ケル蠶蛆ノ生育（佐々木忠次郎）
第八號　蠶ノ化性ニ關スル研究　第一報（三宅市郎）
四化性ト二化性トノ遺傳關係ニ就テ（渡邊勘次）
蠶ノ色ト外界ノ事情トノ關係ニ就テノ研究　第一報（石渡繁胤）蠶蛻蠶ノ體色ニ就テ（同）
第四卷第一號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第五報告
辛倒菌ニ關スル研究續報（千賀崎義香）
同　第六報告
辛倒菌ノ如キ毒素ヲ生成スル一種ノ類似辛倒菌ニ就テ（青木薰、千賀崎義香）
第二號　家蠶ノ血液ノ色ト其繭色トノ關係ニ就キテ（宇田一）
蠶ノ化性ニ關スル研究　第二報　一化性ト四化性トノ遺傳關係ニ就テ（渡邊勘次）
蠶ノ色ト外界ノ事情トノ關係ニ就テノ研究　第二報　卵色ト蠶水液膜內色素ノ分布ト關係（同）
第三號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第七報告
蠶兒膿病多角體ノ免疫學的研究（青木薰、千賀崎義香）

蠶兒、蠶蛹、蠶蛾ニ寄生スル壁蝨ぺでくろいですニ關スル研究　第三報（甘利進一）
第四號　蠶兒ノ蠅卵嚙下後ニ於ケル蠶蛆ノ生育（佐々木忠次郎）
第五號　蠶ノ化性ニ關スル研究　第一報（三宅市郎）
蠶ノ化性ニ關スル研究　第二報（渡邊勘次）
蠶ノ化性ト四化性トノ遺傳關係ニ就テ（渡邊勘次）
四化性トノ遺傳關係ニ就テノ研究　第二報（石渡繁胤）蠶ノ色ト外界ノ事情トノ關係ニ就テノ研究　第一報（同）
蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第五報告
辛倒菌ニ關スル研究續報（千賀崎義香）
第六號　同　第六報告
辛倒菌ノ如キ毒素ヲ生成スル一種ノ類似辛倒菌ニ就テ（青木薰、千賀崎義香）
第二號　家蠶ノ血液ノ色ト其繭色トノ關係ニ就キテ（宇田一）
蠶ノ化性ニ關スル研究　第二報　一化性ト四化性トノ遺傳關係ニ就テ（渡邊勘次）
蠶ノ色ト外界ノ事情トノ關係ニ就テノ研究　第二報　卵色ト蠶水液膜內色素ノ分布ト關係（同）
第三號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第七報告
蠶兒膿病多角體ノ免疫學的研究（青木薰、千賀崎義香）　同
第八報告

黴菌ニ屬スル細菌ノ種類ニ就テ（青木薰、本多實芳）
第四號　蠶兒、蠶蛹及蠶蛾ヨリ採取セル病原性ニ就テ第九報告（甘利進一）
春蠶ニ散發セル辛倒狀軟化病蠶ニ見出サレタル細菌ニ就テ（青木薰、山内爲壽）
蠶卵ノ冷藏ニ就テ（永野辰五郎）
ふおるまりんト稀釋液撒布ヨリ發散スル蟻酸瓦斯量及之レガ消毒力（石渡繁胤）
家蠶ノ膿病及天柞蠶ノあんず病ニ存スル多角體ノ酵素ニ關スル研究（三宅市郎）　同
第五號　柴紋羽病菌ニ就テ（同）
第六號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第一〇、一報告（本多實芳）
所見（本多實芳）
其一　連鎖球菌ニ就テ　細菌類ニ就テ
其二　連鎖球菌以外ノ細菌類ニ就テ
第一二報告
卒倒狀軟化病蠶ニ於ケル連鎖狀球菌ニ關スル所見（千賀崎義香）
第五卷第一號　煮繭場及繰絲湯ニ關スル化學的研究　第一報
煮繭場及繰絲湯ニ含マルル燐酸鹽ニ就テ（渡邊綱男）
各蠶期ニ於ケル桑葉ノ飼料的成分（鈴木廣吉）
第二號　夏秋蠶雜種ノ研究（大澤孝三編）
第三號　蠶ノ一代雜種ノ研究續報（同）
（一）數學的設明
（二）軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第一三報告
蠶兒ニ於ケル敗血症ノ實驗的研究（千賀崎義香）
第四號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第一三報告
蠶兒ニ於ケル敗血症ノ實驗的研究（千賀崎義香）
第五號　同　第一四報告
蠶兒膿病ノ研究（青木薰、本多實芳）
第六號　煮繭場及繰絲湯ニ關スル化學的研究　第一報
煮繭場及繰絲湯ニ含マルル銅ニ就テ（渡邊綱男）
蠶兒、蠶蛹、蠶蛾ニ寄生スル壁蝨ぺでくろいですニ關スル研究　第三報（甘利進一）

蠶兒胃液ノ免疫學的研究（青木薰、本多實芳）
第三卷第一號　桑屬植物考（小泉源一）
第二號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的研究　第一報告
空頭病蠶ニ於テ發見セラレタル强キ病原性ヲ有セル二種ノ細菌ニ就テ（青木薰、山内爲壽）　同
第二報告
所謂類似辛倒病菌ト千葉口菌トノ比較研究（同）
第三號　絹絲蟲ノ細胞學的研究（勝木喜重）
第四號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第三報告
軟化病蠶兒ニ於ケル連鎖狀ノ球菌ニ就テ（青木薰、本多實芳）
第五號　同　第四報告
巨大菌屬中ニ於テ石渡氏辛倒菌ニ類似セル細菌ノ研究（青木薰、千賀崎義香）　同
第六號　沈繰及浮繰ノ兩製絲法ノ化學的研究（渡邊綱男）
朝摘及夕摘桑葉ノ飼料的價値ニ就テ（平塚英吉）
蠶兒、蠶蛹、蠶蛾ニ寄生スル壁蝨ぺでくろいですニ關スル研究　第二報（甘利進一）
麥粒中ノたるそねーます壁蝨ノ形態（同）
第七號　蠶兒ノ蠅卵嚙下後ニ於ケル蠶蛆ノ生育（佐々木忠次郎）
第八號　蠶ノ化性ニ關スル研究　第一報（三宅市郎）
四化性トノ遺傳關係ニ就テ（渡邊勘次）
蠶ノ色ト外界ノ事情トノ關係ニ就テノ研究　第一報（石渡繁胤）蠶蛻蠶ノ體色ニ就テ（同）
第四卷第一號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第五報告
辛倒菌ニ關スル研究續報（千賀崎義香）
第六號　同　第六報告
辛倒菌ノ如キ毒素ヲ生成スル一種ノ類似辛倒菌ニ就テ（青木薰、千賀崎義香）
第二號　家蠶ノ血液ノ色ト其繭色トノ關係ニ就キテ（宇田一）
蠶ノ化性ニ關スル研究　第二報　一化性ト四化性トノ遺傳關係ニ就テ（渡邊勘次）
蠶ノ色ト外界ノ事情トノ關係ニ就テノ研究　第二報　卵色ト蠶水液膜內色素ノ分布ト關係（同）
第三號　蠶ノ軟化病ノ研究　細菌學的檢索　第七報告
蠶兒膿病多角體ノ免疫學的研究（青木薰、千賀崎義香）　同
第八報告

〔農商務省〕蠶業取締事務成績　大正七、九至一二年度　農商務省農務局編
大正九至一四　農商務省農務局編

〔農商務省〕蠶業取締成績　大正元至三、五、六年度　農商務省農務局編
大正三至八（「蠶病豫防成績」ノ改題）

農商務省山林局林業試驗場要覽　同局編　明治四五　一一四、三　二九
同　大正二　一三四　一〇〇
同　大正七　一三四　一〇〇

農商務省山林局林業試驗場要覽　同局編　大正一〇　一冊　函號 一三四 一〇八

農商務省指定試驗桑園成績　三重縣立農事講習所編　大正六　一　三六八　四

〔農商務省〕畜產試驗場要覽　同場編　大正一二　一　一四、ロ　一九三

〔農商務省〕畜產試驗場報告　同場編　大正一〇至一三　二　一四、イ　四八四

第一卷第一號「ブチロメーター」ニ依ル乳肉及其製品ノ脂肪定量法ニ關スル研究（山下脇人、中江利郎）
飜沙ノ飼料的價値ニ關スル研究（角田英二）
「バター」ノ水分定量法ニ關スル研究（中江利郎）

第二號「カゼイン」製造ニ關スル研究（藤村儀鑑）
緬羊ノ寄生蟲ニ關スル研究 第一回報告（能美季一）
草食動物ノ尿ヨリ安息香酸ノ製出ニ就テ（中江利郎）

第三號「バター」ノ製造ニ關スル研究（藤村儀鑑）
牛ノ肥育ニ關スル試驗（八鍬儀七郎等）
第一回報告　但馬牛及神戶牛
第二回報告　鳥取牛及島根牛

第四號 日本式截切法ニ據ル牛肉片ノ市價ト其ノ榮養價値（飯田吉英）
「ハム」製造上豚肉ノ鹽漬ニ關スル研究（飯田吉英、角田英二）
豚ノ「スピロヘーテ」ニ關スル實驗例（能美季一、松尾豐治）

第二卷第一號 大豆粕ノ乳牛飼料トシテノ價値（八鍬儀七郎、工藤重佐）
飴粕ノ飼料價値ニ就テ 第一回報告（齋藤道雄）

第二號 アバディーン、アンガス種ニ關スル研究（中江利郎）
第二回報告（釘本昌二、羽部義孝）

第三號 豚ノ「スピロヘーテ」ニ關スル研究 附 追補（能美季一、松尾豐治）
第四號 豚ノ飼料ニ關スル試驗（川上三男、山下脇人）

第一回 飼料單用價値比較試驗
第二回 鹽米糠併用試驗

〔農商務省〕畜產統計　同省農務局編　大正一〇　一冊　函號 一六五

〔農商務省〕畜產統計　第三次　同省農務局編　大正元（農務彙纂第三六）　一冊　函號 一三一　七五

農商務省圖案及應用作品展覽會圖錄　第一至五回　同省編　大正二至七　五　三三一　八六
〔第六回ヨリ「農商務省工藝展覽會圖錄」ト改題〕

農商務省圖書類別目錄　和書ノ部　農商務大臣官房文書課編　大正三　一　三一八　六、イ

〔農商務省〕農事試驗場事務功程　明治四三至大正一三年度　同場編　大正元至一五　六　一四、ニ　二〇五

農商務省養鷄講習會講義　第一、二回　大正二、三　禽友會編　二　三四九　二三四

〔農商務省〕林業試驗彙報　農商務省林業試驗場編　大正九至一四　一　一四、ニ　イ
〔第一七號ヨリ「農林省」林業試驗彙報」ト改題〕

第一號 ねまがりだけ撲滅試驗（河田杰、西森道也）
森林ノ氣象ニ及ホス影響（江原貞吉、桃井治三郎）
まだけノ朱病害ニ就テ（北島君三）
鉛筆軸木用材試驗（杉浦庸一）
立木ノ層積算定補助表（山本和藏）
苗木速成栽培法（明永久次郎）

第二號 林野產藥用植物栽培試驗（大迫元雄）
はごろもさうノ飼肥料的價値ニ就テ（同）
からまつヲ害スル葉蜂類ニ就テ（矢野宗幹）
なたねぎノ材質試驗（杉浦庸一）
「コルク」代用木栓（同）
萬代式木材乾餾窯ニ於ケル燃料節約試驗（永井萬吉）

ひばノ枝葉蒸餾試驗（鈴木賢司、西田紀元）
ひばあかまつ、くろまつ、このてがしは、たうひかうやまき枝葉油ノ性狀ニ就テ（辻行雄）

第三號 すぎ苗木養成ノ實驗（栗林武二郎）
かし類更新法ニ關スル試驗（山本正夫）
窯素肥料ノ肥效竝其ノ施肥期ニ就テ（守屋重政）

第四號 霜ノ豫知法ニ就テ（桃井治三郎）
各種樹葉ニ對スル牛馬ノ嗜好ニ就テ（杉野森夫）
洋材材料染拔ニ關スル諸種ノ試驗（三村鐘三郎）

第四號 播種被土試驗（野路策三）
過度ニ伸長シタルすぎひのき二年生及三年生苗木ノ幹部切斷床替試驗（同）
かし類山行苗整理方法ノ活著ニ及ホス影響（林泰治）
もみ、つが立木巻枯試驗（戸澤又次郎、野路策三）
燐酸ノ容器用材ニ就テ（森三郎）
立木地及無立木地ニ於ケル下草種類並生產量ニ就テ（大迫元雄）
はちく開花後ニ發生スル變態竹ニ就テ（北島君三）
一齊同齢ノあかまつ林內ニ於ケル個樹ノ樹形調査（河田杰）
樹幹ノ胸高以上任意ノ高サニ於ケル直徑算定ノ補助表（山本和藏）

第五號 疎植ト密植トノひのき林ニ就テ生長ノ比較調査（山本和藏）
くすぞうむし驅除豫防試驗（日高義實）
つくばねがしノ炭疽病ニ就テ（北島君三）
木材防腐劑ノ效力比較試驗（杉浦庸一）
露領沿海州產からまつ材強弱試驗（森三郎、三溝鎭）
かしはノ樹皮量ニ關スル調査（安藤得美）
一齊同齢ノ針葉樹林ニ於ケル單木ノ胸高幹形數ニ關スル調査（河田杰）

第六號 もみノ結實年度竝稚樹發生年度ニ就テ（林泰治）
かし類山地實蒔造林ニ關スル試驗（同）
すぎ山行苗木速成法試驗（野路策三）
海濱林內裸地改良試驗（同）
はぎニ對スル肥料三要素試驗（大迫元雄）
まつのこきくひむし驅除豫防試驗（日高義實）
ひば立木巻枯試驗（鈴木賢司、山內五郎）
ひば材干木割防止試驗（鈴木賢司、山內五郎、林唯雄）

第七號 まつくひむし驅除ニ關スル試驗（同）
もみ立木巻枯試驗（原耕太）
「コルク」粒錠唇等ノ保溫能ニ就テ（杉浦庸一）
三溝鎭）
干割防止試驗（森三郎）
丸太材積ノ計算法ニ就テ（山本和藏、有村常清）

第八號 小笠原島所生植物調查報告（豐島恕清）

第九號 北米產輸入材強弱試驗（森三郎）
あかまつノ伐痕ヨリ胸高直徑及樹高ヲ想定スル補助表ニ就テ（山本和藏、有村常清）
一齊同齢ノ針葉樹林ニ於ケル樹冠ノ水平的投影面積及枝下高ノ變異（工藤一郎）

第一〇號 富士山麓あかまつ造林不成績ノ原因ニ就テ（北島君三）
とがさはらつが、ひのき、もみ天然下種更新試驗（野路策三）
すぎ苗赤枯病ニ對スル銅石鹼液効力試驗（肱黒友三）
白楊樹樹中ノ石灰鹽類沈積ニ就テ（福田八十楠）

第一一號 濶葉樹挿木試驗（柳田由藏）
かし類天然更新ノ整地法試驗（奥利夫）
上木伐採量ノ多少カもみ、つが天然生稚樹ニ及ホス影響（福永鴻介）
末口直徑ニ依ル丸太材積算定ノ一法ニ就テ（山本和藏、有村常清）

特別號 火災ト樹林竝樹木トノ關係（河田杰、柳田由藏）
震災地ニ於ケル木造家屋ノ被害ニ就テ（森三郎等）
震災火災ト鋪木道鋪木橋及電柱ノ被害（辻行雄）
震害後觀察セル木造洋風家屋ノ腐朽竝燒死樹ニ發生セル橙黃色菌ニ就テ（北島君三）

第一二號 砂丘植物ノ調查（山本正夫）
たこは製帽原料漂白試驗（豐島恕清）
南洋產木材ノ性質ニ就テ（森三郎）
かし類立木巻枯試驗（原耕太）
放牧地火入ニ依ル壁蝨驅除ニ就テ（杉野森夫）

第一三號 小笠原島ニ於ケル印度護謨樹ニ就テ（豐島恕清）
屋內乾燥ニ因ルあかまつ丸太ノ重量減失調查（森三郎）
木工用竝合板用膠著劑ノ品質試驗（泉岩太）
日米針葉樹材ノ耐朽比較試驗（北島君三）
あべまきノ樹皮量ニ關スル調查（原耕太）

第一四號 しらかしノ挿木造林試驗（柳田由藏）
深根性苗木ノ幹根部ノ間ニ存スル相關關係ニ就テ（鵜永鴻介）
すぎ苗木ノ形狀調查（佐多一至）
萱科植物窒素固定ニ關スル研究 豫報（大迫元雄）
松脂採集試驗 第二回報告（原耕太）
同 第三回報告（原耕太）
すぎノ立皮剝カ材ノ乾燥ニ及ホス影響（高橋憲三）
米杉材黑變色素ノ除去ニ就テ（泉岩太）
すぎ單純老齢林分間伐法試驗實行報告（仙臺林業試驗支場編）

第一五號
「ナフタリン」、青酸加里、二硫化炭素カすぎ種子ノ發芽及幼苗ノ生育ニ及ホス影響（守屋重政、永井克雄）　一四、一
根切蟲ノ驅除試験（明永久次郎）　一四、二
かし類ヲ害スルくりかみきりノ驅除試験（日高義實）　一四、二
飛行機機體用ひのきノ代用材ニ就テ（森三郎等）　一四、二
木材乾燥用トシテノ酸性白土（「アドソール」）ノ價値ニ就テ（泉岩太）　一四、三
あかまつノ根部材積ニ就テノ調査（山本和藏、麻生誠）　一四、三
第一六號
すぎ種子ニ對スル藥液ノ處理ト發芽率トノ關係ニ就テ（原田正二）　一四、四
のいばら種子ニ關スル研究（小山光男）　一四、四
かし類枝打試験ニ於ケル第一回疎開ノ程度カ稚樹ノ發生及生育ニ及ホス影響竝其林相ノ變化ニ就テ（林泰治）　一四、五
すぎ苗木赤枯病ニ對スル銅石鹸液ノ効力試験（北島君三）　一四、五
くりノ葉枯病ニ就テ（北島君三）　一四、六
柿漆塗布材ノ耐朽原因ニ就テ（同）　一四、六
ぶなノ伐採季節ト腐朽トノ關係（高橋憲三、小玉峰次郎）　一四、七
農商務省山林局編　明治四五至大正一四年第二六號ヨリ（大正一四年第二號ヨリ農林省林業試驗報告ト改題）　一四、七
第九號
簡便ナル種子發芽率檢定方法（小山光男）　一四、七
ヤマナラシ種子ノ貯藏試驗（同）　一四、八
楊柳科植物ヲ害スル葉蟲類ニ就テ（矢野宗幹）　一四、八
苦竹ノ水枯病ニ關スル研究（川村清一）　一四、八
白蟻ノ研究（同）　一四、九
竹材虫害豫防試驗（三村鐘三郎）　一四、九
日本炭竈及炭質ニ關スル研究（同）　一四、一〇
鹽鼓木五倍子單寧含有量（同）　一四、一〇
松根油製造試驗報告（牧野清利、守屋重政）　一四、一〇
第六回帝國林業試驗場組合會議ノ概況（白澤保美）　一四、一一
第一〇號
林木種子ノ産地及遺傳性ニ關スル試驗（三村鐘三郎）　一四、一一
林木種子貯藏試驗（小山光男）　一四、一二
北海道及樺太産木材ノ强弱試驗（高橋久治）　一四、一二
木材ノ電氣傳導試驗（比留間重次郎）　一四、一三
潤葉樹利用試驗（望月常比留間重次郎）　一四、一三
杉苗赤枯病ノ研究（川村清一）　一四、一四
白蟻ノ研究（矢野宗幹）　一四、一四
第一一號
主要材木種子水選ノ價値及其方法（小山光男）　一四、一五
扁柏苗ニ對スル窒素肥料ノ施肥期及肥効試驗（守屋重政）　一四、一五
杉苗ノ施肥期ニ關スル試驗（同）　一四、一五
單立木ノ層積計算式ノ研究　附本邦各地實用ノ層積單位ノ比較（寺崎渡）　一四、一六
しらがし、ぶな、くりノ單木幹材積計算補助表幷ニ材積表（同）　一四、一六
第一二號
有林地ト無林地トニ於ケル水源涵養比較試驗（木村喬嶺、山田熹一）　一四、一七
熊本大林區署ニ於ケル樟腦製造試驗　第二回報告（北村隆重）　一四、一七
鹿兒島大林區署ニ於ケル樟腦製造試驗　第五回報告（曾木俊彦）　一四、一八
第一三號
林野放牧竝原野草類ニ關スル試驗　第一回報告（佐藤清明、大迫元雄）　一四、一八
潤葉樹材ノ强弱試驗（比留間重次郎、望月泰男）　一四、一九
椀木地製作試驗（同）　一四、一九
家具、建具及造作トシテぶな材ノ價値（佐藤振五郎、松尾良助）　一四、一九
鍛冶谷澤木工所ニ於ケル潤葉樹利用及製材並木工作業ニ關スル試驗（河村牧司）　一四、二〇
第一四號
「ラヂウム」肥料ノ苗木ニ對スル肥効試驗（守屋重政）　一四、二〇
原野灌漑試驗（大迫元雄）　一四、二一
すぎ苗赤枯病ノ驅除豫防ニ關スル試驗（大枝直規）　一四、二一
すぎ苗赤枯病ノ研究　第二回報告（北島君三）　一四、二一
木竹材害蟲ノ研究　第一回報告（矢野宗幹）　一四、二二
飫肥産すぎ材强弱試驗（比留間重次郎）　一四、二二
醋酸鐵石灰製造ニ關スル研究　第一回報告（三村鐘三郎）　一四、二三
炭竈ニ關スル研究（同）　一四、二三
青森大林區署ニ於ケル製炭試驗（農商務省山林局編）　一四、二四
薪材ノ層積ニ關スル研究（山本和藏）　一四、二四
第一五號
けやき種子ノ播種季節及發芽ニ要スル溫度ニ就テ（小山光男）　一四、二五

樺皮油ニ關スル研究　第一回報告（三村鐘三郎）　一四、二五
落葉ノ成分及森林土壤ノ變成ニ關スル研究　第一回報告（守屋重政）　一四、二五
杉苗ノ施肥期ニ關スル試驗（同）　一四、二六
單立木ノ層積計算式ノ研究　附本邦各地實用ノ層積單位ノ比較（寺崎渡）　一四、二六
しらがし、ぶな、くりノ單木幹材積計算補助表幷ニ材積表（同）　一四、二六
主要材木種子水選ノ價値及其方法（小山光男）　一四、二七
扁柏苗ニ對スル窒素肥料ノ施肥期及肥効試驗（守屋重政）　一四、二七
杉葉油ニ關スル研究（內田壯）　一四、二八
臺灣阿里山産扁柏乾餾油ニ關スル研究（同）　一四、二八
山椒蟲蠶殖試驗ニ關スル研究（同）　一四、二九
白蠟蟲蠶殖試驗（矢野宗幹）　一四、二九
あかまつ枝條量計算式ノ研究竝計算補助表（山本和藏）　一四、三〇
すぎ林ノ生長及收穫（寺崎渡）　一四、三一
有林地ト無林地トニ於ケル水源涵養比較試驗（木村喬嶺、山田熹一）　一四、三一
熊本大林區署ニ於ケル樟腦製造試驗　第二回報告（北村隆重）　一四、三二
鹿兒島大林區署ニ於ケル樟腦製造試驗　第五回報告（曾木俊彦）　一四、三二
第一三號
林野放牧竝原野草類ニ關スル試驗　第一回報告（佐藤清明、大迫元雄）　一四、三三
潤葉樹材ノ强弱試驗（比留間重次郎、望月泰男）　一四、三三
椀木地製作試驗（同）　一四、三四
家具、建具及造作トシテぶな材ノ價値（佐藤振五郎、松尾良助）　一四、三四
鍛冶谷澤木工所ニ於ケル潤葉樹利用及製材並木工作業ニ關スル試驗（河村牧司）　一四、三五
第一四號
「ラヂウム」肥料ノ苗木ニ對スル肥効試驗（守屋重政）　一四、三五
原野灌漑試驗（大迫元雄）　一四、三六
すぎ苗赤枯病ノ驅除豫防ニ關スル試驗（大枝直規）　一四、三六
すぎ苗赤枯病ノ研究　第二回報告（北島君三）　一四、三六
木竹材害蟲ノ研究　第一回報告（矢野宗幹）　一四、三七
飫肥産すぎ材强弱試驗（比留間重次郎）　一四、三七
醋酸鐵石灰製造ニ關スル研究　第一回報告（三村鐘三郎）　一四、三八
炭竈ニ關スル研究（同）　一四、三八
青森大林區署ニ於ケル製炭試驗（農商務省山林局編）　一四、三九
薪材ノ層積ニ關スル研究（山本和藏）　一四、三九
第一五號
けやき種子ノ播種季節及發芽ニ要スル溫度ニ就テ（小山光男）　一四、四〇
林木ト菌根トノ關係　第一回報告（三村鐘三郎）　一四、四〇
木材水浸出液ノ螢光現象ニ就テ（藤岡光長）　一四、四一
あかまつ材强弱試驗　第一回報告（比留間重次郎）　一四、四一
四谷丸太竝青梅及西川すぎ材强弱試驗（高橋久治）　一四、四二
潤葉樹材ノ吸濕伸長試驗（同）　一四、四二
森林樹木ノ種實油調査（內田壯）　一四、四三
ひば材ノ揮發油ニ關スル調査（同）　一四、四三
くり材ヨリ單寧「エキス」製造試驗（守屋重政）　一四、四四
純鐵鐵製造用木炭ニ關スル研究　第一回報告（三村鐘三郎）　一四、四四
醋酸石灰製造ニ關スル研究　第二回報告（同）　一四、四五
すぎ心材色黑變ニ關スル研究（藤岡光長、高橋憲三）　一四、四五
草地ト裸地トニ於ケル土壤水分ノ比較試驗（大迫元雄）　一四、四六
かはらけつめい（山扁豆）ノ飼料及肥料的價値（同）　一四、四六
貯水池ニ於ケル木材ノ害蟲（守屋重政、矢野宗幹）　一四、四七
純鐵鐵製造用木炭ニ關スル研究　第二回報告（三村鐘三郎）　一四、四七
あかまつノ單木幹材積表竝胸高形數表（山本和藏）　一四、四八
第一七號
林木種子ノ貯藏試驗竝播種用トシテノ古種子ノ價値（白澤保美、小山光男）　一四、四八
熊本大林區署ニ於ケル水源涵養比較試驗（農商務省山林局編）　一四、四九
林木ト菌根トノ關係（第二回報告）（三村鐘三郎）　一四、四九
木材ノ吸濕膨脹試驗（第二回報告）（大迫元雄）　一四、五〇
針葉樹種子寄生蜂ニ就テ（矢野宗幹、小山光男）　一四、五〇
敵蟲ニ就テ（矢野宗幹）　一四、五一
青森産ひば材ノ耐朽原因ニ就テ（北島君三）　一四、五一
枕木防腐試驗（農商務省山林局編）　一四、五二
木材ノ吸濕膨脹試驗　第一回報告（井上重則、杉浦庸一）　一四、五二
樹木材部ノ着色及防腐試驗（三村鐘三郎）　一四、五三
林野産雜草ヨリ「ポッタース」ノ製造試驗（同）　一四、五三
けやき、ほほ及うるし種子ノ發芽促進法（小山光男）　一四、五四
第一八號
秣及肥料用草類生産ニ關スル施業方法試驗　第二回報告（大迫元雄）　一四、五四
樹葉竝ニ野草ノ飼料及肥料的價値（守屋重政、大迫元雄）　一四、五五
すぎ苗ノ瘤腫病ニ關スル研究（北島君三）　一四、五五
第一九號
ひばノ單木幹材材積表及單木幹材材積計算補助表ノ改訂（寺崎渡）　一四、五六
第二〇號
すぎノ樹齡査定及植栽年度鑑定法ニ關スル研究（藤岡光長）　一四、五六
第二一號
林木種子ノ乾燥度ト發芽力保存トノ關係（小山光男）　一四、五七
原野火入ニ關スル試驗　第二回報告（大迫元雄）　一四、五七
南洋産木材水浸出液ノ螢光現象ニ就テ（藤岡光長）　一四、五八
あかまつニ寄生スルならたけニ就テ（北島君三）　一四、五八
マアシヤル、カロリン群島産單寧材料ニ就テ（守屋重政）　一四、五九
通發作用ニ依ル木材ノ着色、防腐及耐火法試驗（三村鐘三郎）　一四、五九
あかまつ林ノ收穫表（山本和三）　一四、六〇
けやき種子ノ後熟ト發芽トニ就テ（小山光男）　一四、六〇
けやき天然下種更新試驗（戸澤又次郎、野路第三）　一四、六一
苗木ニ對スル肥料三要素試驗（高橋憲三）　一四、六一
漆樹ノ漆液溝ニ就テ（守屋重政）　一四、六二
鹿兒島産しひ、たぶ及かし材强弱試驗（森三郎、杉浦庸一）　一四、六二
牛馬放牧ノ林野ニ及ボス影響試驗　第二回報告（大迫元雄、杉野森夫）　一四、六三
第二三號
茨城縣久慈川口附近ニ於ケル砂丘ノ形狀（河田杰）　一四、六三
鹿兒島縣吹上濱海岸砂丘地ニ於ケル砂防試驗　第一回報告（山本正夫）　一四、六四
有林地ト無林地トニ於ケル水源涵養比較試驗（農商務省山林局編）　一四、六四
林木ト菌根トノ關係　第二回報告（三村鐘三郎）　一四、六五
木材ノ吸濕膨脹試驗（第二回報告）（森三郎、杉浦庸一）　一四、六五
第二四號
本邦ニ於ケル伐木及造材用器具機械ニ關スル調査（網島政吉）　一四、六六
第二五號
あかまつ及からまつ植栽ノ疎密ガ成林狀態ニ及ボス影響　第一回報告（河田杰）　一四、六六
原野草類ニ對スル肥料三要素試驗（同）　一四、六七
鹿兒島大林區署ニ於ケル樟腦製造試驗　第六回報告（曾木俊彦）　一四、六七
木材ノ吸濕膨脹試驗　第三回報告（森三郎）　一四、六八
はらあかまひまひノ調査（肱黑友三）　一四、六八
丸太材積ノ計算法ニ就テ（山本和藏、有村常清）　一四、六九

〔農商務省〕林業試驗報告抄錄　第一、二輯　山林局編　農商務省　大正四、一一　一四、三　一二五
農商務統計概要　農商務大臣官房統計課編　大正一一　一四、四　三〇
農商務統計講義　細野繁莊　大正四　一三七　七〇七

		冊	函	號
農商務統計報告規則質疑應答	農商務大臣官房統計課編 大正一一	一	元七	二九〇
農商務統計表 第二七至三四、三六至四〇次（農商務大臣官房文書課編）	明治四五至大正一四	一四	一四、四	三〇
農商務統計様式解說	北垣增藏 大正一一	一	五一〇	一三
能寫生 行眞寫 寫本		二	二〇五	二六五
農術鑑正記	砂川野水（通俗經濟文庫卷四ノ內 大正五）		三五五	五三
腦出血及其療法	森文男編（近世醫學叢書第二五編） 明治四三	一	六〇	三九 ロ
農書要覽	勸農局報告課編 明治一一 一九枚	一	一九九	四一〇
能書事蹟	穗積保編 二卷（國書刊行會本日本書書苑第一書部ノ內 大正三）		三三〇	四九 ハ
農書輯略	並同後語（日本經濟叢書卷四ノ內 大正三）		三四六	一八
同	（改訂日本經濟叢書第四卷ノ內 大正一二）		四四	三七三
能書方	寫本〔奏狀表、御願文、御諷誦文、臣下願文、諷誦文、勸進帳、比叡山戒帳〕〔小杉本〕	特 一	八三〇	八六
農事勞働者事情概要	農商務省農務局編 大正一〇	一	三七八	二〇八
農事勞働保險事例	農商務省農務局編 大正一〇 三三頁	一	三七八	二一〇
農人生活	小林橘川 三版 大正四	一	三七	四六一
農政一斑	橫井時敬（農蠶叢書第一輯農業講演集ノ內 大正二）		三四六	一二 イ
同			三四六	一二
農政學	新潟縣農會編 大正七	一	三七三	一四五
農政革新論	北條直正 大正三	一	三五八	八
農政經濟要論	橫井時敬（橫井博士全集第四卷ノ內 大正一四）		五二〇	三三
農村經濟要論	橫井時敬（橫井博士全集第四卷ノ內 大正一四）	特	五二〇	三 イ
農政御下知問答	陶山鈍翁（日本經濟叢書卷一三ノ內 大正四）		三四六	一八
農政座右	小宮山昌秀（日本經濟叢書卷二〇ノ內 大正五）		三四六	一八
農政私議	東郷實 大正二一 一四頁（臺灣農事報第一九四號別刷）		三九七	四三三
農政四十三講	河田嗣郎 大正一四		五四一	一〇四
農政資料	農商務省農務局編 大正六		三六	二〇七
第一	諸外國產業及經濟組合法 上			
第二	同中			
第三	諸外國產業組合狀況			
農聖親鸞を仰ぎて	佐々木憲德 大正一四		五三三	三四
農政叢書	刀江書院發行 大正一五		五四八	二五
第一輯	農業保險の機能と組織（小平權一）			
第二輯	日本村落史考（小野武夫）			
第三輯	農村社會の研究（レウリン・マックガル著 杉野忠夫譯）			
農政に關する事項	佐藤寬次（公民教育講演集ノ內 大正一三）		二七五	一八
農政の研究問題	須田幹三 大正九 四八頁		三九三	七八
農政方針と移植民政策とを確立せよ	佐藤昌介（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ內 大正三）		三五六	五一
農政方面を農業指導家必携	岡出幸生、織田武市主としたる		五一三	三〇一
農政必携	小杉榲邨編 寫本		八三〇	三
農政問題研究	高岡熊雄 大正一一 六九二頁		五〇七	一二
同	大正一五		五〇七	一二 イ
農村經濟要論	橫井時敬（橫井博士全集第四卷ノ內 大正一四）	特	五二〇	三 イ
農村經濟の精髓	山崎延吉 大正七（地方振興叢書第五編）		三六四	三三〇
農村改良講演會速記錄	生江孝之 明治四五 九一頁		三四四	七
農村改良の話	橫井時敬、吉川祐輝 大正四		三六〇	二〇四
農村改良問題	杉山元治郎（社會事業研究所講義錄ノ內 大正一一）		五二三	七二
農村革命論	橫田英夫（無所住） 大正三		三五八	一七
農村救濟の理論及實際	鈴木東藏 大正六		三六一	八二
農政問答	陶山鈍翁（日本經濟叢書卷四ノ內 大正三）		三四六	一八
同	（改訂日本經濟叢書第四卷ノ內 大正一二）		四四	三七三
農村愛すべし	高秩章 大正四		三六〇	七一
農村行脚三十年	橫井時敬（橫井博士全集第六卷ノ內 大正一四）		五二〇	三
同		特	五〇二	二四〇
農村及農民論	大森金五郎（社會問題十五講ノ內 大正一二）		二九一	五
農村改造を補習學校の經營及教授法標榜せる	五坪茂雄 大正九		五〇二	二四〇
農村改造講話	石田傳吉 大正八		三六六	一四四
農村改造か農村革命か	橿田英夫 大正九		三六六	一九六
農村改造十二講	附 漁村振興の新提唱 石田傳吉 大正一三		五八八	一四五
農村改造論	橫井時敬 大正六		三六三	一三〇
農村改造論	橫井時敬（橫井博士全集第四卷ノ內 大正一四）		五二〇	三三
同		特	五二〇	三三 イ
農村開發の精髓	山崎延吉 大正七（地方振興叢書第五編）		三六四	三三〇
農村改良講演會速記錄	生江孝之 明治四五 九一頁		三四四	七
農村改良の話	橫井時敬、吉川祐輝 大正四		三六〇	二〇四
農村改良問題	杉山元治郎（社會事業研究所講義錄ノ內 大正一一）		五二三	七二
農村革命論	橫田英夫（無所住） 大正三		三五八	一七
農村救濟の理論及實際	鈴木東藏 大正六		三六一	八二
農村救濟論	橫田英夫 大正三		三五八	四
農村窄地の利用	佐々木甚七郎 大正六		三五八	一七〇
農村經營	山崎延吉 大正二		三三九	三四〇
同	大正四		三三九	三四〇 イ
農村經營	橫井時敬（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ內 大正二）		三三五	一三三 ハ
農村經營と耕地整理事業	月田藤三郎（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ內 大正二）		三三五	一三三 ハ
農村經營と山林	堀田英治（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ內 大正二）		三三五	一三三 ハ
農村經營と林業に就て	堀田英治（福島縣農會主催第三回農村經營講習會講話集ノ內 大正元）		三三五	一三三 ハ
農村經營の大本	津田元德（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ內 大正二）		三三五	一三三 ハ
農村經營の方針	井口丑二（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ內 大正二）		三三五	一三三 ハ
農村經營の話	山崎延吉 大正四		三六〇	二一三
農村經營の理想	杉山元治郎 大正四		三六〇	一五七
農村經濟行脚	安東友哉 大正一五		五四七	一二九
農村經濟問題	山崎延吉（通俗經濟講座第一輯ノ內 大正一四）		五二〇	三三
農村教育（理論—方法—）	同研究會編 大正六		三六一	七三

		冊	函	號	
農村教育と生活問題	澤村眞 大正八	一	三七	四五	農
農村教育と地方改良	古市利三郎編（栃木縣地方改良講演集ノ内） 大正五		三四四	三四五ロ	農
農村教育の研究	兒玉庄太郎 大正九	一	二九一	三	農
農村教育の新理想	小川友吉 大正一五	一	二九一	三 八	農
農村教育の方針及施設	眞田幸憲 大正八	一	二九一	三 一	農
農村教育の理論及方法	農村教育研究會編 大正四	一	三六〇	七六	農
農村教育論	山崎延吉 大正三 五四九頁	一	二五三	一三四	農
農村研究	河田嗣郎 大正一四	一	五三七	一二六	農
農村研究講話	小野武夫 大正一四	一	五四一	一五七	農
農村研究叢書	中興館發行 大正四	一	三五五	三四	農
第一卷 日本農村論（横田英夫）					農
農村工藝の奬勵と實際	附錄付 高橋榮五郎 大正一五	一	五六四	六	農
農村厚生問題	石坂繩樹 大正一四	一	五四一	六四	農
農村財政	清水長郷（農村問題大系第三編） 大正一四	一	五四八	八	農
農村市街地信用組合金融事情調査	第二回 産業組合中央金庫編 大正一五	一	一四五	一八六	農
農村事情に關する調査	第三輯 協調會農村課編 大正一四	一	一四五	一四三	農
農村自治	小橋一太 大正一五（農村問題大系第二編）	一	五四八	八	農
農村自治	山崎延吉（福島縣農會主催第三回農村經營講習會講話集ノ内 大正元）		三三五	一三ロ	農
農村自治の要道	岐阜縣教育會編（通俗文庫第九篇） 大正一一	一	三五七	七六	農
農村自治の研究（増訂）	山崎延吉（我農生） 増訂八版 大正二	一	六三	二〇七	農
農村社會學	小河原忠三郎 大正六	一	三五六	三〇九	農
農村社會學	森賢隆（社會事業研究所講義錄ノ内 大正一一）		五一三	七三	農
農村社會事業	小平權一（社會事業講演集第一編ノ内 大正一〇）		四五	五九四	農
農村社會政策	森賢隆 大正八	一	三六二	一〇四	農
農村社會の研究	レウリン・マックガル著 杉野忠夫譯 大正一五（農政叢書第三輯）	一	五四八	二五	農
農村社會問題	有馬賴寧（現代社會問題文化大學十六講ノ内 大正一二）		五三五	一七	農
農村社會問題	小平權一（社會事業講演集第二編ノ内 大正一二）		四五	五九四	農
農村社會問題	杉山元治郎（社會事業研究所講義錄ノ内 大正一二）		五一三	七三	農
農村社會問題の趨嚮	太田利一 大正一四	一	五四七	六三	農
農村諸君	鈴木多吉 大正四	一	三六〇	七〇	農
農村處女會の組織及指導	天野藤男 大正五	一	三六〇	四九七	農
農村振興策	熊本縣農會編 大正六	一	三三九	九一五	農
農村振興策	林忠太郎編 大正元	一	九四	七八四	農
農村振興策（青年一努力一）	香坂昌孝編 大正五	一	三六一	三	農
農村振興と北米の一瞥	指田義雄 大正一二 六八頁	一	三九七	四六九	農
農村振興に關する一考察	大河內正敏 大正一三	一	五二四	二八	農
農村振興の曙光	村田宇一郎（自治講習會講演集ノ内 大正一四）	一	五一八	一九九	農

		冊	函	號	
農村自治の要道	岐阜縣教育會編（通俗文庫第九篇） 大正一一	一	三五七	七六	農
農村自治の研究（増訂）	山崎延吉（我農生） 増訂八版 大正二	一	六三	二〇七	農
農村社會學	小河原忠三郎 大正六	一	三五六	三〇九	農
農村社會學	森賢隆（社會事業研究所講義錄ノ内 大正一一）		五一三	七三	農
農村社會事業	小平權一（社會事業講演集第一編ノ内 大正一〇）		四五	五九四	農
農村社會政策	森賢隆 大正八	一	三六二	一〇四	農
農村社會の研究	レウリン・マックガル著 杉野忠夫譯 大正一五（農政叢書第三輯）	一	五四八	二五	農
農村社會問題	有馬賴寧（現代社會問題文化大學十六講ノ内 大正一二）		五三五	一七	農
農村社會問題	小平權一（社會事業講演集第二編ノ内 大正一二）		四五	五九四	農
農村社會問題	杉山元治郎（社會事業研究所講義錄ノ内 大正一二）		五一三	七三	農
農村社會問題の趨嚮	太田利一 大正一四	一	五四七	六三	農
農村諸君	鈴木多吉 大正四	一	三六〇	七〇	農
農村處女會の組織及指導	天野藤男 大正五	一	三六〇	四九七	農
農村振興策	熊本縣農會編 大正六	一	三三九	九一五	農
農村振興策	林忠太郎編 大正元	一	九四	七八四	農
農村振興策（青年一努力一）	香坂昌孝編 大正五	一	三六一	三	農
農村振興と北米の一瞥	指田義雄 大正一二 六八頁	一	三九七	四六九	農
農村振興に關する一考察	大河內正敏 大正一三	一	五二四	二八	農
農村振興の曙光	村田宇一郎（自治講習會講演集ノ内 大正一四）	一	五一八	一九九	農
農村新社會政策論	岡部久四郎 大正一四	一	五四一	一六一	農
農村生活三十年	篠原憲文（田園叢書第二編） 大正五	一	三五五	三〇ろ	農
農村制度の改造	横井時敬 大正一四	一	五三七	九八	農
農村青年修養	香坂昌孝 大正五	一	三六〇	四九四	農
農村青年に與ふる書	蘆川克己 大正四	一	三五八	一三	農
農村青年の活路	藤原勇造 大正四	一	三六〇	五三	農
農村青年の教養	香坂昌孝 大正六	一	三六三	一三九	農
農村青年の教養に就て	佐藤寛次（實業補習教育講演集ノ内 大正一一）		二九〇	三八	農
農村青年の自覺	高橋北堂 大正九	一	三八八	一八五	農
農村青年の指導	山崎延吉 大正四	一	三六〇	二八〇	農
農村青年の辿るべき道	香坂昌孝 大正五	一	三六〇	四五三	農
農村青年の爲に	美島復軒 大正九（民力涵養叢書第一編）	一	三六九	二四	農
農村小話	山崎延吉 大正五	一	三三九	七五二	農
農村對都市の抗爭	井筒三郎 大正一四	一	五四三	八九	農
農村道話	石川弘 大正五	一	三六〇	四〇四	農
農村道話集	小林英一編 大正八	一	三六七	一五	農
農村宅地利用法	川上直信 大正六	一	三三七	九三四	農
農村談叢	道家齊 大正六	一	三六一	七六イ	農
同 五版	大正六	一	三六一	七六	農

		冊	函	號	
農村的優良事業の方法成績	豐橋市農會編 大正四	一	三五八	七六	農
産業組合の方法及成績					農
報德社に關する方法及成績					農
耕地整理の方法及成績					農
林業に關する方法及成績					農
農會其他各種團體方法及成績					農
青年會に關する方法及成績					農
農村揭示教育資料	石野清市編 大正一五	一	二九一	三 七	農
農村適用實業補習學校の新經營	栗岡松次 明治四五	一	二九〇	一六	農
農村電化の理論及實際（農村問題解決の秘策一）	丸茂忠雄 大正一四	一	五二八	一五九	農
農村と教育	總山文兒 大正一三 九一頁	一	五三五	一八	農
農村と娯樂	天野藤男 大正二	一	三四二	三八五	農
農村と蠶業	辻保次郎（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ内 大正二）		三三五	一三八	農
農村と産業組合	島根縣農政研究會編（「米價の低落と農業者の取るべき方法」ト合綴） 大正三		三三九	四八三	農
農村と食物問題	澤村眞（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ内 大正二）		三三五	一三八	農
農村と人物	門田勝衛 大正元	一	三四四	一〇八	農
農村と水力	佐竹菊次郎 大正一三	一	三九三	六八八	農
農村と青年	山崎延吉 大正三	一	三五〇	四三五	農
農村と電氣	太刀川平治 大正一五	一	五五二	一〇九	農
農村と肥料問題	中川庄司（福島縣農會主催第四回農村經營講習會講話集ノ内 大正二）		三三五	一三八	農
農村と米價問題	飯岡清雄 大正一三	一	五二八	五五	農
農村に於ける畜産共同經營と家畜貸借事例	米津政賢編（畜産經濟資料第二輯） 大正一四	一	一四五	一三五	農

		冊	函	號
農村に於ける副業の指導	佐々木甚七郎　大正六	一	三六一	一五六
農村農家經濟調査法	左子清道　大正六	一	三六四	三三八
農村の開發	齋藤萬吉　大正四	一	三六〇	五八
農村之改良	加納久宜、稻垣乙丙　大正二	一	三四九	一三九
農村の改良	横井時敬（横井博士全集第四卷ノ內　大正一四）	一	五二〇	三三
同		特	五二〇	二三イ
農村の價値	京野源助　大正八	一	三七三	三八八
農村之經營	山崎延吉　大正四	一	三五八	二二
農村之經營	山崎延吉　大正七	一	三七二	一三五
農村の經濟	善生永助　大正一三	一	五一三	二〇八
農村の視察	對島雄一編　大正六	一	三六一	一八六
農村の自治	山崎延吉　大正三	一	三三九	五三五
農村の自治	山崎延吉　大正三	一	三三九	四七〇
農村の自治	山崎延吉　大正六	一	三六四	九五
農村の自治	山崎延吉　大正八	一	三七三	二七二
農村の社會教育	村田宇一郎（自治講演ノ內　大正七）	一	三七三	一二三
農村之振興	勝屋英造編　大正四	一	三五八	三八
農村ノ推移ニ關シ地主ノ對策	山崎（延吉）（地主會講演集ノ內　大正一二）	一	三六七	三六六
農村の大改革一坪農法	織田利三郎　大正一〇	一	三九五	一四五

		冊	函	號
農村の電化	關口定伸　大正一三	一	五一三	三三〇
農村の土地政策	安部磯雄（新社會的秩序ヘノ內　大正一一）		五〇三	二八三
農村の模範事業	日下眞佐市　大正五	一	三六四	一
農村發展策	橫井時敬　再版　大正四	一	三五八	一〇五
農村の發展の基礎	小林鶯里（國民叢書ノ內）	一	五一五	九九き
農村法律問題	長島毅（農村教養資料第九編）大正一四	一	三九三	七七五
農村パンフレット	久住農園發行　大正一二	一	三九三	五六七
第一輯	蔬菜花の大觀　あぶらむしの簡易驅除法（工藤元平）			
第二輯	葉菜と大根の害蟲驅除法（同）			
農村疲弊の問題	柴謙太郎（日本農民史ノ內　大正一四）	一	五三七	六〇
農村副業問題	小平權一　大正一五（農村問題大系第九編）	一	五四八	八
農村二日の出來事	正宗白鳥（現代戲曲全集第一五卷ノ內　大正一五）	一	五二〇	二五
農村保健衞生實地調査報告	愛知縣衞生課編　大正一二	一	一四六ハ	一六六
農村保健衞生實地調査報告書	（福井縣三方郡耳村保健衞生實地調査報告）福井縣警察部衞生課編　大正一四	一	一四六ハ	二〇五
農村補習學校の經營	小尾晴敏（實業補習教育講演集ノ內　大正一一）		二九〇	三八
農村補習教育の改造（經營ノ七年）	松田萬平　大正一二	一	二七三五	六
農村補習教育之研究	田澤義鋪　大正六	一	二九一	五〇
農村問題	小河原忠三郎　大正九（現代社會問題研究第五卷）	一	三七五	四九
農村問題	氣賀勘重　大正一四	一	五四一	一三四

		冊	函	號
農村問題	氣賀勘重（社會政策大系第六卷ノ內　大正一五）		五五五	二一
農村問題	氣賀勘重（慶應義塾學都宮講演ノ內　大正四）		三五六	一〇三
農村問題	坪井某（地主會講演集ノ內　大正一二）		三九七	三六六
農村問題	富益義衛　大正二	一	三四四	一四三
農村問題	中澤辨次郎（社會思潮十講ノ內　大正一一）		五〇三	一二六
農村問題	中島九郎（自治講習會講演集ノ內　大正一四）		五一八	一九九
農村問題	沼法遵編（問題叢書第八編）大正九	一	二九〇	一一
農村問題	矢作榮藏（時局講演集上卷ノ內　大正八）		三七〇	一〇五
農村問題解決の秘策	農村電化の理論及實際　丸茂忠雄　大正一四	一	五一八	一九九
農村問題講演	附　日本の農村及教育に對する所感　ハロルド・ダブリュー・フオート著　國民教育奬勵會譯　大正一四	一	五四一	一三
農村問題研究	農民の立場から　橫井時敬　大正一四（橫井博士全集第七卷）	一	五二〇	一三
同		特	一五二〇	一三イ
農村問題原理	小山勝清　大正一四（ポケットライブラリイ第二）	一	五一六	三三五
農村問題叢書	同刊行會發行　大正一二五	五	五四七	一六二
第一篇	農民の歷史（稻村隆一）			
第八篇	小作爭議の實際（杉山元治郎）			
第一〇篇	世界農民運動（オイゲン・ウアルガ著　大西俊夫譯）			
第一二篇	農民の文學（木村毅）			
第一三篇	農業と社會主義（平野學）			
農村問題叢書	林眞夫發行　大正一五	一	五四九	一三五
第一編	小作爭議に面して（林眞夫）			
農村問題大系	日本評論社發行　大正一四、一五	五	五四八	八

		冊	函	號
第二編	農村自治（小橋一太）			
第三編	農村財政（清水長郷）			
第八編	米穀問題（上山滿之進）			
第九編	農村副業問題（小平權一）			
第一〇編	產業組合問題（志村源太郎）			
農村問題と科學	大河內正敏　大正一四	一	五二四	三七七
農村問題と宗教	武內了溫編　大正一二　八六頁	一	三九三	五四七
農村問題と社會理想	那須皓　大正一三	一	五三五	一六
農村問題と對策	河田嗣郎　一五版　大正一四	一	五四一	一五四
農村問題の解決	橫田英夫　大正七	一	二八六	二
農村問題の歸趨	矢作榮藏（最新高等蠶業講習錄ノ內　大正一三）		五三一	六七
農村問題の現在と將來	稻村隆一　大正一四（希望閣パンフレット第三）	一	五四八	四
農村問題の思想的背景	河田嗣郎　大正一五（學藝講演通信社パンフレット第一三編）	一	五二四	三八九
農村問題文獻資料	有馬農村問題研究所編　大正一四　五四頁	一	五二四	四一二
農道	富山縣農會編　訂一〇版　大正六	一	三二七	九一四
同	訂一一版　大正七	一	三二七	九一四イ
農談一束	中村勝三（栃木縣地方改良講演集ノ內　大正五）	一	三四四	三五ロ
能斷金剛般若波羅蜜多經論釋	無著造頌　世親釋　唐、義淨譯　三卷（大正新脩大藏經第二五卷釋經論部上ノ內　大正一五）	特	四四	三七四
同			八六	三九一

		冊	函	號
能斷金剛般若波羅蜜多經論頌	無著造　唐、義淨譯　（大正新脩大藏經第二五卷釋經論部上ノ內　大正一五）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
農地改良學	稻垣乙丙　改訂再版　大正一三	一	三二	三九八
農地測量學	上野英三郎、兼松義隆　大正一五	一	五五	一三
農場利益分配の事例	農商務省農務局編　大正一〇	一	三七八	一九一
同	大正一三	一	三七八	一九一イ
能と謠の根原（世阿彌十六部集意譯）	池內信嘉　大正一五	一	五四七	二五七
能毒養生辨	平岡某（日本衛生文庫第五輯ノ內　大正六）		六一	二〇四
農人形の研究	大井徹翁　大正六	一	三六三	七六
能の說明	池內信嘉　大正一四	一	一六六	三五一
能の見方謠の聞き方	池內信嘉　再版　大正七	一	三七六	一〇一
能筆自在書法三角論	諸井時三郎（春畦）　明治四五	一	三四二	一五一
腦病	總論　三宅鐵一　大正五（日本內科全書卷六第一册）	一	五三	九四
能評判うそ咄	二卷（國書刊行會本德川文藝類聚第三評判記ノ內　大正三）		三三〇	四九ろ
濃飛兩國通史	上、下卷　岐阜縣教育會編　大正一二、一三	二	五一九	一六四
農夫喜兵衞の死	中西伊之助　大正一二	一	五一七	二五四
農夫と歌姬	リー著　木村信兒譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）		五二〇	四五
濃北の鄉土と莊白川の山鄉	長沼應陽編　大正一四	一	三九三	七九九
能本作者註文	吉田兼持（能樂古典譯竹集ノ內　大正四）	一	三五六	二六三
能間狂言全書（滑稽譚）	伊東喜一郎編　大正七	一	三二九	二八七
農民	第一秋、第二冬、第三春、第四夏　レイモント著　加藤朝鳥譯　大正一四、一五	四	五三八	二四八
農民運動叢書	二松堂發行　大正一五	一	五四五	三七
第一	資本主義沒落期の農民問題　一名　百姓は何故貧乏するか（青木惠一郎）	一	五一二	二六五
農民運動と高松事件	若林三郎　大正一四	一	三七八	一九一イ
農民運動の一例としての萬石騷動	大森金五郎（日本農民史ノ內　大正一四）		五三七	六〇
農民運動の史的考察	長谷川善雄　大正一三	一	五三一	二五
農民組合運動史	アーネスト・セレイ著　內山俊雄譯　大正一一	一	五〇三	三〇七
農民組合による小作農家の現狀調査	太田敏兄　大正一四（大原社會問題研究所アルヒーフ第二）	一	一四五	一五一
農民組合の理論と實際	杉山元治郎　大正一四	一	五四一	一四三
農民經濟史研究	小野武夫　大正一三	一	五三一	八四
農民教育	山崎延吉　大正三	一	二五三	一三三
農民思潮と農村問題	太田利一　大正一五（學藝講演通信社パンフレット第二七編）	一	五二四	三八九
農民新生への道	汎農民同盟の話　堀井金太郎（粱歩）　大正一五	一	五四七	一二〇
農民小說集	藤森成吉等編　大正一五	一	五一七	三三七
農民叢書	東京農業大學發行　大正一三	一	五二四	九八
い	農民の負擔輕減と地租委讓（橫井時敬）			

		冊	函	號
農民叢書	米本書店發行　普及版　大正一三、一五	六	五二七	二六
第一	實驗陸苗栽培法（富田岩代）			
第二	良好農村政策の新研究（秋野茂廣）			
第三	模範村を行脚して（松本寬）			
第四	有利經濟自給肥料堆肥と綠肥之新研究（小松澤德二郎）			
第五	生產農具の知識（井崎富太郎）			
第六	增進農具の知識（井崎富太郎）			
農民讀本	富田文雄　大正一五	一	五三七	一五三
農民と勞働者の盲動叛亂時代並に大ブルヂュア智識階級の覺醒時代	山內封介　大正一五（ロシヤ革命運動史第一輯）	一	五四六	一〇七
農民の國デンマルク	平林廣人　大正一三	一	五一四	二六六
農民の訓練	山崎延吉　大正五	一	三六〇	二七八
農民の聲を聞け	橫田英夫　大正九	一	三八六	三三一
農民の立場から（農村問題研究）	橫井時敬　大正一四（橫井博士全集第七卷）	一	五二〇	二三
同		特	一五二〇	二三イ
農民の負擔輕減と地租委讓	橫井時敬　大正一三（農民叢書ノ內）	一	五二四	九八い
農民の文學	木村毅　大正一五（農村問題叢書第一一篇）	一	五四七	一六一
農民の悶え	チヤーレス・キングスレー著　高谷寶太郎譯　大正一二	一	五二三	三四
農民の歷史	稻村隆一　大正一五（農村問題叢書第一篇）	一	五四七	一六一
農民文藝十六講	農民文藝會編　大正一五	一	五一七	四〇九
農民文藝叢書	春陽堂發行　大正一五	二	五四八	二六
第一編	詩と農民生活（白鳥省吾）			
第二編	農民文藝の研究（犬田卯、加藤武雄）			
農民より社會へ	古瀨傳藏　大正一三	一	五二八	一六八
農民離村の研究	有馬賴寧、稻田昌植　大正一一	一	五〇七	六三
農務彙纂	農商務省農務局編　明治四五至大正一〇	五	三一	七五
第一二	本邦都市ニ於ケル牛肉ノ需要ト供給			
第一三	茶業ニ關スル調査（農會調査農事統計　明治三六至四三年）			
第一四	本邦ニ於ケル家畜共濟事業			
第一五	世界之蠶絲業並人造絹絲業　第二次			
第一六	農作物病蟲害豫防事務概要			
第一七	蠶絲業ニ關スル參考資料　第二次			
第二〇	農家副業ニ關スル調査			
第二二	米ニ關スル調査（野菜ニ之シキ地方ニ於ケル農民用牛馬飼育ニ關スル調査）			
第二四	畜牛業ニ關スル共同經營ノ方法及成績			
第二五	第三次畜產統計			
第二六	砂糖ニ關スル調査			
第二七	棉花ニ關スル調査			
第三八	農會調査農事統計　明治三六至四四年			
第三九	各國農事行政及獎勵機關ニ關スル調查資料			
第四〇	浸水農作物			
第四一	本邦產牛馬組合要覽　第二次			
第四二	本邦乳製品及肉製品ノ產額等ニ關スル調查　大正元年			
第四三	小作慣行ニ關スル調查資料			
第四四	農業用揚水機調查　第二次			
第四五	東洋諸方面ニ於テ需要セラルヽ「バター」及豚肉加工品			
第四六	農會調査農事統計　明治三六至大正元年			
第四七	薄荷ニ關スル調查			
第四八	農業關係輸出入累年對照表			
第四九	日本內地ニ於ケル乳製品ト肉製品　大正二年			
第五〇	農會調査農事統計　明治三六至大正二年			
第五一	支那ニ於ケル畜產業並ニ畜產品貿易ノ狀況ニ關スル調查報告（松川潔）（日本之部）			
第五二	米ニ關スル調查（日本之部）			
第五三	麥其他雜穀ニ關スル調查			
第五四	農業倉庫ニ關スル調查			
第五五				